

第4次諫早市地域福祉計画及び
第4次諫早市地域福祉活動計画策定に係る
アンケート調査結果報告書

令和3年3月

諫早市・社会福祉法人 諫早市社会福祉協議会

目次

第1部 調査の概要	1
1. 調査の目的	2
2. 調査の対象及び調査方法	2
3. 回収結果	2
4. 報告書の見方	2
第2部 調査結果の総括	3
1. 前回調査結果との比較からみる、地域福祉に対する意識の変化	4
2. 共通設問による横断的な分析	6
～ 地域にある課題について ～	6
～ 行政と住民との関係としてあるべき姿 ～	7
～ 再犯防止対策について ～	8
第3部 調査結果	9
1. 市民アンケート調査結果	10
～ あなたやご家族のことについて ～	10
～ ご近所付き合いについて ～	14
～ お住まいの地域の課題について ～	21
～ 地区（校区）社会福祉協議会について ～	23
～ ボランティア活動について ～	30
～ 民生委員・児童委員について ～	37
～ 生活相談について ～	41
～ 地域福祉の今後の在り方について ～	44
～ 成年後見制度について ～	49
～ 再犯防止対策について ～	52
2. 地区（校区）社会福祉協議会関係者アンケート調査結果	55
～ あなたのことについて ～	55
～ 地区（校区）社会福祉協議会での活動について ～	57
～ お住まいの地域の課題について ～	69
～ 地域福祉の今後の在り方について ～	70
～ 成年後見制度について ～	72
～ 再犯防止対策について ～	76
3. 民生委員・児童委員アンケート調査結果	80
～ あなたのことについて ～	80
～ お住まいの地域の課題について ～	93
～ 地域福祉の在り方について ～	94
～ 成年後見制度について ～	95
～ 再犯防止対策について ～	99
第4部 自由回答集	103
1. 市民アンケート調査	104
2. 地区（校区）社会福祉協議会関係者アンケート調査	119
3. 民生委員・児童委員アンケート調査	125

第 1 部 調査の概要

1. 調査の目的

第4次諫早市地域福祉計画及び第4次諫早市地域福祉活動計画を策定するにあたり、市民の地域福祉に関する意識や意向を調査、把握し、計画策定の基礎資料を得るために実施した。

2. 調査の対象及び調査方法

(1) 市民アンケート調査

調査地域 諫早市全域
調査対象 市内在住の20歳以上の男女
標本数 2,500人
抽出方法 住民基本台帳から無作為抽出
調査方法 郵送による配布・回収
調査期間 令和3年2月9日～3月12日

(2) 地区(校区)社会福祉協議会関係者アンケート調査

調査地域 諫早市全域
調査対象 地区(校区)社会福祉協議会の関係者
標本数 200人
抽出方法 各地区(校区)社会福祉協議会に各10部調査票を送付し、回答を依頼
調査方法 郵送による配布・回収
調査期間 令和3年2月9日～3月12日

(3) 民生委員・児童委員アンケート調査

調査地域 諫早市全域
調査対象 本市で委嘱している民生委員・児童委員
標本数 312人
抽出方法 悉皆
調査方法 郵送による配布・回収
調査期間 令和3年2月9日～3月12日

3. 回収結果

	配付数	回収数	回収率
市民アンケート調査	2,500通	846通	33.8%
地区(校区)社会福祉協議会関係者アンケート調査	200通	149通	74.5%
民生委員・児童委員アンケート調査	312通	292通	93.6%

4. 報告書の見方

回答は、各質問の回答者数(計)を基数とした百分率(%)で示している。小数点第2位を四捨五入しているため、比率の合計が100.0%にならない場合がある。

複数回答を求めた質問では、回答比率の合計が100.0%を超える。

回答があっても、小数点第2位を四捨五入して0.1%に満たない場合は、表・グラフには「0.0」と表記している。

表・グラフにおいて、回答選択肢を簡略化して表記している場合がある。

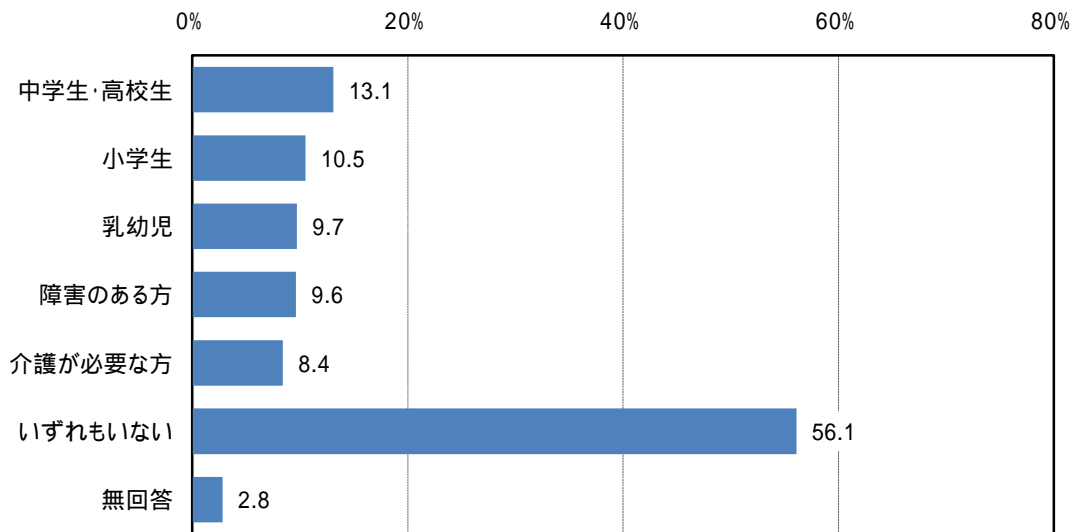
第 2 部 調査結果の総括

1 . 前回調査結果との比較からみる、地域福祉に対する意識の変化

本市の高齢化率は上昇傾向にあります。前回調査結果では同居者に介護が必要な方が 7.4%であったのが、今回調査結果では 8.4%となっており、調査結果からも高齢化の影響がみてとれます。

国立社会保障・人口問題研究所の将来推計によると、本市の高齢化率は今後も一貫して増加すること、今後は 75 歳以上の高齢者（後期高齢者）が増加すること、地域包括ケアシステムの構築に伴い、施設から在宅への流れがますます大きくなること等を考えれば、同居家族に要介護認定者がいる世帯は今後増加しつづけることが予想されます。

あなた自身もしくは現在一緒に住んでいるご家族の中に、次のような方はいますか。（問 6）



計：846人

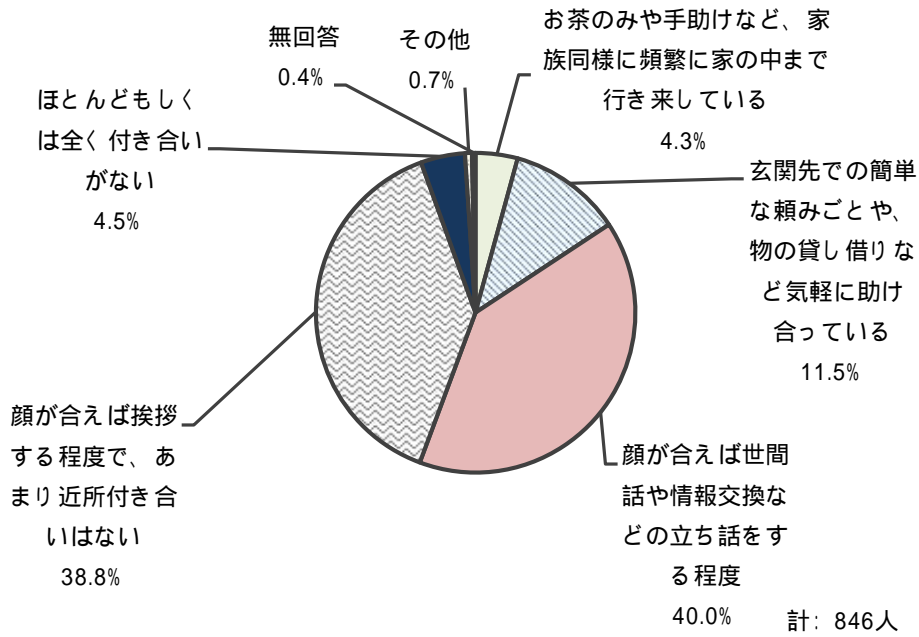
出典：市民アンケート調査結果

一方、近所との関係性は全国と同様、希薄化傾向にあります。立ち話程度以下の近所付き合いに留まる市民の割合は前回調査結果では 75.3%でしたが、今回調査結果では 83.3%と 8 割を超えました。近所と親密な付き合いをしている市民は本市においても少数派となっています。

さらに、居住地域に存在する地区（校区）社会福祉協議会の認知度（「名称も活動内容も知っている」と回答した人の割合）は前回調査結果（20.1%）から 16.2%に低下しています。近所との関係性が希薄化したことによる地域の互助機能の低下を補うべき存在である地区（校区）社会福祉協議会について、その役割を市民が十分に認知していない様がみてとれます。

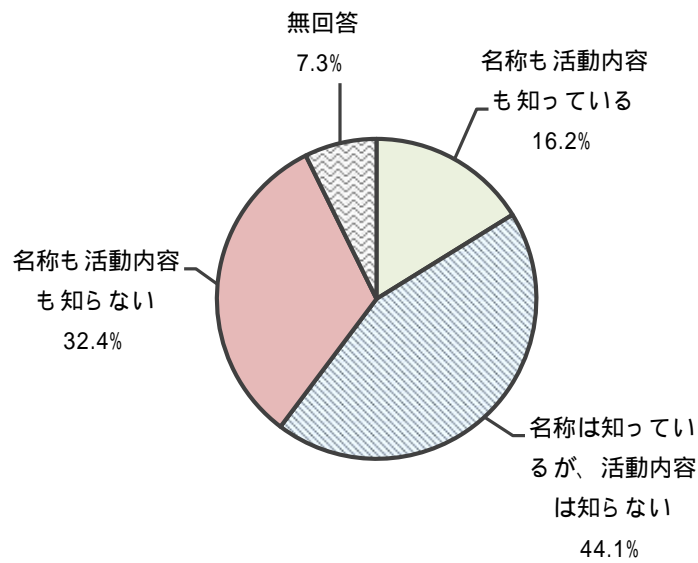
以上の結果から、本市の現状としては、何らかの課題を抱えた市民が地域で孤立しやすい状況がさらに深まっていることが分かります。

あなたは、ご近所の方とどのようなお付き合いをしていますか。(問 8)



出典：市民アンケート調査結果

諫早市には、地域住民が主体となり地域福祉活動を実施する20の「地区(校区)社会福祉協議会」があります。あなたは、お住まいの地域の地区(校区)社会福祉協議会をご存じですか。(問 12)



計: 846人

出典：市民アンケート調査結果

2. 共通設問による横断的な分析

～ 地域にある課題について ～

市民アンケート調査調査結果（問10）と地区（校区）社会福祉協議会関係者アンケート調査調査結果（問13）、民生委員・児童委員アンケート調査結果（問14）を比較することで、地域にある課題について分析しました。

共通して上位に挙がっている地域課題は、「高齢者に対する見守り、支えあい活動の推進」、「災害時における安否確認や避難誘導などの支援体制の強化」、「高齢者の社会参加や生きがいづくりの推進」であるものの、市民に比べて地区（校区）社会福祉協議会関係者と民生委員・児童委員の方がそれぞれの選択肢を選んだ割合が総じて高い傾向にあります。たとえば、「高齢者に対する見守り、支えあい活動の推進」を選択した人の割合は、市民が31.7%であるのに対して地区（校区）社会福祉協議会関係者は55.7%、民生委員・児童委員は49.3%となっています。市民に比べて地域課題に触れる機会が多い社会福祉協議会関係者、民生委員・児童委員の方が、より強く地域課題を感じている様子がみてとれます。市民では上位5位までに挙げられていないものの、地区（校区）社会福祉協議会関係者の3位、民生委員・児童委員の4位に「住民同士の交流の促進」が、5位に「日常生活の簡易な困りごとを地域で解決する仕組みづくり」が挙げられています。何れも、地域福祉の推進のために取り組むべき重要な分野であるといえます。

あなたがお住まいの地域には、どのような課題があると思いますか。

	市民	地区（校区）社会福祉協議会関係者	民生委員・児童委員
1位	高齢者に対する見守り、支えあい活動の推進 (31.7%)	高齢者に対する見守り、支えあい活動の推進 (55.7%)	高齢者に対する見守り、支えあい活動の推進 (49.3%)
2位	災害時における安否確認や避難誘導などの支援体制の強化 (27.3%)	高齢者の社会参加や生きがいづくりの推進 (44.3%)	災害時における安否確認や避難誘導などの支援体制の強化 (48.3%)
3位	高齢者の社会参加や生きがいづくりの推進 (21.2%)	住民同士の交流の促進 (43.6%)	高齢者の社会参加や生きがいづくりの推進 (43.8%)
4位	介護予防・介護サービスの充実 (20.0%)	災害時における安否確認や避難誘導などの支援体制の強化 (39.6%)	住民同士の交流の促進 (42.8%)
5位	医療体制の充実 (18.8%)	日常生活の簡易な困りごとを地域で解決する仕組みづくり (30.9%)	日常生活の簡易な困りごとを地域で解決する仕組みづくり (36.6%)

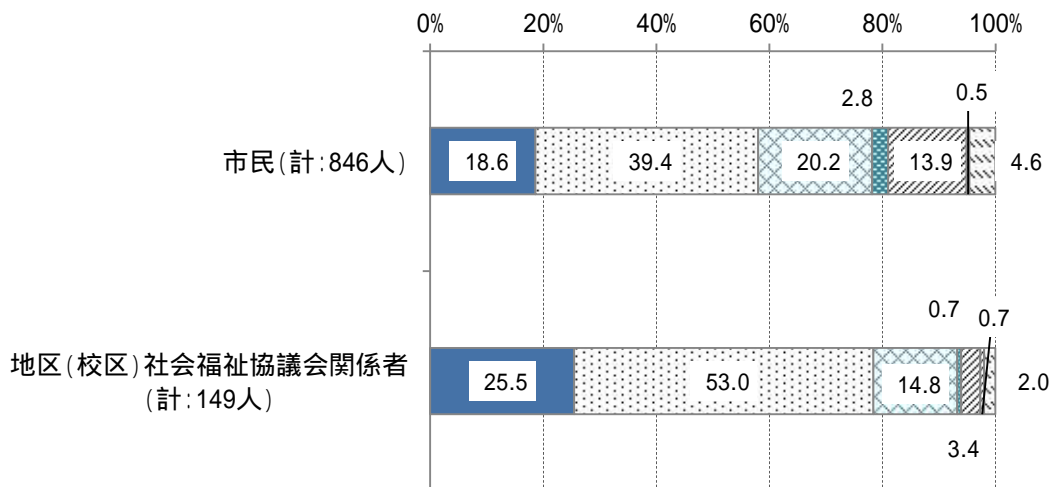
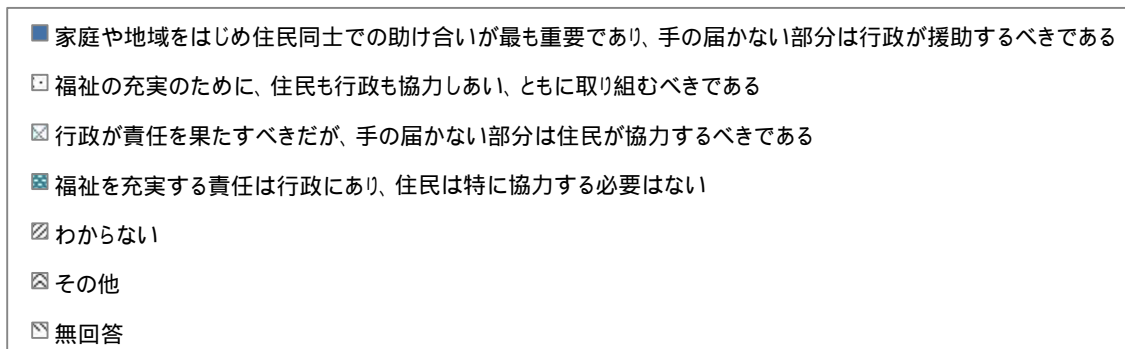
～ 行政と住民との関係としてあるべき姿 ～

市民アンケート調査調査結果（問 21）と地区（校区）社会福祉協議会関係者アンケート調査調査結果（問 14）を比較しました。

市民、地区（校区）社会福祉協議会関係者ともに、「福祉の充実のために、住民も行政も協力しあい、ともに取り組むべきである」と回答した人の割合が最も高くなっており、「家庭や地域をはじめ住民同士での助け合いが最も重要であり、手の届かない部分は行政が援助するべきである」も合わせると過半数となっています。市民と比べて地区（校区）社会福祉協議会関係者の方が、「福祉の充実のために、住民も行政も協力しあい、ともに取り組むべきである」、「家庭や地域をはじめ住民同士での助け合いが最も重要であり、手の届かない部分は行政が援助するべきである」と回答した人の割合が高い傾向にあることも特徴的です。

また、「福祉の充実のために、住民も行政も協力しあい、ともに取り組むべきである」または「家庭や地域をはじめ住民同士での助け合いが最も重要であり、手の届かない部分は行政が援助するべきである」と回答した市民の割合は前回調査結果から減少している一方、地区（校区）社会福祉協議会関係者は前回調査結果からほとんど変化が無く、行政と住民とのあるべき関係について、一貫した考えを有していることが分かります。

地域における福祉を充実させていく上で、行政と住民との関係は、どのようなものが望ましいと思いますか。



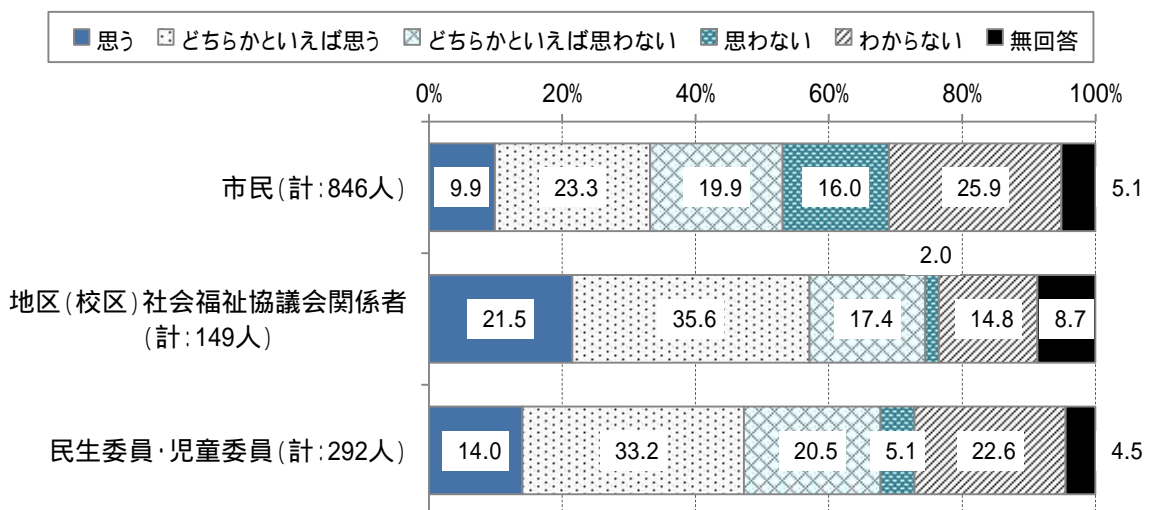
～ 再犯防止対策について ～

市民アンケート調査調査結果（問 28）と地区（校区）社会福祉協議会関係者アンケート調査調査結果（問 22）、民生委員・児童委員アンケート調査結果（問 22）を比較することで、再犯防止対策に係る課題について分析しました。

犯罪をした人の立ち直りに協力したいという気持ちを有する人の割合は、社会福祉協議会関係者が最も高く 57.1%となっています。市民は相対的に割合が低いものの、約 3 人に 1 人（33.2%）が協力したいと回答しています。

犯罪をした人の立ち直りに協力することに否定的な人についても、その理由として「犯罪をした人と、どのように接すればよいかわからないから」や、「具体的なイメージがわからないから」などを挙げる人が多い一方で、「自分や家族の身に何か起きないか不安だから」、「犯罪をした人と、かわりを持ちたくないから」という回答も目立ちます。

あなたは、犯罪をした人の立ち直りに協力したいと思いますか。

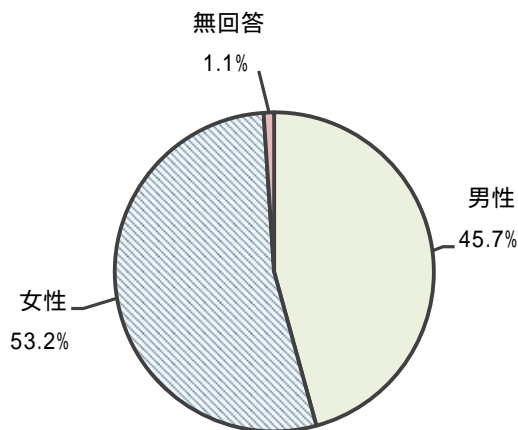


第 3 部 調查結果

1. 市民アンケート調査結果

～ あなたやご家族のことについて ～

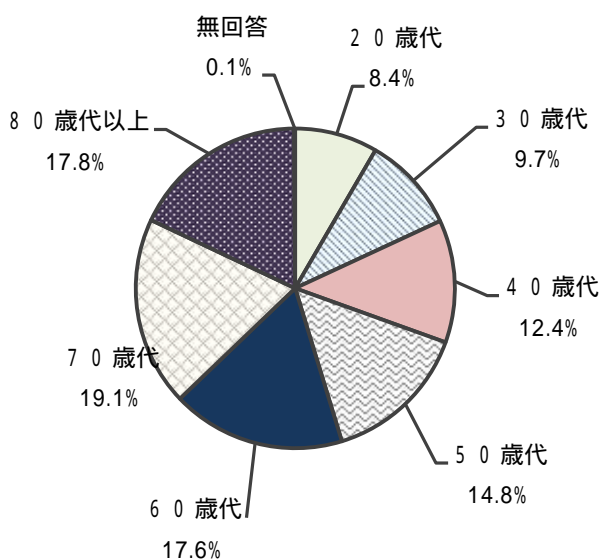
問 1 あなたの性別をお尋ねします。



計: 846人

性別をたずねたところ、「女性」と回答した人の割合は53.2%となっています。一方、「男性」と回答した人の割合は45.7%となっています。

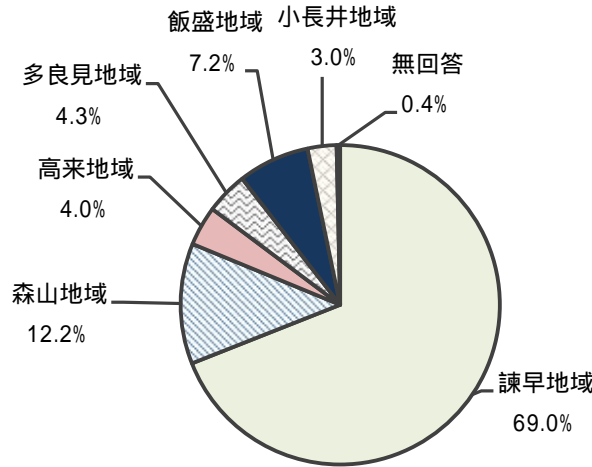
問 2 あなたの年齢をお尋ねします。



計: 846人

年齢をたずねたところ、「70歳代」と回答した人の割合が最も高く、19.1%となっています。次いで、「80歳代以上」(17.8%)、「60歳代」17.6(%)と続いています。

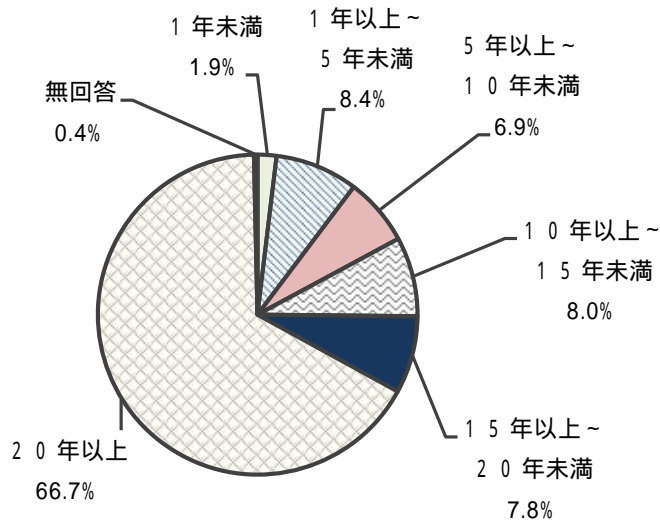
問 3 あなたのお住まいの地域をお尋ねします。



計: 846人

お住まいの地域をたずねたところ、「諫早地域」と回答した人の割合が最も高く、69.0%となっています。次いで、「森山地域」(12.2%)、「飯盛地域」(7.2%)と続いています。

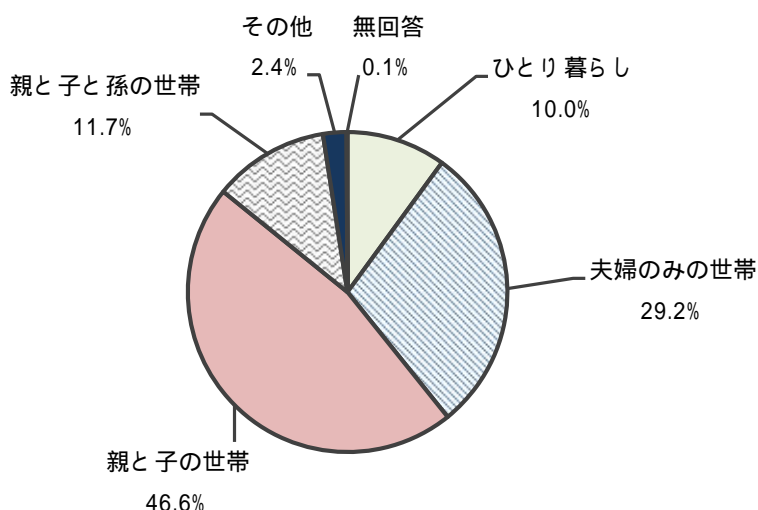
問 4 あなたは、今の地域にお住まいになって何年になりますか。



計: 846人

居住年数をたずねたところ、「20年以上」と回答した人の割合が最も高く、66.7%となっています。次いで、「1年以上~5年未満」(8.4%)、「10年以上~15年未満」(8.0%)と続いています。

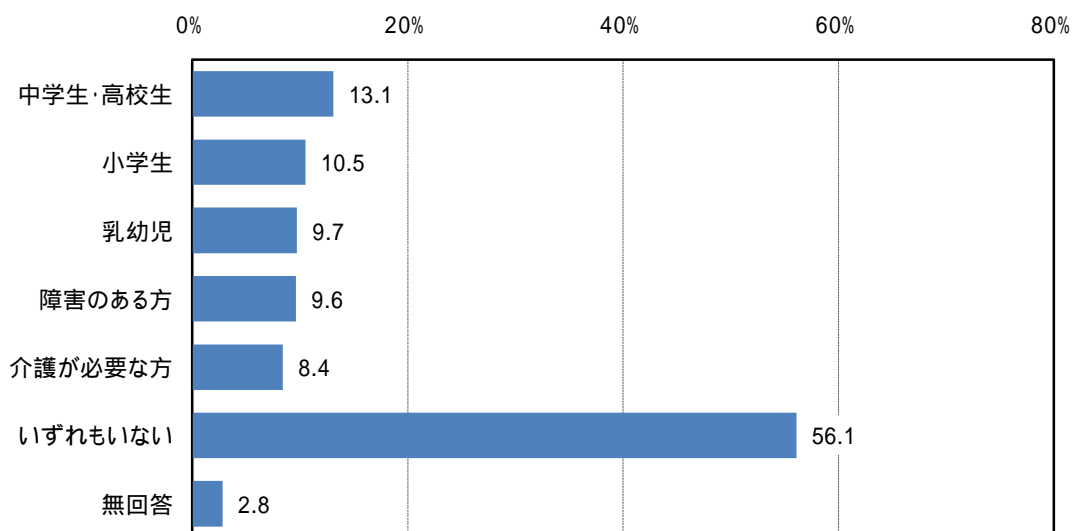
問 5 あなたの家族構成を次のうちから選んでください。



計: 846人

家族構成をたずねたところ、「親と子の世帯」と回答した人の割合が最も高く、46.6%となっています。次いで、「夫婦のみの世帯」(29.2%)、「親と子と孫の世帯」(11.7%)と続いています。

問 6 あなた自身もしくは現在一緒に住んでいるご家族の中に、次のような方はいますか。

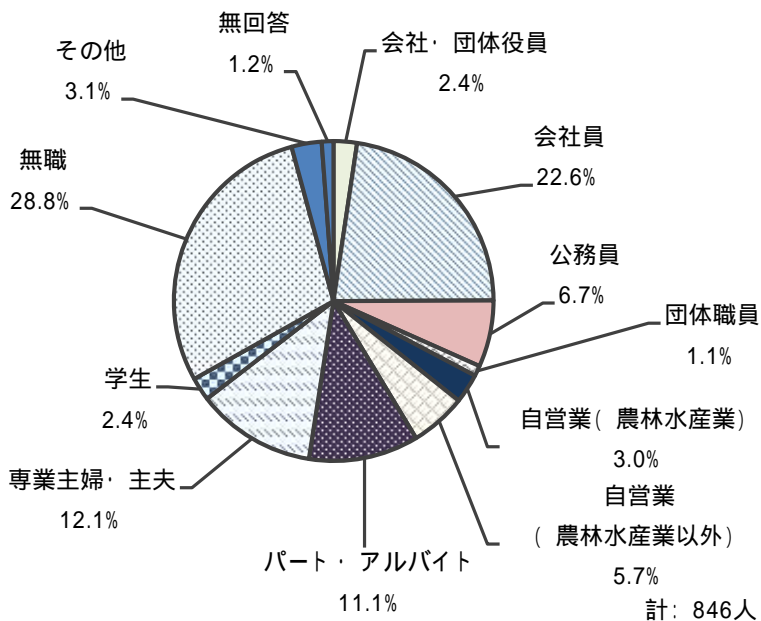


計: 846人

あなた自身もしくは現在一緒に住んでいるご家族の中に、次のような方はいますかとたずねたところ、「中学生・高校生」と回答した人が最も多く、13.1%となっています。次いで、「小学生」(10.5%)、「乳幼児」(9.7%)と続いています。

また、「障害のある方」と回答した人の割合は9.6%、「介護が必要な方」と回答した人の割合は8.4%となっています。「介護が必要な方」と回答した人の割合は前回調査結果では7.4%であり、高齢化の進展により増加傾向にあることが分かります。

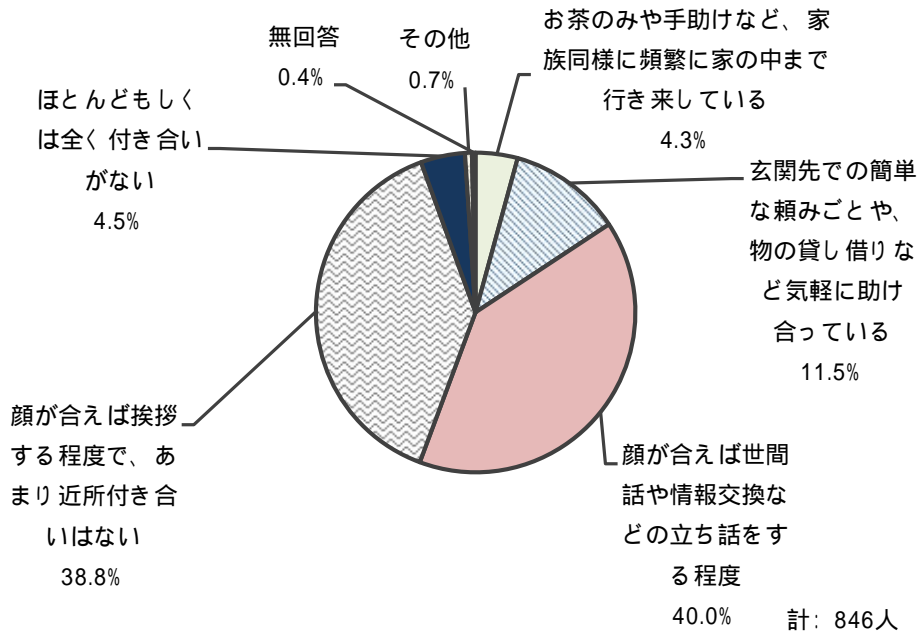
問 7 あなたの職業を次のうちから選んでください。



職業をたずねたところ、「会社員」と回答した人の割合が最も高く、22.6%となっています。次いで、「専業主婦・主夫」(12.1%)、「パート・アルバイト」(11.1%)と続いています。一方で、「無職」と回答した人の割合は28.8%、「専業主婦・主夫」と回答した人の割合は12.1%となっています。

～ ご近所付き合いについて ～

問 8 あなたは、ご近所の方とどのようなお付き合いをしていますか。



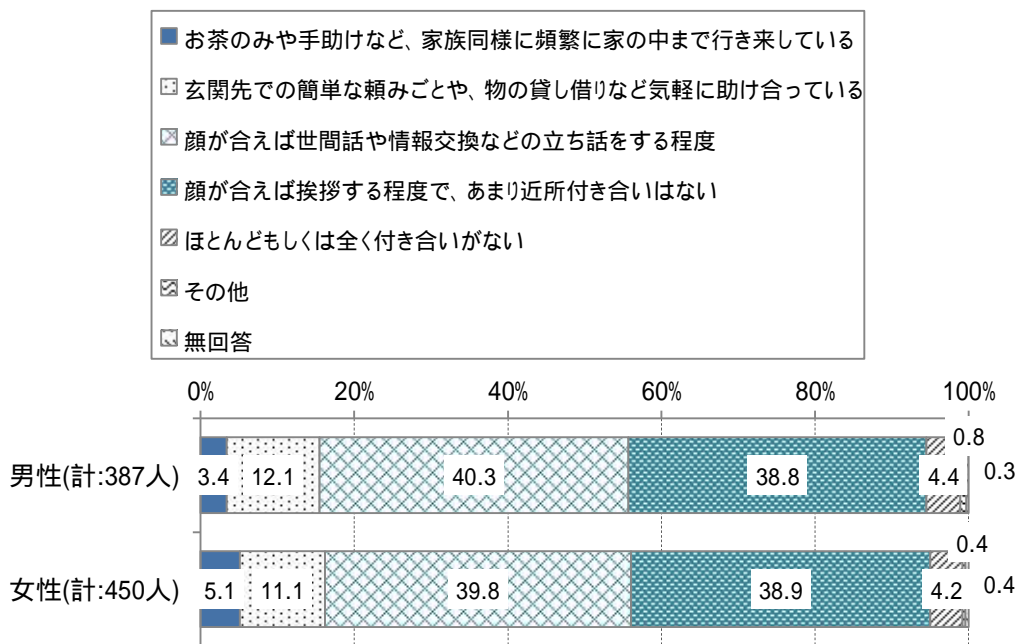
ご近所の方とどのようなお付き合いをしていますかとたずねたところ、「顔が合えば世間話や情報交換などの立ち話をする程度」と回答した人の割合が最も高く、40.0%となっています。次いで、「顔が合えば挨拶する程度で、あまり近所付き合いはない」(38.8%)、「玄関先での簡単な頼みごとや、物の貸し借りなど気軽に助け合っている」(11.5%)と続いています。

「ほとんどもしくは全く付き合いがない」、「顔が合えば挨拶する程度で、あまり近所付き合いはない」、「顔が合えば世間話や情報交換などの立ち話をする程度」の近所付き合いしかしていない市民の割合は83.3%であり、8割を超えています。前回調査結果では75.3%であったことから、親密な近所付き合いをしていない市民の割合は増加傾向にあることが分かります。

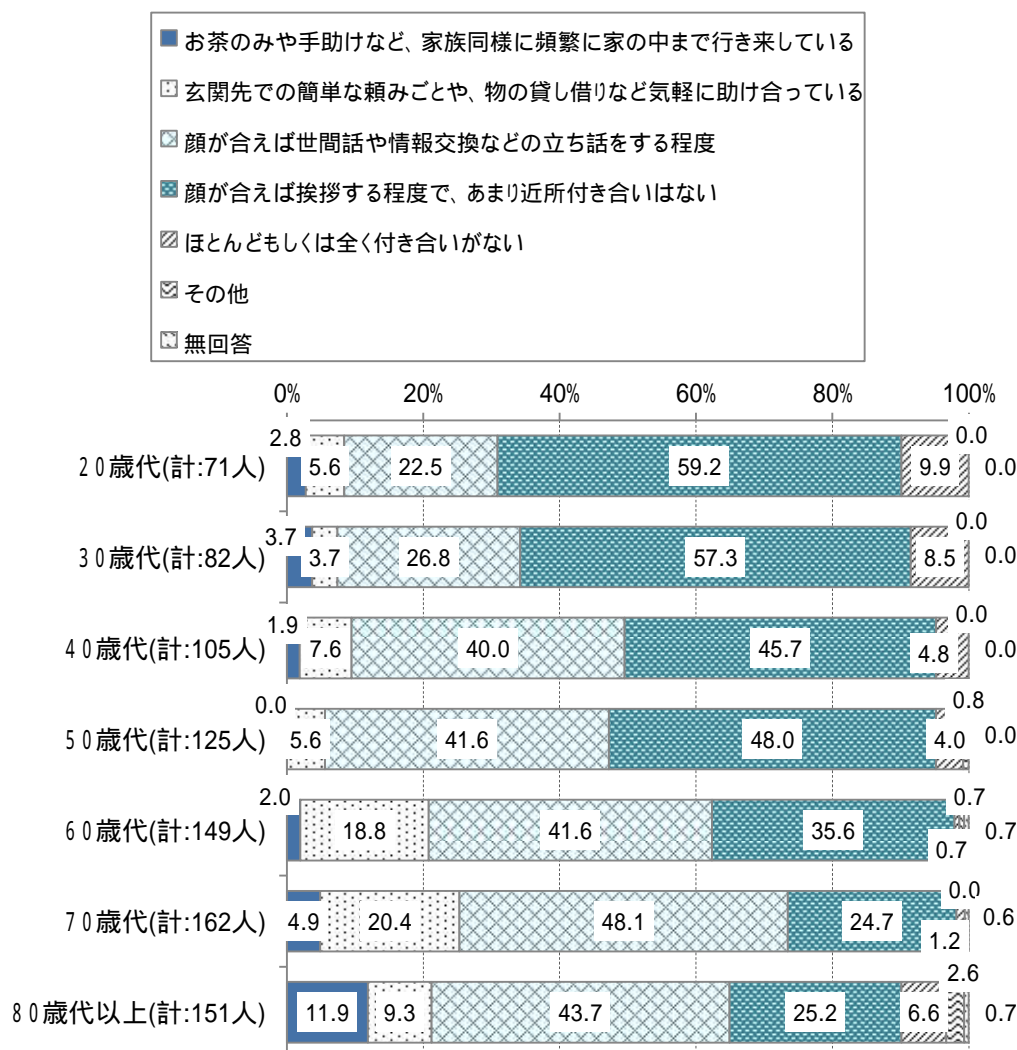
性別にみると、「お茶のみや手助けなど、家族同様に頻繁に家の中まで行き来している」または「玄関先での簡単な頼みごとや、物の貸し借りなど気軽に助け合っている」と回答した人の割合は男性が15.5%、女性が16.2%となっており、近所付き合いの親密さに大きな性差は見られません。

年齢別にみると、「お茶のみや手助けなど、家族同様に頻繁に家の中まで行き来している」または「玄関先での簡単な頼みごとや、物の貸し借りなど気軽に助け合っている」と回答した人の割合は、60歳代以降で高くなる傾向がみられます。また、80歳代以上では、「お茶のみや手助けなど、家族同様に頻繁に家の中まで行き来している」と回答した人の割合が11.9%となっており、他の年齢階層に比べて非常に親密な近所付き合いをしている人の割合が高くなっていることが分かります。

【性別クロス】

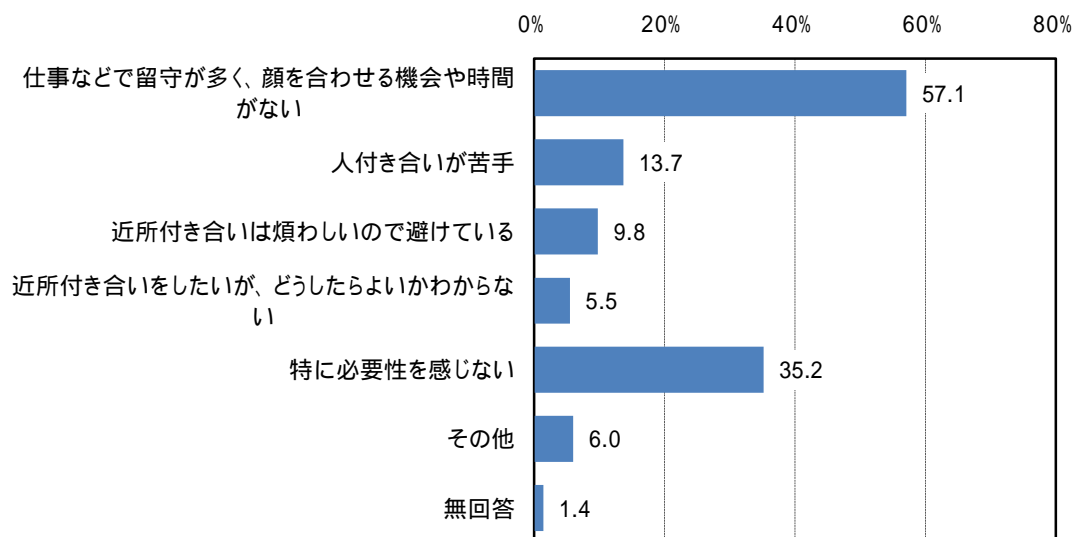


【年齢別クロス】



問 8 で「顔が合えば挨拶する程度で、あまり近所付き合いはない」または「ほとんどもしくは全く付き合いがない」と回答した方にお尋ねします。

問 8-1 ご近所付き合いがない理由は何ですか。

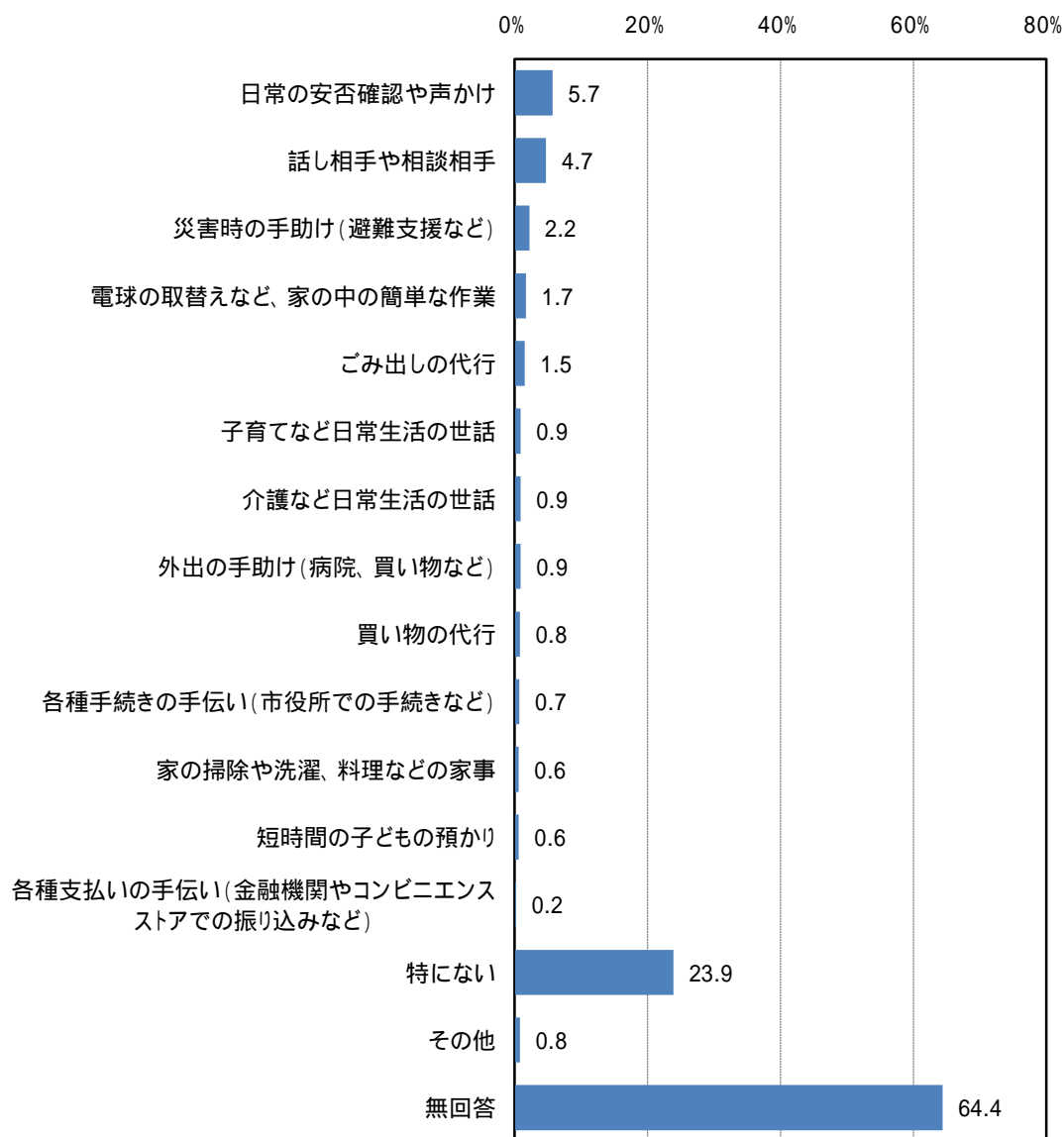


計：846人

問 8 で「顔が合えば挨拶する程度で、あまり近所付き合いはない」または「ほとんどもしくは全く付き合いがない」と回答した方に、ご近所付き合いがない理由は何ですかとたずねたところ、「仕事などで留守が多く、顔を合わせる機会や時間がない」と回答した人が最も多く、57.1%となっています。次いで、「特に必要性を感じない」(35.2%)、「人付き合いが苦手」(13.7%)と続いています。

問 9 ご近所の困っている方（「要援護者」を含む）に対し、あなたが「現在、手助けしていること」、「求めがあったら手助けできること」は何ですか。また、あなたが、ご近所の方から「手助けしてほしいこと」は何ですか。

現在、手助けしていること

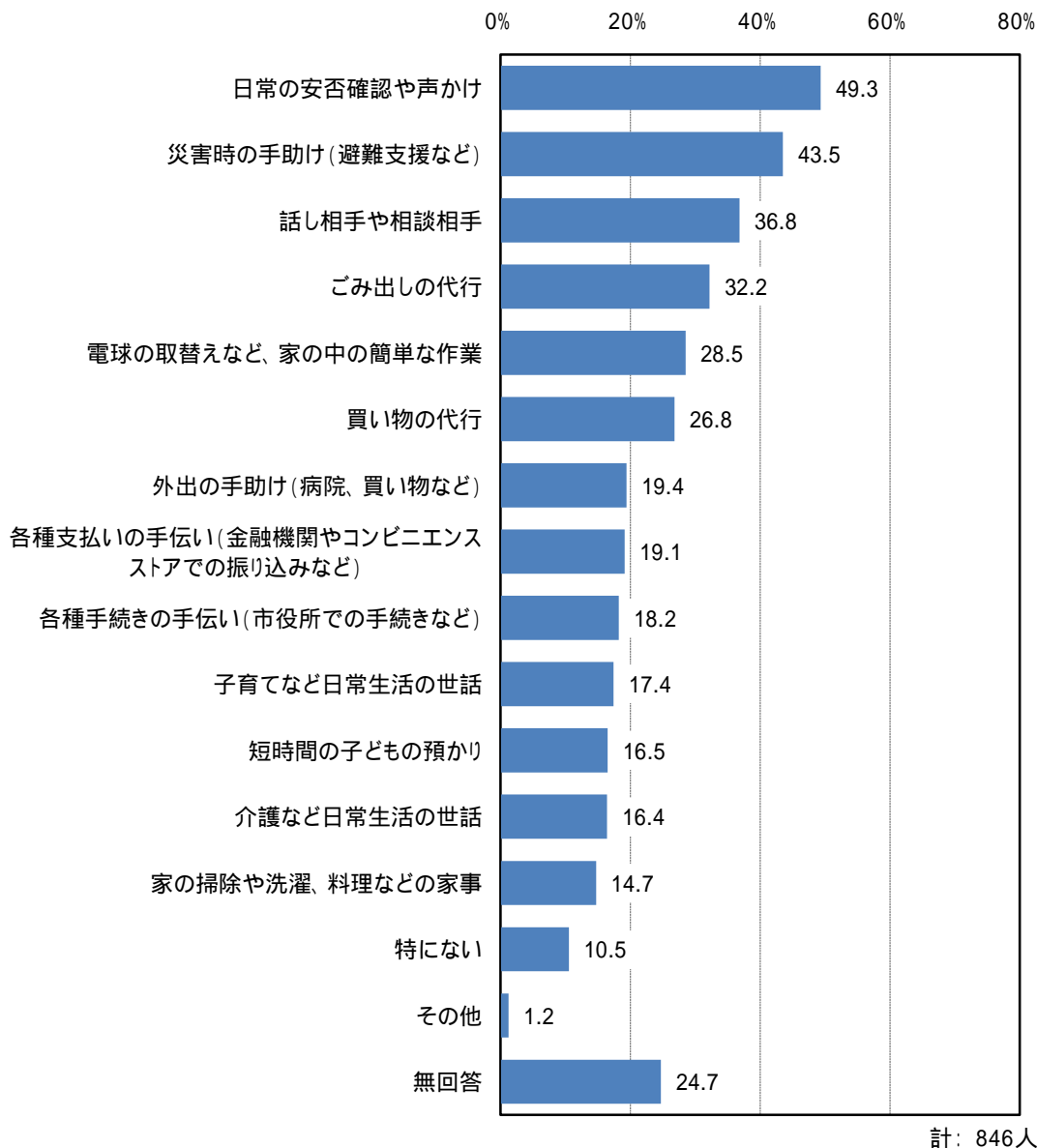


計: 846人

ご近所の困っている方（「要援護者」を含む）に対し、あなたが「現在、手助けしていること」は何ですかとたずねたところ、「日常の安否確認や声かけ」と回答した人が最も多く、5.7%となっています。次いで、「話し相手や相談相手」(4.7%)、「災害時の手助け(避難支援など)」(2.2%)と続いています。

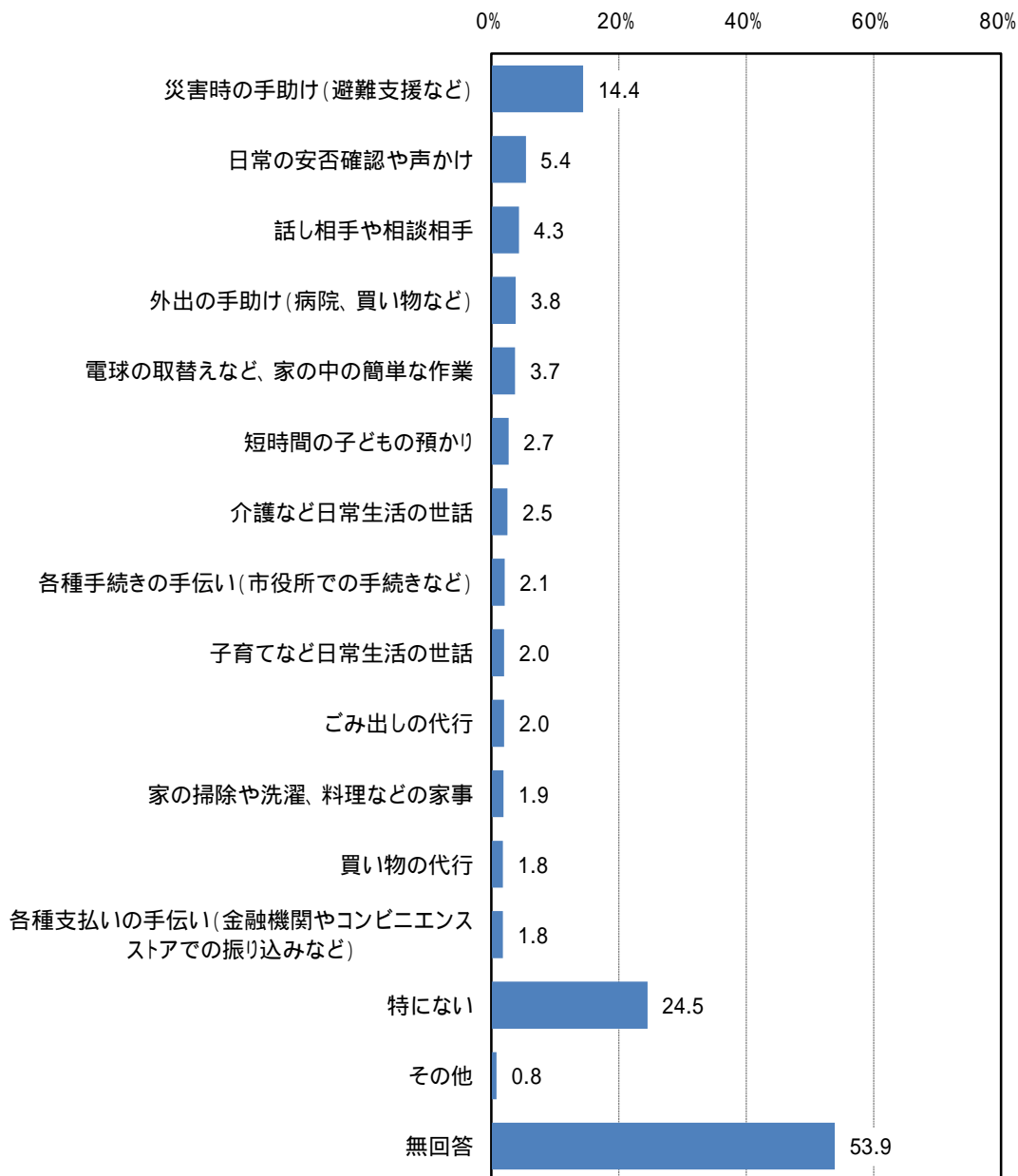
一方で、「特にない」との回答も 23.9%あります。

求めがあったら手助けできること



ご近所の困っている方(「要援護者」を含む)に対し、あなたが「求めがあったら手助けできること」は何ですかとたずねたところ、「日常の安否確認や声かけ」と回答した人が最も多く、49.3%となっています。次いで、「災害時の手助け(避難支援など)」(43.5%)、「話し相手や相談相手」(36.8%)と続いています。

手助けしてほしいこと

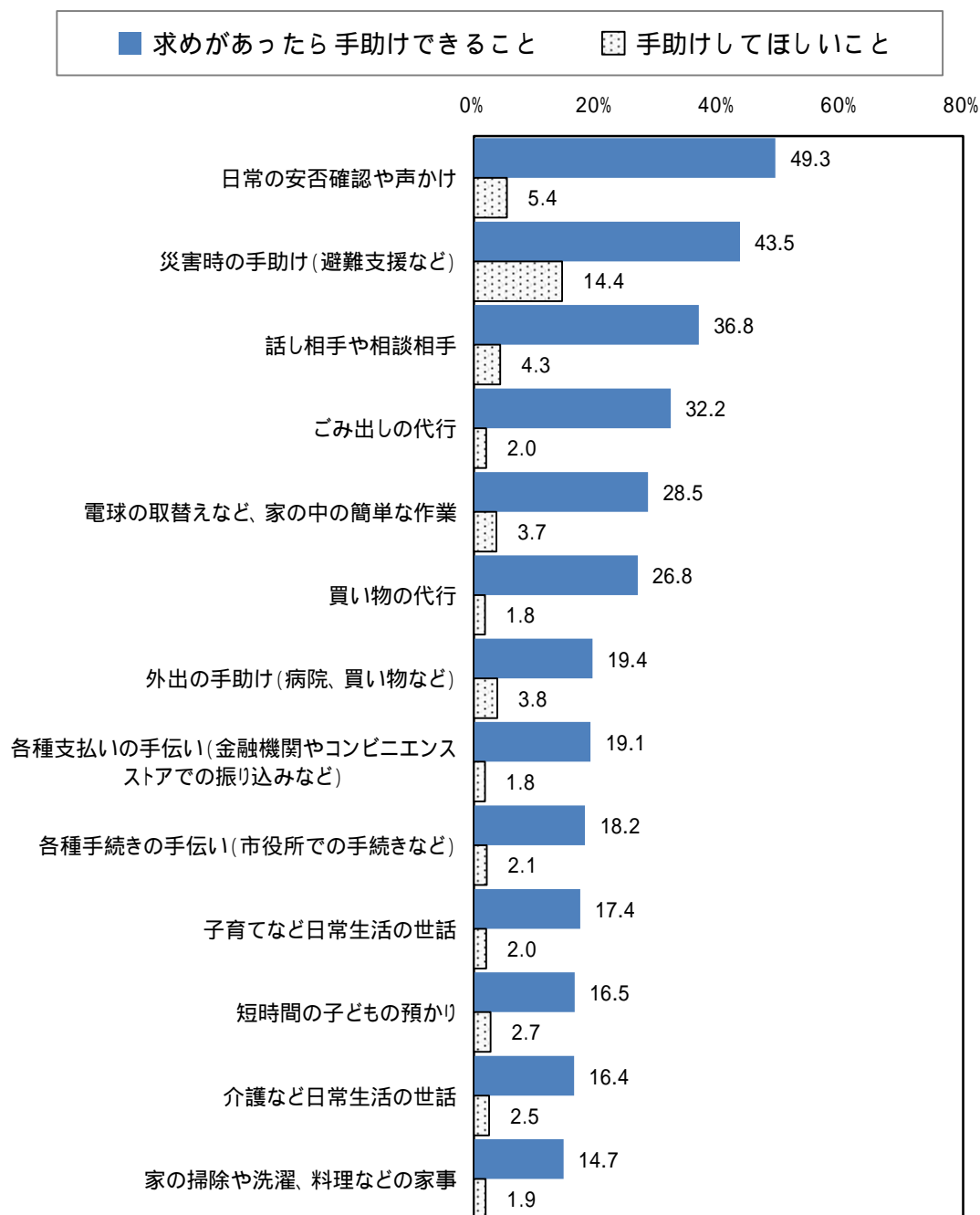


計: 846人

ご近所の困っている方(「要援護者」を含む)に対し、あなたが、ご近所の方から「手助けしてほしいこと」は何ですかとたずねたところ、「災害時の手助け(避難支援など)」と回答した人が最も多く、14.4%となっています。次いで、「日常の安否確認や声かけ」(5.4%)、「話し相手や相談相手」(4.3%)と続いています。

一方で、「特にない」との回答も24.5%あります。

【地域でどんな手助けをしてほしいか／できるか】

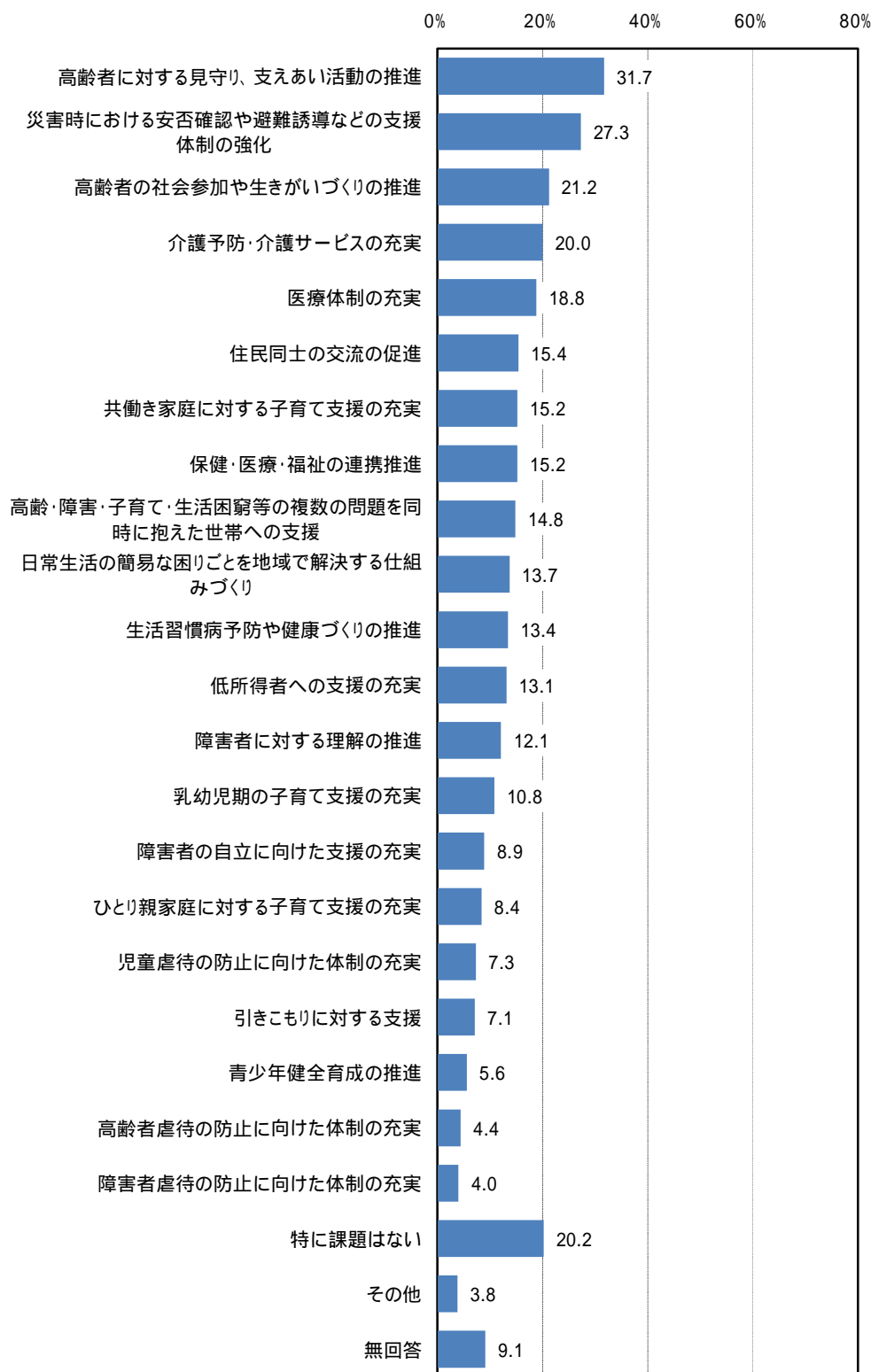


計：846人

手助けして欲しいことに比べて手助けできることの方が総じて多くなっている調査結果は、地域にある生活課題の多くが市民による互助である程度解決できる可能性を示唆しています。一方、実際に手助けを行ったとの回答割合は比較的高くなく、市民の「手助けしたい」という気持ちが必ずしも行動につながっている訳ではないことが分かります。

～ お住まいの地域の課題について ～

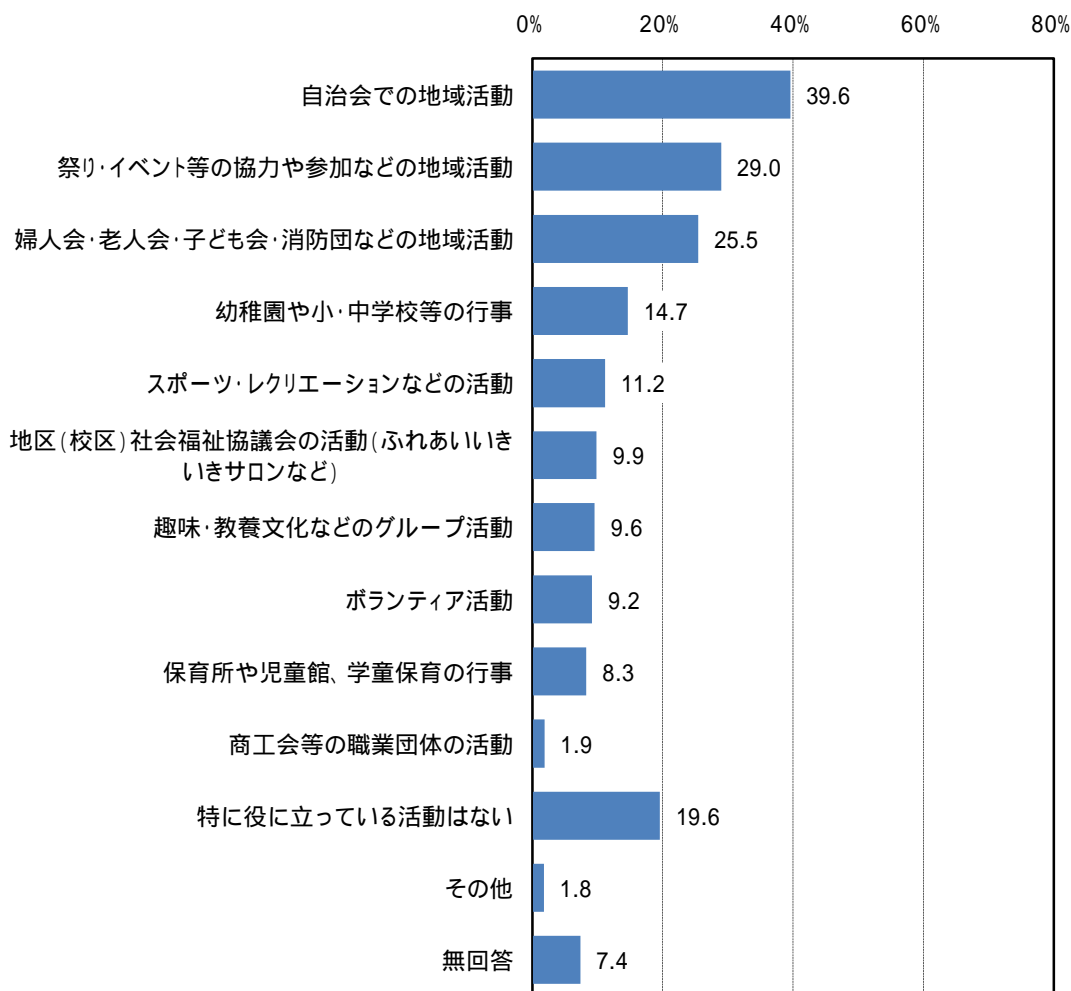
問 10 あなたがお住まいの地域には、どのような課題があると思いますか。



計: 846人

あなたがお住まいの地域には、どのような課題があると思いますとたずねたところ、「高齢者に対する見守り、支えあい活動の推進」と回答した人が最も多く、31.7%となっています。次いで、「災害時における安否確認や避難誘導などの支援体制の強化」(27.3%)、「高齢者の社会参加や生きがいづくりの推進」(21.2%)と続いています。

問 11 あなたは、地域の住民とのふれあいに役に立っている行事や活動は何だと思いますか。

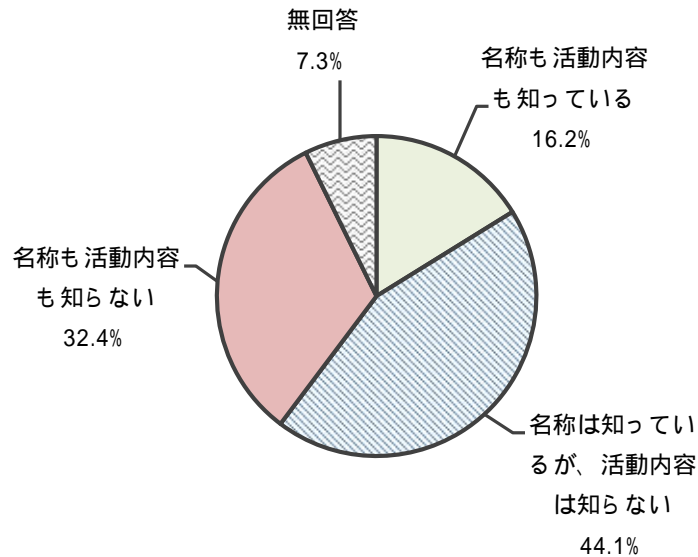


計: 846人

地域の住民とのふれあいに役に立っている行事や活動は何だと思いかとたずねたところ、「自治会での地域活動」と回答した人が最も多く、39.6%となっています。次いで、「祭り・イベント等の協力や参加などの地域活動」(29.0%)、「婦人会・老人会・子ども会・消防団などの地域活動」(25.5%)と続いています。

～ 地区（校区）社会福祉協議会について ～

問 12 諫早市には、地域住民が主体となり地域福祉活動を実施する20の「地区（校区）社会福祉協議会」があります。あなたは、お住まいの地域の地区（校区）社会福祉協議会をご存じですか。

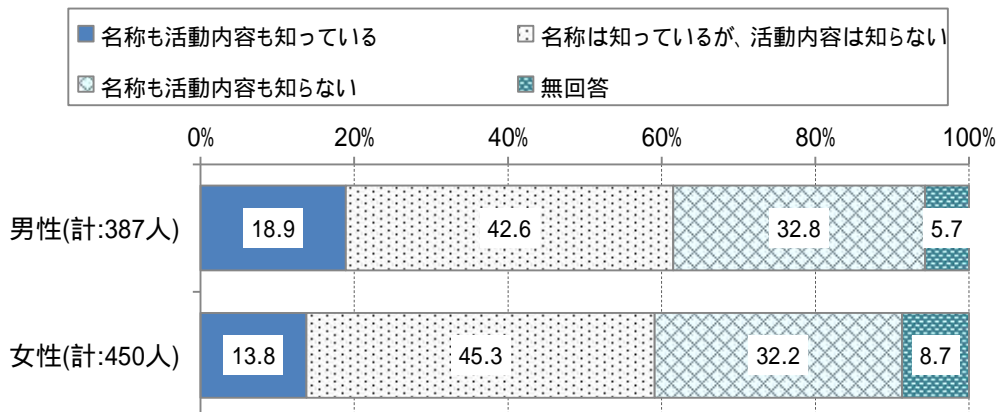


計：846人

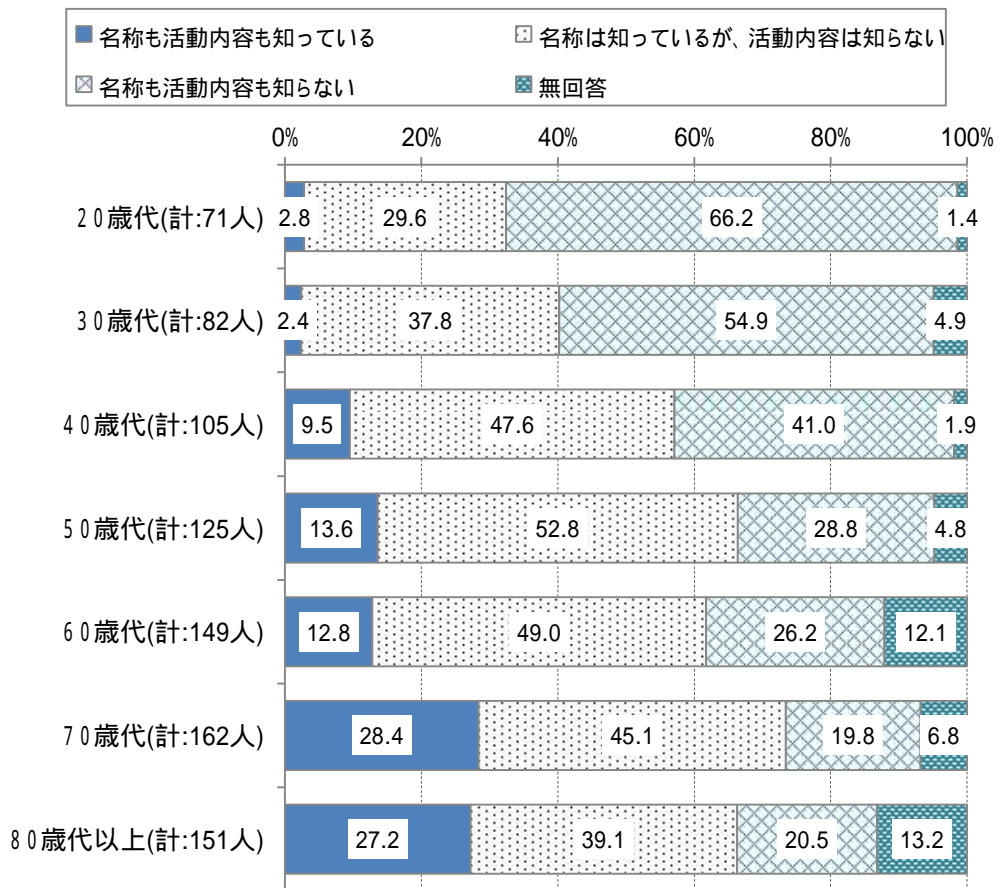
お住まいの地域の地区（校区）社会福祉協議会をご存じですかとたずねたところ、「名称も活動内容も知っている」と回答した人の割合は16.2%となっています。一方、「名称は知っているが、活動内容は知らない」または「名称も活動内容も知らない」と回答した人の割合は76.5%となっています。「名称も活動内容も知っている」と回答した人の割合は、前回調査結果では20.1%であったことを踏まえれば、地区（校区）社会福祉協議会の認知度は低下していることが分かります。

性別にみると地区（校区）社会福祉協議会の認知度に大きな差異は見られません。一方、年齢階層別にみると、「名称も活動内容も知っている」と回答した人の割合は年齢階層が高くなるに従って高くなる傾向にあり、70歳代では28.4%が地区（校区）社会福祉協議会を認知し、かつ活動内容を知っていることが分かります。

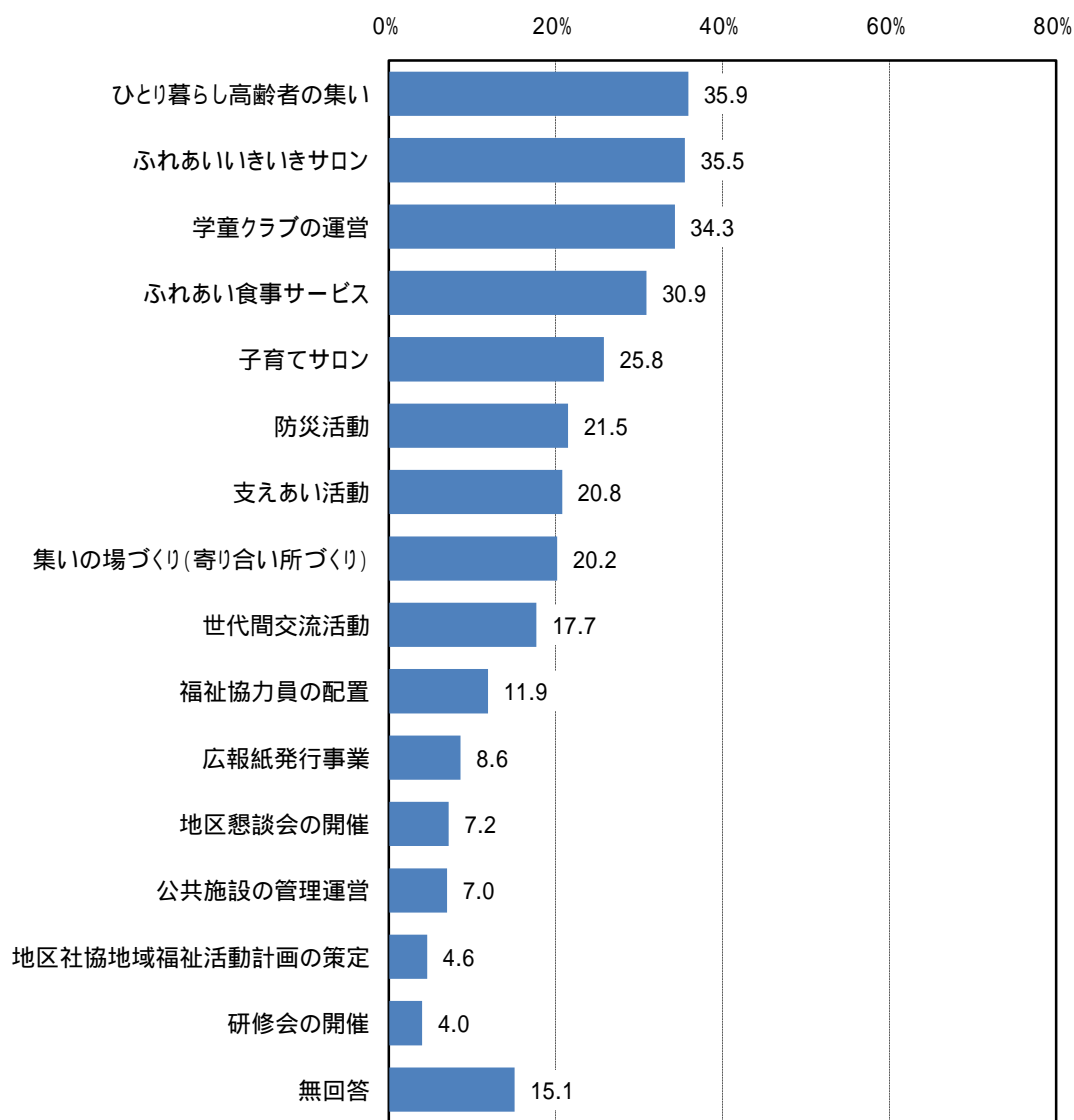
【性別クロス】



【年齢別クロス】



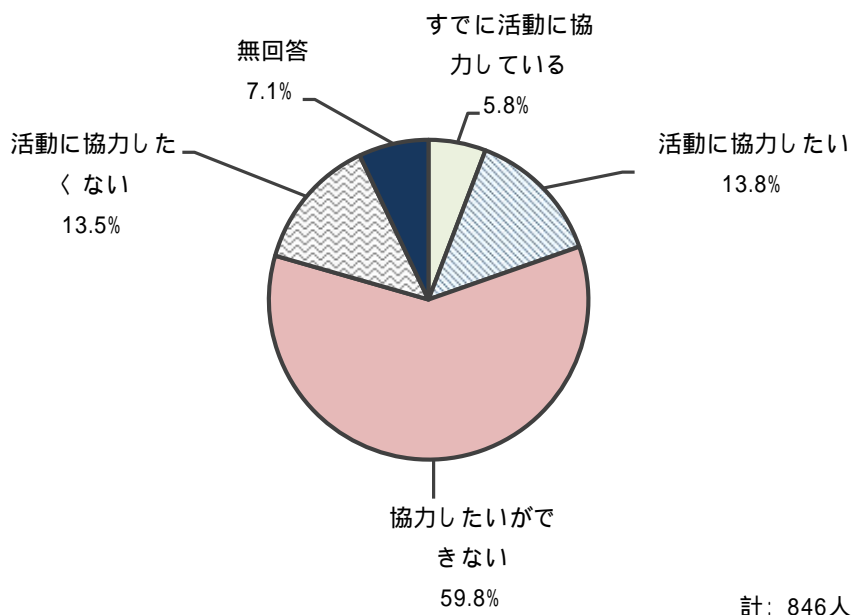
問 13 地区（校区）社会福祉協議会には、次のような地域福祉活動があります。あなたが特に必要と思う活動は何ですか。



計：846人

地区（校区）社会福祉協議会には、次のような地域福祉活動があります。あなたが特に必要と思う活動は何ですかとたずねたところ、「ひとり暮らし高齢者の集い」と回答した人が最も多く、35.9%となっています。次いで、「ふれあいいいききサロン」(35.5%)、「学童クラブの運営」(34.3%)と続いています。

問 14 地区（校区）社会福祉協議会では、問 1 3 の表に記載している活動を実施していますが、あなたは活動に協力してみたいですか。



地区（校区）社会福祉協議会で実施している活動に協力してみたいですかとたずねたところ、「すでに活動に協力している」または「活動に協力したい」と回答した人の割合は 19.6%となっています。一方、「協力したいができない」または「活動に協力したくない」と回答した人の割合は 73.3%となっています。

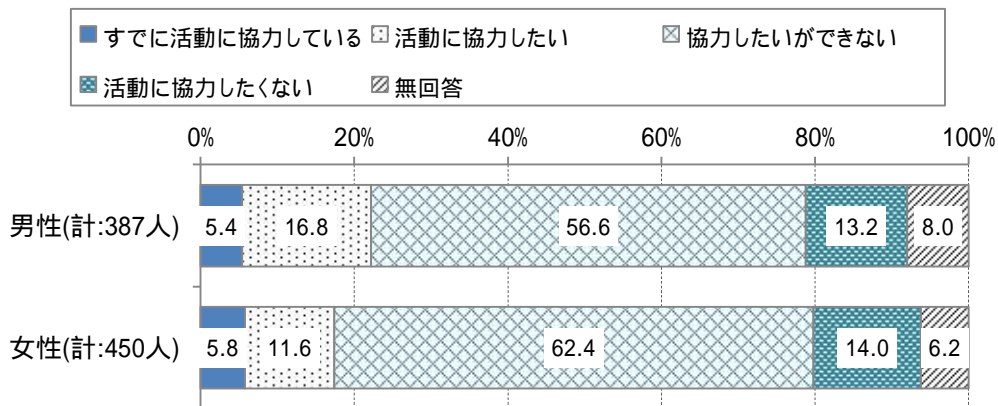
「すでに活動に協力している」または「活動に協力したい」と回答した人の割合は、前回調査結果では 23.1%であった（今回調査結果は 19.6%）ことを踏まえれば、地区（校区）社会福祉協議会で実施している活動に協力する意向のある人の割合は減少していることが分かります。

なお、調査時点はコロナ禍であることから、協力する意向はあるものの感染のリスク等の心配から協力できないと考える対象者も想定されます。それらの方は、選択肢の「協力したいができない」を選択されたと考えられますが、「協力したいができない」を選択された人の割合は前回調査結果(59.1%)と比べて僅かな増加があったものの 0.7 ポイント増の 59.8%でした。

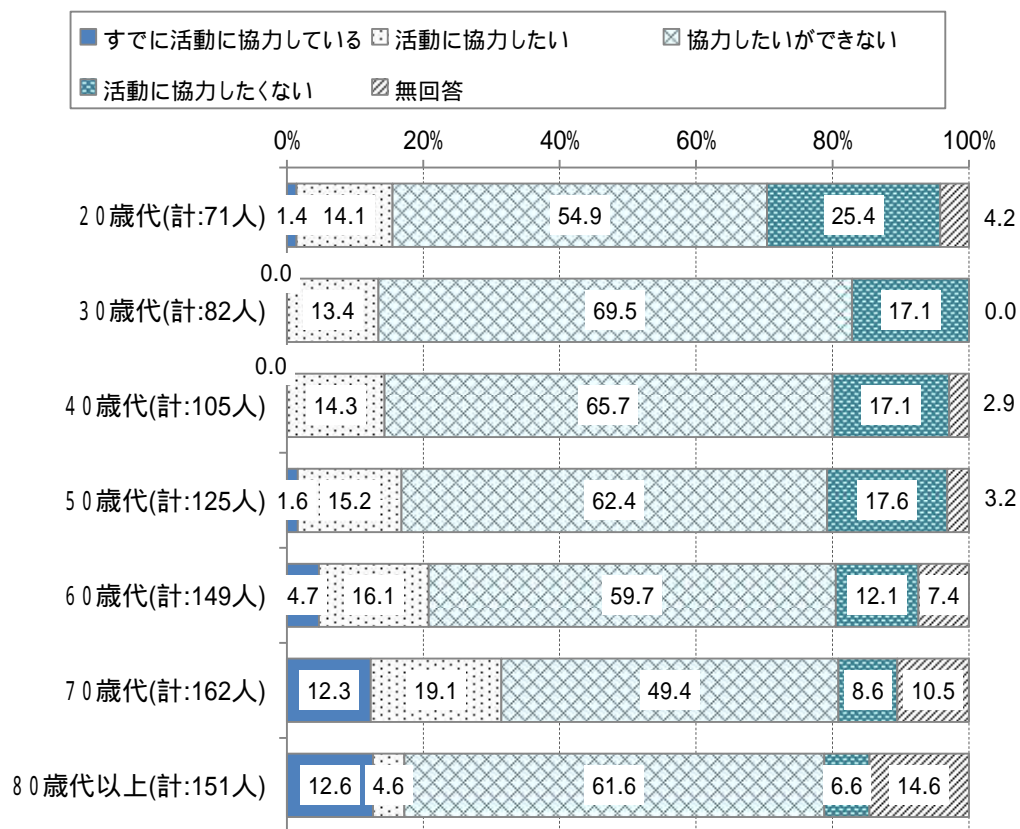
性別にみると、「すでに活動に協力している」と回答した人の割合は男女に大きな差異はみられないものの、「活動に協力したい」という意向のある人の割合は男性が 16.8%に対して女性が 11.6%となっており、女性よりも男性の方が、地区（校区）社会福祉協議会に協力する意向のある人の割合が若干高いことが分かります。

年齢別にみると、「すでに活動に協力している」または「活動に協力したい」と回答した人の割合は、70 歳代までは年齢階層が高くなるに従って概ね高くなる傾向にあります。

【性別クロス】

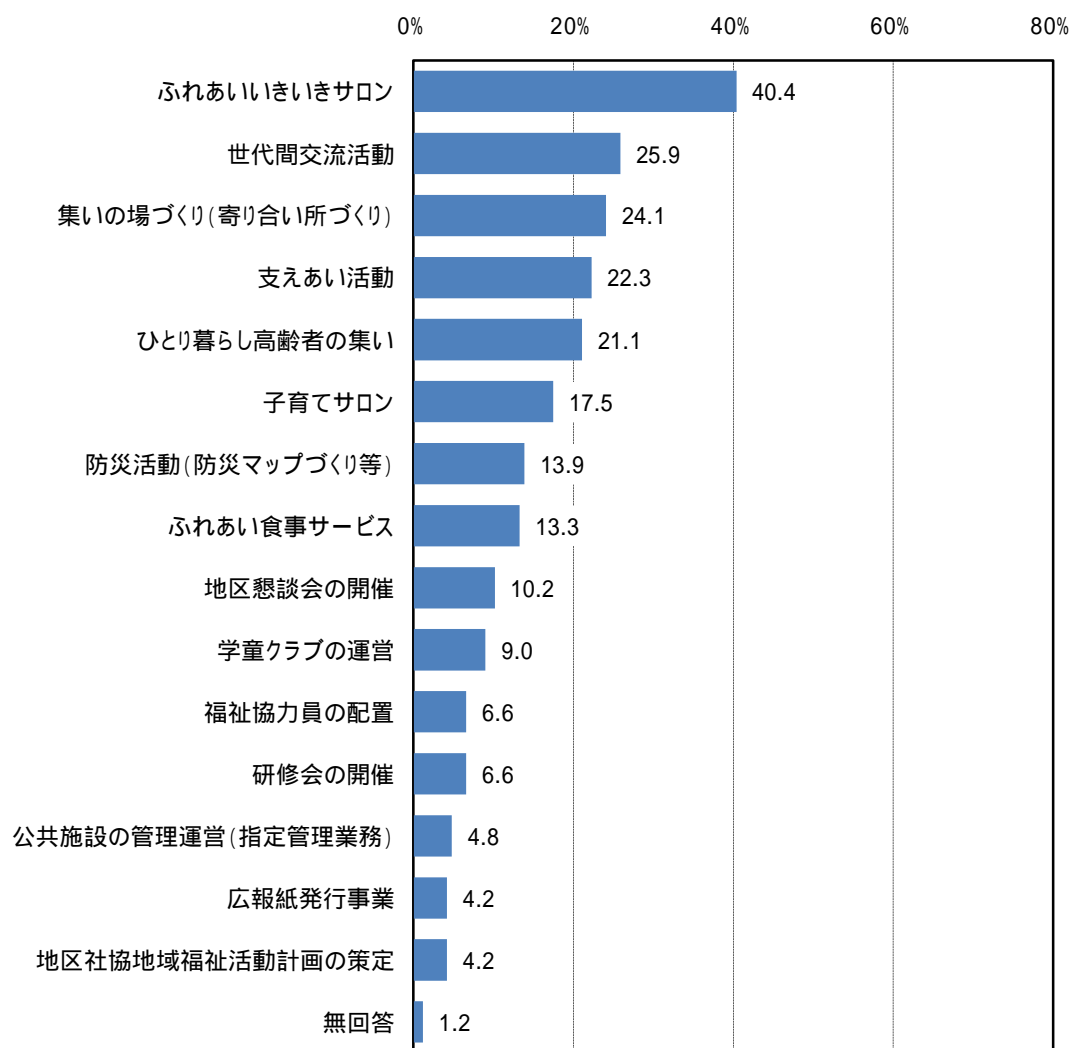


【年齢別クロス】



問 14で「すでに活動に協力している」、「活動に協力したい」と回答された方にお尋ねします。

問 14-1 次のうちどの活動に協力していますか(協力したいですか)。

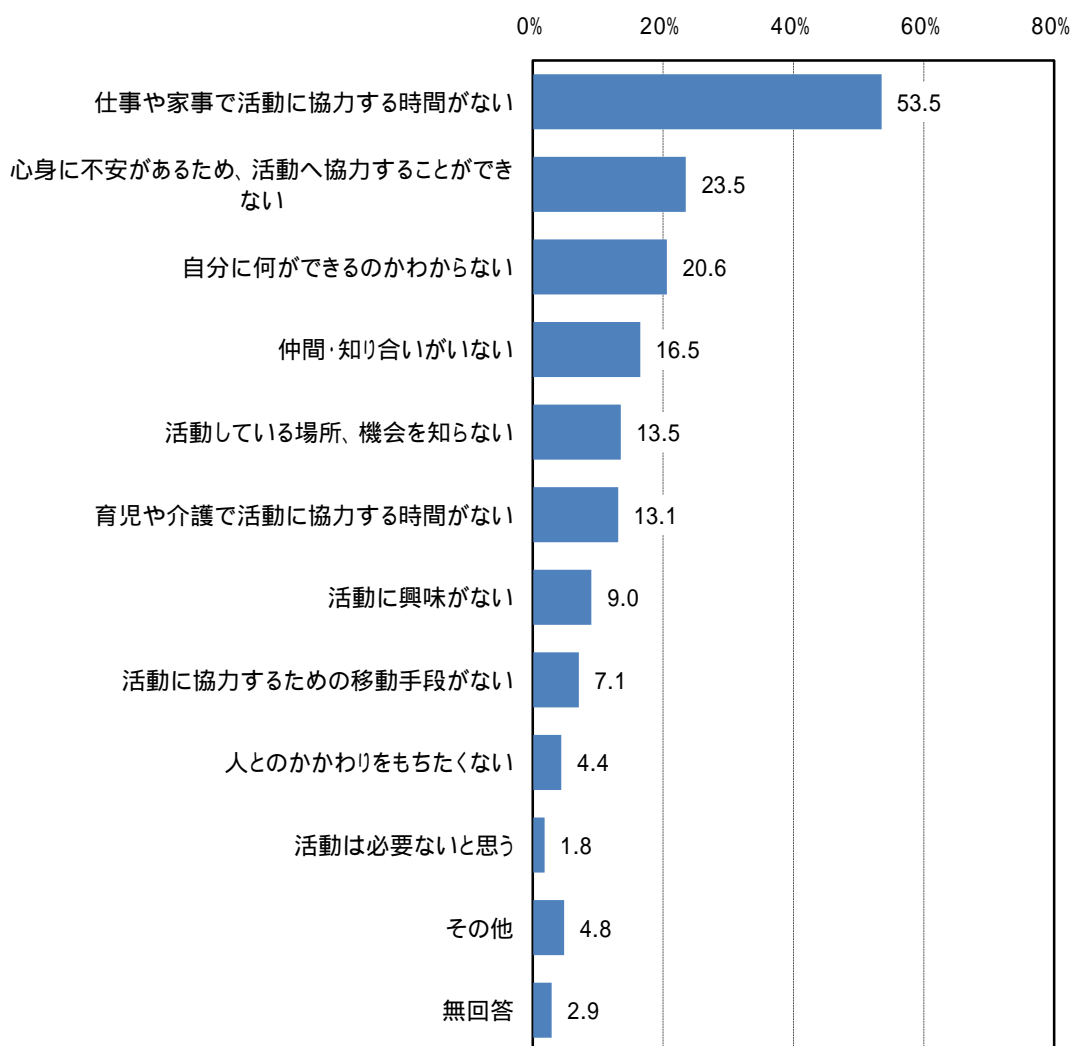


計: 166人

問 14で「すでに活動に協力している」、「活動に協力したい」と回答された方にどの活動に協力していますか(協力したいですか)とたずねたところ、「ふれあいいきいきサロン」と回答した人が最も多く、40.4%となっています。次いで、「世代間交流活動」(25.9%)、「集いの場づくり(寄り合い所づくり)」(24.1%)と続いています。

問 14で「協力したいができない」、「活動に協力したくない」と回答された方にお尋ねします。

問 14-2 その理由は何ですか。

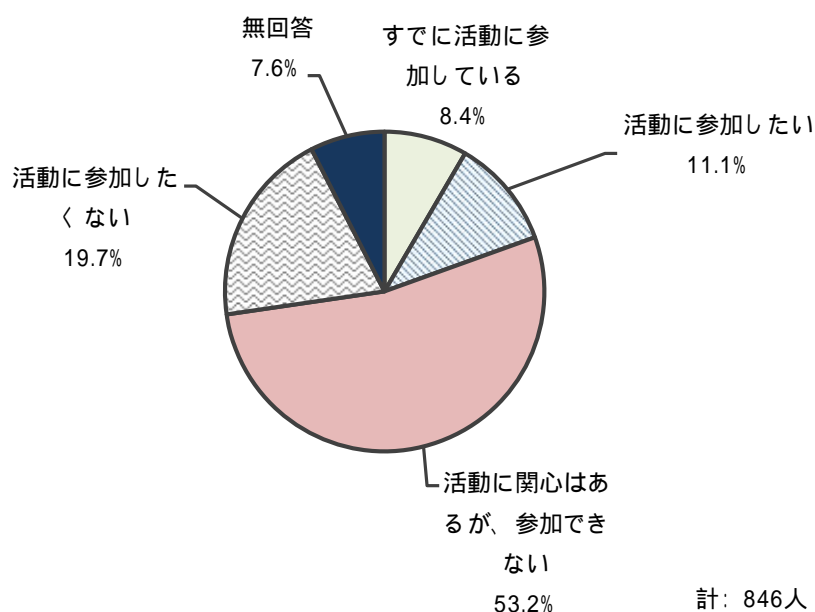


計：620人

問 14で「協力したいができない」、「活動に協力したくない」と回答された方にその理由は何ですかとたずねたところ、「仕事や家事で活動に協力する時間がない」と回答した人が最も多く、53.5%となっています。次いで、「心身に不安があるため、活動へ協力することができない」(23.5%)、「自分に何ができるのかわからない」(20.6%)と続いています。

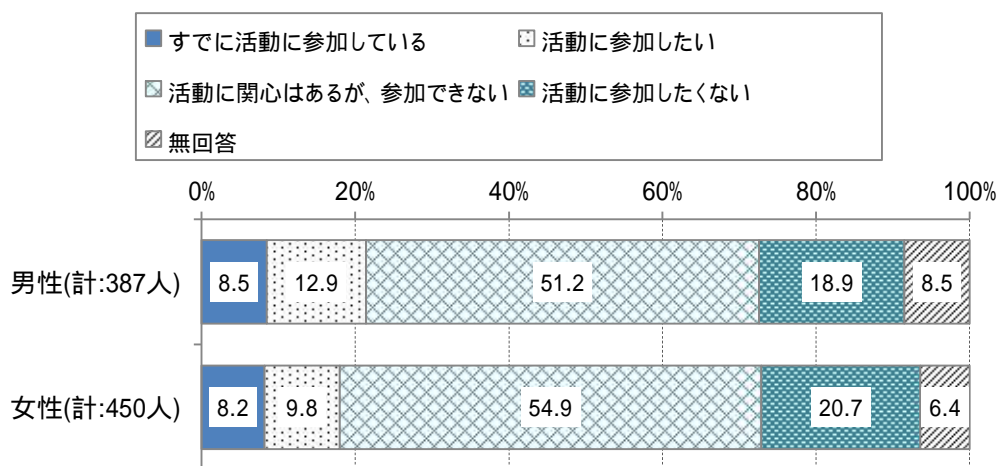
～ ボランティア活動について ～

問 15 あなたは、ボランティア活動に参加してみたいですか。

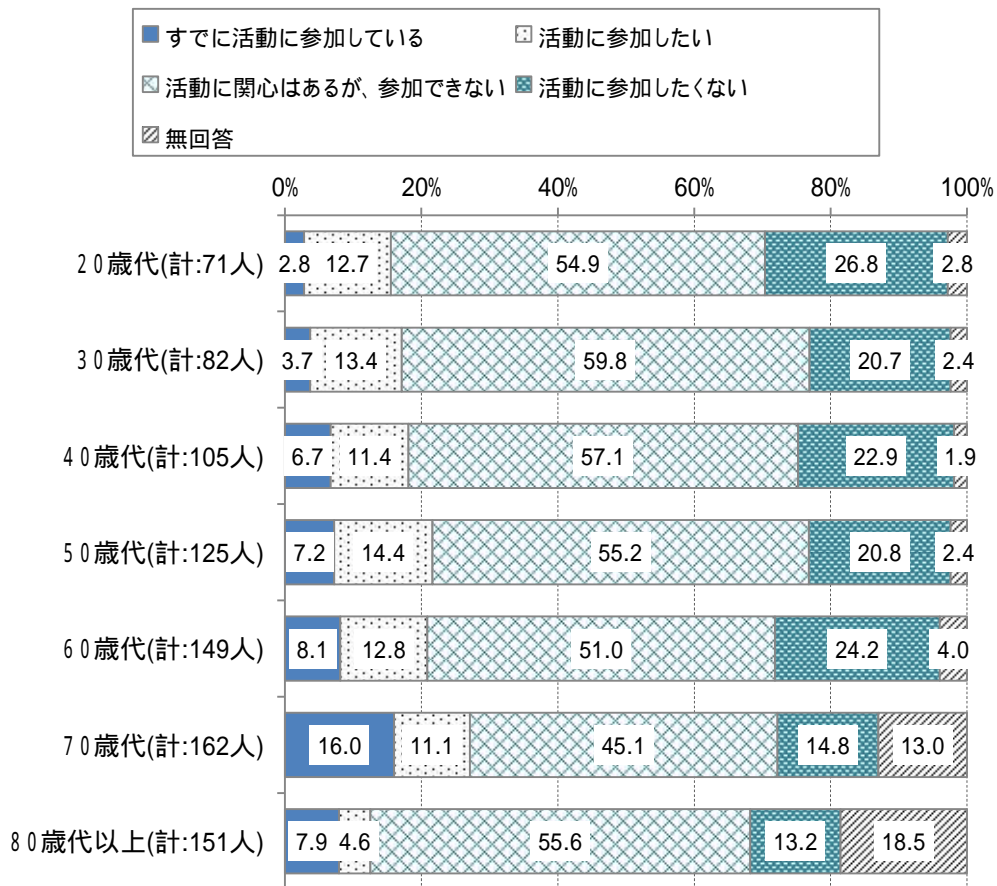


ボランティア活動に参加してみたいですかとたずねたところ、「すでに活動に参加している」または「活動に参加したい」と回答した人の割合は 19.5%となっています。一方、「活動に関心はあるが、参加できない」または「活動に参加したくない」と回答した人の割合は 72.9%となっています。性別にみると、「すでに活動に参加している」、「活動に参加したい」との回答のいずれも、女性よりも男性の方が、回答割合が高くなっています。年齢階層別にみると、「すでに活動に参加している」との回答割合が高かったのは、70歳代(16.0%)でした。

【性別クロス】

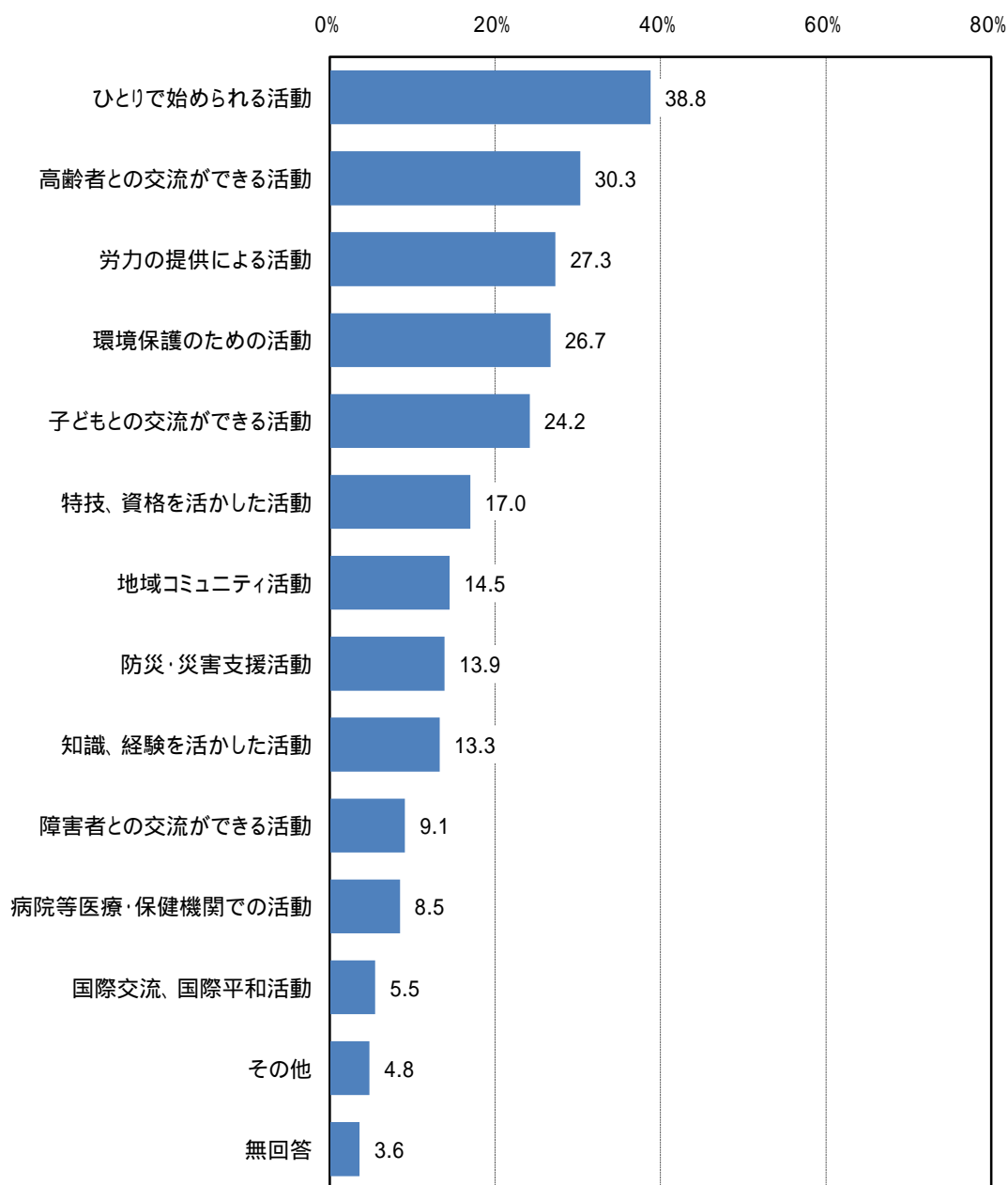


【年齢別クロス】



問 15 で「すでに活動に参加している」、「活動に参加したい」と回答した方にお尋ねします。

問 15-1 あなたは、どのようなボランティア活動に参加していますか（参加したいですか）。

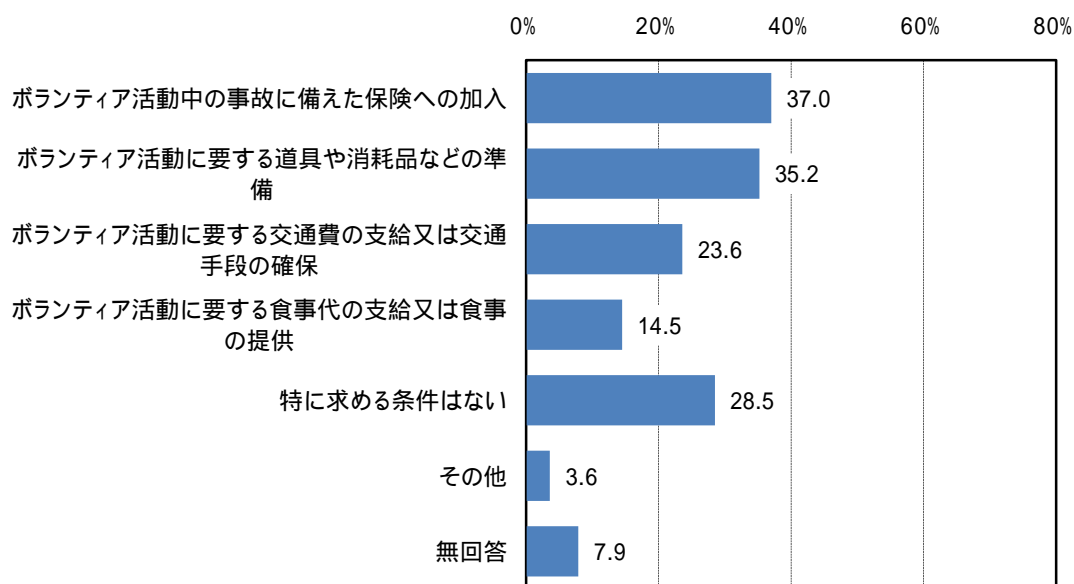


計：165人

問 15 で「すでに活動に参加している」、「活動に参加したい」と回答した方にどのようなボランティア活動に参加していますか（参加したいですか）とたずねたところ、「ひとりではじめられる活動」と回答した人が最も多く、38.8%となっています。次いで、「高齢者との交流ができる活動」(30.3%)、「労力の提供による活動」(27.3%)と続いています。

問 15 で「すでに活動に参加している」、「活動に参加したい」と回答した方にお尋ねします。

問 15-2 あなたがボランティア活動に参加するにあたり活動先などに求める条件は何ですか。

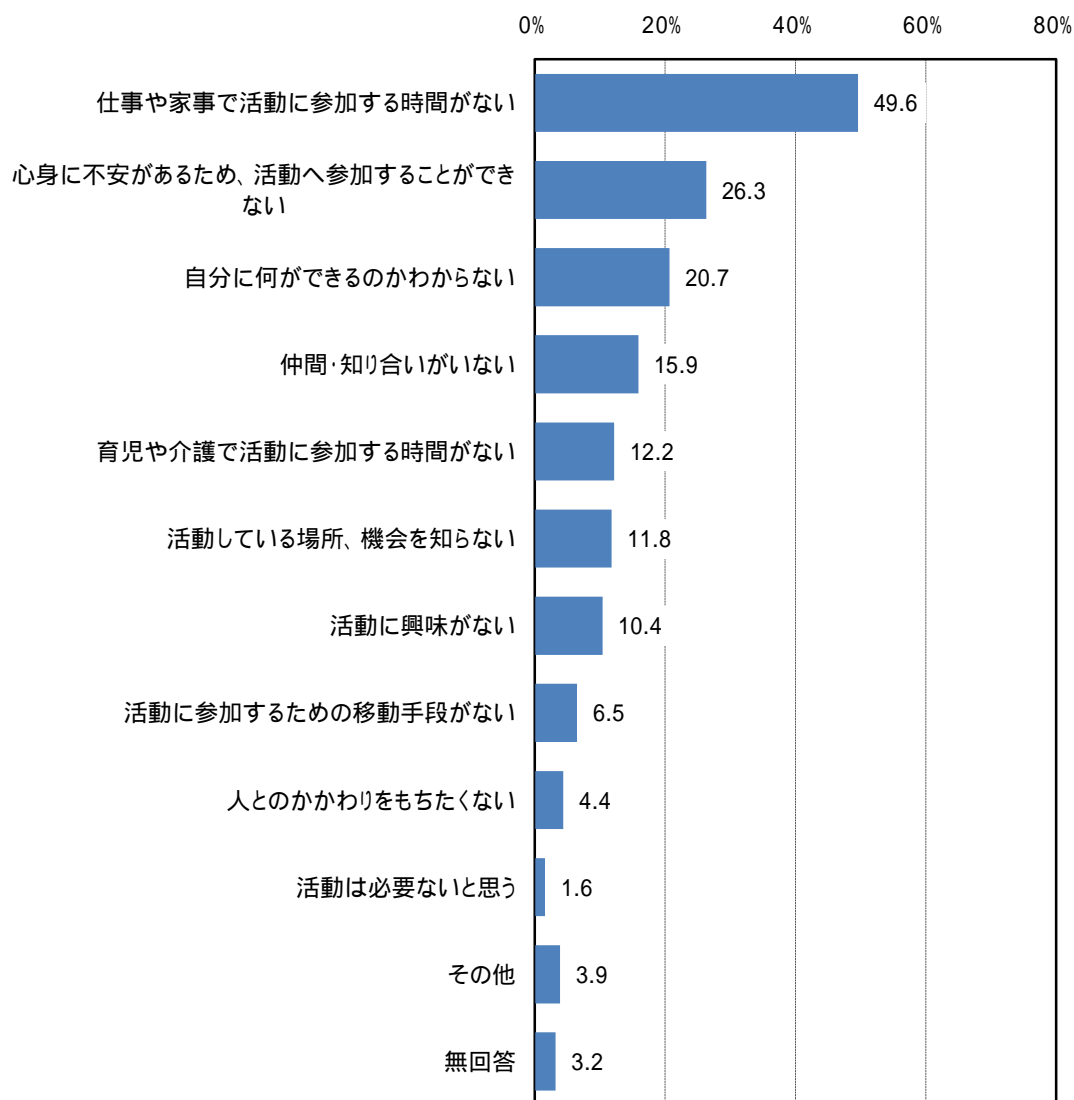


計: 165人

問 15 で「すでに活動に参加している」、「活動に参加したい」と回答した方にボランティア活動に参加するにあたり活動先などに求める条件は何ですかとたずねたところ、「ボランティア活動中の事故に備えた保険への加入」と回答した人が最も多く、37.0%となっています。次いで、「ボランティア活動に要する道具や消耗品などの準備」(35.2%)、「ボランティア活動に要する交通費の支給又は交通手段の確保」(23.6%)と続いています。

問 15 で「活動に関心はあるが、参加できない」、「活動に参加したくない」と回答した方にお尋ねします。

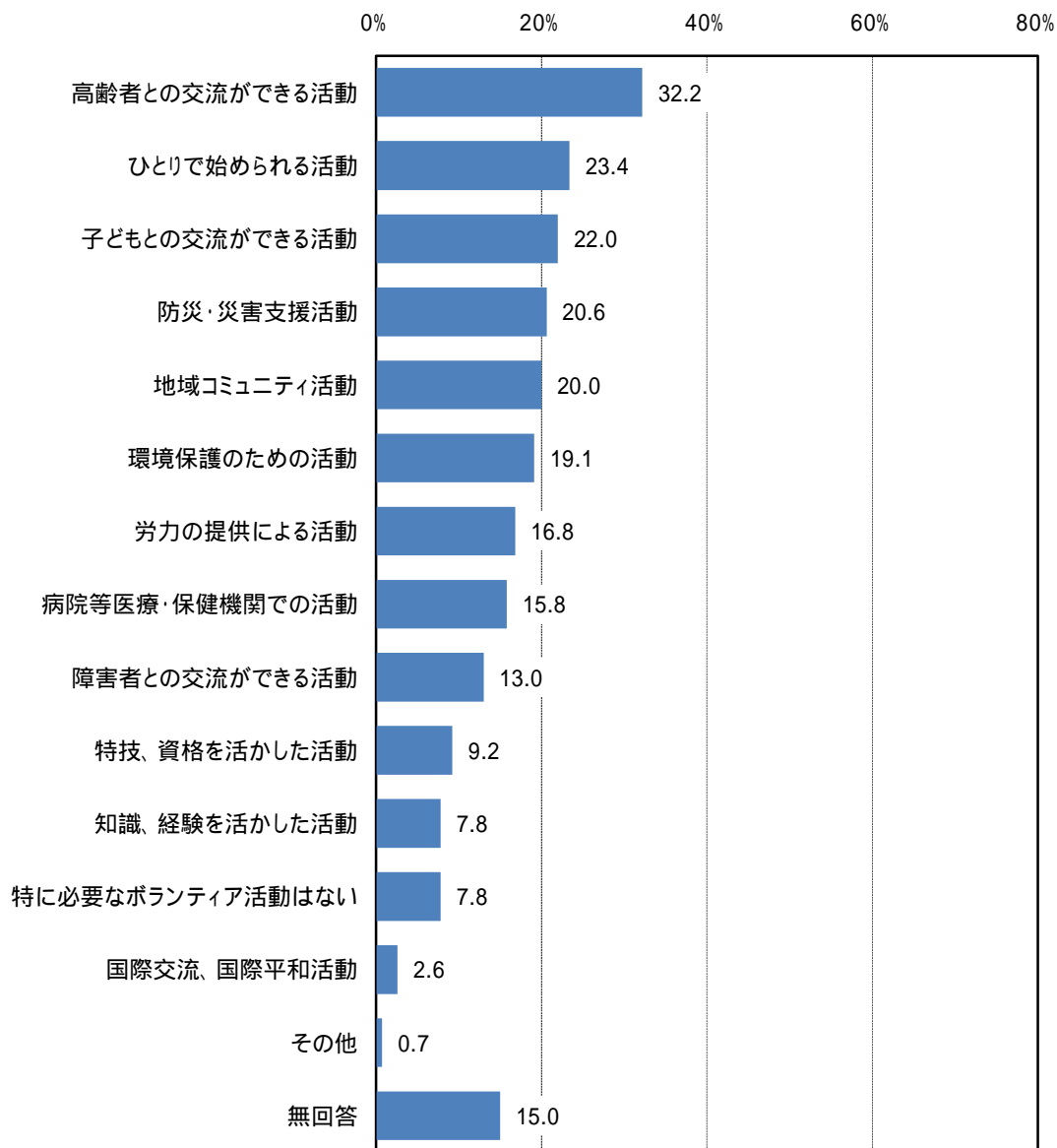
問 15-3 ボランティア活動に参加できない(したくない)理由は何ですか。



計: 617人

問 15 で「活動に関心はあるが、参加できない」、「活動に参加したくない」と回答した方にボランティア活動に参加できない(したくない)理由は何ですかとたずねたところ、「仕事や家事で活動に参加する時間がない」と回答した人が最も多く、49.6%となっています。次いで、「心身に不安があるため、活動へ参加することができない」(26.3%)、「自分に何ができるのかわからない」(20.7%)と続いています。

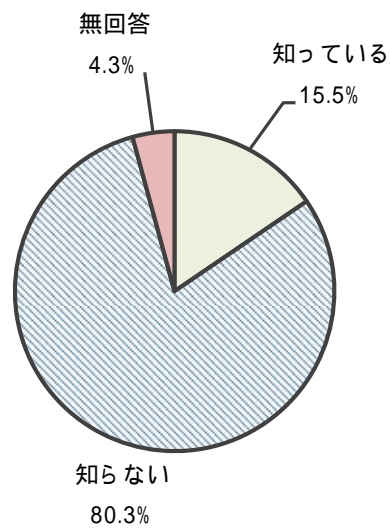
問 16 あなたは、今、どのようなボランティア活動が必要だと思いますか。(は5つ以内)



計: 846人

今、どのようなボランティア活動が必要だと思いますかとたずねたところ、「高齢者との交流ができる活動」と回答した人が最も多く、32.2%となっています。次いで、「ひとりで始められる活動」(23.4%)、「子どもとの交流ができる活動」(22.0%)と続いています。

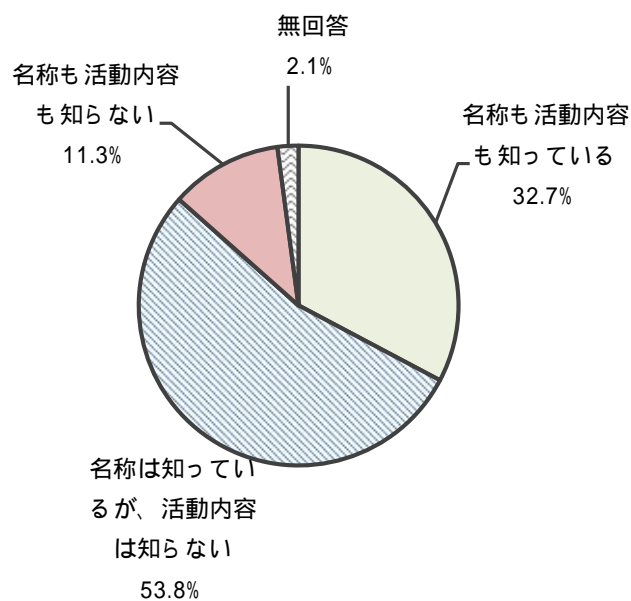
問 17 諫早市社会福祉協議会では、ボランティア活動に関する相談、活動先の紹介、ボランティア活動の担い手育成などを行う「諫早市ボランティアセンター」を諫早市社会福祉会館内に設置していますが、ご存知ですか。



計: 846人

「諫早市ボランティアセンター」を知っているかとたずねたところ、「知っている」と回答した人の割合は 15.5%となっています。一方、「知らない」と回答した人の割合は 80.3%となっています。

問 18 あなたは、民生委員・児童委員についてご存知ですか。

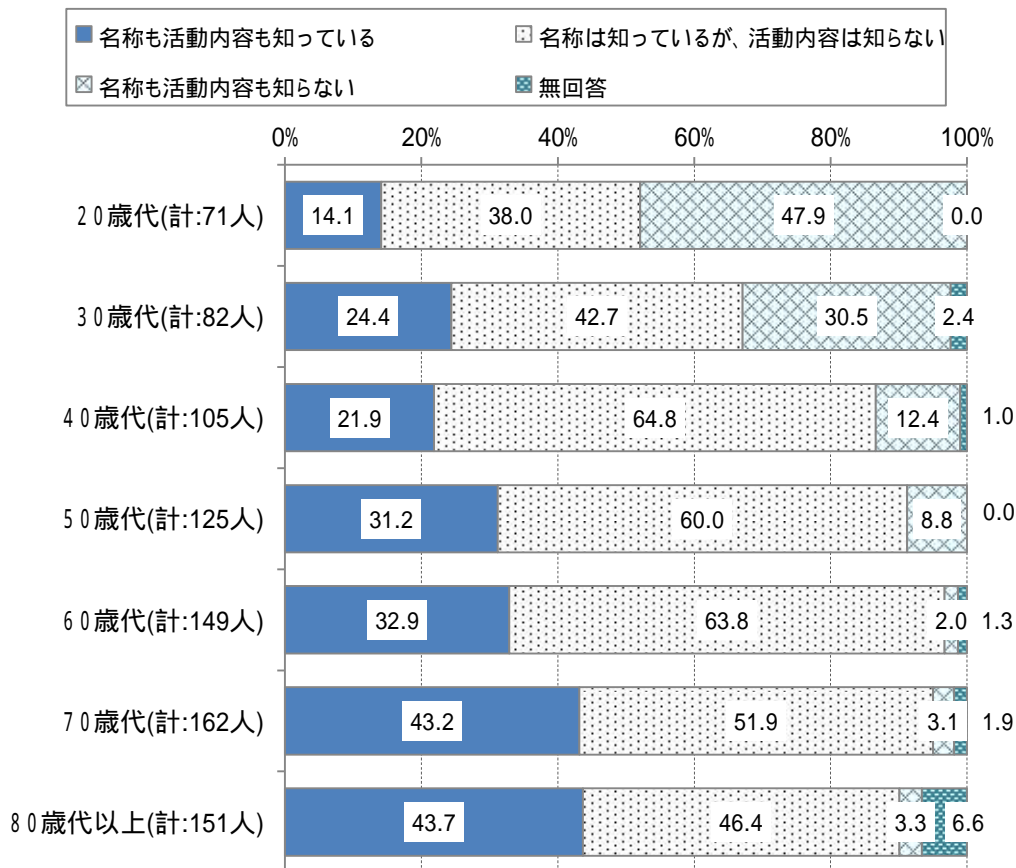


民生委員・児童委員についてご存知ですかとたずねたところ、「名称も活動内容も知っている」と回答した人の割合は 32.7%となっています。一方、「名称は知っているが、活動内容は知らない」または「名称も活動内容も知らない」と回答した人の割合は 65.1%となっています。

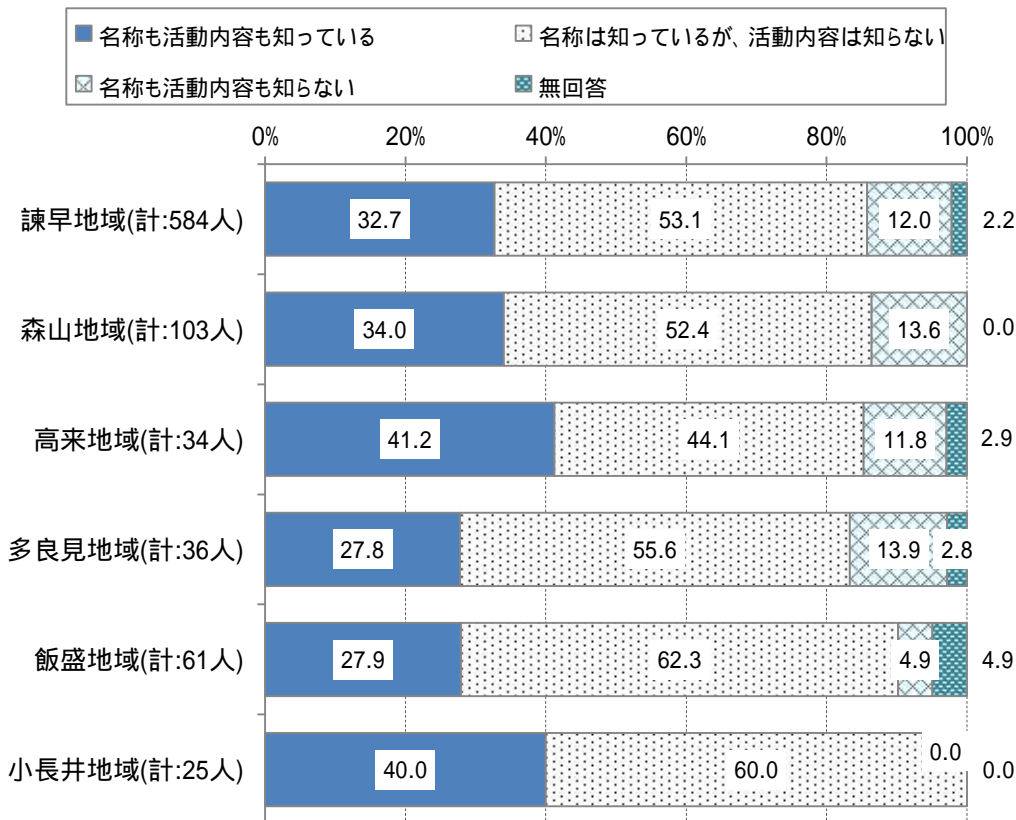
年齢階層別にみると、「名称も活動内容も知っている」と回答した人の割合は年齢階層が高くなるに従って概ね高くなる傾向にあることが分かります。70歳代以上では、4割以上の方が「名称も活動内容も知っている」と回答しています。

地域別にみると、「名称も活動内容も知っている」と回答した人の割合は、前回調査結果から引き続き「高来地域」が最も高く、41.2%となっています。

【年齢別クロス】

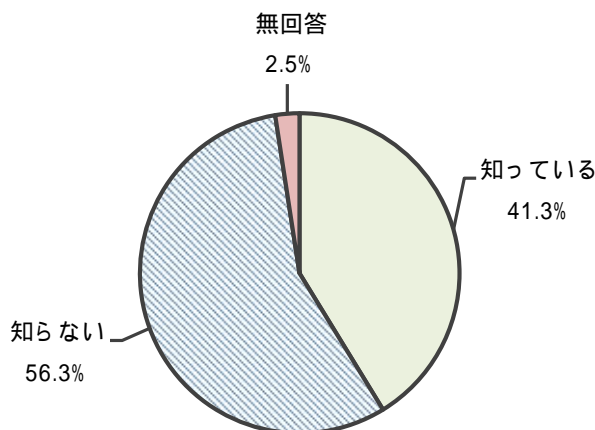


【地域別クロス】



問 18 で「名称も活動内容も知っている」、「名称は知っているが、活動内容は知らない」と回答した方にお尋ねします。

問 18-1 あなたが住んでいる地域を担当する民生委員・児童委員をご存知ですか。



計: 732人

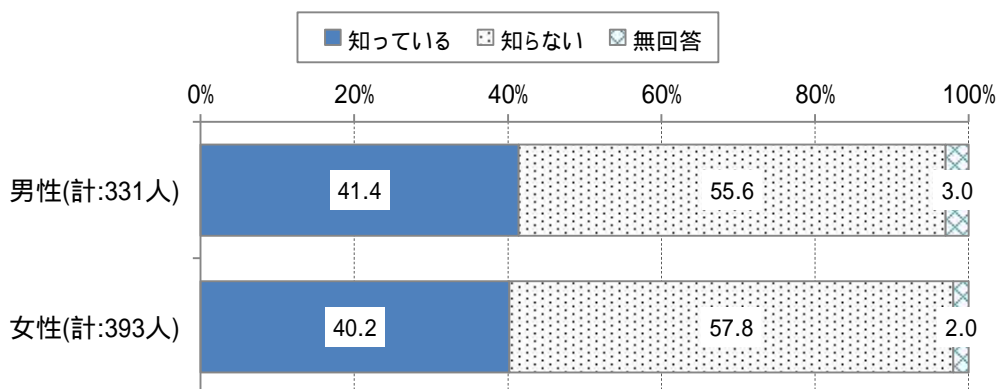
問 18 で「名称も活動内容も知っている」、「名称は知っているが、活動内容は知らない」と回答した方に、地域を担当する民生委員・児童委員をご存知ですかとたずねたところ、「知っている」と回答した人の割合は 41.3% となっています。一方、「知らない」と回答した人の割合は 56.3% となっています。

性別にみると、担当する民生委員・児童委員を知っていると回答した人の割合は大きな差異がありません。

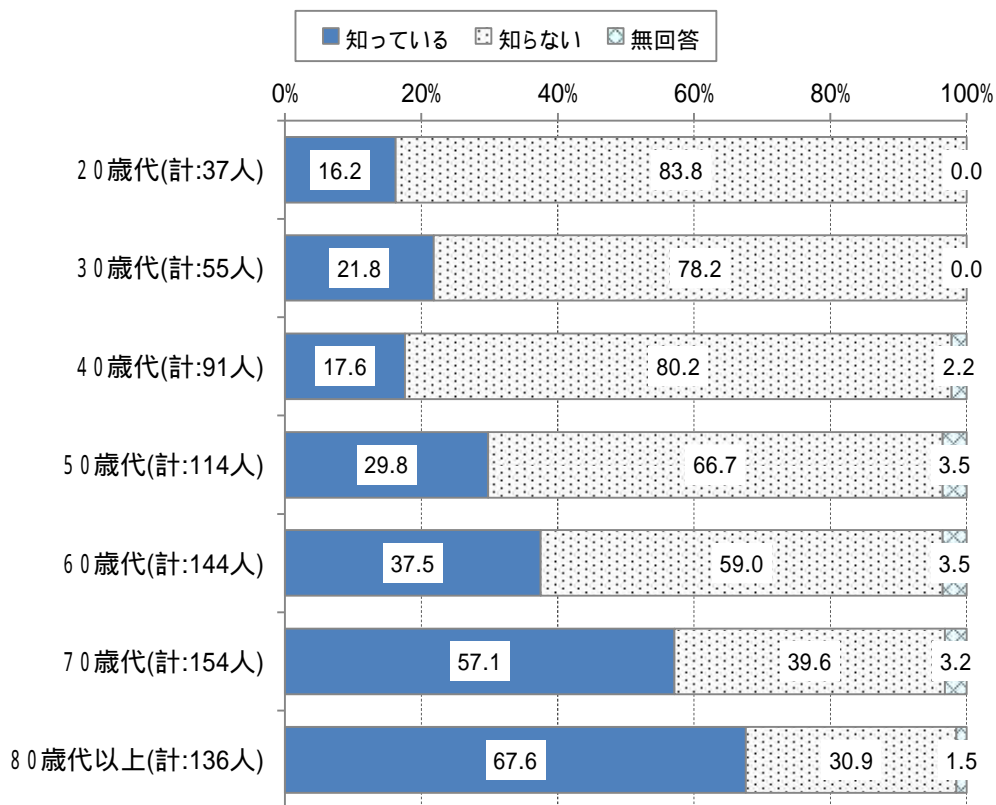
年齢階層別にみると、担当する民生委員・児童委員を知っていると回答した人の割合は年齢階層が高くなるに従って高くなる傾向にあることが分かります。70 歳代以上では、半数以上の人「知っている」と回答しています。

地域別にみると、担当する民生委員・児童委員を知っていると回答した人の割合は、「多良見地域」(66.7%) が高くなっています。

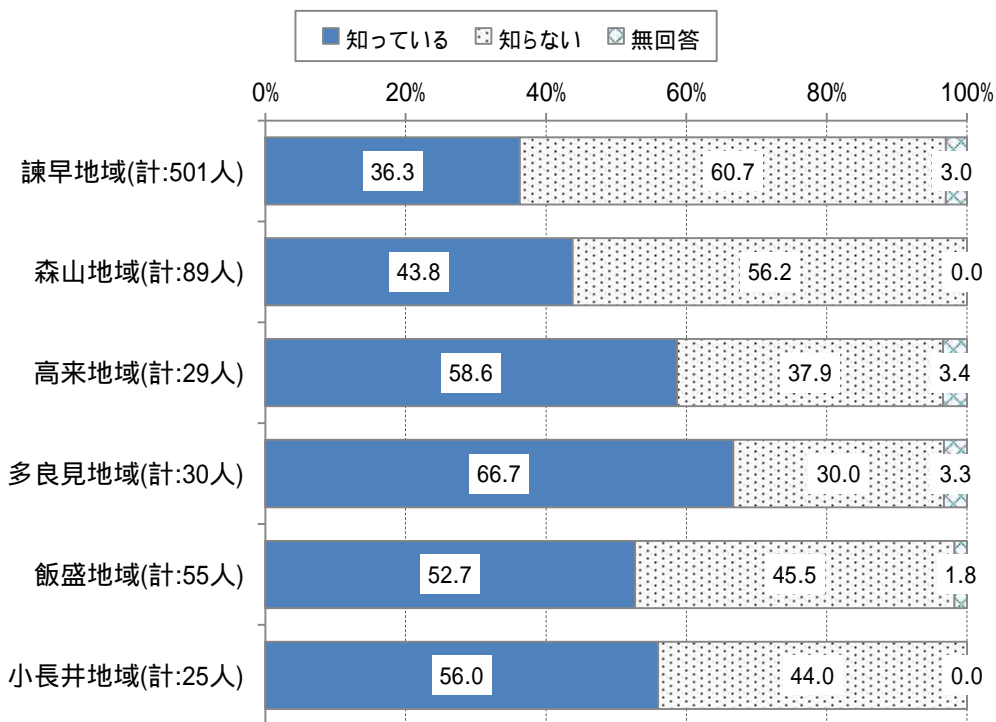
【性別クロス】



【年齢別クロス】

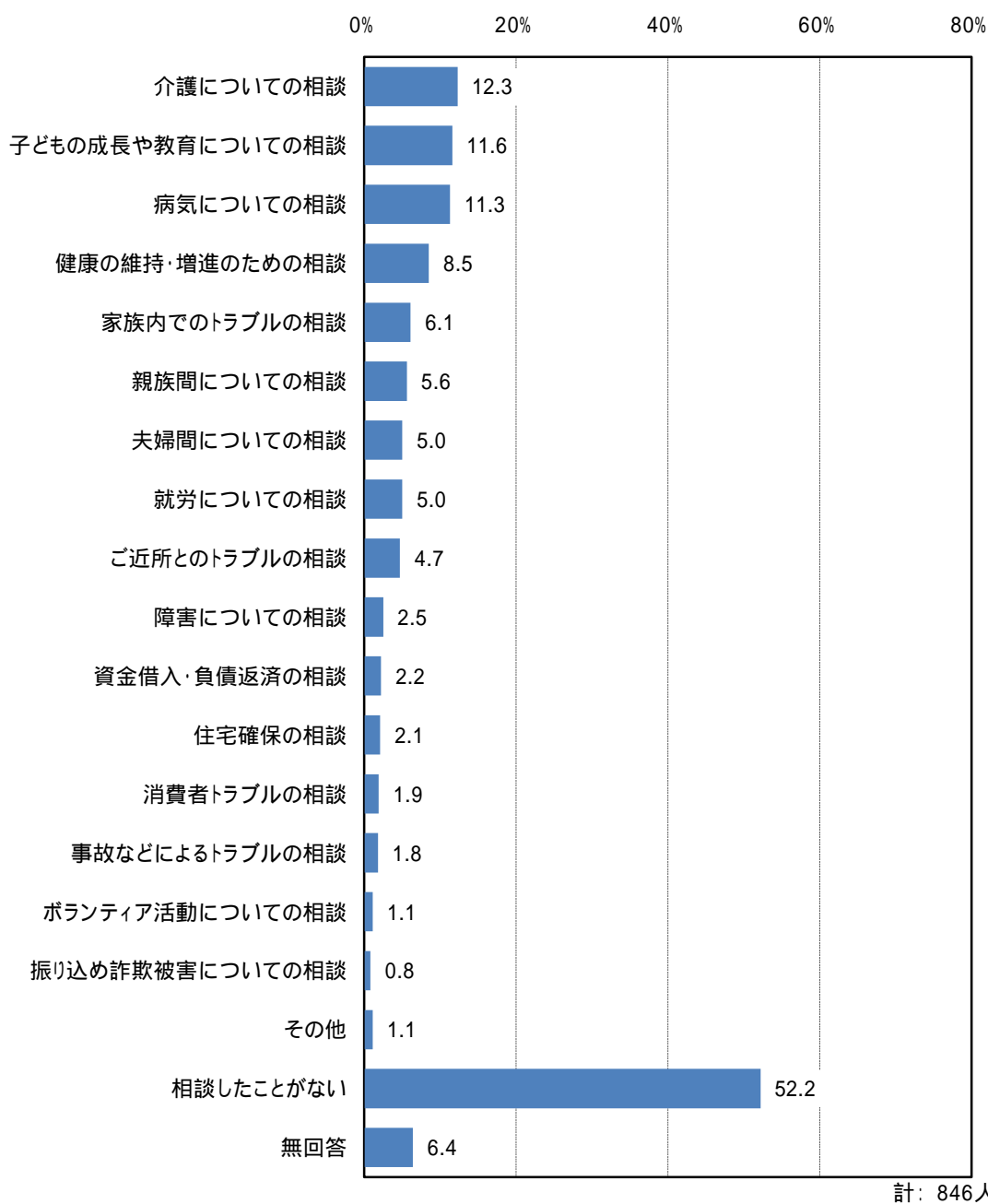


【地域別クロス】



～ 生活相談について ～

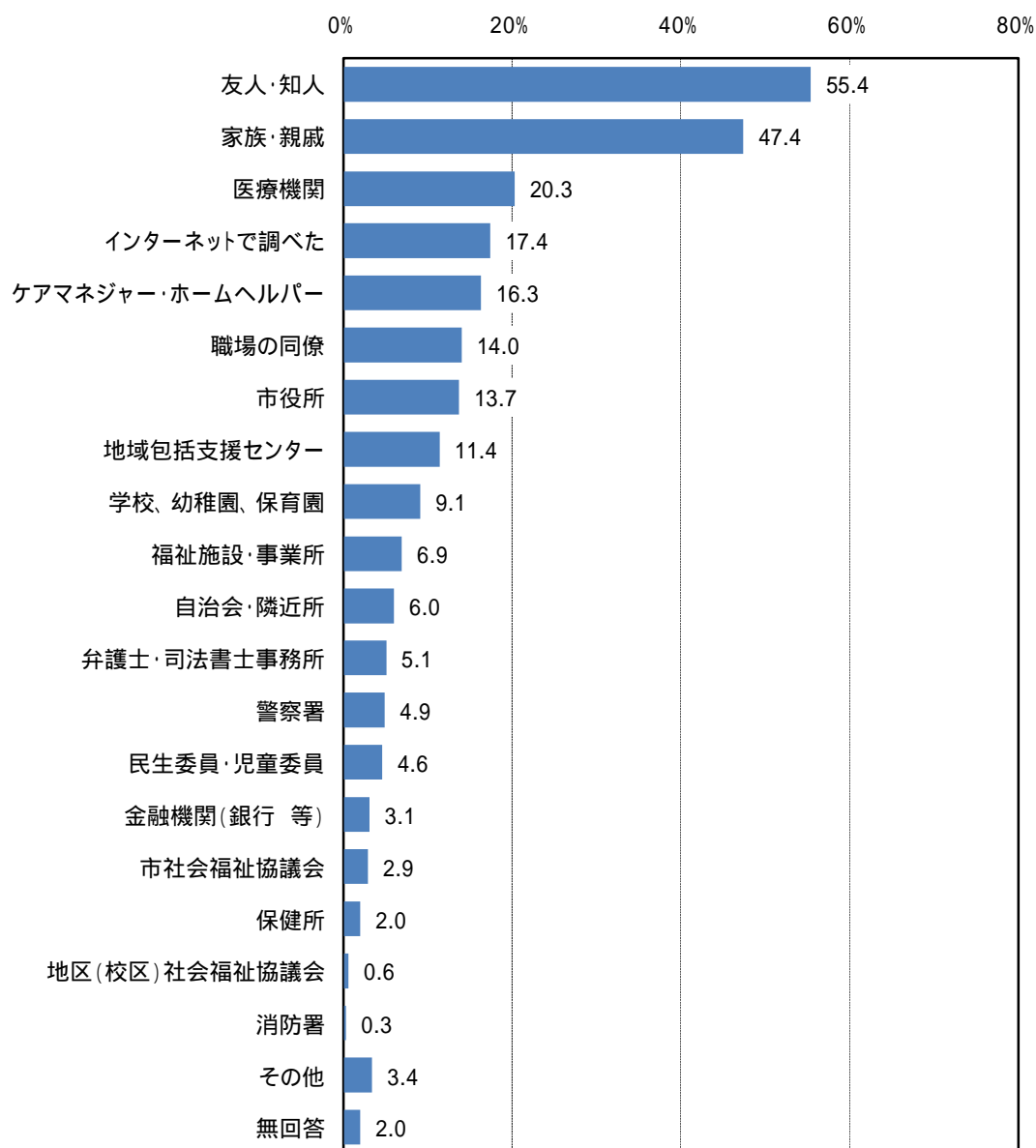
問 19 あなたはこれまでに、困ったことや心配ごとを、他人に相談したことがありますか。その相談内容を下記から選んでください。



困ったことや心配ごとを、他人に相談したことがありますかとたずねたところ、41.4%の人が何らかの相談をしたことがあると回答しており、具体的には、「介護についての相談」と回答した人が最も多く、12.3%となっています。次いで、「子どもの成長や教育についての相談」(11.6%)、「病気についての相談」(11.3%)と続いています。

問 19 で何らかの相談をしたことがある方にお尋ねします。

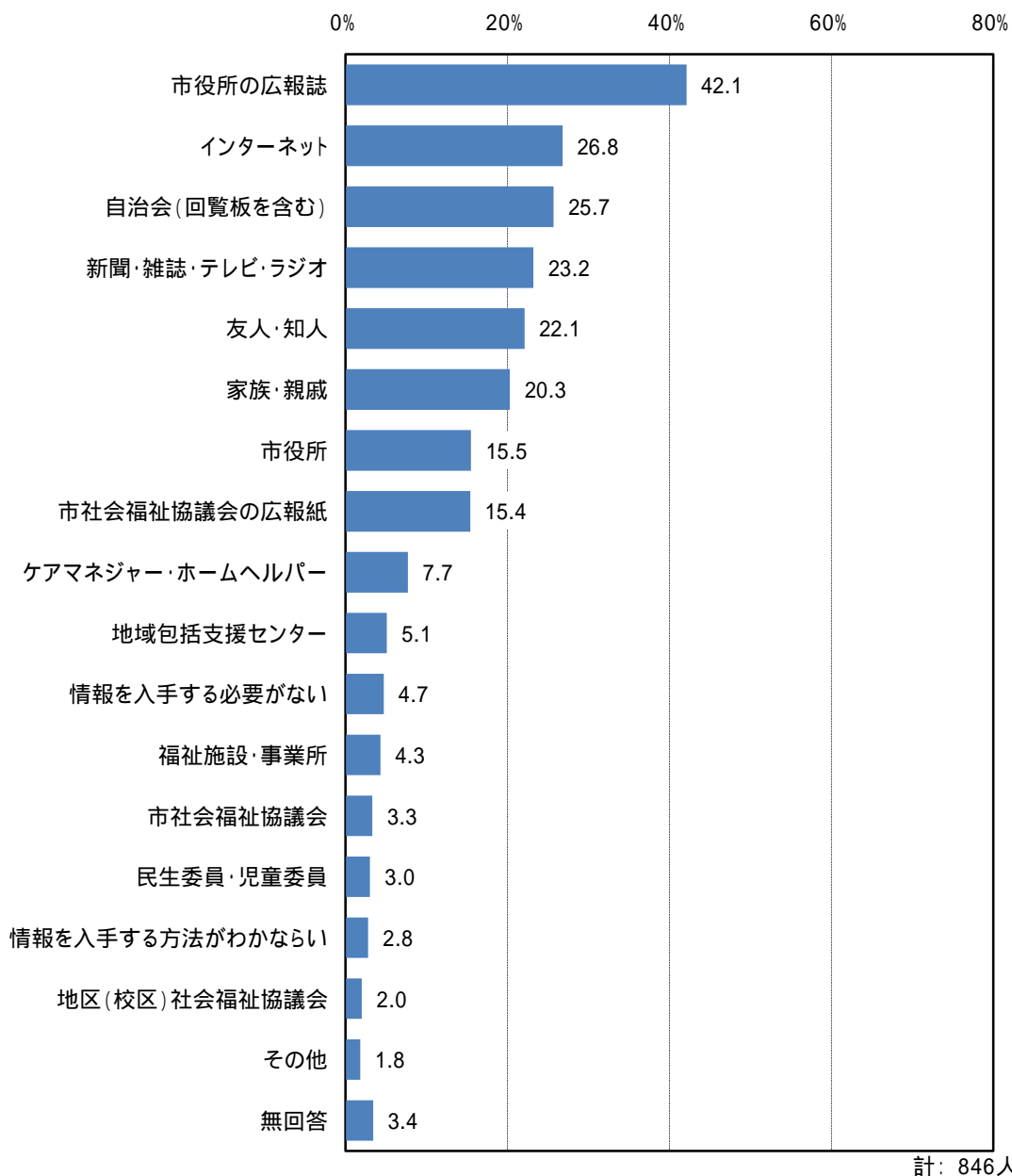
問 19-1 あなたはこれまでに、困ったことや心配ごとを、誰に（どこに）相談しましたか。



計：350人

問 19 で何らかの相談をしたことがある方に、これまでに、困ったことや心配ごとを、誰に（どこに）相談しましたかとたずねたところ、「友人・知人」と回答した人が最も多く、55.4%となっています。次いで、「家族・親戚」(47.4%)、「医療機関」(20.3%)と続いています。

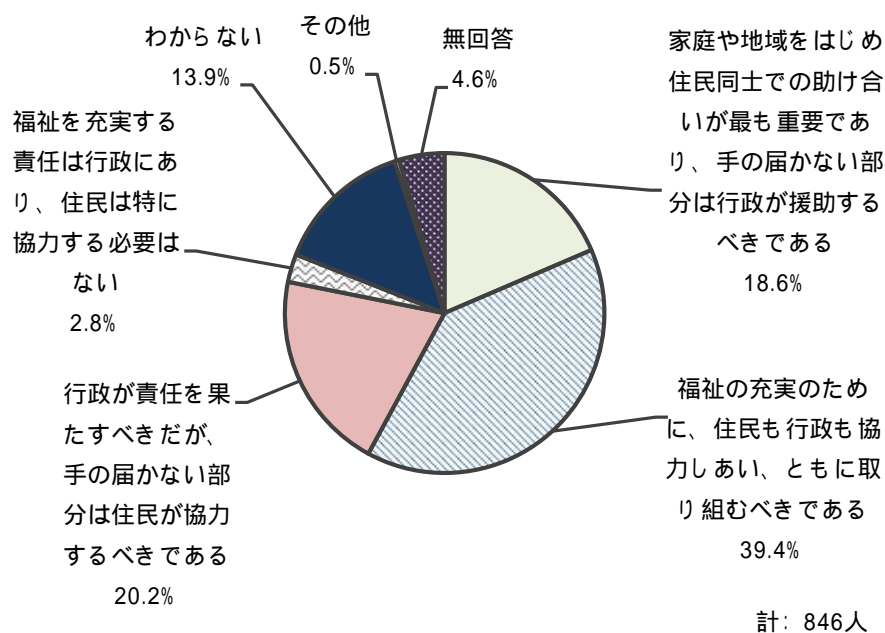
問 20 あなたは、福祉に関する必要な情報を主にどこから入手していますか。



福祉に関する必要な情報を主にどこから入手していますかとたずねたところ、「市役所の広報誌」と回答した人が最も多く、42.1%となっています。次いで、「インターネット」(26.8%)、「自治会(回覧板を含む)」(25.7%)と続いています。

～ 地域福祉の今後の在り方について ～

問 21 地域における福祉を充実させていく上で、行政と住民との関係は、どのようなものが望ましいと思いますか。



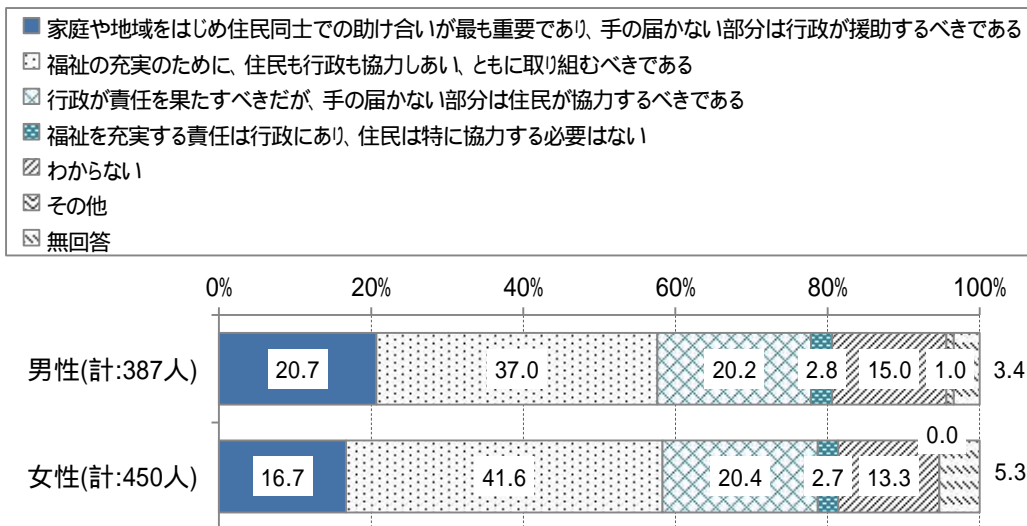
地域における福祉を充実させていく上で、行政と住民との関係は、どのようなものが望ましいと思いますかとたずねたところ、「福祉の充実のために、住民も行政も協力しあい、ともに取り組むべきである」と回答した人の割合が最も高く、39.4%となっています。次いで、「行政が責任を果たすべきだが、手の届かない部分は住民が協力するべきである」(20.2%)、「家庭や地域をはじめ住民同士での助け合いが最も重要であり、手の届かない部分は行政が援助するべきである」(18.6%)と続いています。

「福祉の充実のために、住民も行政も協力しあい、ともに取り組むべきである」または「家庭や地域をはじめ住民同士での助け合いが最も重要であり、手の届かない部分は行政が援助するべきである」と回答した人の割合は58.0%であり、地域福祉を住民がある程度主体的に行うべきとの考えを持っている市民が比較的多いものの、前回調査結果では65.2%であったことを踏まえれば、この考えを有す市民の割合は減少していることが分かります。

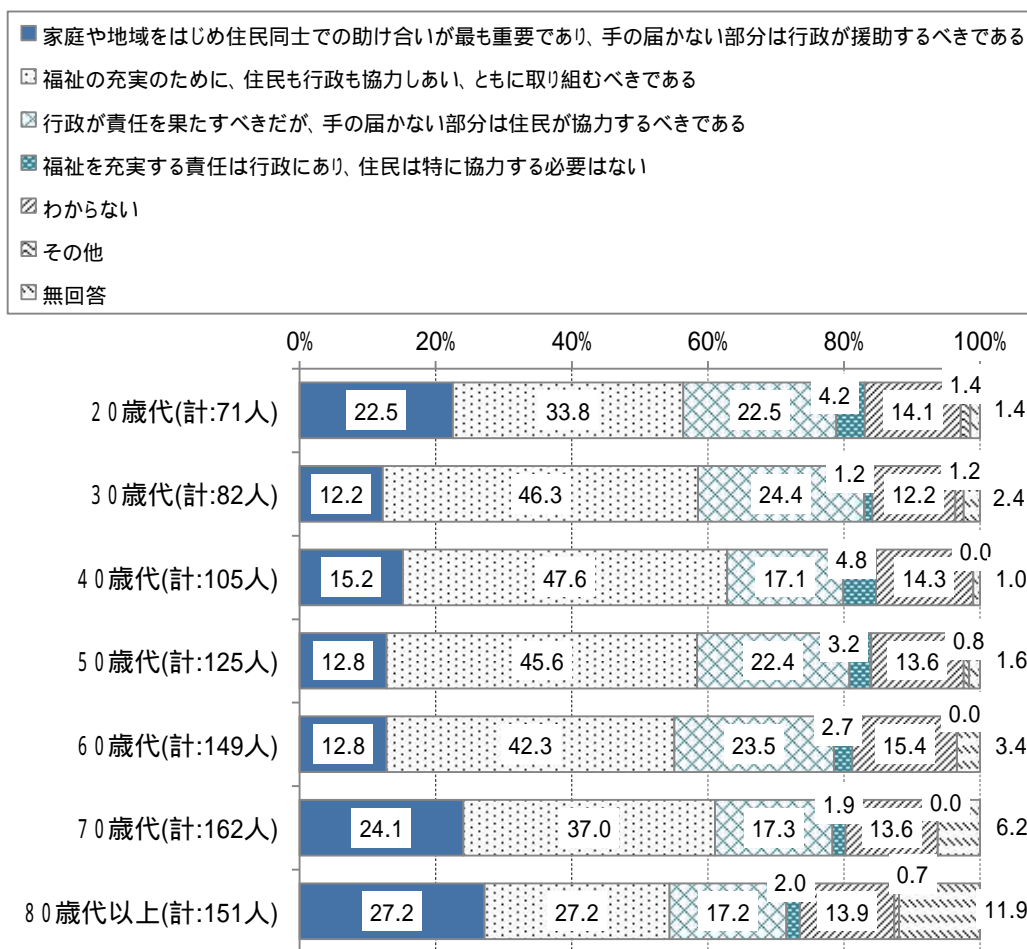
年齢階層別にみると、「福祉の充実のために、住民も行政も協力しあい、ともに取り組むべきである」または「家庭や地域をはじめ住民同士での助け合いが最も重要であり、手の届かない部分は行政が援助するべきである」と回答した人の割合は年齢階層によって大きな傾向はみられません。

地域別にみると、「福祉の充実のために、住民も行政も協力しあい、ともに取り組むべきである」または「家庭や地域をはじめ住民同士での助け合いが最も重要であり、手の届かない部分は行政が援助するべきである」と回答した人の割合は小長井地域が最も高く、68.0%となっています。

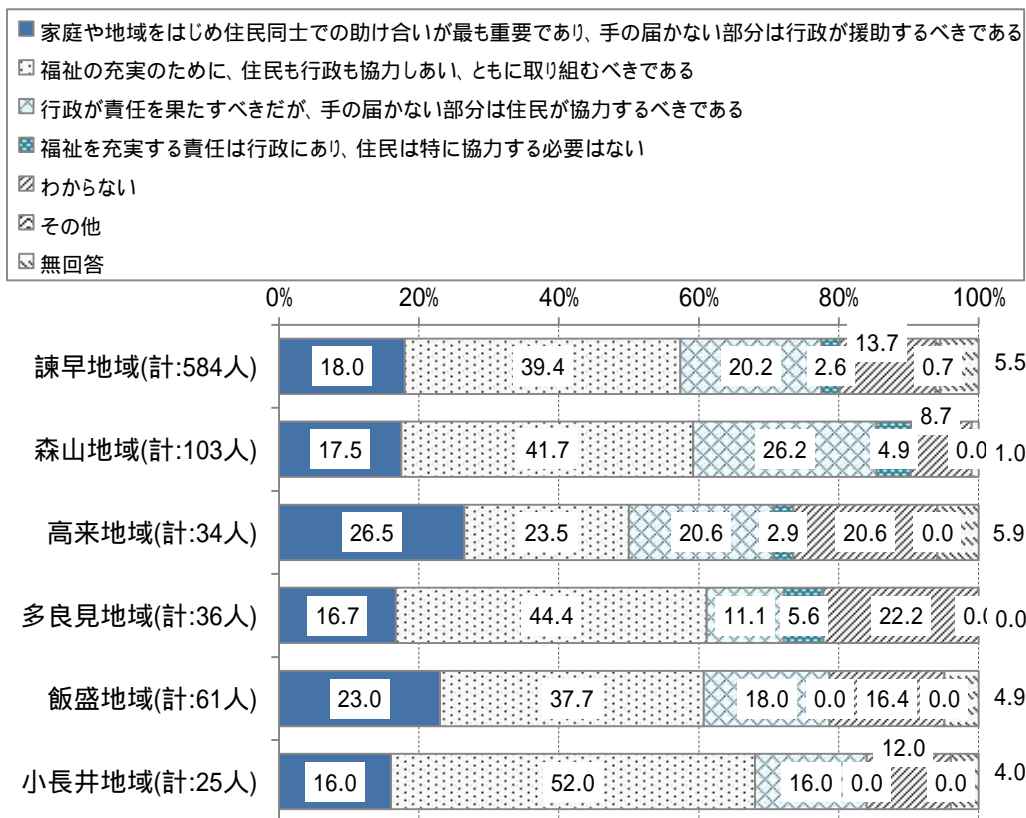
【性別クロス】



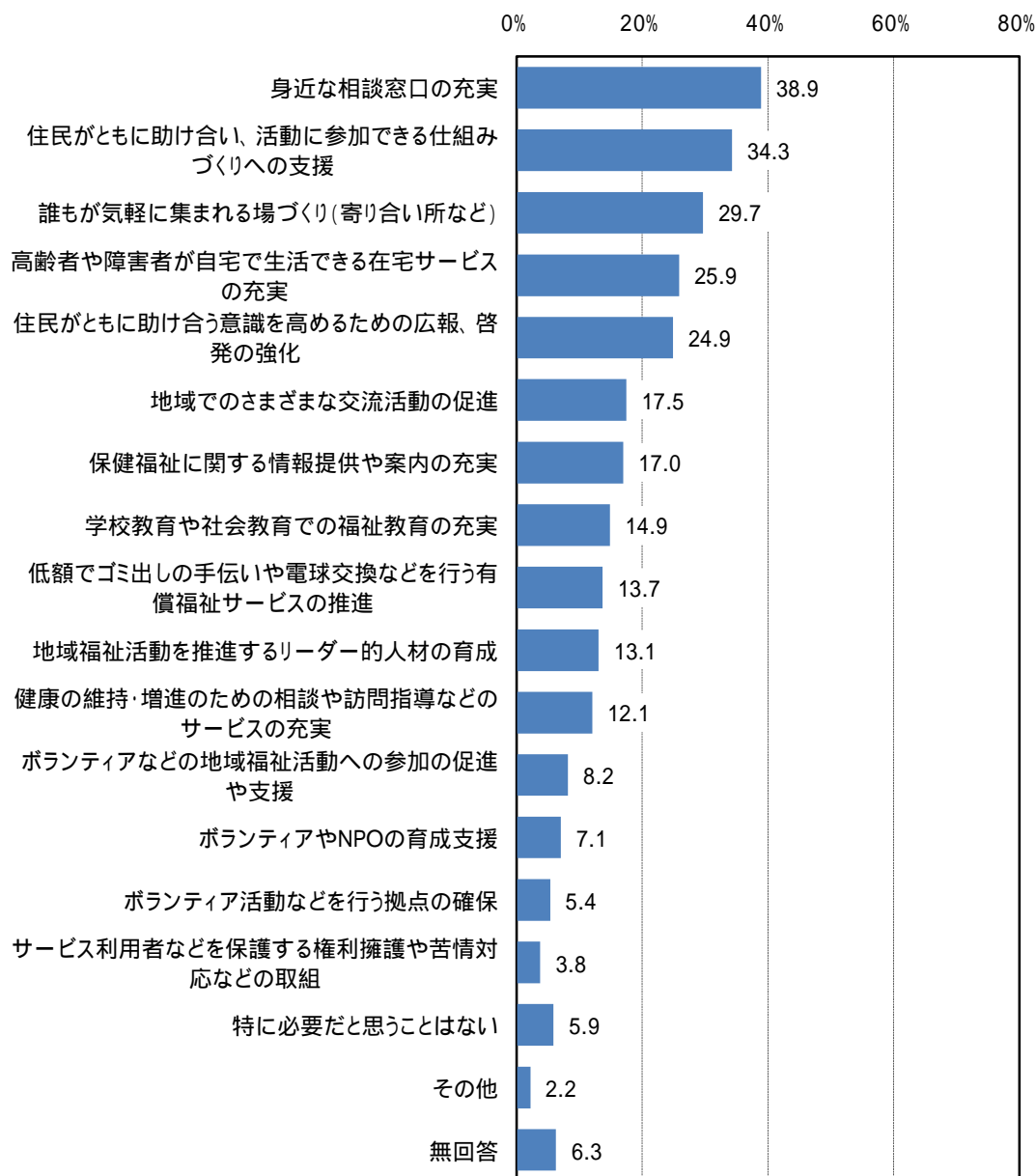
【年齢別クロス】



【地域別クロス】



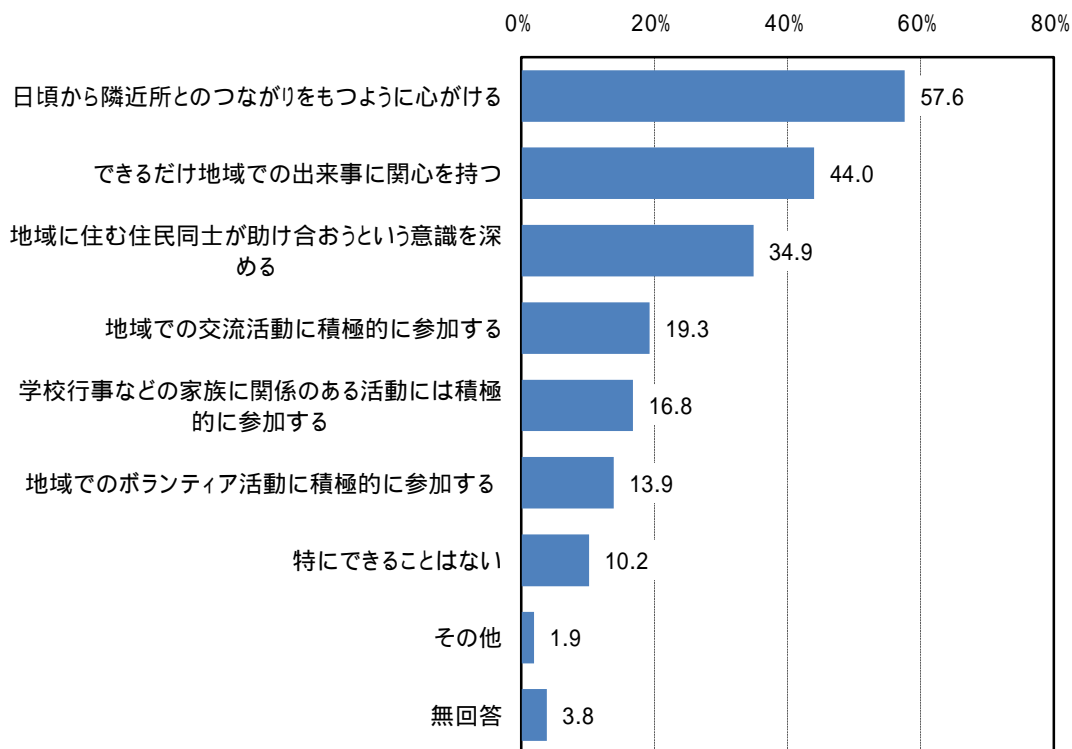
問 22 今後、地域での助け合いを推進していくために、どのような施策が必要だと思いますか。



計: 846人

今後、地域での助け合いを推進していくために、どのような施策が必要だと思いますかとたずねたところ、「身近な相談窓口の充実」と回答した人が最も多く、38.9%となっています。次いで、「住民がともに助け合い、活動に参加できる仕組みづくりへの支援」(34.3%)、「誰もが気軽に集まれる場づくり(寄り合い所など)」(29.7%)と続いています。

問 23 今後、地域での助け合いを推進していくために、住民のひとりとしてあなたができることは何だと思いませんか。

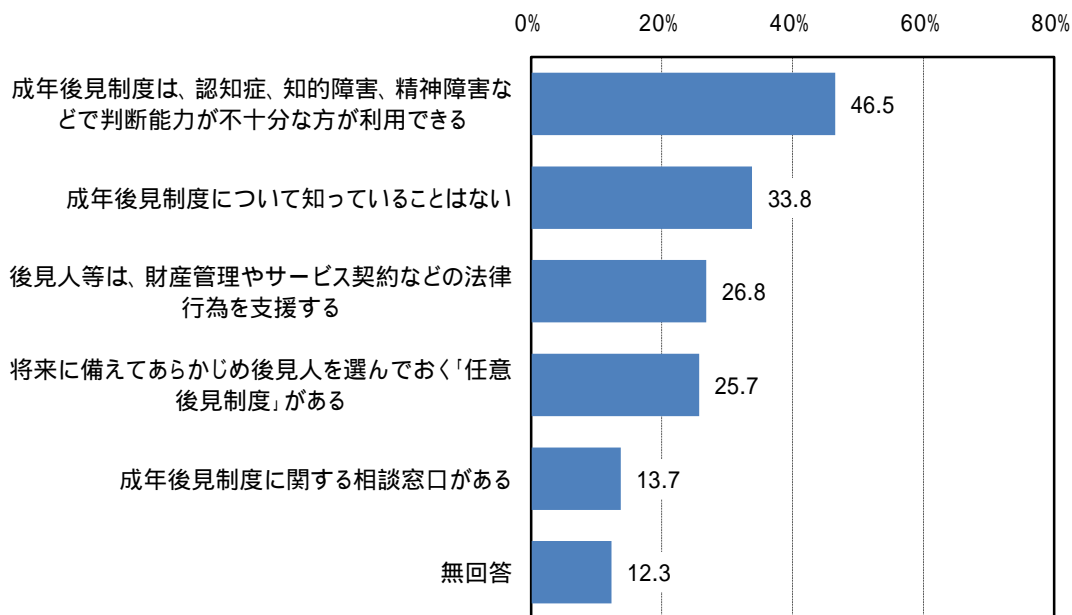


計：846人

今後、地域での助け合いを推進していくために、住民のひとりとしてあなたができることは何だと思いませんかとたずねたところ、「日頃から隣近所とのつながりをもつように心がける」と回答した人が最も多く、57.6%となっています。次いで、「できるだけ地域での出来事に関心を持つ」(44.0%)、「地域に住む住民同士が助け合おうという意識を深める」(34.9%)と続いています。

～ 成年後見制度について ～

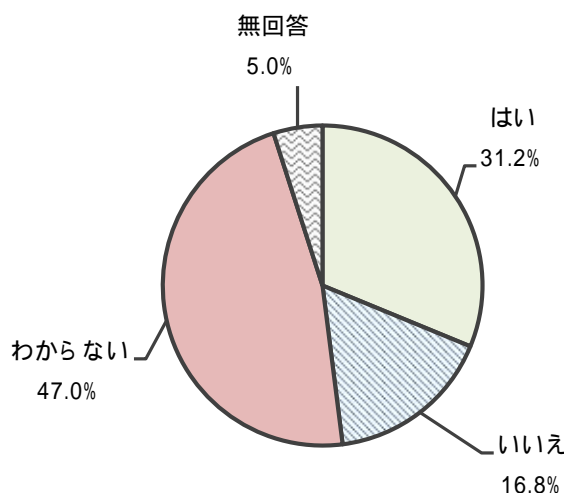
問 24 成年後見制度について、ご存知のことを下記から選んでください。



計：846人

成年後見制度について、知っていることをたずねたところ、「成年後見制度は、認知症、知的障害、精神障害などで判断能力が不十分な方が利用できる」と回答した人が最も多く、46.5%となっています。次いで、「成年後見制度について知っていることはない」(33.8%)、「後見人等は、財産管理やサービス契約などの法律行為を支援する」(26.8%)と続いています。

問 25 あなた自身や親族が、認知症等により判断が十分にできなくなったとき、成年後見制度を利用したいと思いますか。

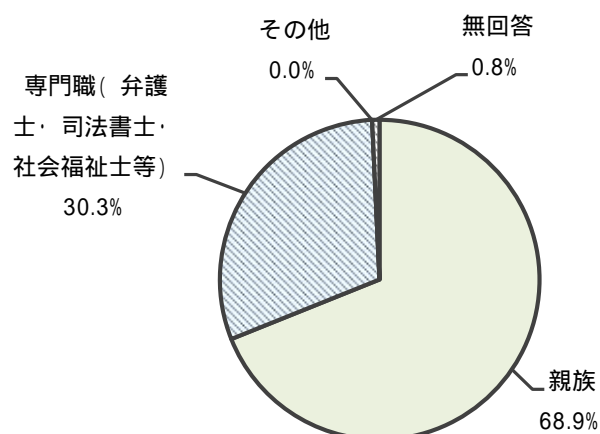


計：846人

あなた自身や親族が、認知症等により判断が十分にできなくなったとき、成年後見制度を利用したいと思いますかとたずねたところ、「はい」と回答した人の割合は31.2%となっています。一方、「いいえ」と回答した人の割合は16.8%となっています。

問 25 で「はい」と答えた方にお尋ねします。

問 25-1 後見人等には誰になってもらいたいですか。

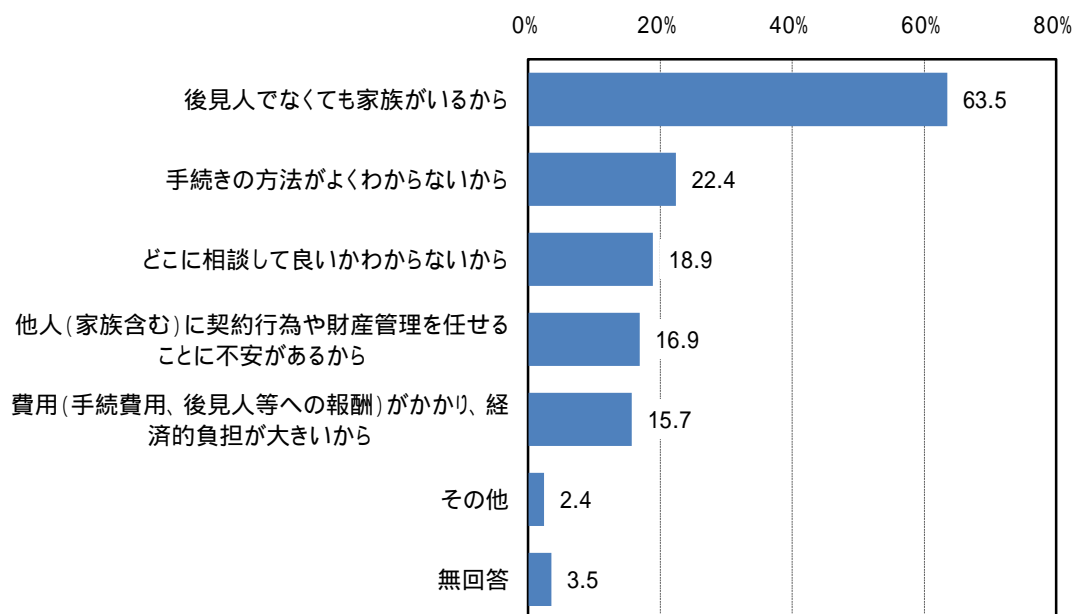


計: 264人

問 25 で「はい」と答えた方に、後見人等には誰になってもらいたいですかとたずねたところ、「親族」と回答した人の割合は 68.9%となっています。一方、「専門職 (弁護士・司法書士・社会福祉士等)」と回答した人の割合は 30.3%となっています。

問 25 で「いいえ」、「わからない」と答えた方にお尋ねします。

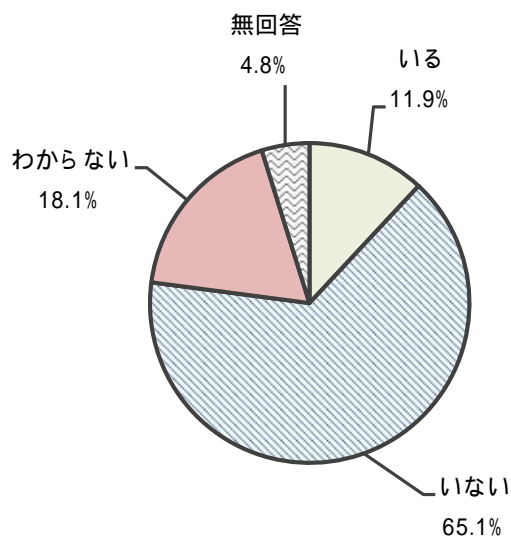
問 25-2 その理由を教えてください。



計: 540人

問 25 で「いいえ」、「わからない」と答えた方に、その理由をたずねたところ、「後見人でなくても家族がいるから」と回答した人が最も多く、63.5%となっています。次いで、「手続きの方法がよくわからないから」(22.4%)、「どこに相談して良いかわからないから」(18.9%)と続いています。

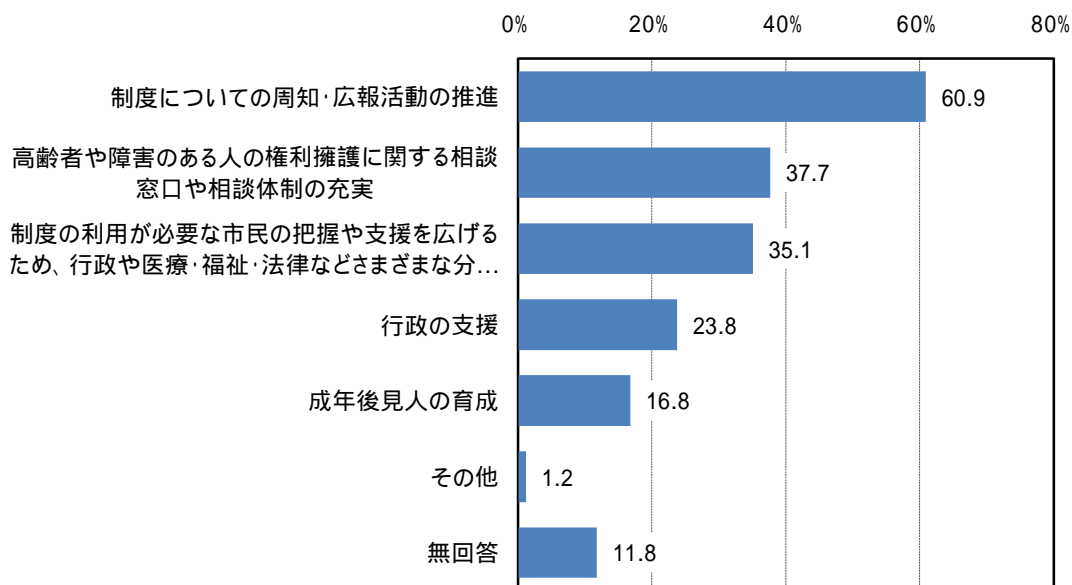
問 26 あなたの身近な人に、今後、成年後見制度の利用が必要だと思われる方はいますか。



計: 846人

あなたの身近な人に、今後、成年後見制度の利用が必要だと思われる方はいますかとたずねたところ、「いる」と回答した人の割合は11.9%となっています。一方、「いない」「わからない」と回答した人の割合は83.2%となっています。

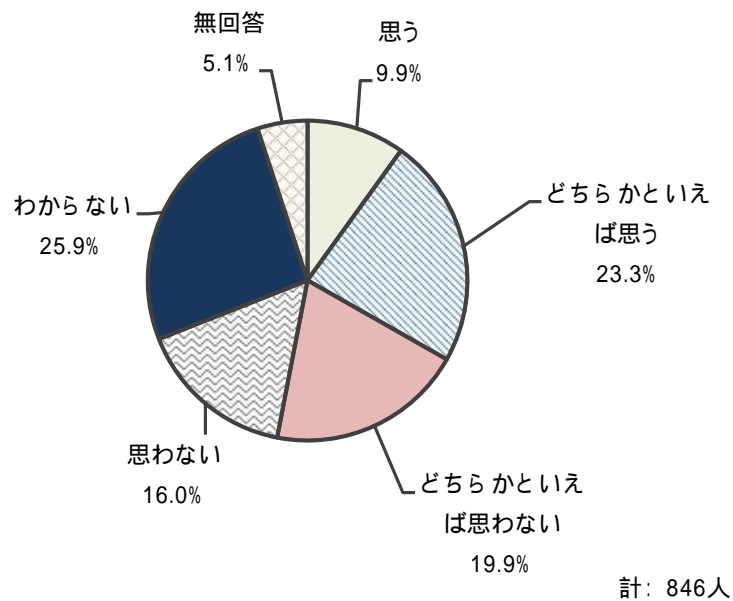
問 27 今後、成年後見制度の利用促進・充実を図っていくためにはどのようなことが必要だと思いますか。



計: 846人

今後、成年後見制度の利用促進・充実を図っていくためにはどのようなことが必要だと思いますかとたずねたところ、「制度についての周知・広報活動の推進」と回答した人が最も多く、60.9%となっています。次いで、「高齢者や障害のある人の権利擁護に関する相談窓口や相談体制の充実(37.7%)」「制度の利用が必要な市民の把握や支援を広げるため、行政や医療・福祉・法律などさまざまな分野での連携(35.1%)」と続いています。

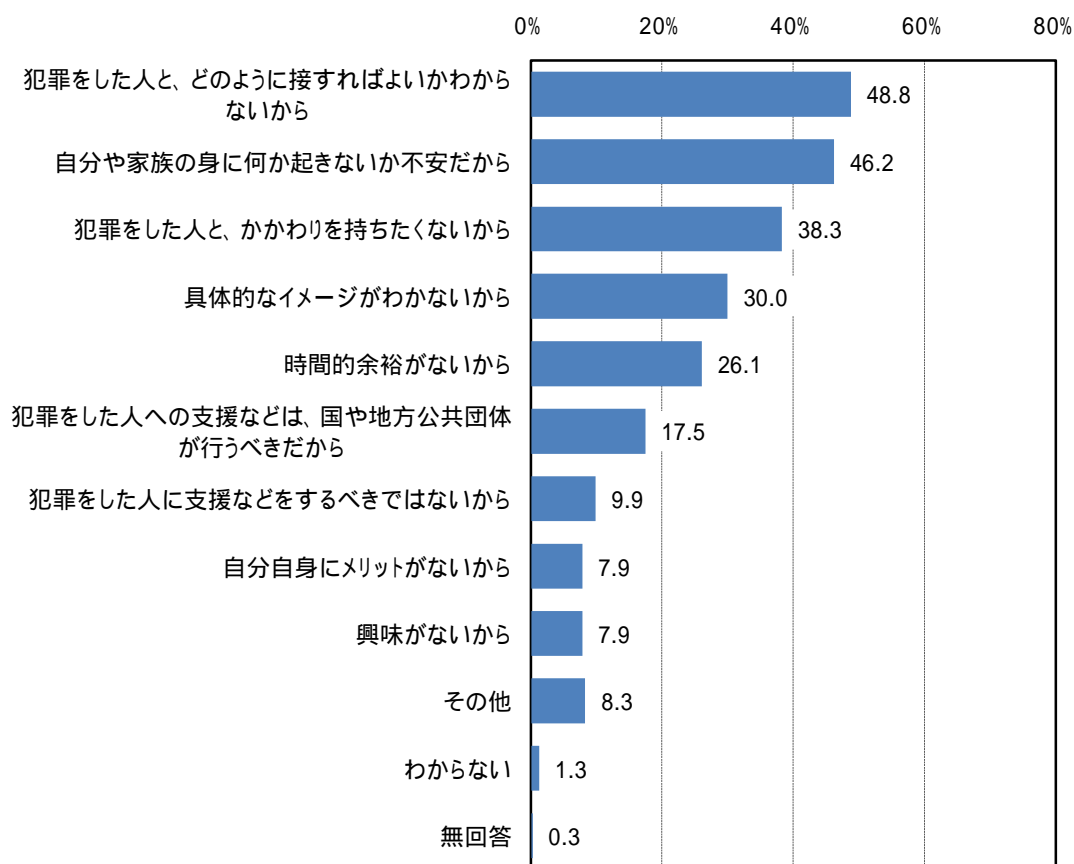
問 28 あなたは、犯罪をした人の立ち直りに協力したいと思いますか。



犯罪をした人の立ち直りに協力したいと思いますかとたずねたところ、「思う」または「どちらかといえば思う」と回答した人の割合は 33.2%となっています。一方、「思わない」または「どちらかといえば思わない」と回答した人の割合は 35.9%となっています。

問 28 で「どちらかといえば思わない」、「思わない」と答えた方にお尋ねします。

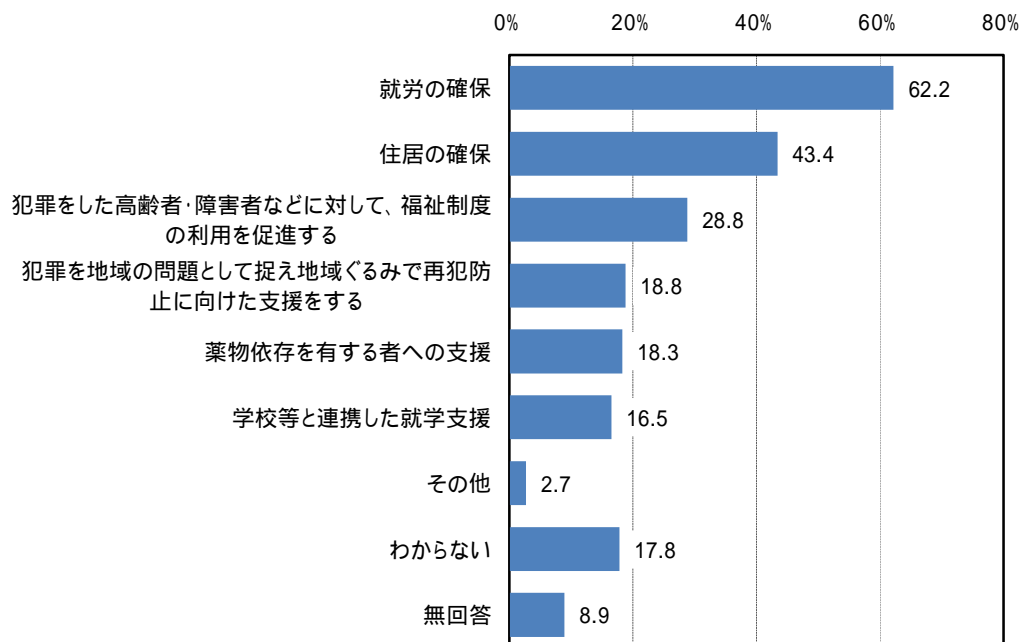
問 28-1 その理由を教えてください。



計: 303人

問 28 で「どちらかといえば思わない」、「思わない」と答えた方に、その理由を教えてくださいとたずねたところ、「犯罪をした人と、どのように接すればよいかわからないから」と回答した人が最も多く、48.8%となっています。次いで、「自分や家族の身に何か起きないか不安だから」(46.2%)、「犯罪をした人と、かかわりを持ちたくないから」(38.3%)と続いています。

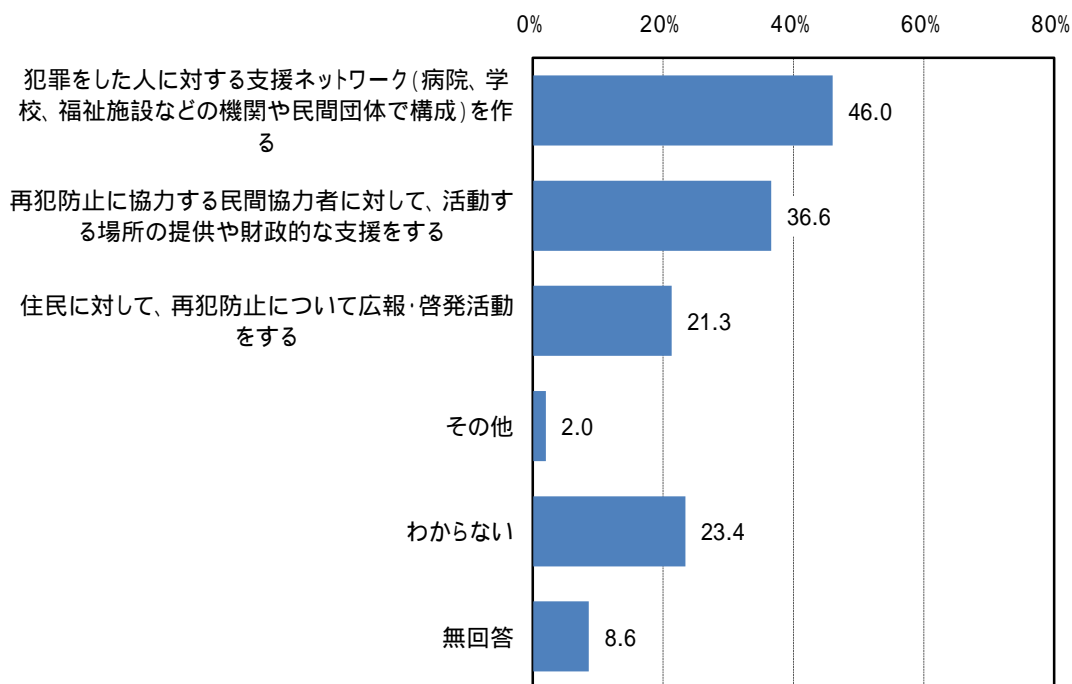
問 29 あなたは、再犯防止のために、具体的にどのような取組が必要だと思いますか。



計：846人

再犯防止のために、具体的にどのような取組が必要だと思いますかとたずねたところ、「就労の確保」と回答した人が最も多く、62.2%となっています。次いで、「住居の確保」(43.4%)、「犯罪をした高齢者・障害者などに対して、福祉制度の利用を促進する」(28.8%)と続いています。

問 30 再犯防止のために、地方公共団体は何をするべきだと思いますか。



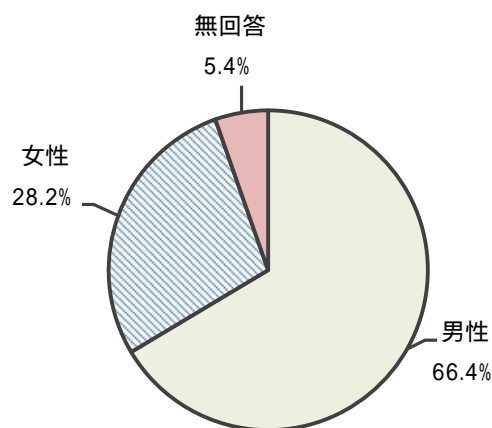
計：846人

再犯防止のために、地方公共団体は何をするべきだと思いますかとたずねたところ、「犯罪をした人に対する支援ネットワーク(病院、学校、福祉施設などの機関や民間団体で構成)を作る」と回答した人が最も多く、46.0%となっています。次いで、「再犯防止に協力する民間協力者に対して、活動する場所の提供や財政的な支援をする」(36.6%)、「住民に対して、再犯防止について広報・啓発活動をする」(21.3%)と続いています。

2. 地区（校区）社会福祉協議会関係者アンケート調査結果

～ あなたのことについて ～

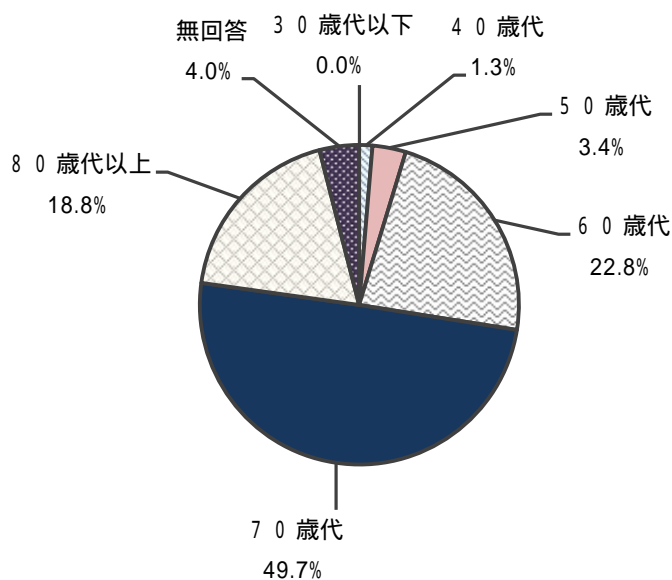
問 1 あなたの性別をお尋ねします。



計：149人

性別をたずねたところ、「男性」と回答した人の割合は66.4%となっています。一方、「女性」と回答した人の割合は28.2%となっています。

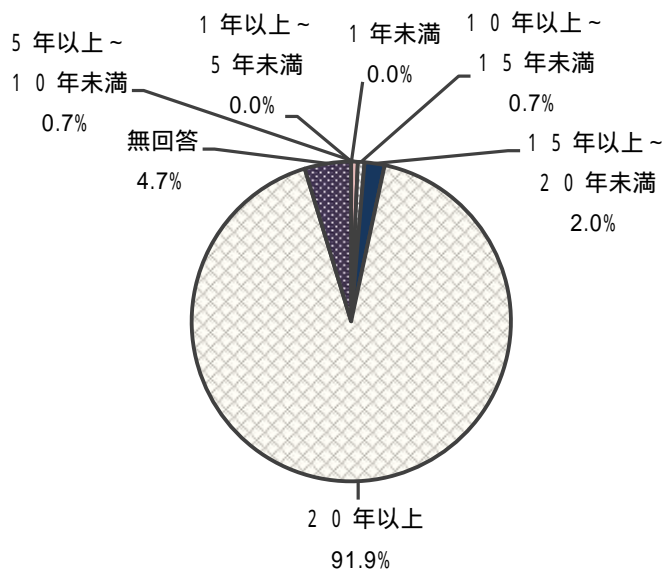
問 2 あなたの年齢をお尋ねします。



計：149人

年齢をたずねたところ、「70歳代」と回答した人の割合が最も高く、49.7%となっています。次いで、「60歳代」(22.8%)、「80歳代以上」(18.8%)と続いています。

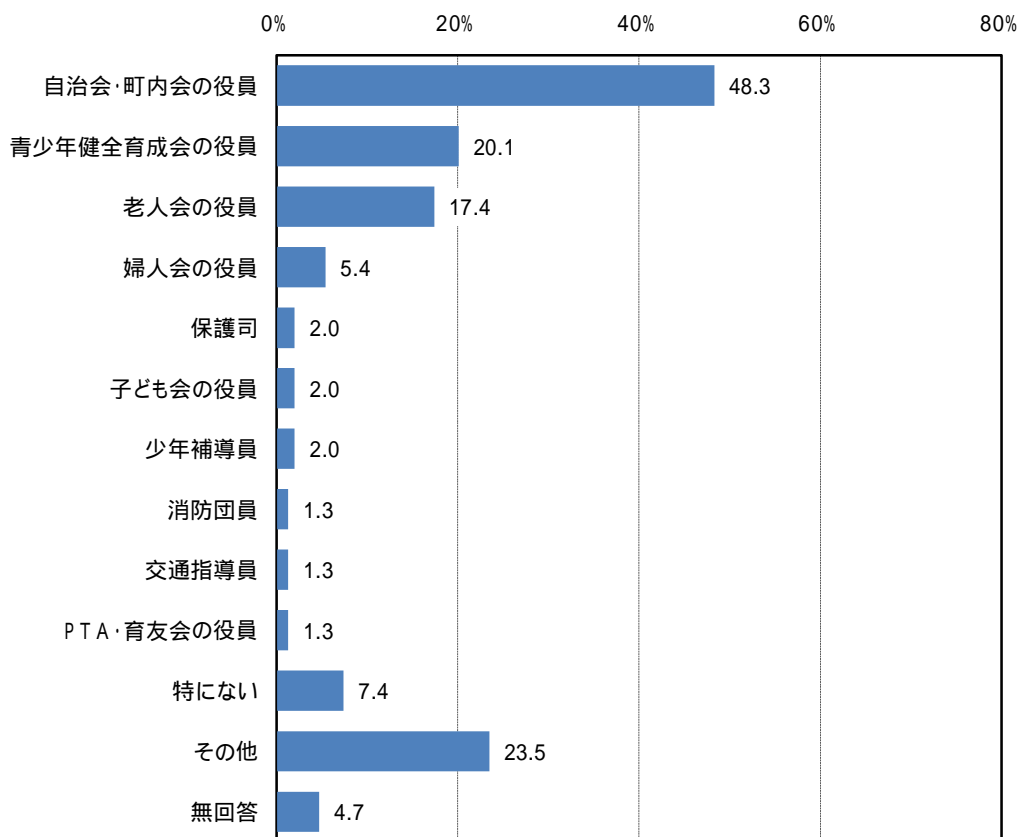
問 3 あなたは、今の地域にお住まいになって何年になりますか。



計: 149人

今の地域にお住まいになって何年になりますかとたずねたところ、「20年以上」と回答した人の割合が最も高く、91.9%となっています。次いで、「15年以上～20年未満」(2.0%)、「5年以上～10年未満」(0.7%)と続いています。

問 4 あなたは、お住まいの地域で、現在、何らかの役職を務めていますか。



計: 149人

お住まいの地域で、現在、何らかの役職を務めていますかとたずねたところ、「自治会・町内会の役員」と回答した人が最も多く、48.3%となっています。次いで、「青少年健全育成会の役員」(20.1%)、「老人会の役員」(17.4%)と続いています。

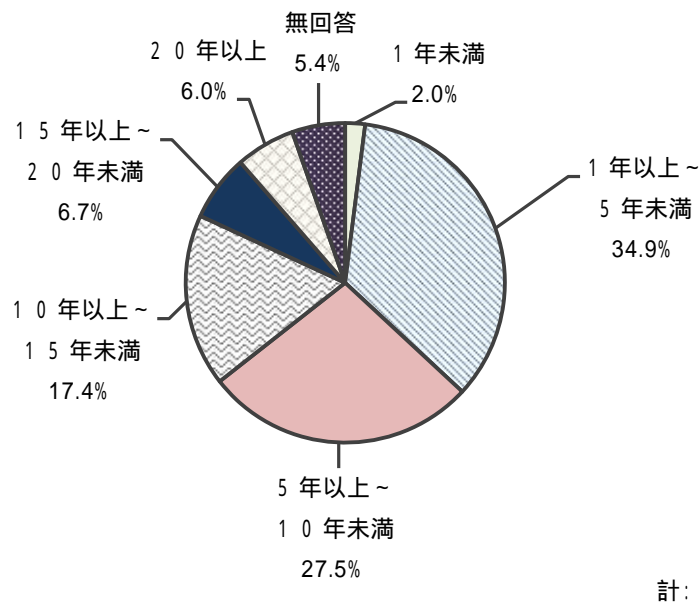
～ 地区（校区）社会福祉協議会での活動について ～

問 5 あなたは、どの地区（校区）社会福祉協議会で活動していますか。

	地区社会福祉協議会	人数（人）	割合（％）
1	諫小地区社会福祉協議会	6	4.0
2	上山地区社会福祉協議会	8	5.4
3	上諫早地区社会福祉協議会	6	4.0
4	北小校区社会福祉協議会	8	5.4
5	西諫早小学校区社会福祉協議会	7	4.7
6	西諫早地区社会福祉協議会	7	4.7
7	御館山校区社会福祉協議会	9	6.0
8	本野地区社会福祉協議会	7	4.7
9	長田地区社会福祉協議会	10	6.7
10	高来地区社会福祉協議会	9	6.0
11	小長井地区社会福祉協議会	9	6.0
12	森山地区社会福祉協議会	6	4.0
13	小野地区社会福祉協議会	6	4.0
14	有喜地区社会福祉協議会	7	4.7
15	小栗地区社会福祉協議会	5	3.4
16	飯盛地区社会福祉協議会	7	4.7
17	真津山小校区社会福祉協議会	7	4.7
18	多良見東地区社会福祉協議会	5	3.4
19	喜々津地区社会福祉協議会	5	3.4
20	多良見西地区社会福祉協議会	8	5.4
	無回答	7	4.7
	合計	149	100

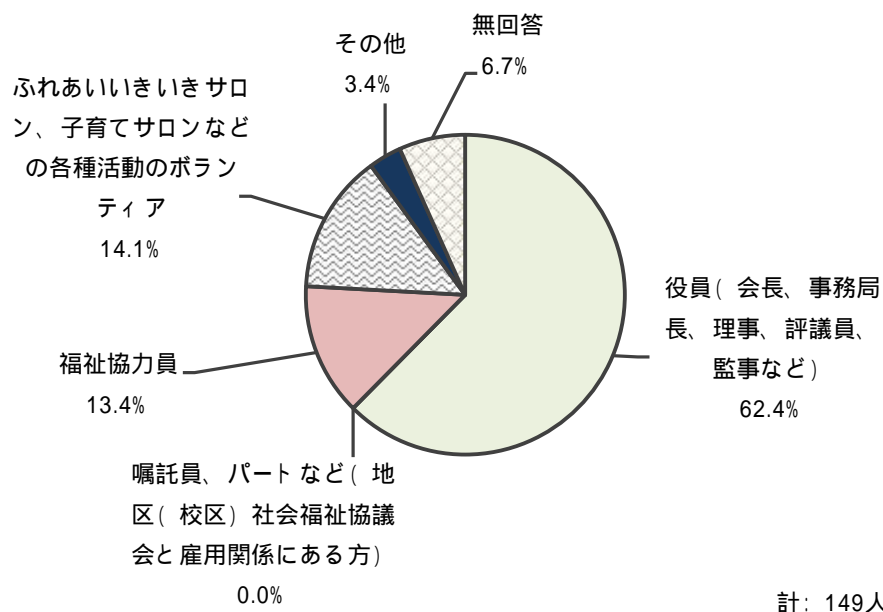
どの地区（校区）社会福祉協議会で活動していますかとたずねたところ、「長田地区社会福祉協議会」と回答した人の割合が最も高く、6.7%となっています。次いで、「御館山校区社会福祉協議会」、「高来地区社会福祉協議会」（6.0%）と続いています。

問 6 あなたは、地区（校区）社会福祉協議会での活動を何年続けていますか。



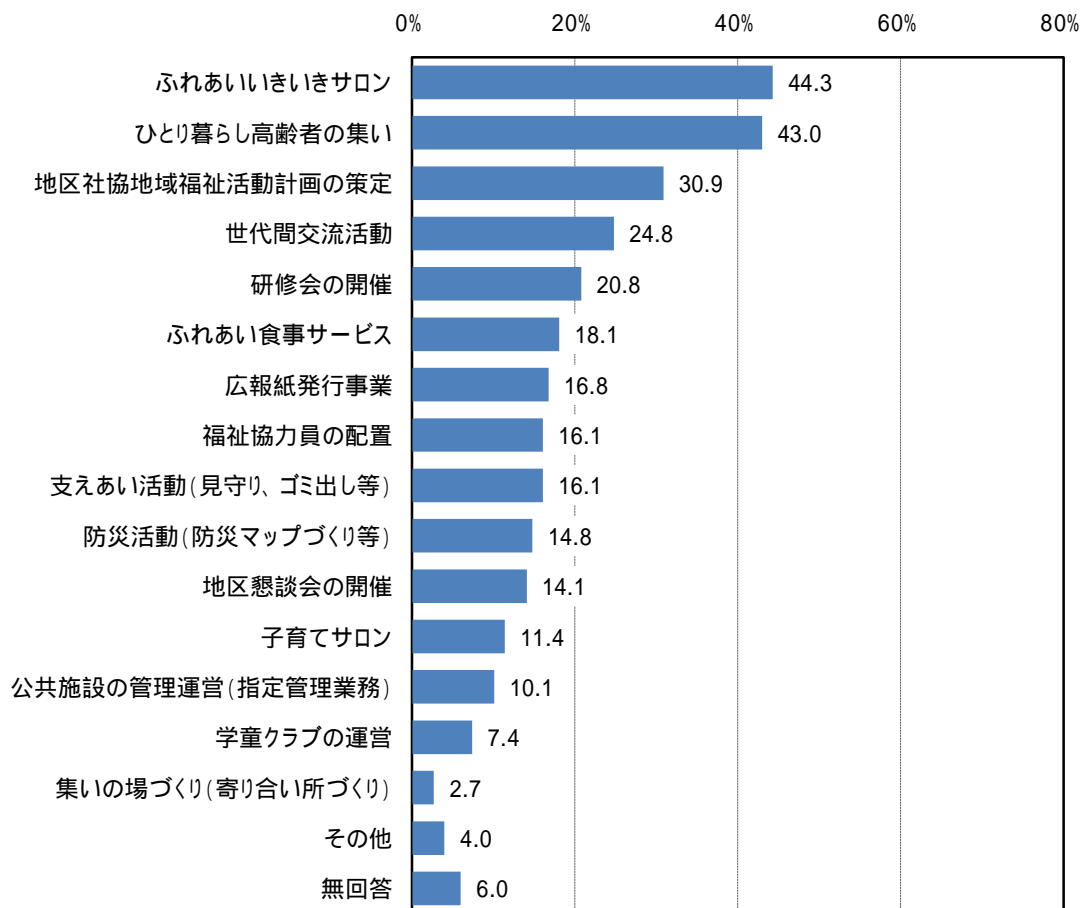
地区（校区）社会福祉協議会での活動を何年続けていますかとたずねたところ、「1年以上～5年未満」と回答した人の割合が最も高く、34.9%となっています。次いで、「5年以上～10年未満」（27.5%）、「10年以上～15年未満」（17.4%）と続いています。

問 7 あなたは、現在、地区（校区）社会福祉協議会において、どのような役割を担っていますか。



現在、地区（校区）社会福祉協議会において、どのような役割を担っていますかとたずねたところ、「役員（会長、事務局長、理事、評議員、監事など）」と回答した人の割合が最も高く、62.4%となっています。次いで、「ふれあいいきいきサロン、子育てサロンなどの各種活動のボランティア」（14.1%）、「福祉協力員」（13.4%）と続いています。

問 8 あなたは、地区（校区）社会福祉協議会のどのような活動に参加されていますか。

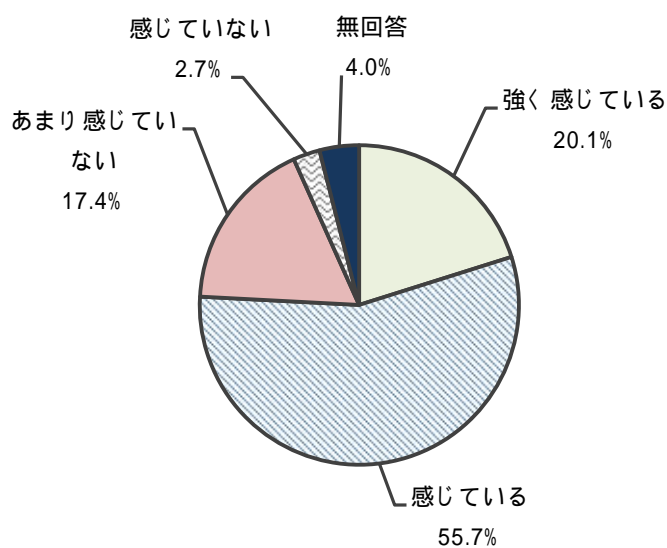


計：149人

地区（校区）社会福祉協議会のどのような活動に参加されていますかとたずねたところ、「ふれあいいきいきサロン」と回答した人が最も多く、44.3%となっています。次いで、「ひとり暮らし高齢者の集い」(43.0%)、「地区社協地域福祉活動計画の策定」(30.9%)と続いています。

問 9 あなたは、参加している地区（校区）社会福祉協議会の活動について、どのように感じていますか。

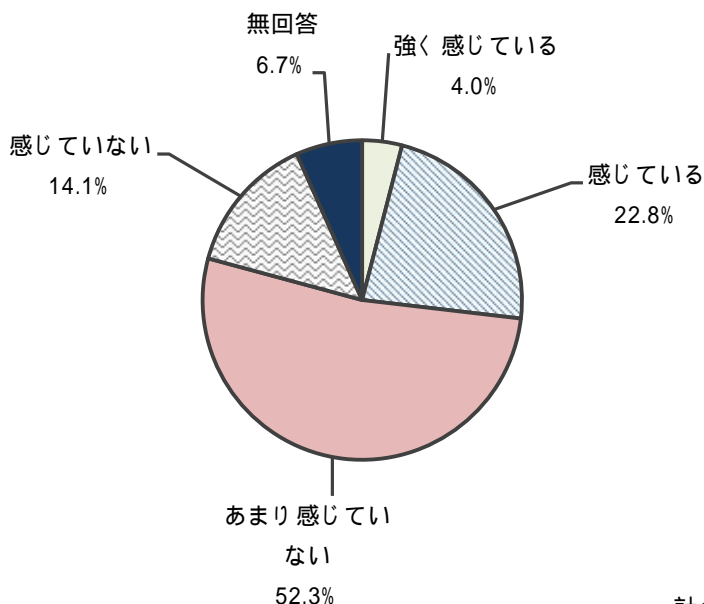
やりがい



計：149人

参加している地区（校区）社会福祉協議会の活動について、やりがいを感じていますかとたずねたところ、「強く感じている」または「感じている」と回答した人の割合は75.8%となっています。一方、「感じていない」または「あまり感じていない」と回答した人の割合は20.1%となっています。

負担感



計：149人

参加している地区（校区）社会福祉協議会の活動について、負担感を感じていますかとたずねたところ、「強く感じている」または「感じている」と回答した人の割合は26.8%となっています。一方、「感じていない」または「あまり感じていない」と回答した人の割合は66.4%となっています。

地区（校区）社会福祉協議会の活動について、地区ごとに得られた「やりがい」と「負担感」の程度に応じてそれぞれ下記のウエイトをつけた和を、無回答を除いた母数で除すことによって地区別に点数化しました。すべての地区の平均値を境とした4つの象限によって分類することで、地域の活動における「やりがい」と「負担感」の関係を分析しました。

ウエイト

選 択 肢	ウエイト
「やりがい」(または「負担感」)を強く感じている	+ 2 点
「やりがい」(または「負担感」)を感じている	+ 1 点
「やりがい」(または「負担感」)をあまり感じていない	- 1 点
「やりがい」(または「負担感」)を感じていない	- 2 点

4つの象限と該当する地区（校区）社会福祉協議会

象限	説 明	地区（校区）社会福祉協議会
	やりがいが高いが負担感も高い	飯盛地区社会福祉協議会 西諫早地区社会福祉協議会 喜々津地区社会福祉協議会
	やりがいが高いものの負担感は相対的に低い	諫小地区社会福祉協議会 上山地区社会福祉協議会 上諫早地区社会福祉協議会 北小校区社会福祉協議会 西諫早小学校区社会福祉協議会 御館山校区社会福祉協議会 本野地区社会福祉協議会 長田地区社会福祉協議会 高来地区社会福祉協議会 小長井地区社会福祉協議会 森山地区社会福祉協議会 有喜地区社会福祉協議会 真津山小校区社会福祉協議会 多良見東地区社会福祉協議会
	相対的にやりがいが低いが負担感も低い	多良見西地区社会福祉協議会 小栗地区社会福祉協議会 小野地区社会福祉協議会
	相対的にやりがいが低いが負担感が高い	(該当なし)

回答者が感じている「やりがい」と「負担感」について、地区（校区）社会福祉協議会間の相対的な分析となる。

全体の平均点は、「やりがい」が0.5点、「負担感」が-0.4点となっており、「やりがい」と「負担感」のバランスが均衡していることが分かります。前回調査結果では、「やりがい」が5.2点、負担感が-1.8点で「やりがい」が「負担感」を大きく上回っていたことから、前回調査に比べて「やりがい」が減少すると同時に「負担感」が増加していることが分かります。

「やりがいが高いが負担感も高い」という特徴を有する象限に位置するのは、飯盛地区社会福祉協議会、西諫早地区社会福祉協議会、喜々津地区社会福祉協議会となっています。ただし、喜々津地区社会福祉協議会の負担感市全体(-0.4)とほぼ同程度(0.0)となっています。

一方、「相対的にやりがいが低いが負担感も低い」という特徴を有する象限に位置するのは多良見西地区社会福祉協議会、小栗地区社会福祉協議会、小野地区社会福祉協議会となっています。ただし、小野地区社会福祉協議会のやりがいは市全体(0.5)とほぼ同程度(0.0)となっています。

「相対的にやりがいが高いが負担感が高い」という特徴を有する象限 に位置する地区（校区）社会福祉協議会はありませんでした。

「やりがいが高いものの負担感相対的に低い」という特徴を有する象限 に位置するのはその他の地区社会福祉協議会となっています。

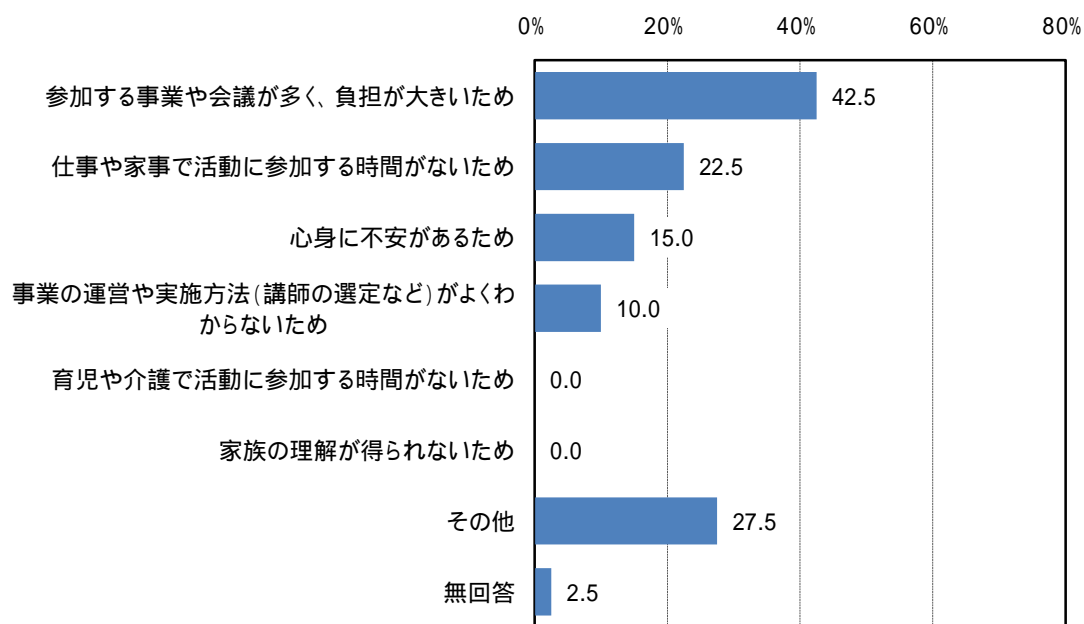
地域の活動における「やりがい」と「負担感」の関係



	やりがい	負担感
市全体	0.5	-0.4
諫小地区社会福祉協議会	16.6	-16.6
上山地区社会福祉協議会	12.5	-1.8
上諫早地区社会福祉協議会	22.2	-11.1
北小校区社会福祉協議会	15.6	-1.8
西諫早小学校区社会福祉協議会	18.4	-10.2
西諫早地区社会福祉協議会	6.1	2.0
御館山校区社会福祉協議会	2.5	-9.9
本野地区社会福祉協議会	10.2	-10.2
長田地区社会福祉協議会	6.0	-8.0
高来地区社会福祉協議会	12.3	-3.7
小長井地区社会福祉協議会	7.4	-6.2
森山地区社会福祉協議会	16.7	-5.6
小野地区社会福祉協議会	0.0	-10.0
有喜地区社会福祉協議会	16.3	-12.2
小栗地区社会福祉協議会	-4.0	-8.0
飯盛地区社会福祉協議会	16.3	6.1
真津山小校区社会福祉協議会	16.3	-14.3
多良見東地区社会福祉協議会	16.0	-10.0
喜々津地区社会福祉協議会	24.0	0.0
多良見西地区社会福祉協議会	-3.6	-12.5

問 9 で負担感を「強く感じている」または「感じている」と回答した方にお尋ねします。

問 9-1 その理由は何ですか。

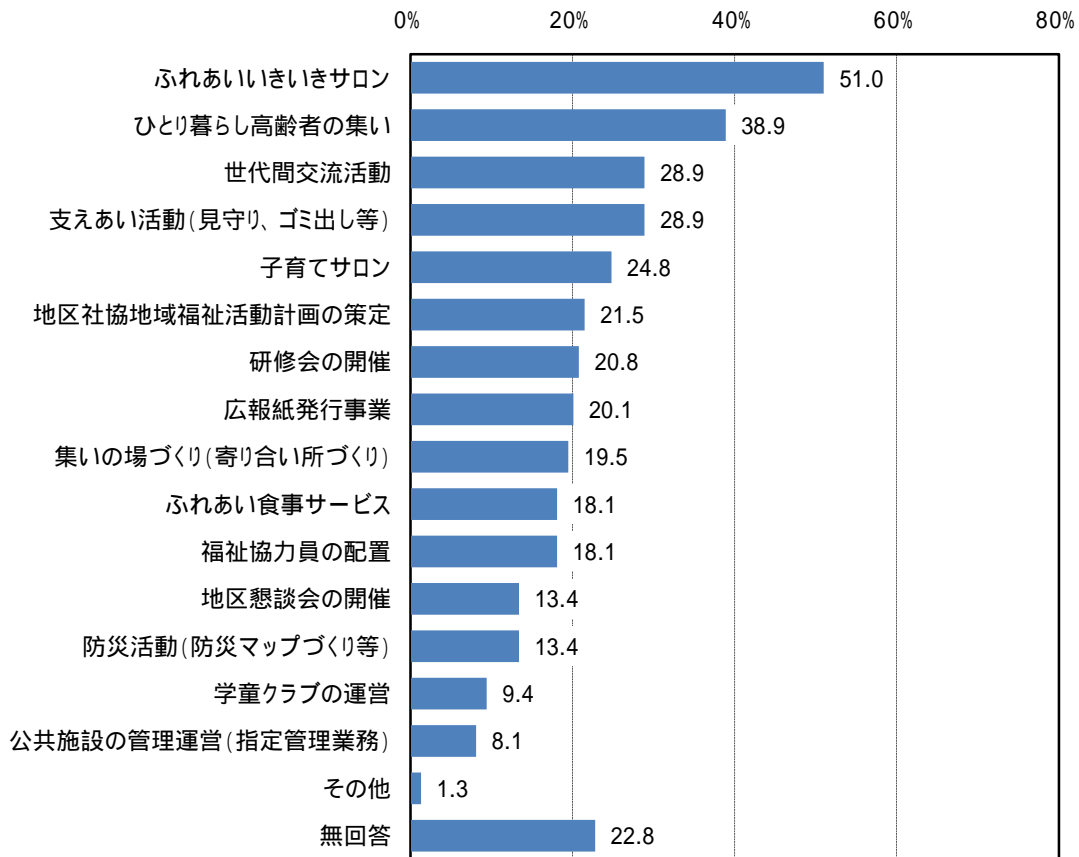


計: 40人

問 9 で負担感を「強く感じている」または「感じている」と回答した方に、その理由は何ですかとたずねたところ、「参加する事業や会議が多く、負担が大きい」と回答した人が最も多く、42.5%となっています。次いで、「仕事や家事で活動に参加する時間がない」(22.5%)、「心身に不安がある」(15.0%)と続いています。

問 10 地区(校区)社会福祉協議会の活動について、「現在取り組んでいる活動の中で特に重要と思う活動」及び「今後力を入れていく必要があると思う活動」は何ですか。

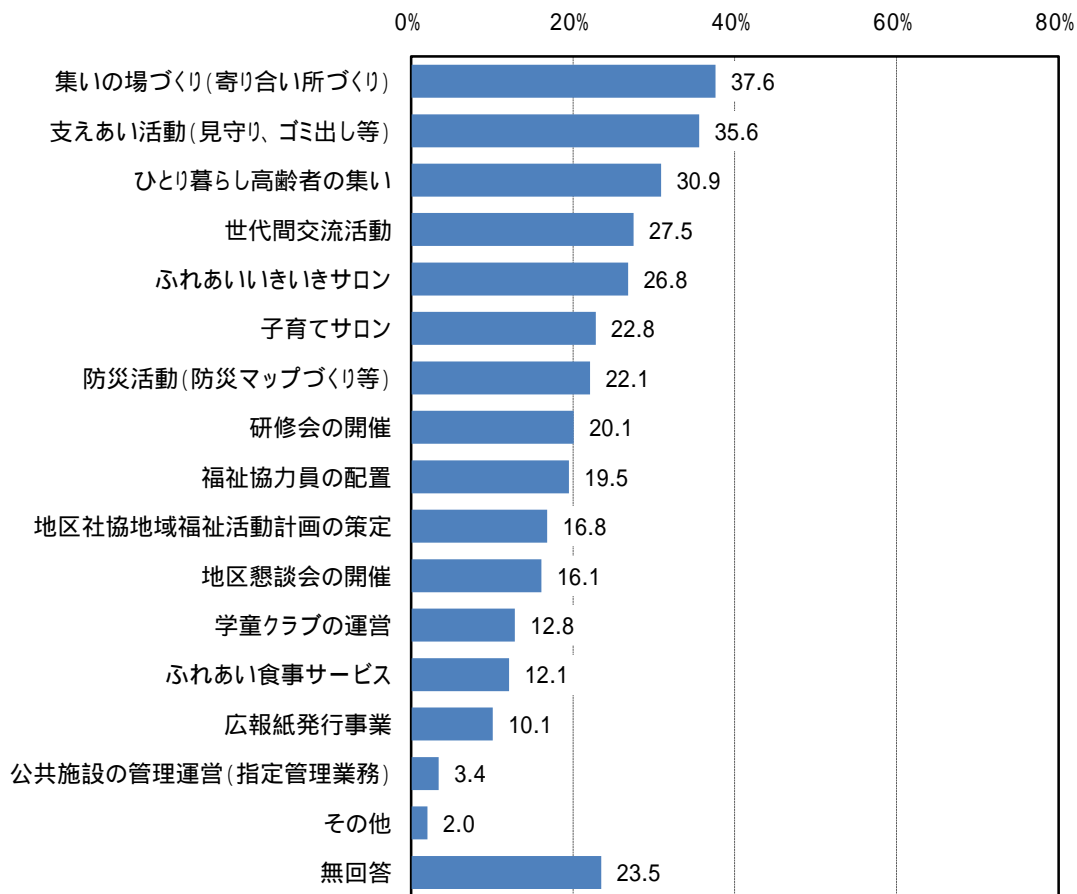
現在取り組んでいる活動の中で特に重要と思う活動



計: 149人

地区(校区)社会福祉協議会の活動について、「現在取り組んでいる活動の中で特に重要と思う活動」及び「今後力を入れていく必要があると思う活動」は何ですかとたずねたところ、現在取り組んでいる活動の中で特に重要と思う活動では、「ふれあいいいききサロン」と回答した人が最も多く、51.0%となっています。次いで、「ひとり暮らし高齢者の集い」(38.9%)、「世代間交流活動」(28.9%)と続いています。

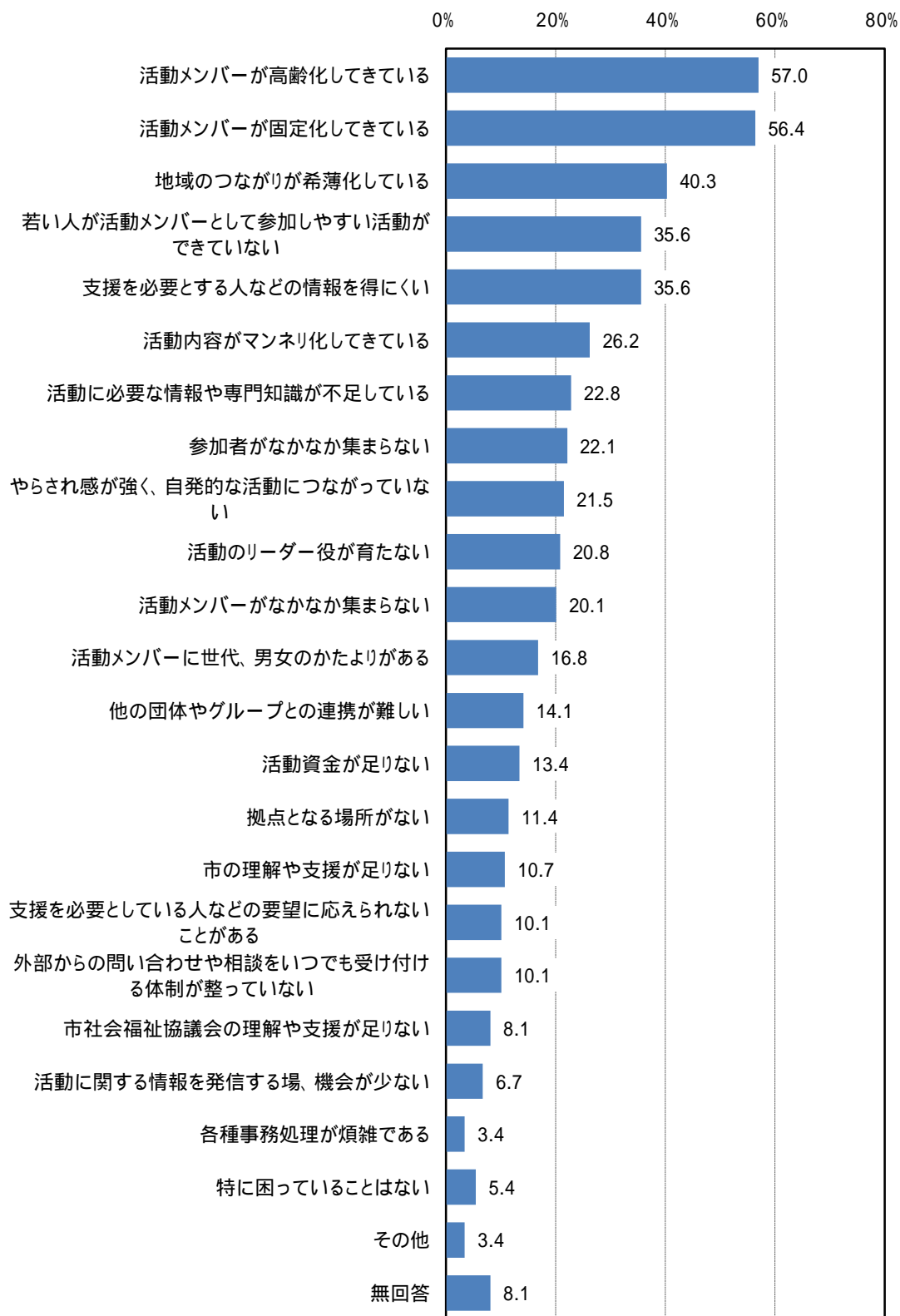
今後力を入れていく必要があると思う活動



計：149人

地区(校区)社会福祉協議会の活動について、「現在取り組んでいる活動の中で特に重要と思う活動」及び「今後力を入れていく必要があると思う活動」は何ですかとたずねたところ、今後力を入れていく必要があると思う活動では、「集いの場づくり(寄り合い所づくり)」と回答した人が最も多く、37.6%となっています。次いで、「支えあい活動(見守り、ゴミ出し等)」(35.6%)、「ひとり暮らし高齢者の集い」(30.9%)と続いています。

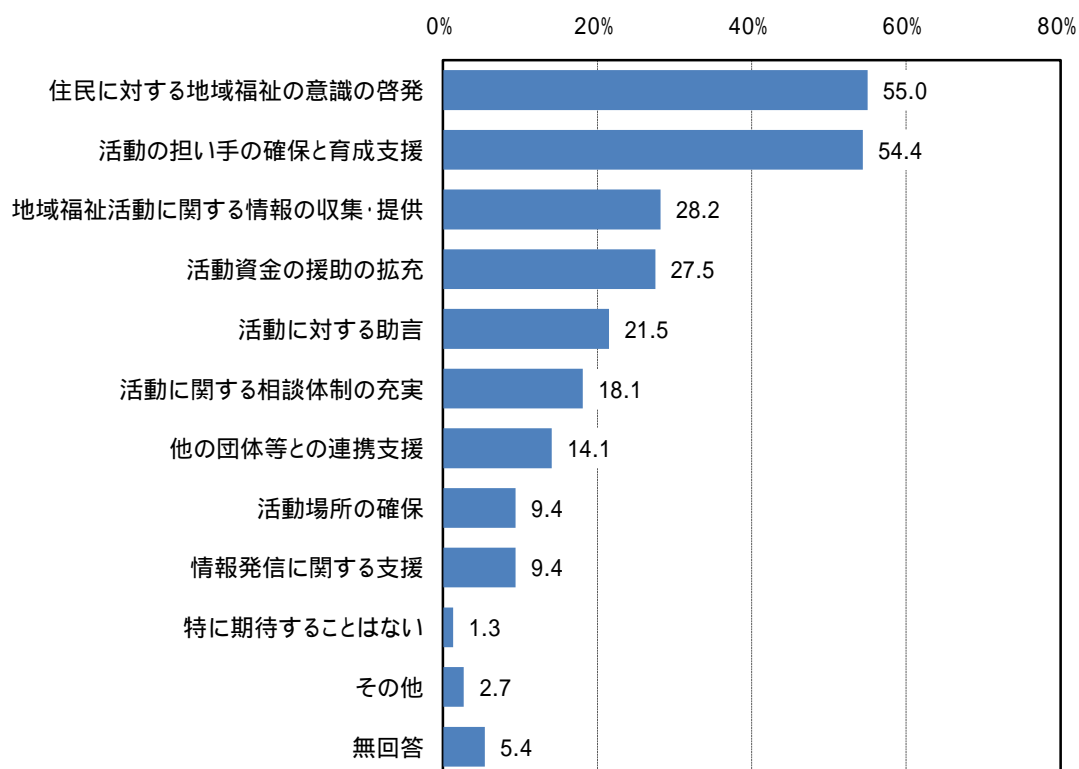
問 11 現在、地区（校区）社会福祉協議会の活動をしている中で困っていることは何ですか。



計：149人

現在、地区（校区）社会福祉協議会の活動をしている中で困っていることは何ですかとたずねたところ、「活動メンバーが高齢化してきている」と回答した人が最も多く、57.0%となっています。次いで、「活動メンバーが固定化してきている」(56.4%)、「地域のつながりが希薄化している」(40.3%)と続いています。

問 12 今後、地区（校区）社会福祉協議会の活動を進めていくにあたり、諫早市や諫早市社会福祉協議会に期待することは何ですか。

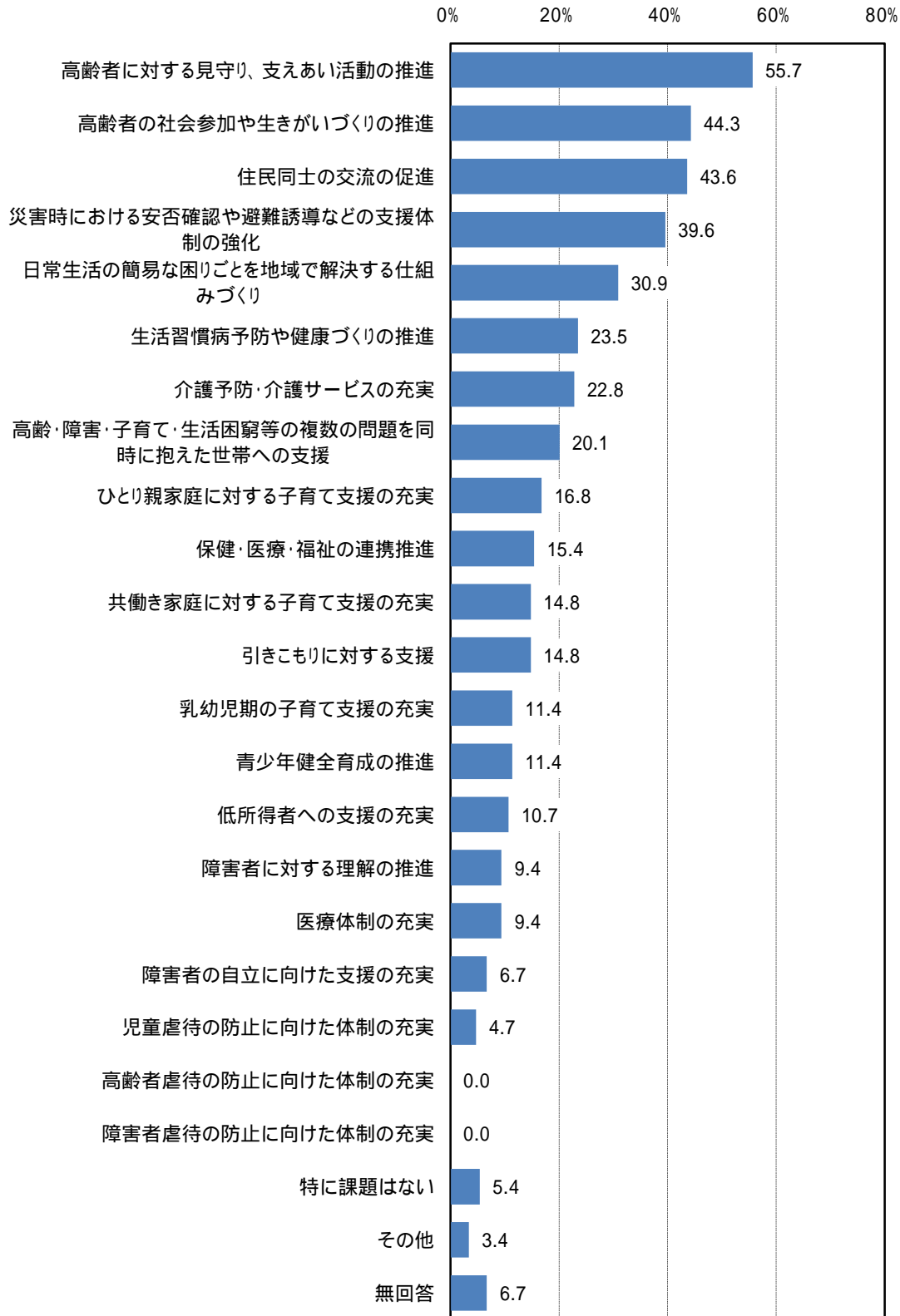


計：149人

今後、地区（校区）社会福祉協議会の活動を進めていくにあたり、諫早市や諫早市社会福祉協議会に期待することは何ですかとたずねたところ、「住民に対する地域福祉の意識の啓発」と回答した人が最も多く、55.0%となっています。次いで、「活動の担い手の確保と育成支援」(54.4%)、「地域福祉活動に関する情報の収集・提供」(28.2%)と続いています。

～ お住まいの地域の課題について ～

問 13 あなたがお住まいの地域には、どのような課題があると思いますか。

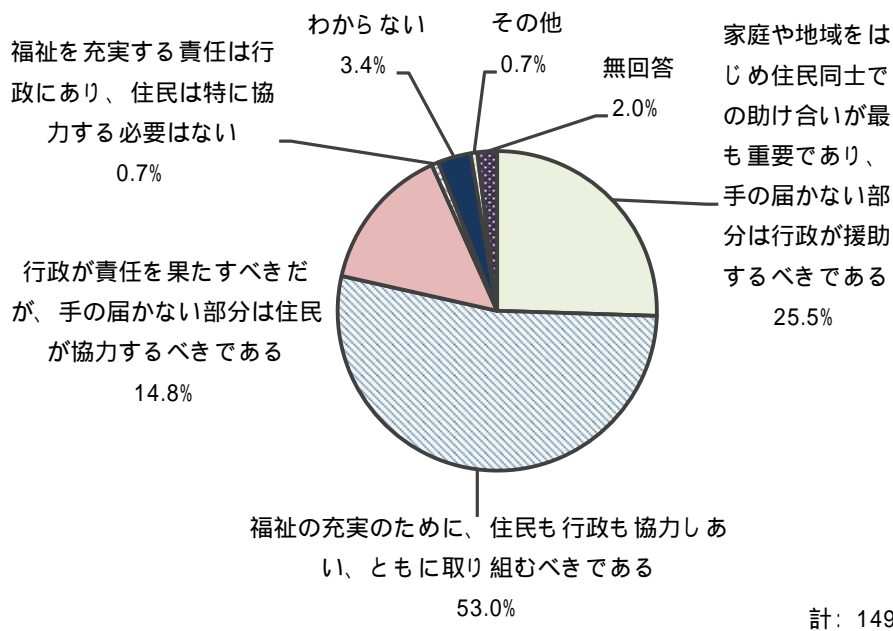


計：149人

お住まいの地域には、どのような課題があると思いますかとたずねたところ、「高齢者に対する見守り、支えあい活動の推進」と回答した人が最も多く 55.7、%となっています。次いで、「高齢者の社会参加や生きがいの推進」(44.3%)、「住民同士の交流の促進」(43.6%)と続いています。

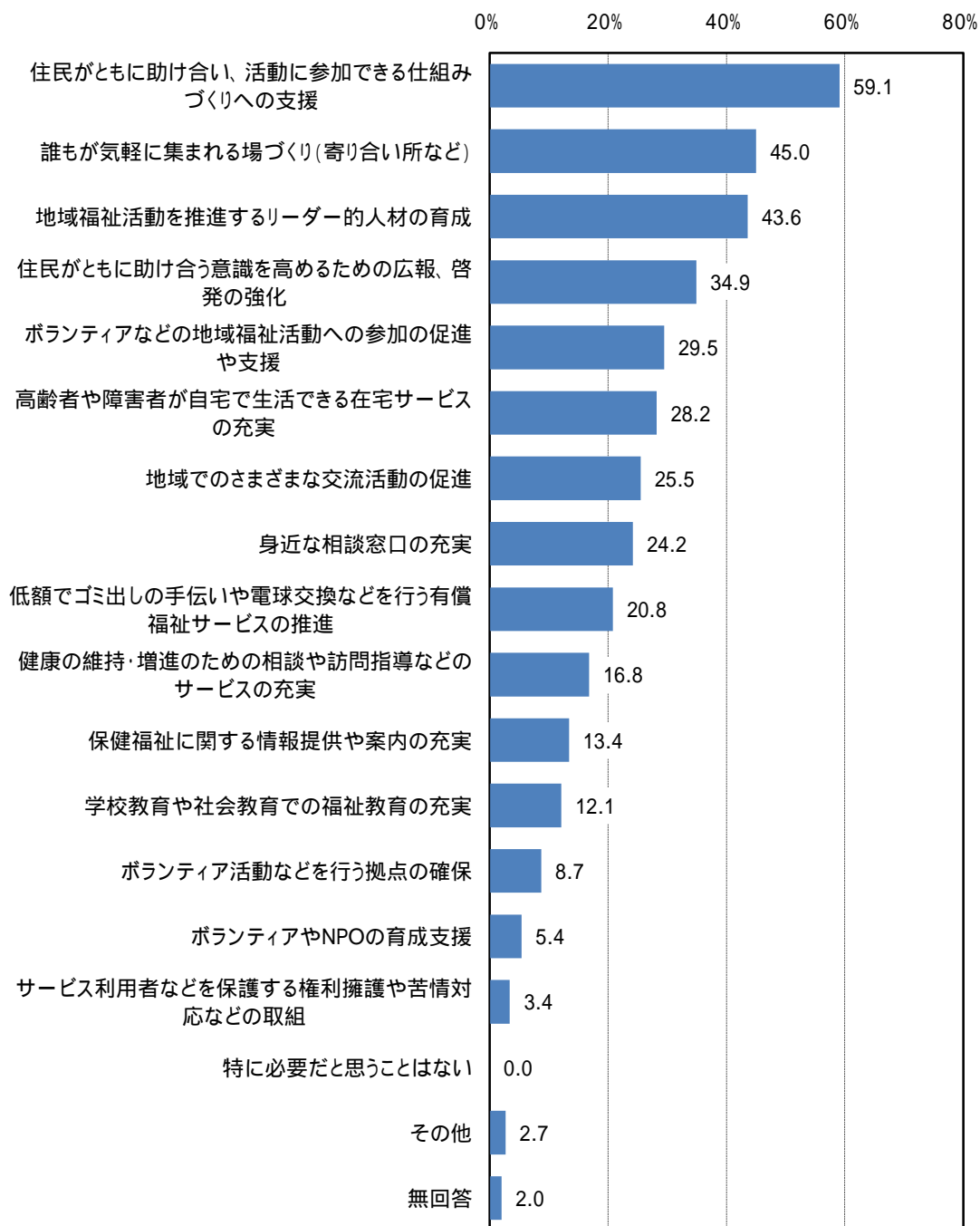
～ 地域福祉の今後の在り方について ～

問 14 地域における福祉を充実させていく上で、行政と住民との関係は、どのようなものが望ましいと思いますか。



地域における福祉を充実させていく上で、行政と住民との関係は、どのようなものが望ましいと思いますかとたずねたところ、「福祉の充実のために、住民も行政も協力しあい、ともに取り組むべきである」と回答した人の割合が最も高く、53.0%となっています。次いで、「家庭や地域をはじめ住民同士での助け合いが最も重要であり、手の届かない部分は行政が援助するべきである」(25.5%)、「行政が責任を果たすべきだが、手の届かない部分は住民が協力するべきである」(14.8%)と続いています。

問 15 今後、地域での助け合いを推進していくために、どのような施策が必要だと思いますか。

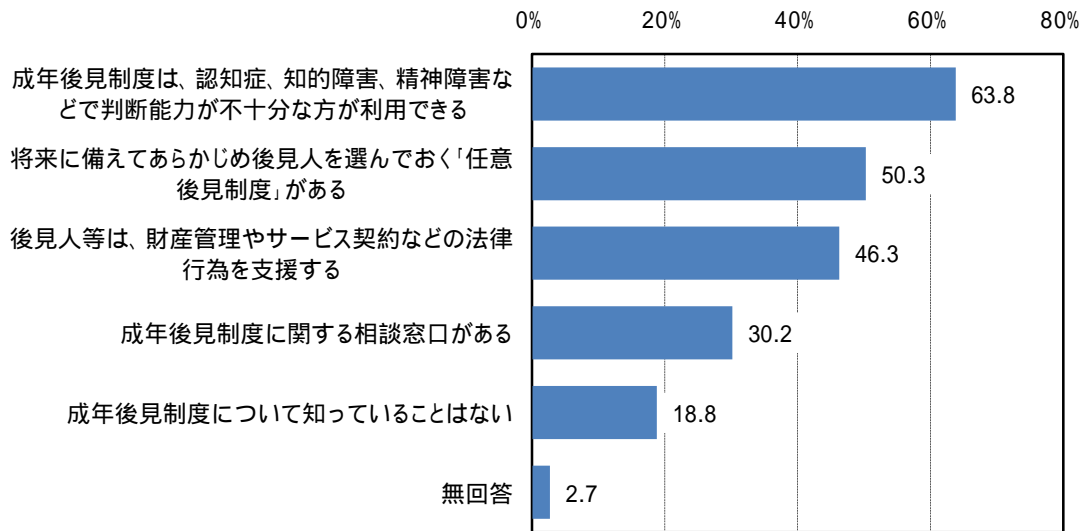


計: 149人

今後、地域での助け合いを推進していくために、どのような施策が必要だと思いますかとたずねたところ、「住民がともに助け合い、活動に参加できる仕組みづくりへの支援」と回答した人が最も多く、59.1%となっています。次いで、「誰もが気軽に集まれる場づくり(寄り合い所など)」、(45.0%)、「地域福祉活動を推進するリーダー的人材の育成」(43.6%)と続いています。

～ 成年後見制度について ～

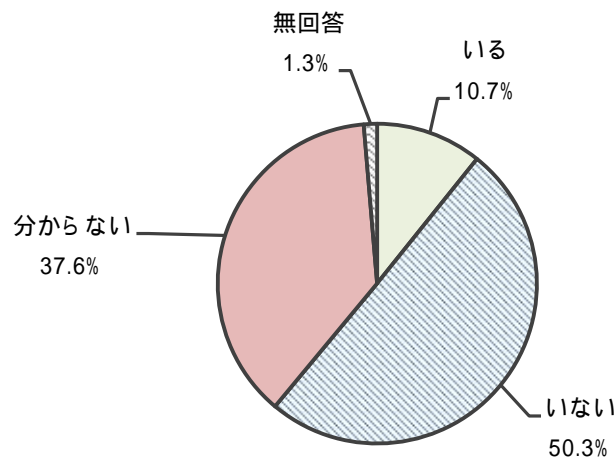
問 16 成年後見制度について、ご存知のことを下記から選んでください。



計: 149人

成年後見制度について知っていることをたずねたところ、「成年後見制度は、認知症、知的障害、精神障害などで判断能力が不十分な方が利用できる」と回答した人が最も多く、63.8%となっています。次いで、「将来に備えてあらかじめ後見人を選んでおく「任意後見制度」がある」(50.3%)、「後見人等は、財産管理やサービス契約などの法律行為を支援する」(46.3%)と続いています。

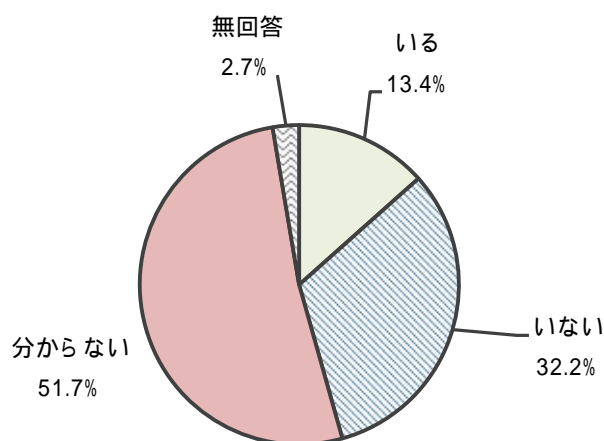
問 17 あなたの身近な人に、現在、成年後見制度の利用が必要と思われる方は何人いますか。



計: 149人

身近な人に、現在、成年後見制度の利用が必要と思われる方は何人いますかとたずねたところ、「いる」と回答した人の割合は10.7%となっており、そのうち、「1人」と回答した人の割合は62.5%(10人)、「2人」と回答した人の割合は18.8%(3人)、「3人以上」と回答した人の割合は12.5%(2人)となっています。

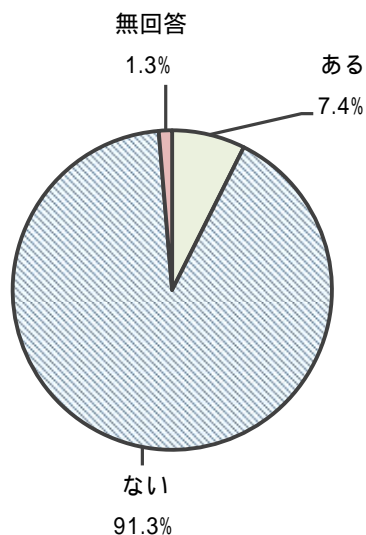
問 18 あなたの身近な人に、近い将来、成年後見制度の利用が必要と思われる方は何人いますか。



計: 149人

身近な人に、近い将来、成年後見制度の利用が必要と思われる方は何人いますかとたずねたところ、「いる」と回答した人の割合は13.4%となっており、そのうち、「1人」と回答した人の割合は55.0%（11人）、「2人」と回答した人の割合は25.0%（5人）、「3人以上」と回答した人の割合は10.0%（2人）となっています。

問 19 成年後見制度に関連する事項について、これまでに相談を受けたことはありますか。

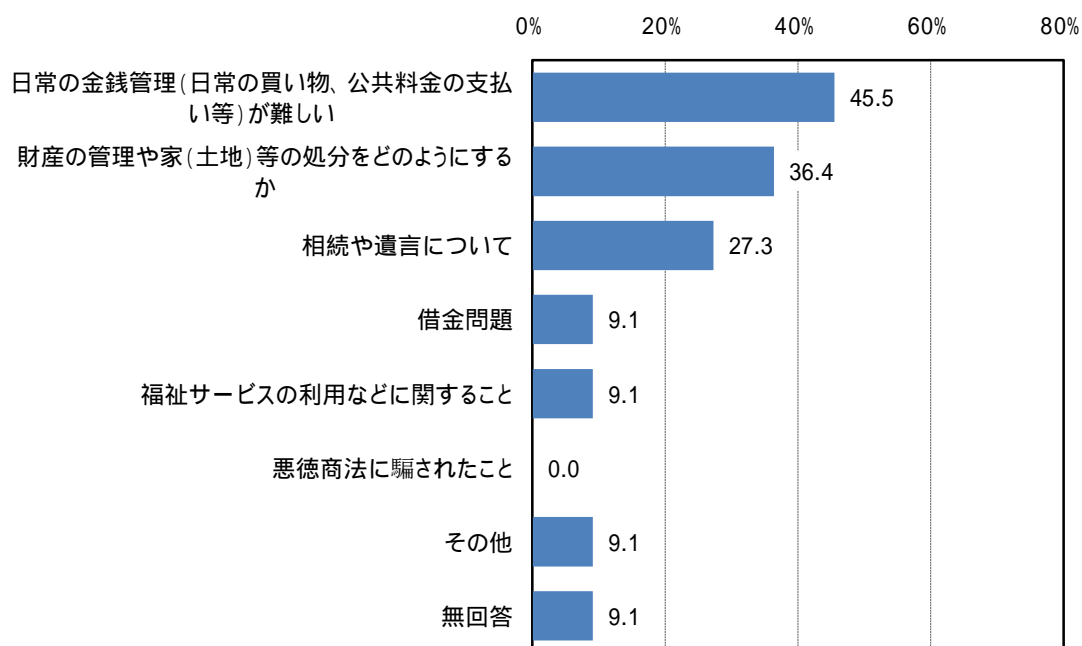


計: 149人

成年後見制度に関連する事項について、これまでに相談を受けたことはありますかとたずねたところ、「ある」と回答した人の割合は7.4%となっています。一方、「ない」と回答した人の割合は91.3%となっています。

問 19で「ある」と回答した方にお尋ねします。

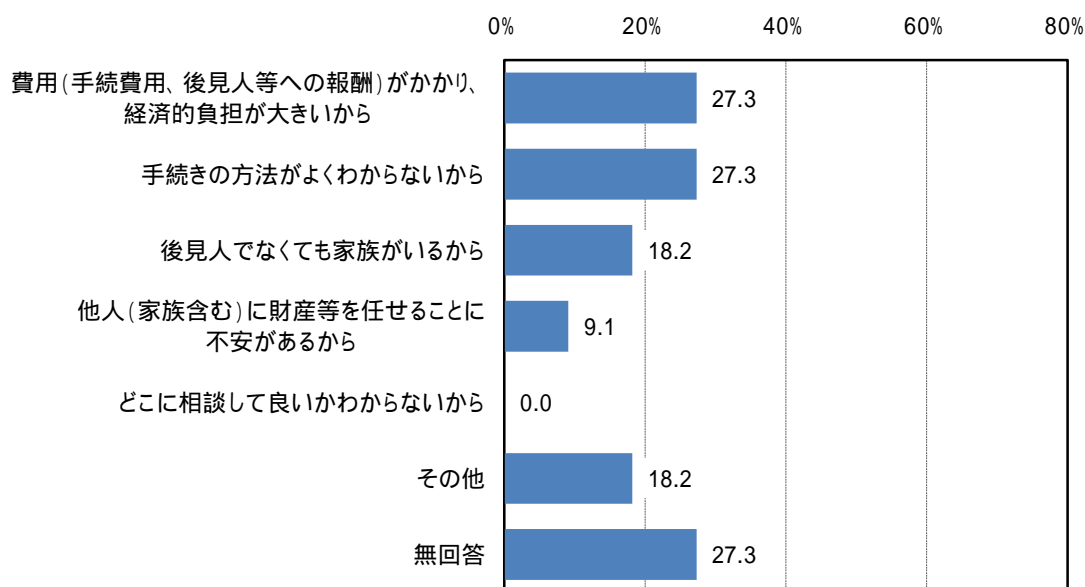
問 19-1 相談内容はどのような事ですか。



計: 11人

問 19で「ある」と回答した方に、相談内容はどのような事ですかとたずねたところ、「日常の金銭管理(日常の買い物、公共料金の支払い等)が難しい」と回答した人が最も多く、45.5%となっています。次いで、「財産の管理や家(土地)等の処分をどのようにするか」(36.4%)、「相続や遺言について」(27.3%)と続いています。

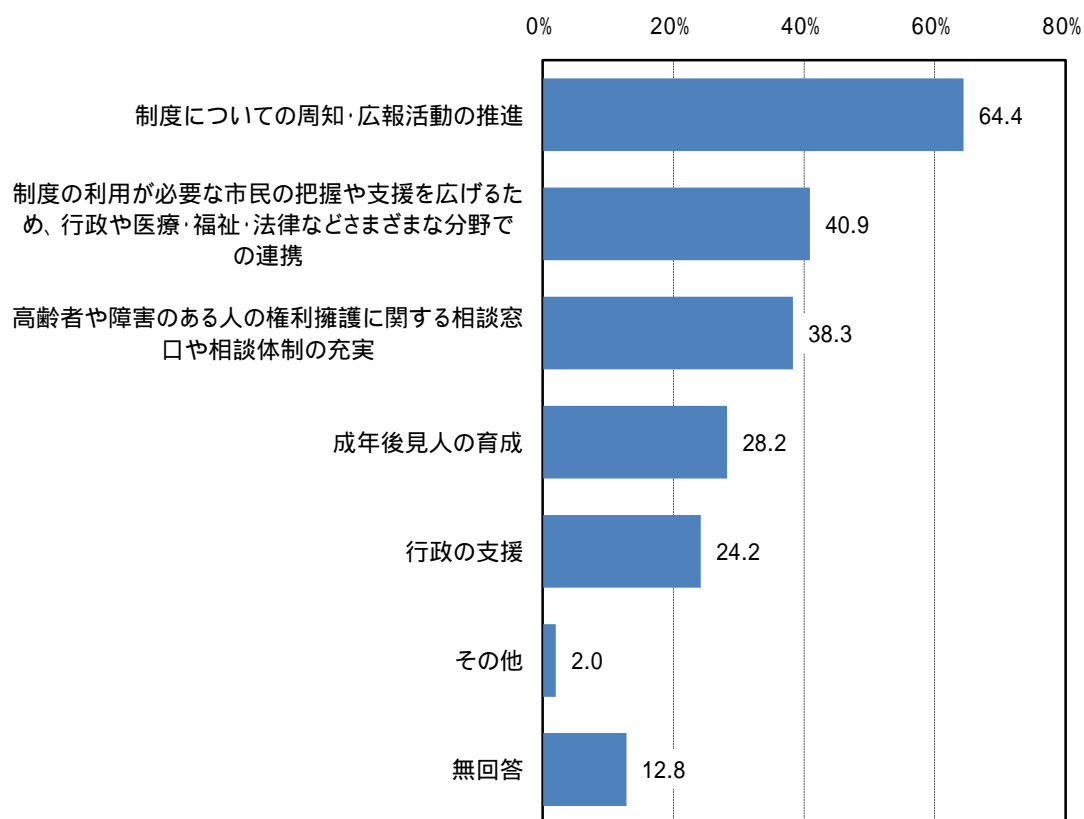
問 20 相談はあったが成年後見制度の利用に至っていない場合、その理由を教えてください



計: 11人

相談はあったが成年後見制度の利用に至っていない場合、その理由を教えてくださいとたずねたところ、「費用(手続費用、後見人等への報酬)がかかり、経済的負担が大きいから」、「手続きの方法がよくわからないから」と回答した人が最も多く、27.3%となっています。次いで、「後見人でなくても家族がいるから」(18.2%)が続いています。

問 21 今後、成年後見制度の利用促進・充実を図っていくためにはどのようなことが必要だと思いますか。

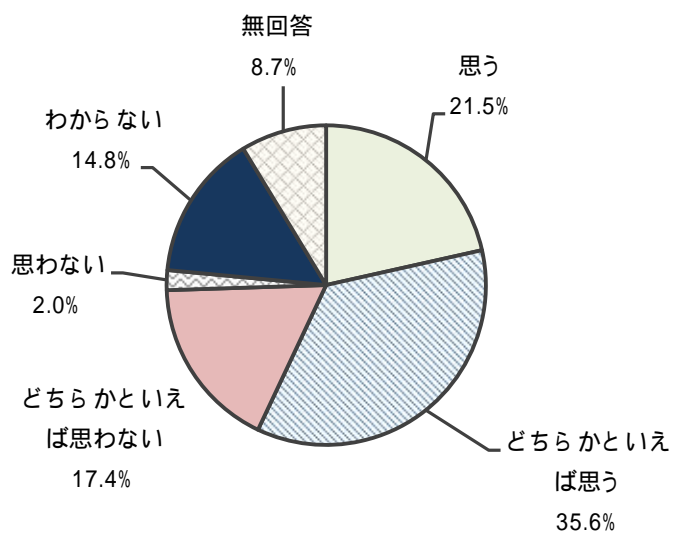


計：149人

今後、成年後見制度の利用促進・充実を図っていくためにはどのようなことが必要だと思いますかとたずねたところ、「制度についての周知・広報活動の推進」と回答した人が最も多く、64.4%となっています。次いで、「制度の利用が必要な市民の把握や支援を広げるため、行政や医療・福祉・法律などさまざまな分野での連携」(40.9%)、「高齢者や障害のある人の権利擁護に関する相談窓口や相談体制の充実」(38.3%)と続いています。

～ 再犯防止対策について ～

問 22 あなたは、犯罪をした人の立ち直りに協力したいと思いますか。

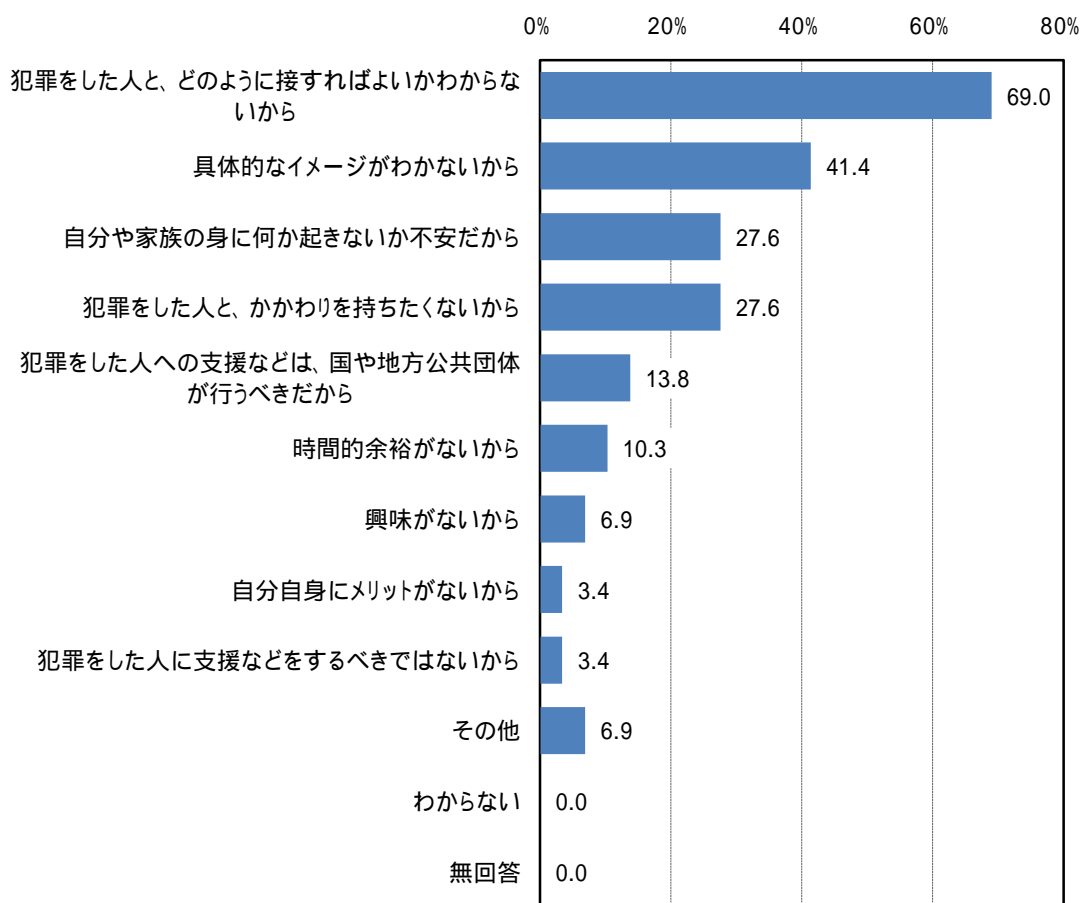


計：149人

犯罪をした人の立ち直りに協力したいと思いますかとたずねたところ、「思う」または「どちらかといえば思う」と回答した人の割合は 57.1%となっています。一方、「思わない」または「どちらかといえば思わない」と回答した人の割合は 19.4%となっています。

問 22 で「どちらかといえば思わない」、「思わない」と答えた方にお尋ねします。

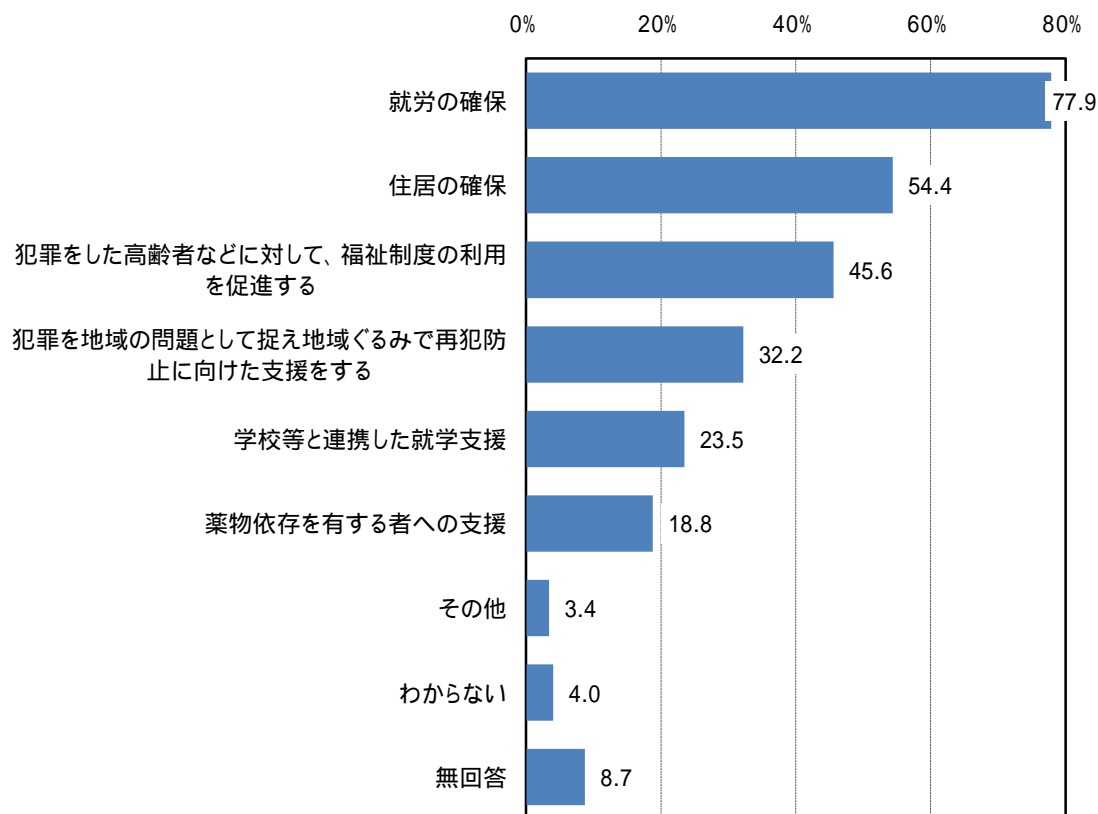
問 22-1 その理由を教えてください。



計: 29人

問 22 で「どちらかといえば思わない」、「思わない」と答えた方にその理由をたずねたところ、「犯罪をした人と、どのように接すればよいかわからないから」と回答した人が最も多く、69.0%となっています。次いで、「具体的なイメージがわからないから」(41.4%)、「自分や家族の身に何か起きないか不安だから」(27.6%)と続いています。

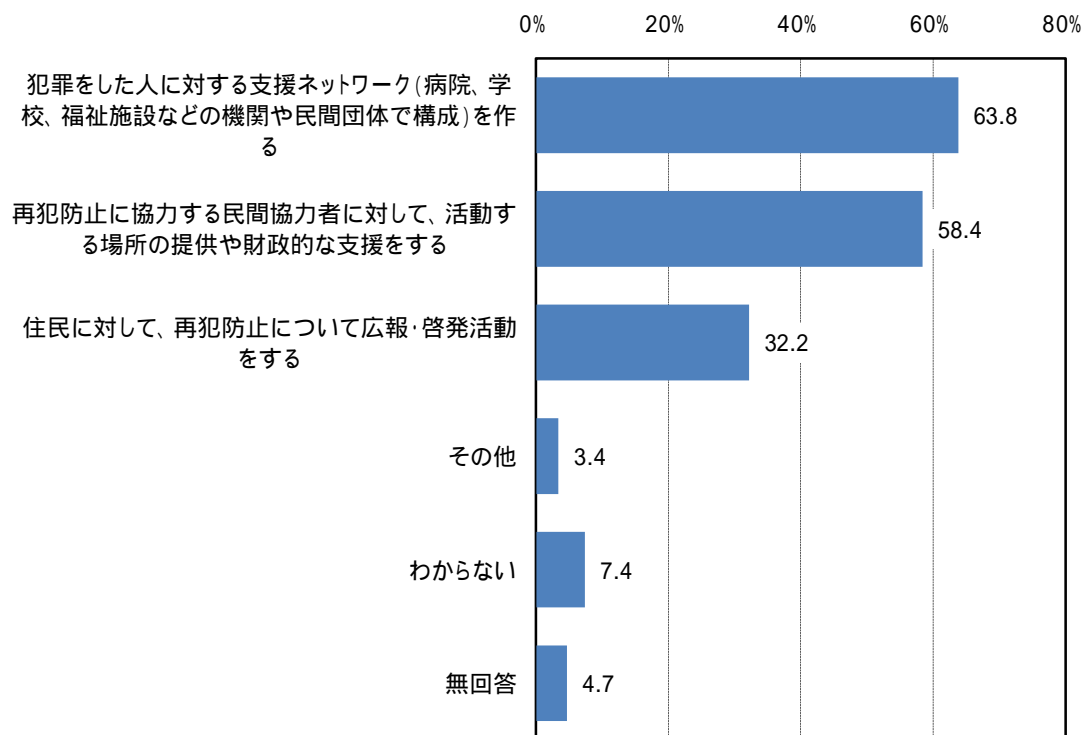
問 23 あなたは、再犯防止のために、具体的にどのような取組が必要だと思いますか。



計: 149人

再犯防止のために、具体的にどのような取組が必要だと思いますかとたずねたところ、「就労の確保」と回答した人が最も多く、77.9%となっています。次いで、「住居の確保」(54.4%)、「犯罪をした高齢者などに対して、福祉制度の利用を促進する」(45.6%)と続いています。

問 24 再犯防止のために、地方公共団体は何をするべきだと思いますか。



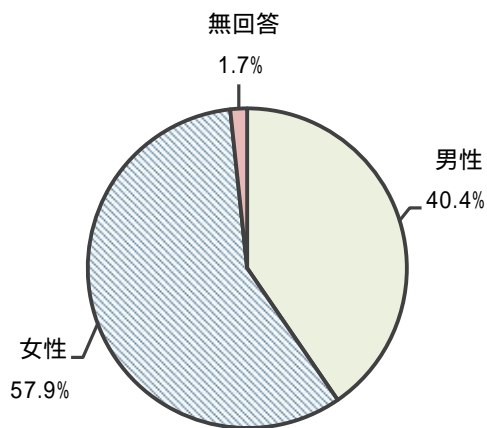
計：149人

再犯防止のために、地方公共団体は何をするべきだと思いますかとたずねたところ、「犯罪をした人に対する支援ネットワーク（病院、学校、福祉施設などの機関や民間団体で構成）を作る」と回答した人が最も多く、63.8%となっています。次いで、「再犯防止に協力する民間協力者に対して、活動する場所の提供や財政的な支援をする」（58.4%）、「住民に対して、再犯防止について広報・啓発活動をする」（32.2%）と続いています。

3. 民生委員・児童委員アンケート調査結果

～ あなたのことについて ～

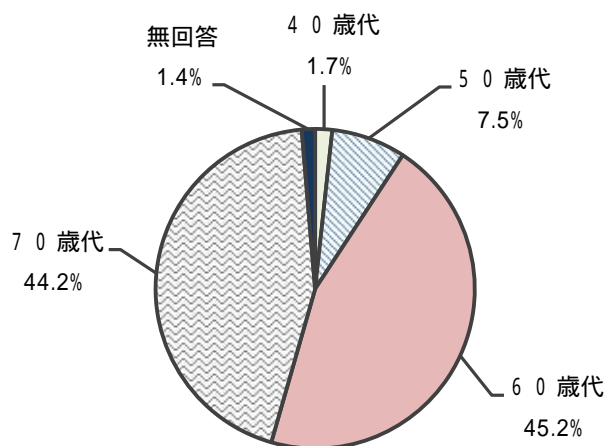
問 1 あなたの性別をお尋ねします。



計：292人

性別をたずねたところ、「男性」と回答した人の割合は 40.4%となっています。一方、「女性」と回答した人の割合は 57.9%となっています。

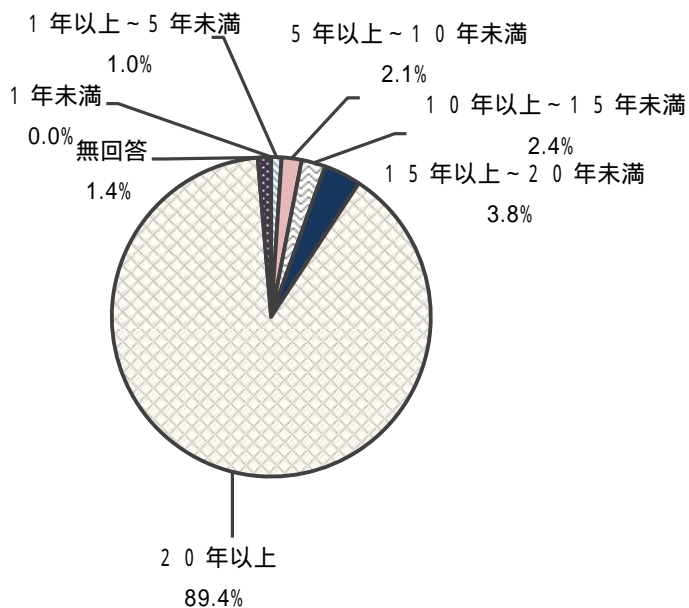
問 2 あなたの年齢をお尋ねします。



計：292人

年齢をたずねたところ、「60歳代」と回答した人の割合が最も高く、45.2%となっています。次いで、「70歳代」(44.2%)、「50歳代」(7.5%)と続いています。

問 3 あなたは、今の地域にお住まいになって何年になりますか。



計：292人

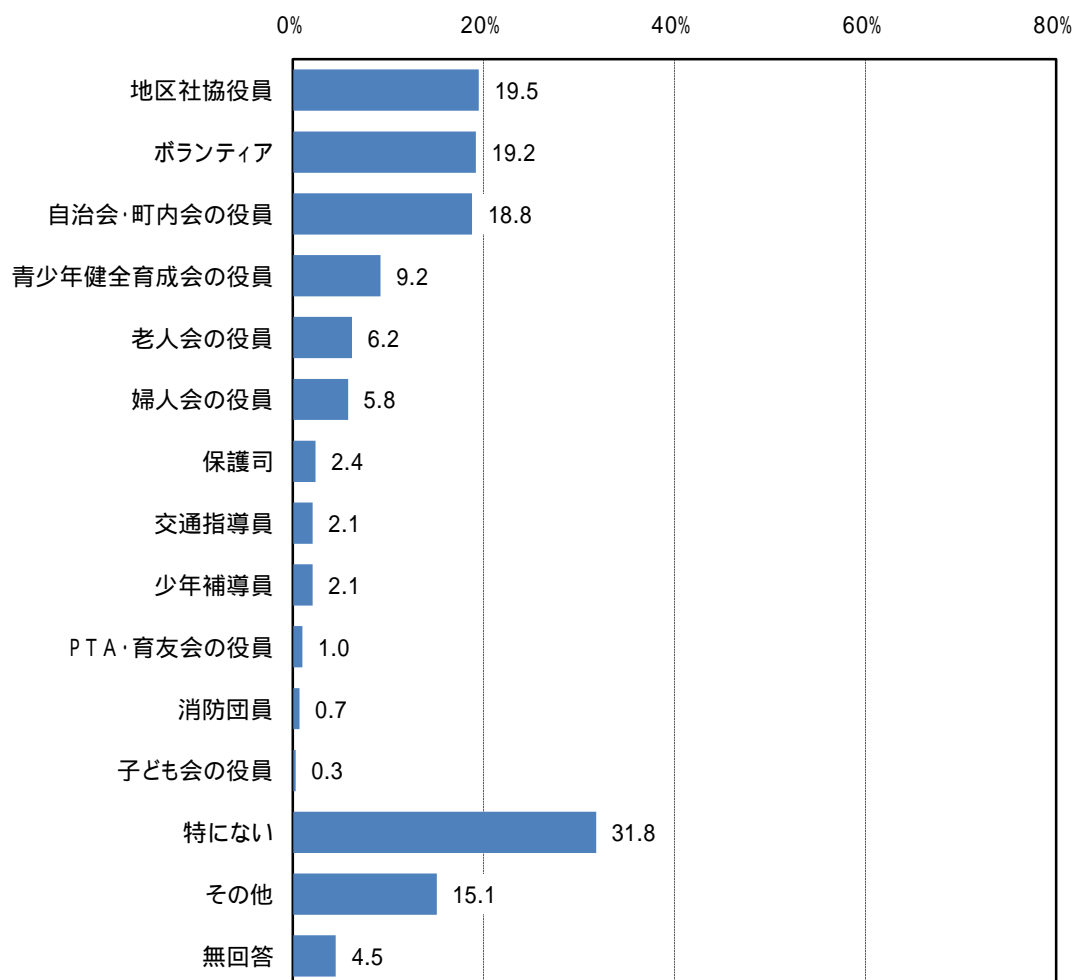
今の地域にお住まいになって何年になりますかとたずねたところ、「20年以上」と回答した人の割合が最も高く、89.4%となっています。次いで、「15年以上～20年未満」(3.8%)、「10年以上～15年未満」(2.4%)と続いています。

問 4 あなたは、どの地区（校区）で活動されていますか。

地区	人数（人）	割合（％）
中央中地区	22	7.5
上山地区	19	6.5
中央北地区	26	8.9
中央西地区	13	4.5
小栗地区	18	6.2
小野地区	14	4.8
有喜地区	11	3.8
真津山地区	20	6.8
西諫早地区	27	9.2
本野地区	7	2.4
長田地区	17	5.8
多良見地区	29	9.9
森山地区	12	4.1
飯盛地区	19	6.5
高来地区	20	6.8
小長井地区	14	4.8
無回答	4	1.4
合計	292	100

どの地区（校区）で活動されていますかとたずねたところ、「多良見地区」と回答した人の割合が最も高く、9.9%となっています。次いで、「西諫早地区」(9.2%)、「中央北地区」(8.9%)と続いています。

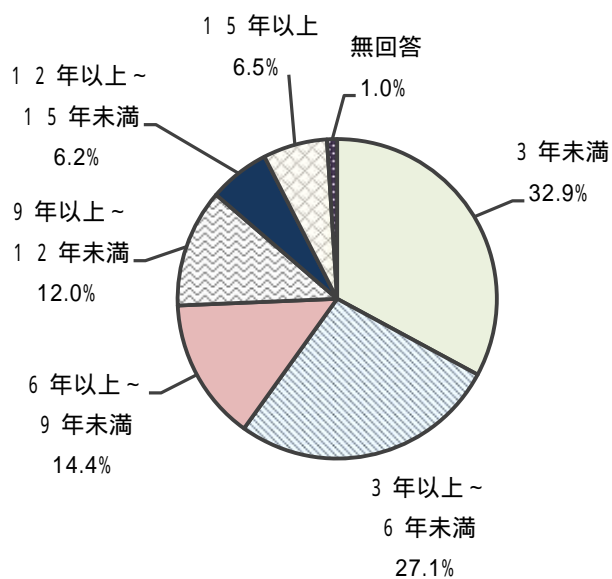
問 5 あなたは、お住まいの地域で、現在、民生委員・児童委員の活動以外に何らかの活動をされていますか。



計：292人

お住まいの地域で、現在、民生委員・児童委員の活動以外に何らかの活動をされていますかとたずねたところ、「地区社協役員」と回答した人が最も多く 19.5、%となっています。次いで、「ボランティア」(19.2%)、「自治会・町内会の役員」(18.8%)と続いています。

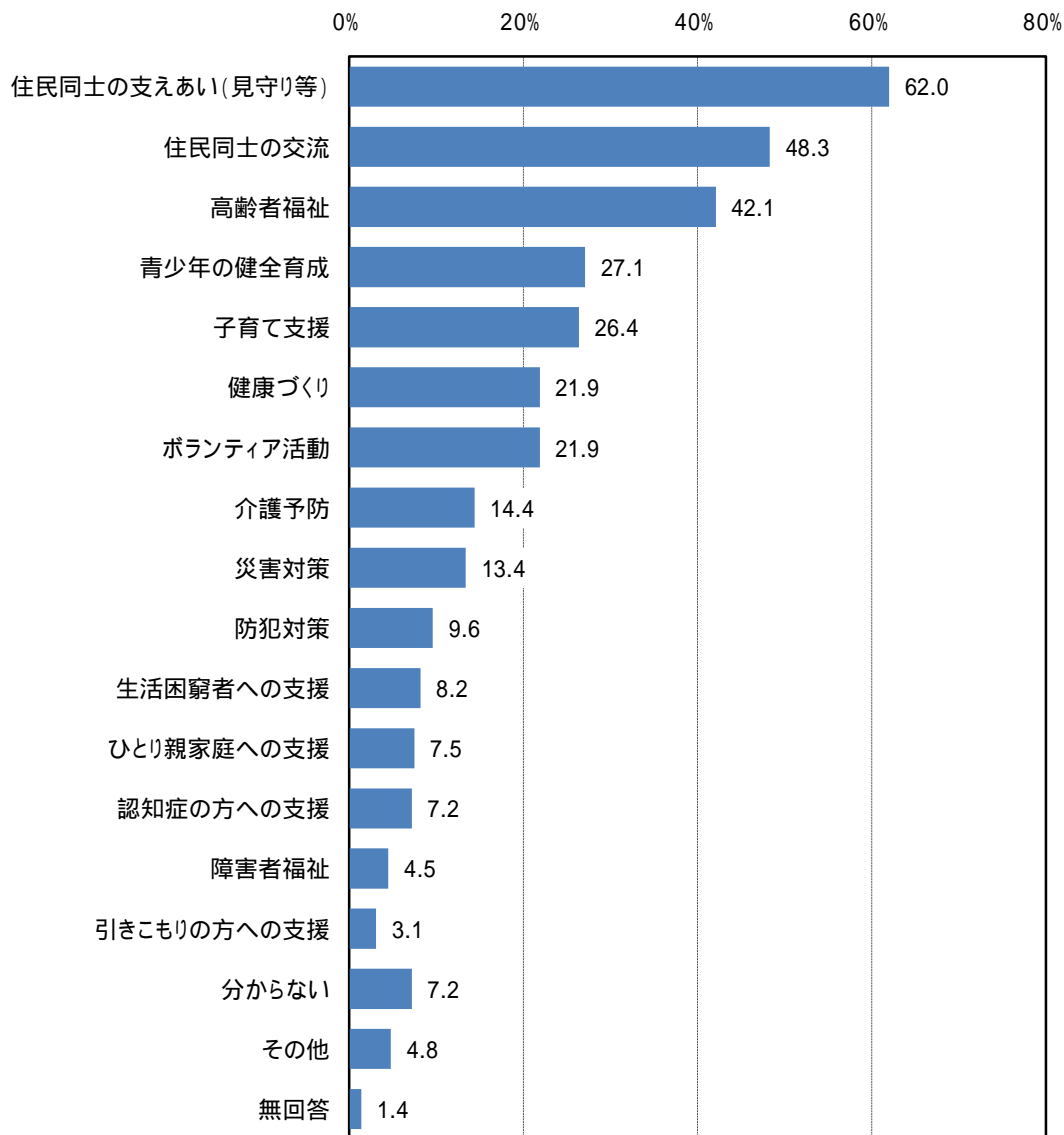
問 6 あなたは、民生委員・児童委員を何年続けられていますか。



計：292人

民生委員・児童委員を何年続けられていますかとたずねたところ、「3年未満」と回答した人の割合が最も高く、32.9%となっています。次いで、「3年以上～6年未満」(27.1%)、「6年以上～9年未満」(14.4%)と続いています。

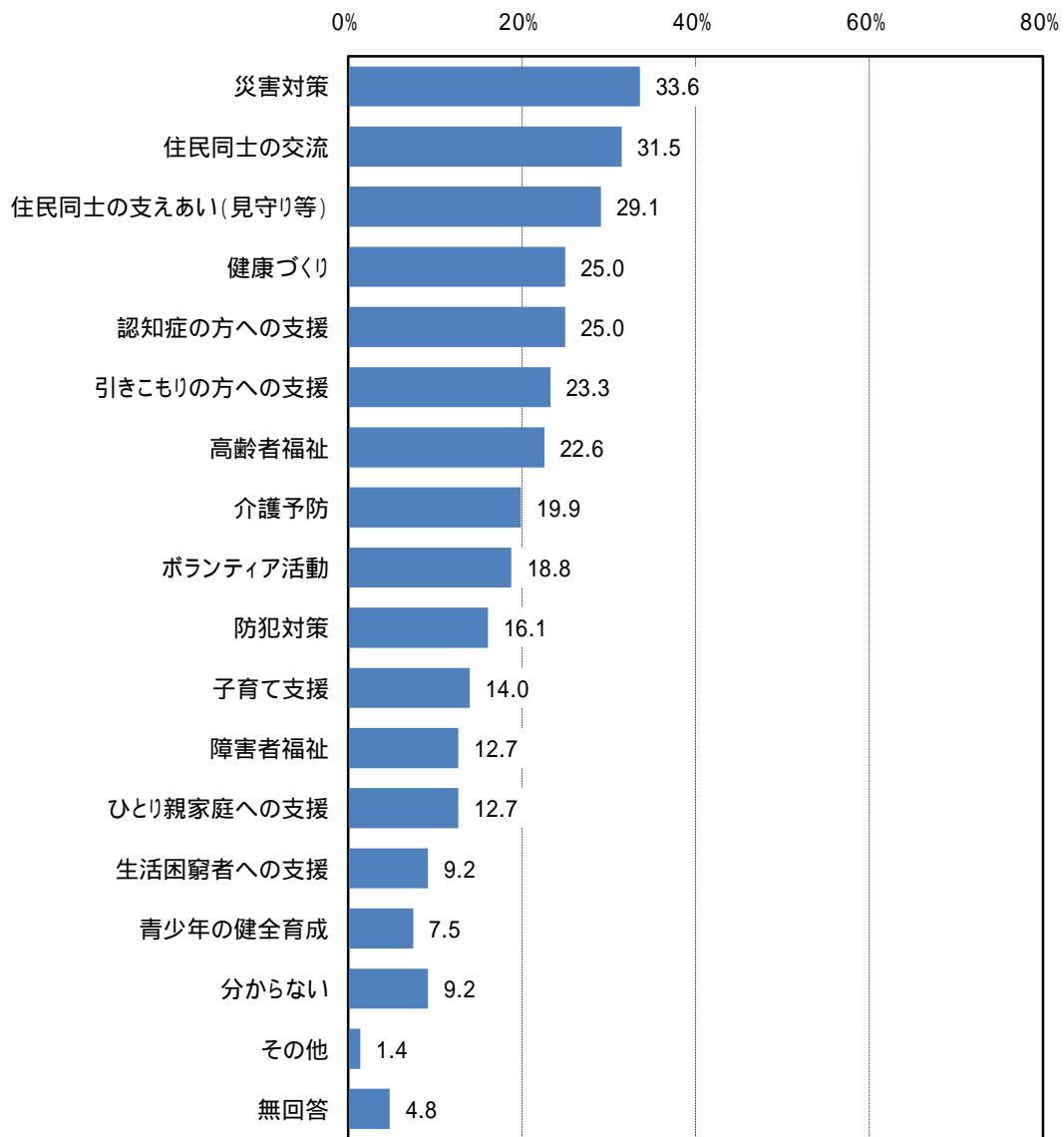
問 7 あなたの地域で充実している福祉活動は何ですか。



計: 292人

地域で充実している福祉活動は何ですかとたずねたところ、「住民同士の支えあい(見守り等)」と回答した人が最も多く、62.0%となっています。次いで、「住民同士の交流」(48.3%)、「高齢者福祉」(42.1%)と続いています。

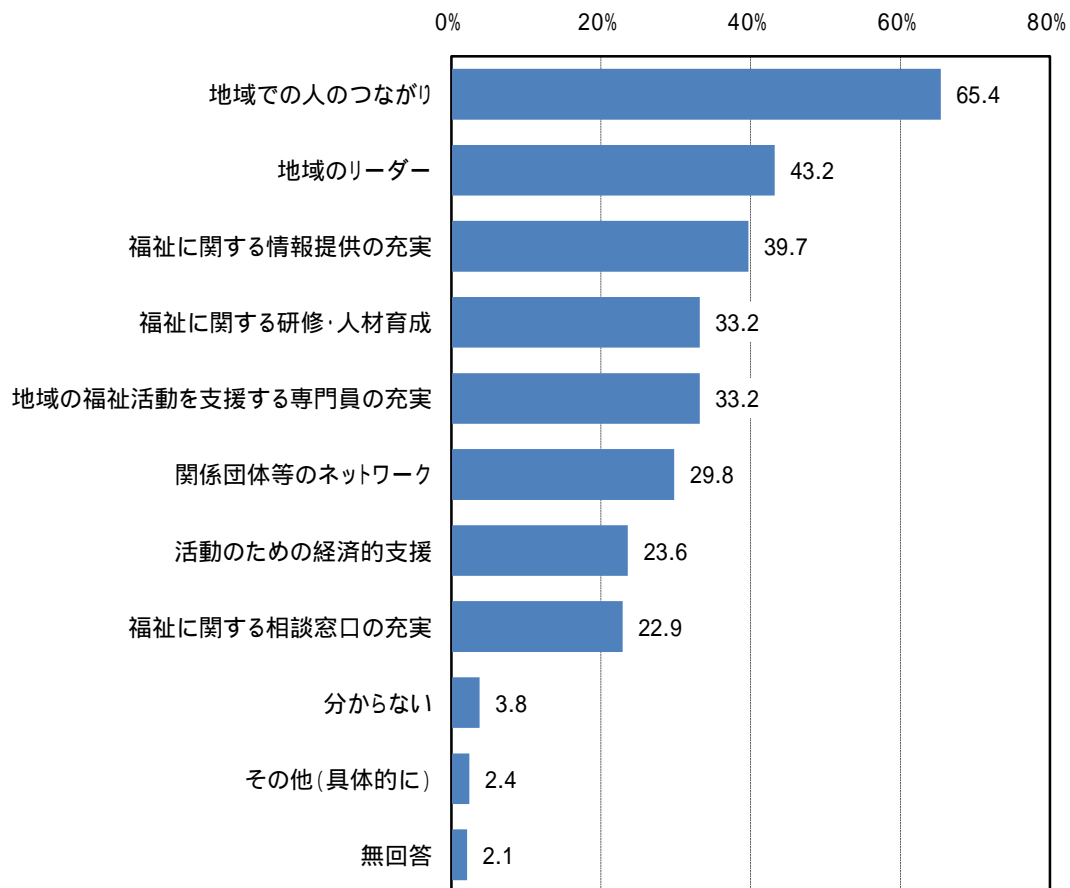
問 8 あなたの地域で不足している（今後、充実していく必要がある）福祉活動は何ですか。



計：292人

地域で不足している（今後、充実していく必要がある）福祉活動は何ですかとたずねたところ、「災害対策」と回答した人が最も多く、33.6%となっています。次いで、「住民同士の交流」(31.5%)、「住民同士の支えあい（見守り等）」(29.1%)と続いています。

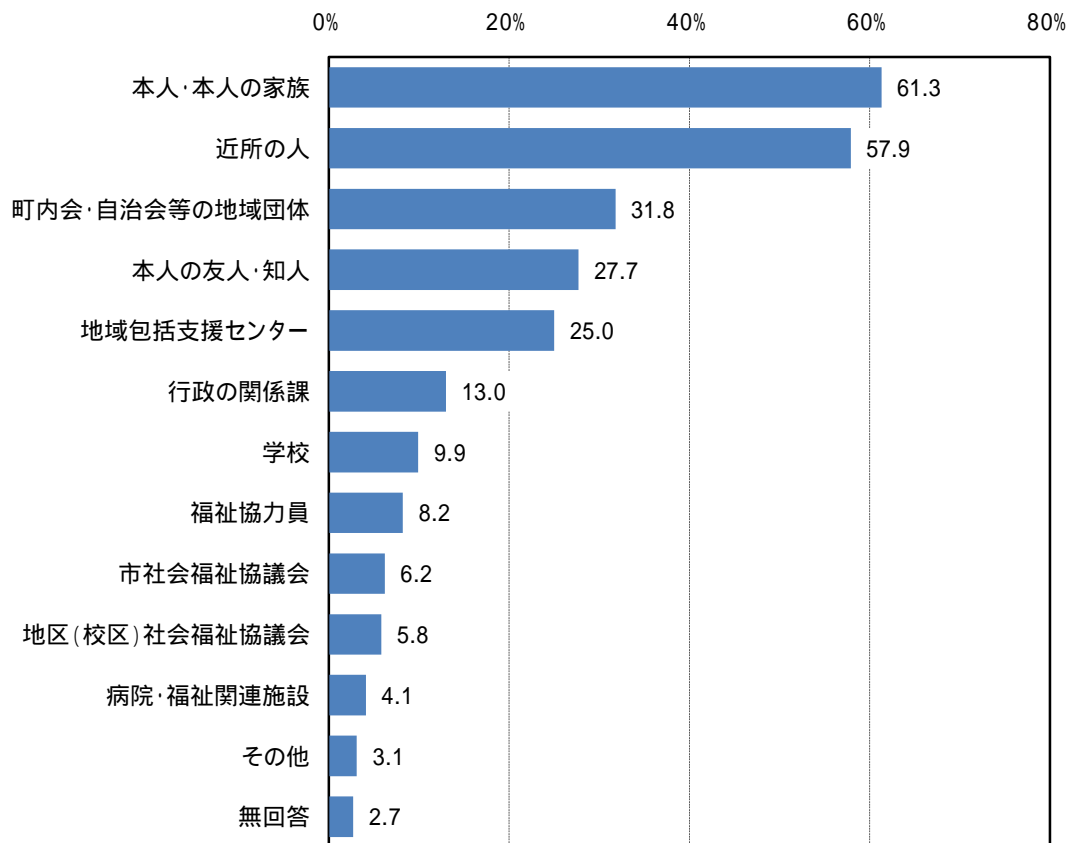
問 9 あなたの地域の福祉活動について、今後、充実していくためには、何が必要だと思いますか。



計：292人

地域の福祉活動について、今後、充実していくためには、何が必要だと思いますかとたずねたところ、「地域での人のつながり」と回答した人が最も多く、65.4%となっています。次いで、「地域のリーダー」(43.2%)、「福祉に関する情報提供の充実」(39.7%)と続いています。

問 10 あなたは、地域の方が抱えている悩みや相談を、誰（どこ）から受けることが多いですか。

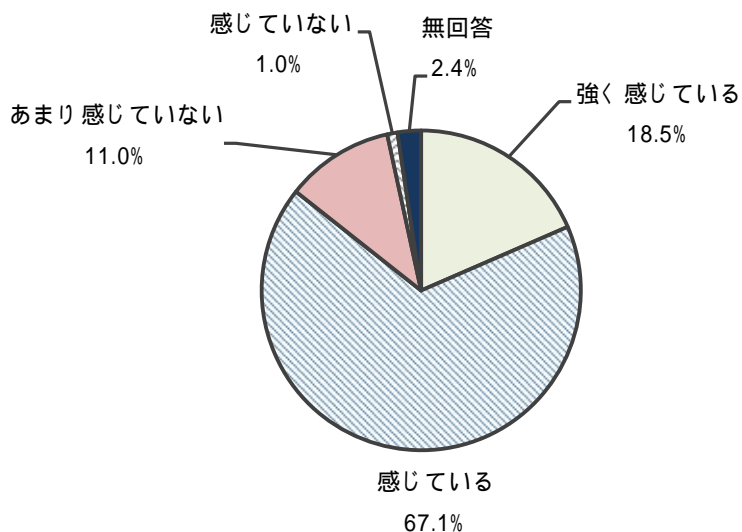


計：292人

地域の方が抱えている悩みや相談を、誰（どこ）から受けることが多いですかとたずねたところ、「本人・本人の家族」と回答した人が最も多く、61.3%となっています。次いで、「近所の人」(57.9%)、「町内会・自治会等の地域団体」(31.8%)と続いています。

問 11 あなたは、民生委員・児童委員の活動について、どのように感じていますか。

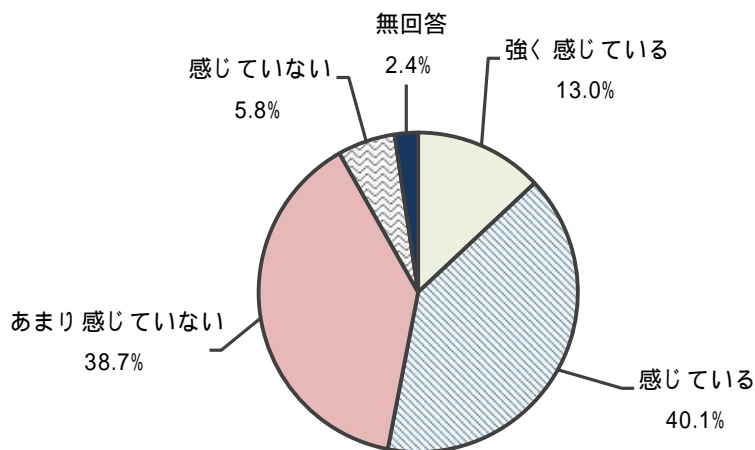
やりがい



計: 292人

民生委員・児童委員の活動について、やりがいを感じていますかとたずねたところ、「強く感じている」または「感じている」と回答した人の割合は 85.6%となっています。一方、「感じていない」または「あまり感じていない」と回答した人の割合は 12.0%となっています。

負担感

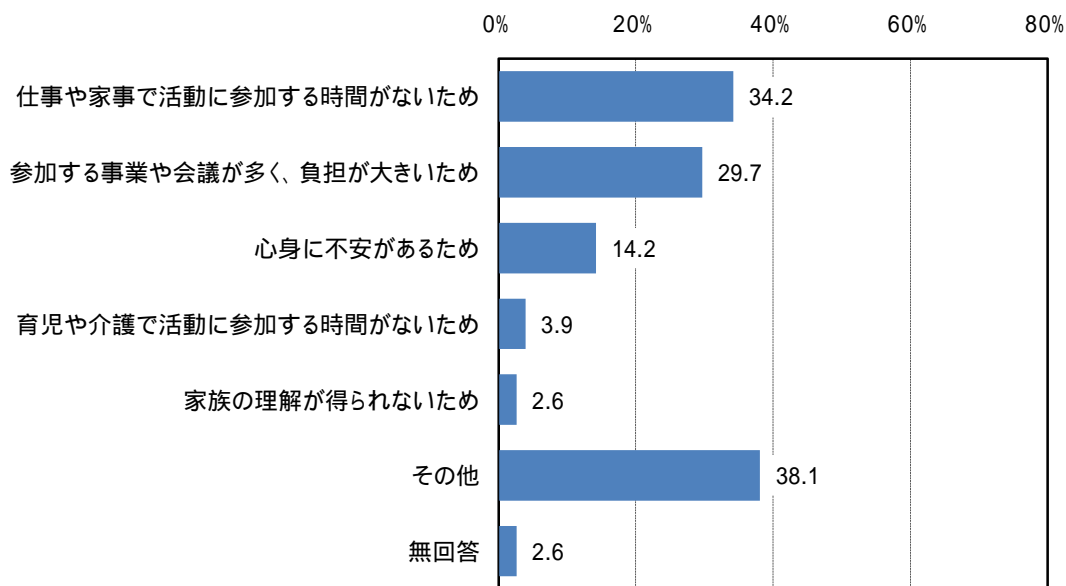


計: 292人

民生委員・児童委員の活動について、負担感を感じていますかとたずねたところ、「強く感じている」または「感じている」と回答した人の割合は 53.1%となっています。一方、「感じていない」または「あまり感じていない」と回答した人の割合は 44.5%となっています。

問 11 で負担感を「強く感じている」または「感じている」と回答した方にお尋ねします。

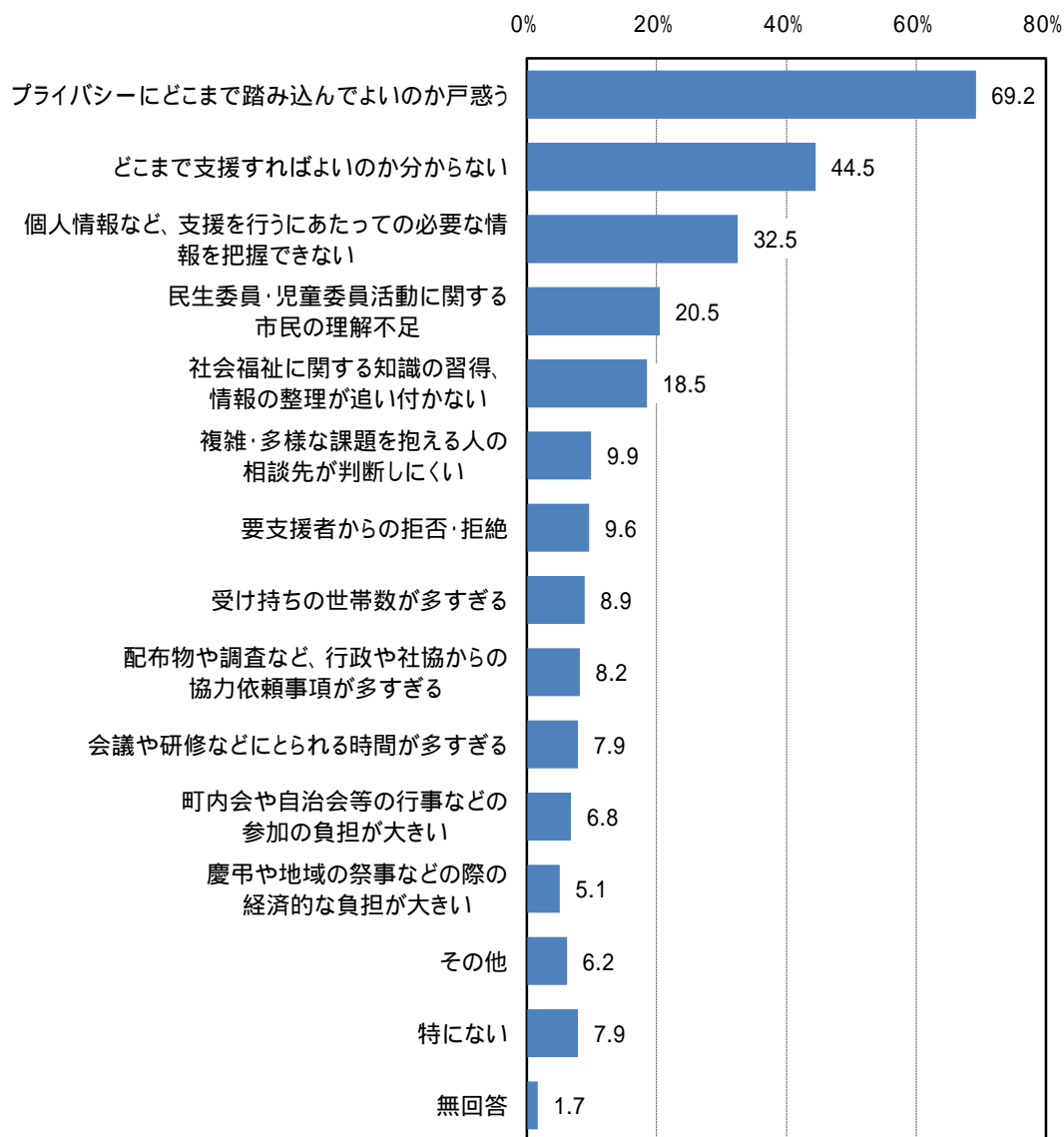
問 11-1 その理由は何ですか。



計: 155人

問 11 で負担感を「強く感じている」または「感じている」と回答した方に、その理由をたずねたところ、「仕事や家事で活動に参加する時間がないため」と回答した人が最も多く、34.2%となっています。次いで、「参加する事業や会議が多く、負担が大きい」(29.7%)、「心身に不安があるため」(14.2%)と続いています。

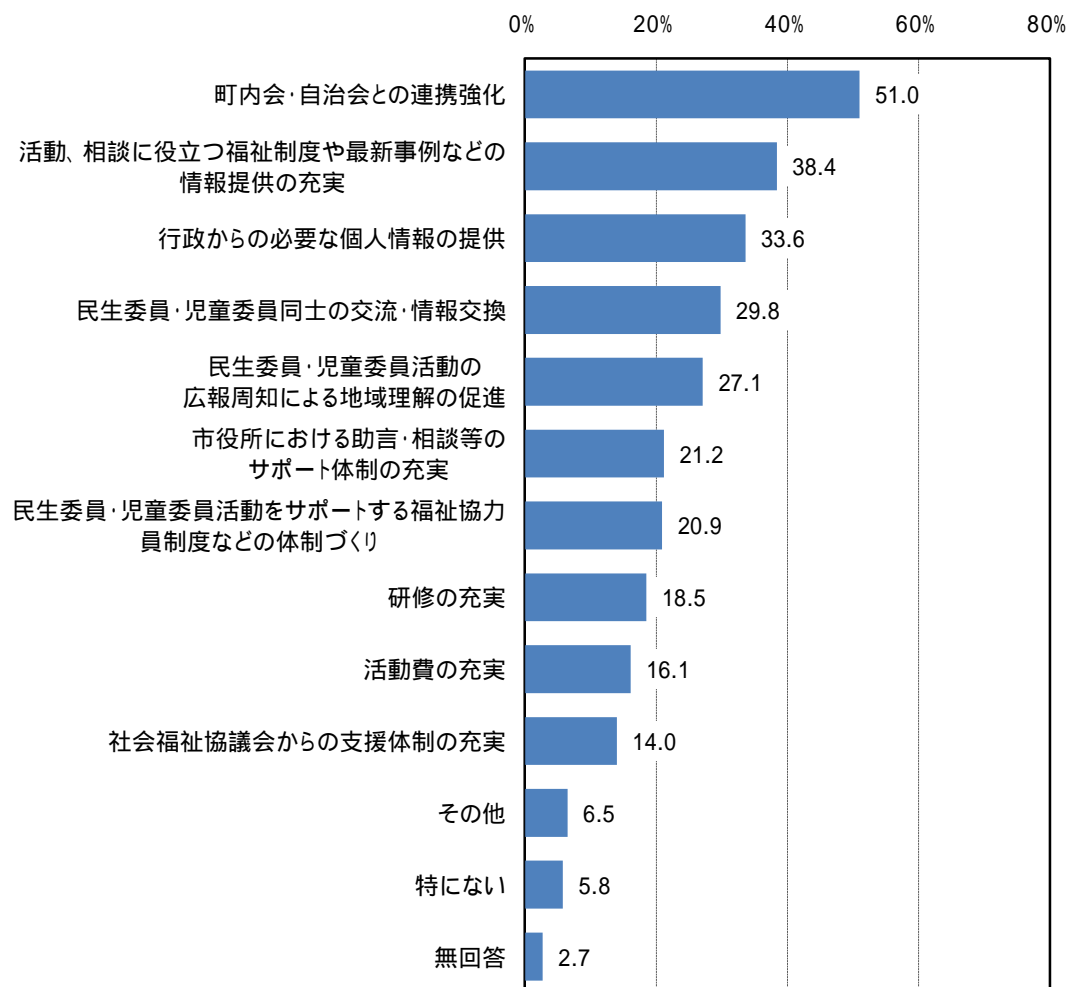
問 12 民生委員・児童委員活動における悩みや苦勞はどのようなものですか。



計：292人

民生委員・児童委員活動における悩みや苦勞はどのようなものですかとたずねたところ、「プライバシーにどこまで踏み込んでよいのか戸惑う」と回答した人が最も多く、69.2%となっています。次いで、「どこまで支援すればよいのか分からない」(44.5%)、「個人情報など、支援を行うにあたっての必要な情報を把握できない」(32.5%)と続いています。

問 13 民生委員・児童委員活動をしやすいするためには、何が必要と思いますか。



計：292人

民生委員・児童委員活動をしやすいするためには、何が必要と思いますかとたずねたところ、「町内会・自治会との連携強化」と回答した人が最も多く、51.0%となっています。次いで、「活動、相談に役立つ福祉制度や最新事例などの情報提供の充実」(38.4%)、「行政からの必要な個人情報の提供」(33.6%)と続いています。

～ お住まいの地域の課題について ～

問 14 あなたがお住まいの地域には、どのような課題があると思いますか。

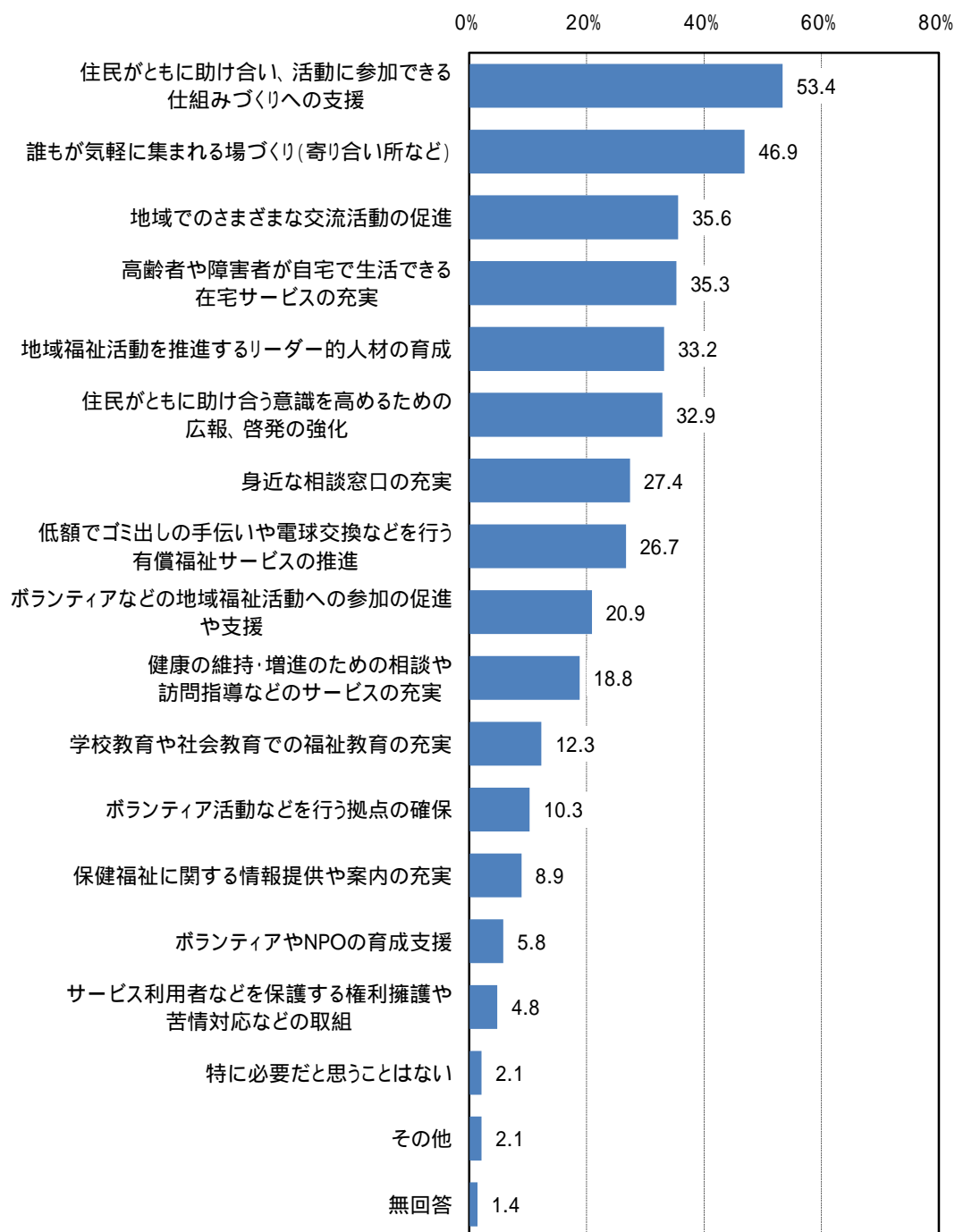


計：292人

お住まいの地域には、どのような課題があると思いますかとたずねたところ、「高齢者に対する見守り、支えあい活動の推進」と回答した人が最も多く、49.3%となっています。次いで、「災害時における安否確認や避難誘導などの支援体制の強化」(48.3%)、「高齢者の社会参加や生きがいづくりの推進」(43.8%)と続いています。

～ 地域福祉の在り方について ～

問 15 今後、地域での助け合いを推進していくために、どのような施策が必要だと思いますか。

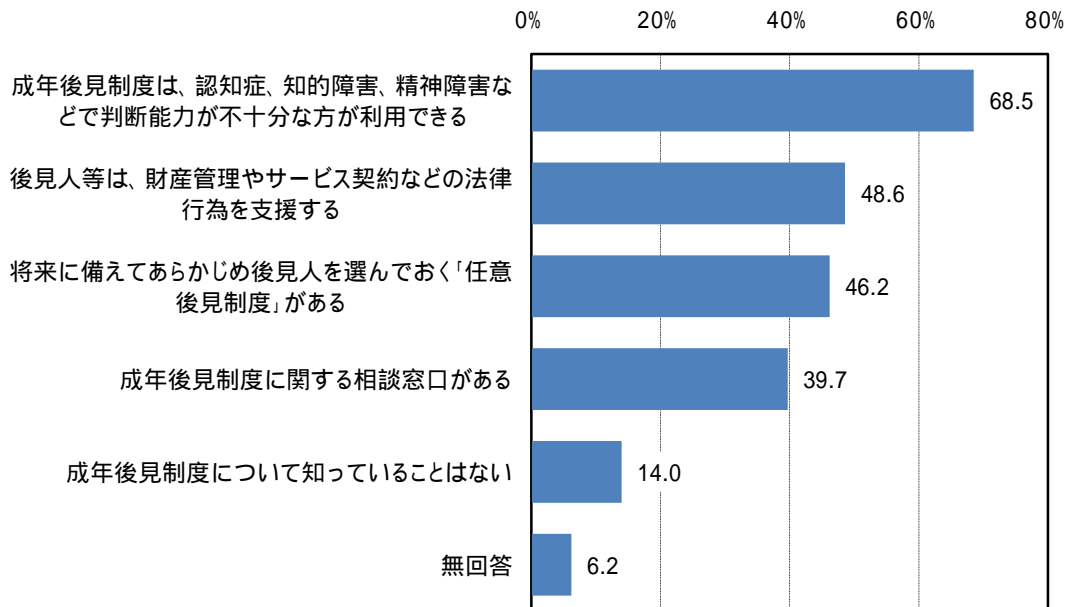


計: 292人

今後、地域での助け合いを推進していくために、どのような施策が必要だと思いますかとたずねたところ、「住民がともに助け合い、活動に参加できる仕組みづくりへの支援」と回答した人が最も多く、53.4%となっています。次いで、「誰もが気軽に集まれる場づくり(寄り合い所など)」(46.9%)、「地域でのさまざまな交流活動の促進」(35.6%)と続いています。

～ 成年後見制度について ～

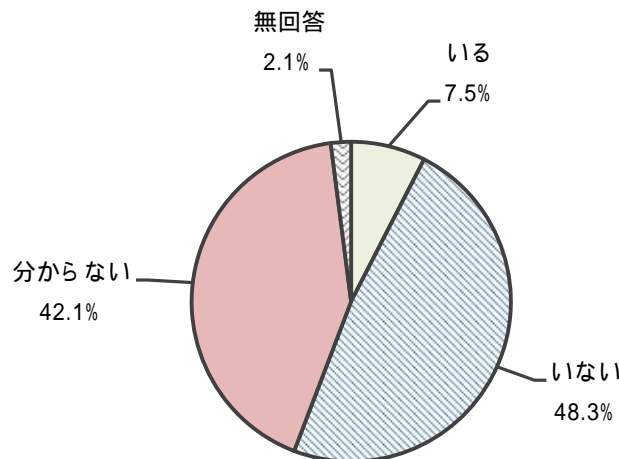
問 16 成年後見制度について、ご存知のことを下記から選んでください。



計：292人

成年後見制度について知っていることをたずねたところ、「成年後見制度は、認知症、知的障害、精神障害などで判断能力が不十分な方が利用できる」と回答した人が最も多く、68.5%となっています。次いで、「後見人等は、財産管理やサービス契約などの法律行為を支援する」(48.6%)、「将来に備えてあらかじめ後見人を選んでおく「任意後見制度」がある」(46.2%)と続いています。

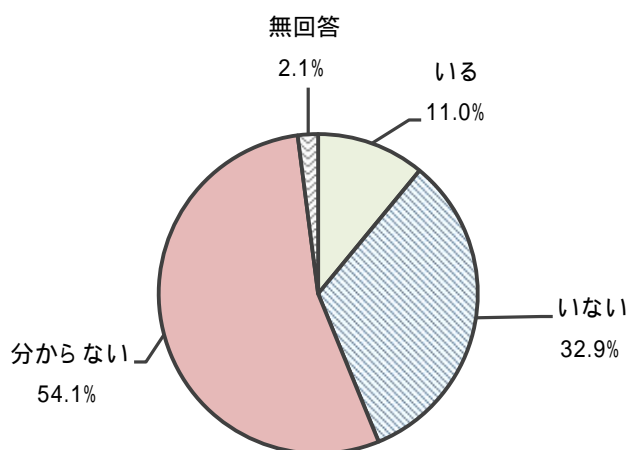
問 17 あなたの身近な人に、現在、成年後見制度の利用が必要と思われる方は何人いますか。



計：292人

身近な人に、現在、成年後見制度の利用が必要と思われる方は何人いますかとたずねたところ、「いる」と回答した人の割合は7.5%となっており、そのうち、「1人」と回答した人の割合は59.1% (13人)、「2人」と回答した人の割合は27.3% (6人)、「3人以上」と回答した人の割合は9.1% (2人)となっています。

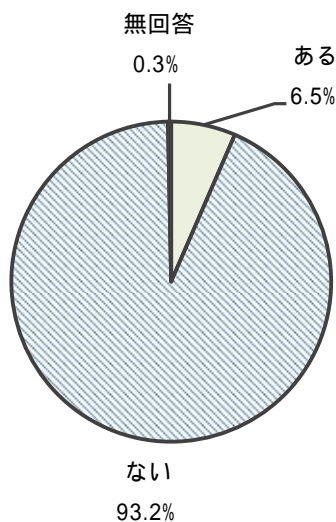
問 18 あなたの身近な人に、近い将来、成年後見制度の利用が必要と思われる方は何人いますか。



計: 292人

身近な人に、近い将来、成年後見制度の利用が必要と思われる方は何人いますかとたずねたところ、「いる」と回答した人の割合は11.0%となっており、そのうち、「1人」と回答した人の割合は53.1%（17人）、「2人」と回答した人の割合は28.1%（9人）、「3人以上」と回答した人の割合は12.5%（4人）となっています。

問 19 成年後見制度に関連する事項について、これまでに相談を受けたことはありますか。

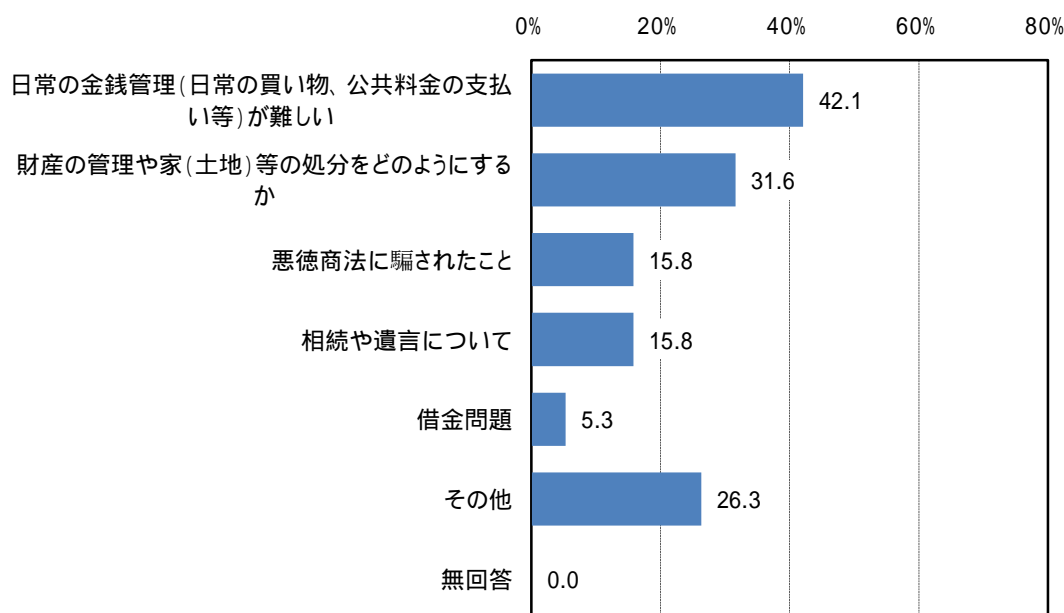


計: 292人

成年後見制度に関連する事項について、これまでに相談を受けたことはありますかとたずねたところ、「ある」と回答した人の割合は6.5%となっています。一方、「ない」と回答した人の割合は93.2%となっています。

問 19で「ある」に を付けた方にお尋ねします。

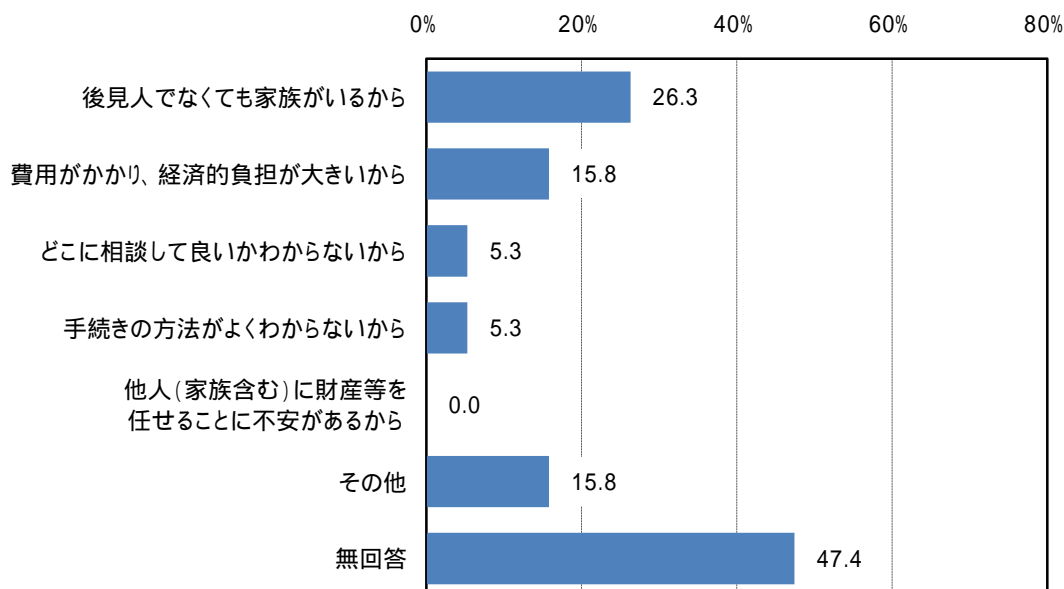
問 19-1 相談内容はどのような事ですか。



計: 19人

問 19で「ある」に を付けた方に、相談内容はどのような事ですかとたずねたところ、「日常の金銭管理(日常の買い物、公共料金の支払い等)が難しい」と回答した人が最も多く、42.1%となっています。次いで、「財産の管理や家(土地)等の処分をどのようにするか」(31.6%)、「悪徳商法に騙されたこと」(15.8%)と続いています。

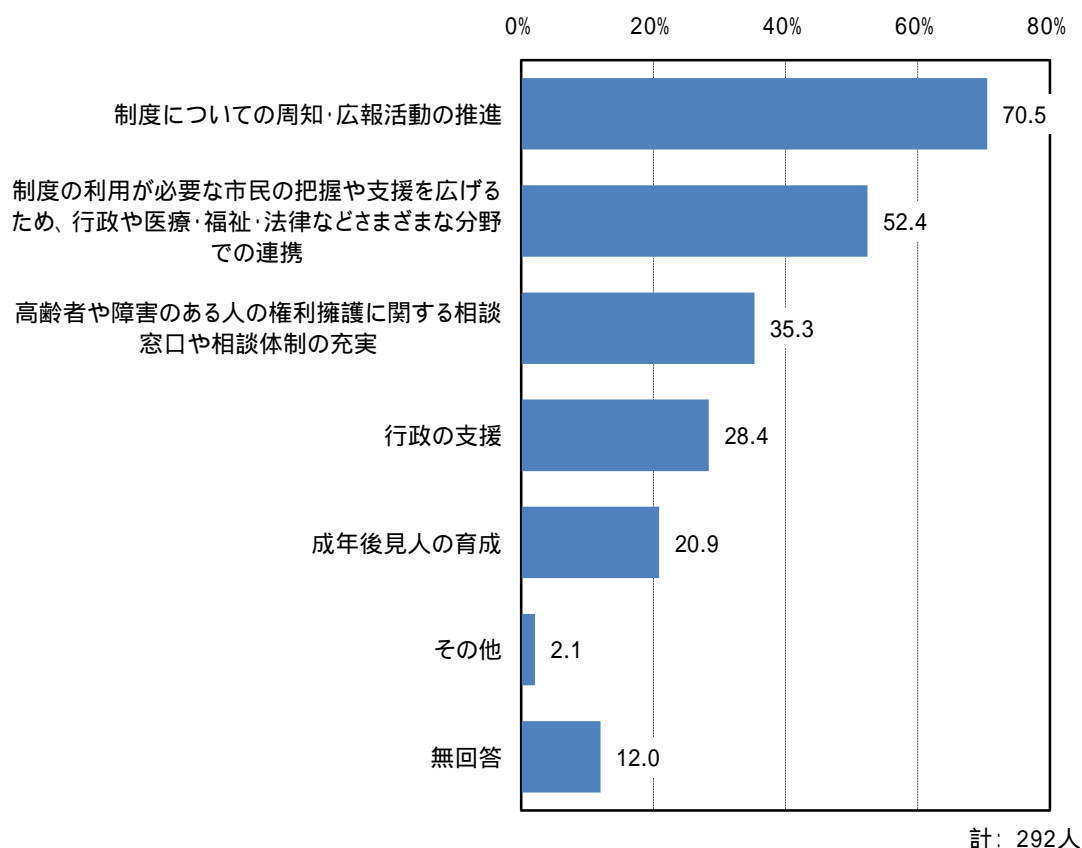
問 20 相談はあったが成年後見制度の利用に至っていない場合、その理由を教えてください。



計: 19人

相談はあったが成年後見制度の利用に至っていない場合、その理由を教えてくださいとたずねたところ、「後見人でなくても家族がいるから」と回答した人が最も多く、26.3%となっています。次いで、「費用がかかり、経済的負担が大きいから」(15.8%)、「どこに相談して良いかわからないから」、「手続きの方法がよくわからないから」(5.3%)と続いています。

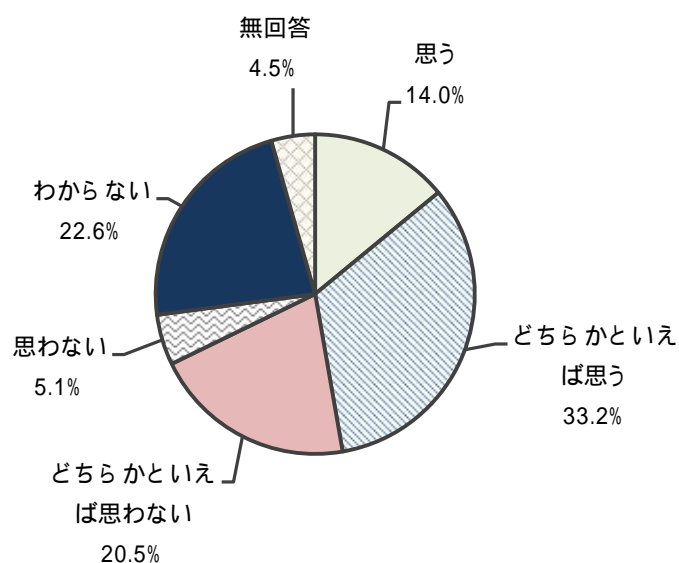
問 21 今後、成年後見制度の利用促進・充実を図っていくためにはどのようなことが必要だと思いますか。



今後、成年後見制度の利用促進・充実を図っていくためにはどのようなことが必要だと思いますかとたずねたところ、「制度についての周知・広報活動の推進」と回答した人が最も多く、70.5%となっています。次いで、「制度の利用が必要な市民の把握や支援を広げるため、行政や医療・福祉・法律などさまざまな分野での連携」(52.4%)、「高齢者や障害のある人の権利擁護に関する相談窓口や相談体制の充実」(35.3%)と続いています。

～ 再犯防止対策について ～

問 22 あなたは、犯罪をした人の立ち直りに協力したいと思いますか。

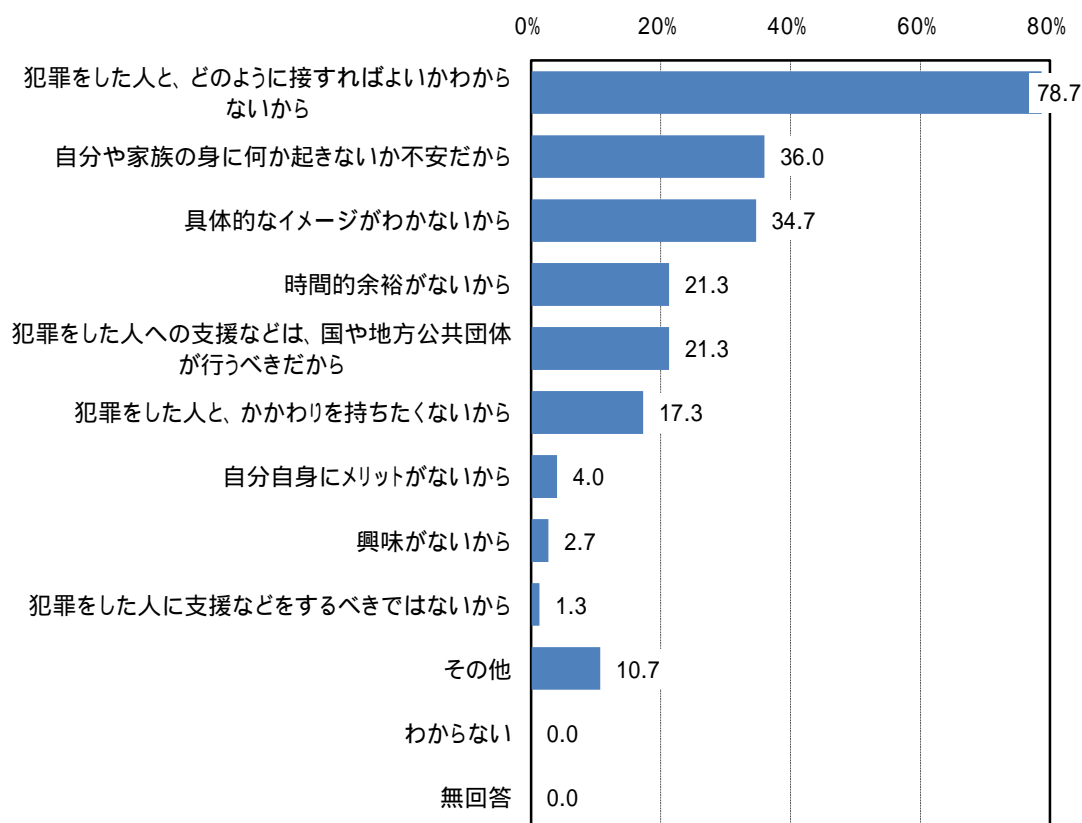


計: 292人

犯罪をした人の立ち直りに協力したいと思いますかとたずねたところ、「思う」または「どちらかといえば思う」と回答した人の割合は 47.2%となっています。一方、「どちらかといえば思わない」または「思わない」と回答した人の割合は 25.6%となっています。

問 22 で「どちらかといえば思わない」、「思わない」と答えた方にお尋ねします。

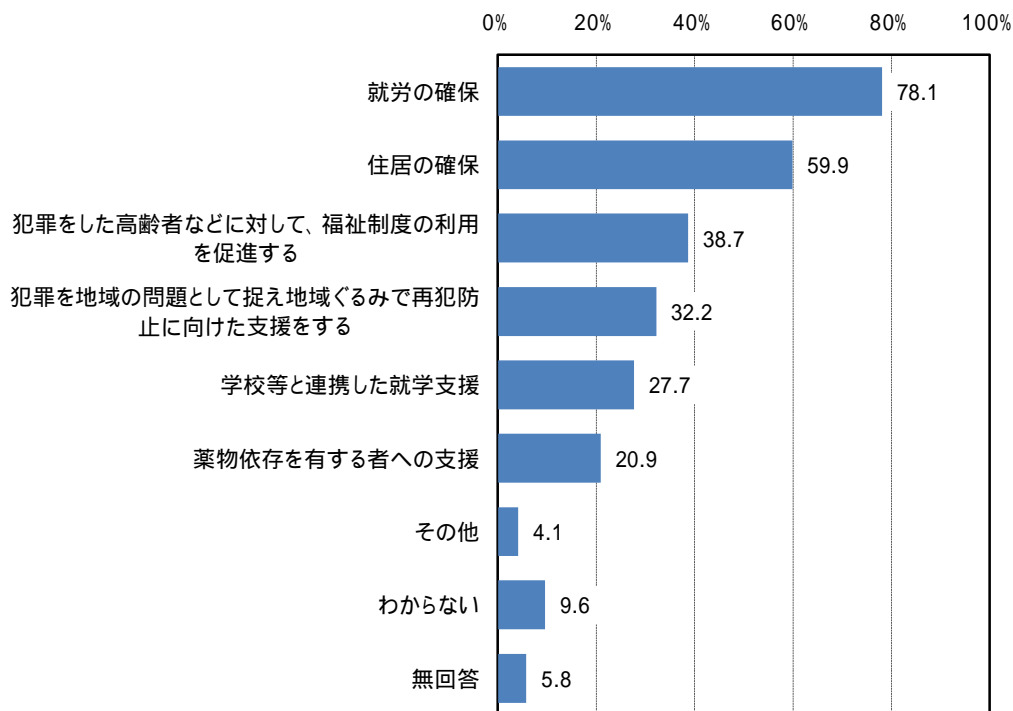
問 22-1 その理由を教えてください。



計: 75人

問 22 で「どちらかといえば思わない」、「思わない」と答えた方に、その理由をたずねたところ、「犯罪をした人と、どのように接すればよいかわからないから」と回答した人が最も多く、78.7%となっています。次いで、「自分や家族の身に何か起きないか不安だから」(36.0%)、「具体的なイメージがわからないから」(34.7%)と続いています。

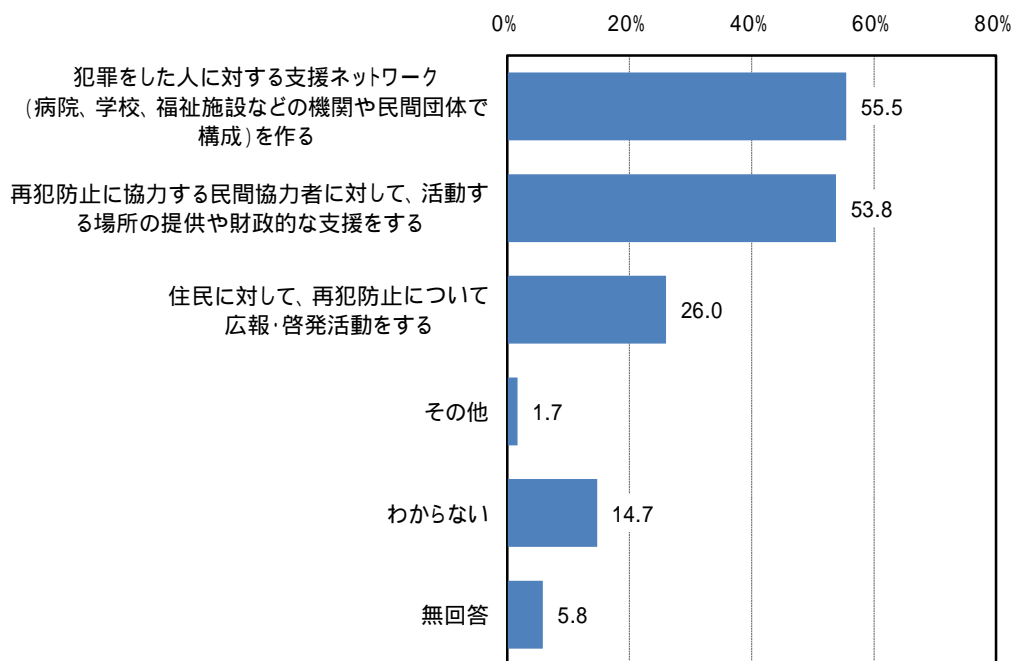
問 23 あなたは、再犯防止のために、具体的にどのような取組が必要だと思いますか。



計: 292人

再犯防止のために、具体的にどのような取組が必要だと思いますかとたずねたところ、「就労の確保」と回答した人が最も多く、78.1%となっています。次いで、「住居の確保」(59.9%)、「犯罪をした高齢者などに対して、福祉制度の利用を促進する」(38.7%)と続いています。

問 24 再犯防止のために、地方公共団体は何をするべきだと思いますか。



計: 292人

再犯防止のために、地方公共団体は何をするべきだと思いますかとたずねたところ、「犯罪をした人に対する支援ネットワーク(病院、学校、福祉施設などの機関や民間団体で構成)を作る」と回答した人が最も多く、55.5%となっています。次いで、「再犯防止に協力する民間協力者に対して、活動する場所の提供や財政的な支援をする」(53.8%)、「住民に対して、再犯防止について広報・啓発活動をする」(26.0%)と続いています。

第 4 部 自由回答集

1. 市民アンケート調査

【問5】あなたの家族構成を次のうちから選んでください。(その他)

- 両親、祖母、姉家族(女性,20歳代,諫早地域)
- 四世代(女性,80歳代以上,諫早地域)
- 施設入所(男性,40歳代,諫早地域)
- 夫婦、孫2人(男性,70歳代,諫早地域)
- 親と子とおじ(男性,30歳代,飯盛地域)
- 夫婦と夫の弟(女性,60歳代,森山地域)
- 姉家族(女性,60歳代,諫早地域)
- 福祉施設に入居中(女性,80歳代以上,諫早地域)
- 夫婦、孫、ひ孫(男性,80歳代以上,諫早地域)
- 祖母と孫の世帯(女性,20歳代,諫早地域)
- 祖父と夫婦(男性,60歳代,諫早地域)
- 二世帯住宅(男性,70歳代,多良見地域)
- 夫婦と義兄(男性,70歳代,森山地域)
- 姉、弟(男性,50歳代,諫早地域)
- 本人、長男の嫁(女性,80歳代以上,諫早地域)
- 同棲(女性,30歳代,諫早地域)

【問7】あなたの職業を次のうちから選んでください。(その他)

- 家業手伝い(女性,30歳代,諫早地域)
- 専従者(女性,50歳代,森山地域)
- 不動産収入(男性,60歳代,諫早地域)
- 外交員(女性,50歳代,諫早地域)
- シルバー人材センター(男性,70歳代,諫早地域)
- 看護師(女性,50歳代,諫早地域)
- 障害福祉サービス(男性,30歳代,森山地域)
- 歯科医師(男性,60歳代,諫早地域)
- 看護師(女性,40歳代,諫早地域)
- 特養老人ホームに入所している(男性,80歳代以上,諫早地域)
- 医療職(女性,30歳代,諫早地域)
- 農業(男性,80歳代以上,小長井地域)
- 派遣社員(女性,60歳代,諫早地域)
- 定年退職(女性,70歳代,諫早地域)
- 教員(男性,40歳代,諫早地域)
- 保育士(女性,50歳代,諫早地域)
- 農業手伝い(女性,80歳代以上,森山地域)
- 医療職(女性,60歳代,諫早地域)
- 年金受給(男性,80歳代以上,高来地域)
- 生活保護(女性,80歳代以上,諫早地域)

【問8】あなたは、ご近所の方とどのようなお付き合いをしていますか。(その他)

- 自治会やボランティア会に積極的に付き合っている。(男性,60歳代,諫早地域)
- 近所に姉がいる。(女性,50歳代,飯盛地域)
- 特養ホームに入所している(男性,80歳代以上,諫早地域)

【問8-1】ご近所付き合いがない理由は何ですか。(その他)

- 高齢者の方が多く、年齢に差がありすぎる。(女性,20歳代,諫早地域)
- 月～土、通所リハビリ(女性,80歳代以上,諫早地域)
- 今はマンションになったので挨拶位で、こちらが挨拶しても反応が無い時もあり、次第になくなりました。(女性,60歳代,諫早地域)
- 引っ越した地域のため知り合いがいない。(男性,40歳代,諫早地域)
- 施設であるため付き合いなし。(男性,40歳代,諫早地域)
- 高齢者が多く生活スタイルの違い。(女性,40歳代,森山地域)
- 皆さんあまり外へ出ない。(女性,70歳代,諫早地域)
- 老人会、いきいきサロン等でたくさんの人と関わっている。(女性,80歳代以上,諫早地域)
- 近所でも顔を合わせることがない。(女性,60歳代,諫早地域)
- 足が弱く外に出ることが困難。(男性,80歳代以上,諫早地域)
- コロナ禍のため(男性,20歳代,諫早地域)
- 子どもがいるしコロナ禍でもあるため家から出る事が少ない。(女性,30歳代,森山地域)
- 仕事をしているのか人通りが少ない。(女性,50歳代,諫早地域)
- 時間があっても近所の人に合う機会がない。(女性,20歳代,諫早地域)
- なるべく個人情報を知られたくない。信用できる相手分からない。近所住民に興味がない。(女性,30歳代,諫早地域)
- 避けることはないが進んで付き合おうとも思わない。(男性,50歳代,諫早地域)
- あまり会わない(女性,70歳代,諫早地域)
- お店をしているのでお客様として来られる場合はお話しますがこちらから出向くことはない。(女性,80歳代以上,諫早地域)
- 町内の事は全て主人がしており、私は周りの方の名前を知らない。(女性,40歳代,諫早地域)
- 家の前の道幅が狭く車の件でトラブルが多いため(男性,50歳代,諫早地域)
- 近所は全員持家のため、借家は私一軒のみで皆見下している。(男性,80歳代以上,高来地域)

【問9】ご近所の困っている方(「要援護者」を含む)に対し、あなたが「現在、手助けしていること」、「求めがあったら手助けできること」は何ですか。

また、あなたが、ご近所の方から「手助けしてほしいこと」は何ですか。

現在、手助けしていること(その他)

- 草刈りなどの外の作業(男性,40歳代,諫早地域)
- 住居前道路の落ち葉掃除(女性,60歳代,諫早地域)
- スマホの操作方法を教えている(女性,50歳代,小長井地域)
- 病院に連れていく(女性,70歳代,多良見地域)

【問9】ご近所の困っている方(「要援護者」を含む)に対し、あなたが「現在、手助けしていること」、「求めがあったら手助けできること」は何ですか。

また、あなたが、ご近所の方から「手助けしてほしいこと」は何ですか。

求めがあったら手助けできること(その他)

- 宅配荷物の預かり(男性,50歳代,諫早地域)
- スマホの操作方法を教えている(女性,50歳代,小長井地域)
- 病院に連れていく(女性,70歳代,多良見地域)

【問 9】ご近所の困っている方(「要援護者」を含む)に対し、あなたが「現在、手助けしていること」、「求めがあったら手助けできること」は何ですか。

また、あなたが、ご近所の方から「手助けしてほしいこと」は何ですか。

手助けしてほしいこと(その他)

- 植木の剪定(男性,80歳代以上,小長井地域)
- 宅配荷物の預かり(男性,50歳代,諫早地域)
- 草取り、庭木切りとその始末(女性,50歳代,森山地域)

【問 10】あなたがお住まいの地域には、どのような課題があると思いますか。(その他)

- 地域の事についてあまり知らない。(男性,20歳代,飯盛地域)
- 考えたことがない。(男性,60歳代,諫早地域)
- 交通の便が悪い、バスの本数が少ない。(女性,30歳代,多良見地域)
- 若い世代が市外に転出しない、県内外から買い物で訪れるような商業施設の拡充。(女性,30歳代,諫早地域)
- 高齢の方しかいなく、若者の協力が少ない。(男性,30歳代,多良見地域)
- 歩道にゴミが多い。(女性,80歳代以上,諫早地域)
- 世帯の高齢化(男性,50歳代,諫早地域)
- 団地内の路上に車を止める等が日常的に多い、邪魔で危ない。(男性,50歳代,諫早地域)
- 野良猫対策(女性,40歳代,諫早地域)
- 全てあてはまるのでは。(男性,50歳代,諫早地域)
- 若者が少ない。(男性,60歳代,高来地域)
- 防災無線が家の中では聞こえにくい。(女性,50歳代,飯盛地域)
- 各種支援の広報活動、対象者への案内。(女性,20歳代,諫早地域)
- 若者(未婚)が出会える場所、機会作りを町主催です。(女性,70歳代,森山地域)
- 課題が分からない、知らないことが課題(問題)だと思う。(女性,30歳代,諫早地域)
- 公園が少ない(小野地区)(男性,40歳代,諫早地域)
- 在宅障がい者の入院時の支援、将来不安を解消する施設、ケアラー支援、仕事と介護の両立。(女性,40歳代,諫早地域)
- 買い物する所がない、大きな商業施設がない、マンションが多すぎる。(男性,30歳代,諫早地域)
- 校区の変更、通学路の規制。安全な通学路が確保できず、近くに別の新設学校があるのに昔の校区に通学している。古い住民と新しい住民では違うと思うので希望校を選べる制度。(男性,60歳代,諫早地域)
- 身近に介護の必要な人がいないのでわからない。(男性,20歳代,多良見地域)
- 引っ越してきたばかりでよくわからない(女性,30歳代,諫早地域)
- 深夜のコンビニ付近の騒音(男性,20歳代,森山地域)
- 地域の情報が届かない、もっと身近な場所の出来事などを知りたい。(女性,60歳代,諫早地域)
- 挨拶の励行(男性,70歳代,諫早地域)
- 公共交通機関(バス等)の便が少ない。免許を返納すると不便。(女性,40歳代,諫早地域)
- 自ら助けを求められない人等、潜在的な困りごとを把握できているのか?行政から個人に対して利用できるようなサービスについて周知ができていないのか?(女性,40歳代,諫早地域)

【問 11】あなたは、地域の住民とのふれあいに役に立っている行事や活動は何だと思いますか。(その他)

- 学童クラブとの交流で毎年小学校の女の子から年賀状が来る。(女性,70歳代,諫早地域)
- 地域住民とのふれあいがいいのでわからない。(女性,60歳代,諫早地域)
- 市民大清掃(女性,70歳代,諫早地域)

- 忙しいので考えたことがない。(女性,40歳代,諫早地域)
- 新型コロナで考えられない。(男性,60歳代,高来地域)
- あいさつ(女性,60歳代,諫早地域)
- 友達と集まる場所できげやかに楽しくする努力(女性,80歳代以上,諫早地域)
- マンションの清掃活動(女性,30歳代,諫早地域)
- 活動に参加していない(女性,30歳代,諫早地域)
- 部落の老人活動(男性,80歳代以上,森山地域)
- まだ参加したことがない(女性,20歳代,飯盛地域)
- 参加したことがないのでわからない。(女性,30歳代,諫早地域)
- 60代で老人会でもなく参加する行事がない。(女性,60歳代,諫早地域)

【問 14-2】その理由は何ですか。(その他)

- 高齢で協力できない。(女性,80歳代以上,高来地域)
- コロナで他人と関わりたくない。(女性,20歳代,諫早地域)
- 高齢のためできない(女性,80歳代以上,高来地域)
- 介護家族がいるから(女性,70歳代,森山地域)
- 身近に感じられていない。求められれば協力することはやぶさかではない。(男性,50歳代,諫早地域)
- 知らない人とは疲れるので。(女性,60歳代,諫早地域)
- 日々の生活を維持してだけで精一杯。(女性,70歳代,諫早地域)
- リハビリ中(男性,80歳代以上,諫早地域)
- 高齢のため活動できない。(男性,70歳代,小長井地域)
- 他の活動で忙しい。(女性,60歳代,諫早地域)
- 施設に入っている(女性,80歳代以上,諫早地域)
- 活動内容が不明(男性,60歳代,高来地域)
- 自分ができることを自分のペースでしたい。(女性,60歳代,諫早地域)
- 親の介護や孫の子守りで時間がない。(女性,70歳代,森山地域)
- 職務をこなす自信がない、活動メンバーが分からないことに不安を感じる。(女性,30歳代,諫早地域)
- 協力したい気持ちはあるが、育成会活動で燃え尽きた。(女性,50歳代,諫早地域)
- お店をしている、あまり長い時間動くと疲れる。(女性,80歳代以上,諫早地域)
- 忙しい(男性,20歳代,多良見地域)
- 自身が年を取りすぎているため(女性,80歳代以上,諫早地域)
- 持病がある(-,70歳代,諫早地域)
- 自分の事で手一杯。(女性,80歳代以上,諫早地域)
- 体力がない(男性,80歳代以上,諫早地域)
- 高齢のため(女性,80歳代以上,飯盛地域)
- かけもちできない、ボランティア活動、地域活動はしている。(男性,30歳代,森山地域)
- 介護状態(女性,80歳代以上,諫早地域)
- 家族に障がい者がいるので。(女性,60歳代,多良見地域)
- 病気(女性,80歳代以上,諫早地域)
- 家族の仕事の都合上、密になりがちな集まりに参加が難しい。(女性,30歳代,諫早地域)

【問 15-1】あなたは、どのようなボランティア活動に参加していますか(参加したいですか)。(その他)

- 地域内の精霊流し、献血(男性,60歳代,諫早地域)
- コンビニ募金やほかの募金(女性,40歳代,森山地域)
- 地域の公園の清掃(男性,50歳代,諫早地域)
- 自営で理容師をしています、個人宅へ出張散髪をしています。(男性,50歳代,飯盛地域)
- ボランティアをする人のお手伝いぐらいのこと。(女性,60歳代,諫早地域)
- 歩こう会に参加している(男性,80歳代以上,諫早地域)
- 多良見地域づくり協議会、桜街道ボランティア(女性,50歳代,森山地域)
- 小学校図書ボランティア(女性,50歳代,多良見地域)

【問 15-2】あなたがボランティア活動に参加するにあたり活動先などに求める条件は何ですか。(その他)

- 同じ活動をする職員が上から目線でボランティアに指図することがあります。ボランティアに行っても嫌な気分になることで意欲がそがれます。対応に配慮してほしい。(女性,50歳代,諫早地域)
- 都合が悪くなったり、体調がよくない時は活動を休めること。(男性,40歳代,諫早地域)
- 脳トレ教室(男性,80歳代以上,諫早地域)
- 活動目的や計画を明確にして公開すること。(女性,60歳代,諫早地域)
- ボランティアに子ども連れで参加できる等、参加しやすい体制。(女性,40歳代,諫早地域)
- ボランティア活動で支援される人を救ってあげたいと思う。(女性,50歳代,森山地域)

【問 15-3】ボランティア活動に参加できない(したくない)理由は何ですか。(その他)

- コロナで他人と関わりたくない。(女性,20歳代,諫早地域)
- 求められればできる範囲で参加することはできる。(男性,50歳代,諫早地域)
- 心身共に疲れるから(女性,60歳代,諫早地域)
- 自分の生活だけで精一杯。(女性,70歳代,諫早地域)
- 今はできない。(女性,50歳代,諫早地域)
- 自分の事でいっぱい余裕がない。(女性,70歳代,飯盛地域)
- 夫の協力が得られない。(女性,60歳代,諫早地域)
- 高齢のため(女性,80歳代以上,諫早地域)
- 短い時間など気軽にできるボランティアがない。(女性,20歳代,諫早地域)
- 活動内容、活動メンバーが分からないことに不安を感じる。(女性,30歳代,諫早地域)
- ボランティアは自主的に自然にやるものだから(男性,70歳代,高来地域)
- お店をしている、あまり長い時間動くと疲れる。(女性,80歳代以上,諫早地域)
- 健康上の理由(女性,70歳代,諫早地域)
- 持病がある(-,70歳代,諫早地域)
- 高齢のため(女性,80歳代以上,諫早地域)
- 体力がない(男性,80歳代以上,諫早地域)
- 高齢(女性,80歳代以上,飯盛地域)
- 生きていく上で当たり前のことだから(男性,40歳代,諫早地域)
- ボランティアは時間、お金、知識のある人がやれる事だと思う。現社会は自分の生活が第一。(男性,60歳代,諫早地域)
- 労働には対価を払うべき。(男性,50歳代,諫早地域)
- 家族の仕事の都合上、密になりがちな集まりに参加が難しい。(女性,30歳代,諫早地域)

【問 16】あなたは、今、どのようなボランティア活動が必要だと思いますか。(その他)

- ボランティアの内容によらず会員が集まらないことが悩み。(男性,60歳代,諫早地域)

- 自分にできることを精一杯する。(男性,40歳代,諫早地域)

【問 19】あなたはこれまでに、困ったことや心配ごとを、他人に相談したことがありますか。(その他)

- 医療機関(男性,80歳代以上,諫早地域)
- 保育施設の変更について(女性,20歳代,森山地域)
- 地主不在の雑草(女性,80歳代以上,諫早地域)
- 防犯、犯罪被害(女性,30歳代,諫早地域)
- 仕事と介護の両立(女性,40歳代,諫早地域)
- 友人間についての相談(女性,20歳代,諫早地域)

【問 19-1】あなたはこれまでに、困ったことや心配ごとを、誰に(どこに)相談しましたか。(その他)

- 手話通訳と相談(女性,70歳代,諫早地域)
- 消費者生活センター(男性,60歳代,諫早地域)
- 患者会(女性,50歳代,諫早地域)
- 建築会社(女性,20歳代,森山地域)
- 子育て支援センター(女性,30歳代,諫早地域)
- ハローワーク(男性,50歳代,諫早地域)
- 職安(女性,50歳代,諫早地域)
- 消費者センター(女性,60歳代,諫早地域)
- 消費者センター(女性,60歳代,諫早地域)

【問 20】あなたは、福祉に関する必要な情報を主にどこから入手していますか。(その他)

- 職場(女性,20歳代,諫早地域)
- 病院(男性,40歳代,諫早地域)
- 広報いさはや(女性,40歳代,諫早地域)
- 施設職員(男性,40歳代,諫早地域)
- 職場の保育園(女性,20歳代,諫早地域)
- 大学の講義、資料(女性,20歳代,諫早地域)
- 病院(女性,60歳代,諫早地域)
- 大学(男性,20歳代,諫早地域)
- 医療機関(男性,40歳代,諫早地域)
- 職場(女性,30歳代,諫早地域)
- 病院(女性,70歳代,諫早地域)
- 職場(女性,30歳代,諫早地域)

【問 21】地域における福祉を充実させていく上で、行政と住民との関係は、どのようなものが望ましいと思いますか。(その他)

- まずは若い人を行政のリーダーにすべき。(男性,30歳代,諫早地域)
- 役所はもっと市民の声を聞く姿勢が望まれる。市職員に意識改善の意味で話したいが2回程秘書課で断られた。(男性,80歳代以上,諫早地域)
- 公助 共助 自助の順番。(男性,50歳代,諫早地域)

【問 22】今後、地域での助け合いを推進していくために、どのような施策が必要だと思いますか。(その他)

- 民生委員等、的確な人材を。(女性,60歳代,諫早地域)

- 事故発生時の責任の所在など、人助けの際に想定されるリスクの軽減。(男性,30歳代,諫早地域)
- 自治会活動での意識の向上。町内会には入っているが班には入らない、班長をするのが嫌だという者が増加してきている。(男性,50歳代,諫早地域)
- 保育施設の充実(女性,20歳代,森山地域)
- それぞれができることをする。(男性,50歳代,飯盛地域)
- 元気な高齢世代が同世代の福祉サービス、支援に働き手、ボランティアなどに参加できるような情報発信を強力に進めて下さい。(男性,40歳代,森山地域)
- 資金、予算の確保、活動者への安全や保障の確保。(女性,30歳代,諫早地域)
- 諫早市を魅力のある街にするための誘致を。市が潤っていないと住民の悩みは解決できない。(男性,30歳代,諫早地域)
- 助け合いなのに不利益を被ることがないように保険や不測時の責任の所在。安心して協力できる仕組み作り。(女性,40歳代,諫早地域)
- 助け合うという心のゆとりが持てる社会づくり。(女性,50歳代,諫早地域)
- 自分にできることを精一杯する。(男性,40歳代,諫早地域)
- コロナ禍、コロナ後に可能な事を考えていく。(女性,50歳代,森山地域)

【問 23】 今後、地域での助け合いを推進していくために、住民のひとりとしてあなたができることは何だと思えますか。(その他)

- 人を助ける際のリスクを考え、自分、家族を守る。(男性,30歳代,諫早地域)
- 身体に不安があり参加できない。(女性,60歳代,諫早地域)
- 健康に不安があるのでできない。(女性,70歳代,諫早地域)
- 仕事を変えて早く家に帰り、休日もとれるようにして参加する。(男性,30歳代,諫早地域)
- コロナが流行しており近所に高齢者が多いので外出を控える。(女性,30歳代,多良見地域)
- 時間ができるようになるまでできることはないと思う。(女性,50歳代,森山地域)
- 自分ができるところをしていきたい。(男性,50歳代,飯盛地域)
- あいさつをして顔見知りになる程度のことです。(女性,60歳代,諫早地域)
- 現代社会で地域での助け合いに比重を置くべきではないと思うので、推進していく必要性を感じない。(女性,20歳代,諫早地域)
- 情報収集(女性,30歳代,諫早地域)
- 参加しやすい体制づくり。(女性,40歳代,諫早地域)

【問 25-2】 その理由を教えてください。(その他)

- その時に考える(男性,50歳代,諫早地域)
- その時にならないと自分の本心が分からない。(女性,70歳代,諫早地域)
- 認知症になった場合、自分で判断できないから。(男性,70歳代,高来地域)
- 実務面では色々と問題点を聞くことが多い。特に身上監護について。成年後見は財産管理だと勘違いされている人が散見される。(女性,40歳代,諫早地域)
- 後見制度をしっかりと理解して考えたい。(女性,60歳代,諫早地域)
- 不祥事が多発している欠陥制度だから(男性,50歳代,諫早地域)

【問 27】 今後、成年後見制度の利用促進・充実を図っていくためにはどのようなことが必要だと思いますか。(その他)

- 制度を誰にでも伝わる表現を用いてアピールしていく。窓口も相談しやすい雰囲気づくりをする。(女性,40歳代,森山地域)
- 介護認定の機会(ケアマネジャー等との話し合い時に広報を行う)(女性,50歳代,諫早地域)
- 面倒を見ている人がいるのに他の兄弟にこの制度を悪用され、親をみていた跡取りが手も足も出せなくなっている。本当に必要な人の見極めができていない。(男性,50歳代,諫早地域)
- 資格があっても人柄、人間性が大切。(女性,60歳代,諫早地域)
- 制度の簡略化(男性,40歳代,諫早地域)

- 制度の改善が先。(男性,50歳代,諫早地域)

【問 28-1】その理由を教えてください。(その他)

- 犯罪をした人を理解してあげられるか分からない。(女性,30歳代,小長井地域)
- 高齢なため(女性,80歳代以上,高来地域)
- 自分たちの事で精一杯。(女性,70歳代,諫早地域)
- 精神、情緒面、法律面での知識が必要なのでは？(男性,60歳代,諫早地域)
- 犯罪の内容にもよるけど関わりを持つことがとても怖い。(女性,30歳代,諫早地域)
- 怖いから。(女性,30歳代,多良見地域)
- 自身が犯罪被害者なのでその時の恐怖がフラッシュバックされる。(女性,50歳代,諫早地域)
- 本当に反省したのか分からないから。(男性,50歳代,諫早地域)
- 犯した罪によっては負の感情を抱くから。(女性,20歳代,諫早地域)
- 性犯罪の人は国が管理して再犯を防ぐことが一番の立ち直りになると思うから。(女性,50歳代,諫早地域)
- 本人自身で立ち直る気持ちを強く持てばよい。(男性,50歳代,森山地域)
- 犯罪の内容によって協力したいか考えてしまう。(男性,30歳代,多良見地域)
- 病気なら入院等して完治させるべきであるから。(男性,50歳代,諫早地域)
- 犯罪の内容によると思うため。(女性,50歳代,諫早地域)
- 家族の協力が得られない。(女性,60歳代,諫早地域)
- 立ち直らせるなど無理、どんな犯罪か分からないのは不気味で勝手に妄想してしまうかも。(女性,60歳代,諫早地域)
- 警察庁、法務省など専門機関の方がケアした方がいいと思う。素人が行うべきではない。(女性,30歳代,諫早地域)
- 最近は政府を先頭に嘘ばかりいうから信用できない。(男性,70歳代,高来地域)
- 犯罪の内容にもよる(女性,60歳代,諫早地域)
- 必ず再犯するから(男性,20歳代,森山地域)
- どのような犯罪かにもよる(女性,60歳代,諫早地域)
- 高齢で体力がない(男性,80歳代以上,諫早地域)
- 犯罪内容による、全てが対処できるとは限らない。(男性,30歳代,森山地域)
- 個人的、一般的な支援は難しいと思うので専門機関に任せる事が良いと感じる。(女性,20歳代,諫早地域)

【問 29】あなたは、再犯防止のために、具体的にどのような取組が必要だと思いますか。(その他)

- 専門家(保護司等)との関わりが必要。(男性,60歳代,諫早地域)
- 本人の反省、更生(女性,50歳代,諫早地域)
- 他国の方法を取り入れる。犯罪の理由を掘り下げ認知させ行動変容できるようなカリキュラムを作る等。(女性,40歳代,森山地域)
- そんな人間にお金をかける必要ないと思う。仕事をして自立すべき。(女性,40歳代,諫早地域)
- GPS等で居場所を常に分かるようにする。(男性,30歳代,諫早地域)
- 入院させ完治させる。(男性,50歳代,諫早地域)
- 支援という言葉がおかしい、教育ならわかる。(男性,30歳代,諫早地域)
- 犯罪者への精神的ケア、その人の生きがいを見つけられるような居場所づくり、ピアサポート。(女性,20歳代,諫早地域)
- 犯罪者の継続的な見守り、寄合の支援活動。(女性,20歳代,森山地域)
- 話し相手、相談者、理解者(男性,40歳代,森山地域)
- 国、専門機関から管理、監視、囲い込み。(女性,30歳代,諫早地域)
- 政府が嘘をついたり文書改ざんしたりしない事と正しい情報提供。(男性,70歳代,高来地域)

- 経済支援、精神的支援(男性,50歳代,諫早地域)
- 支援しようと地域住民が思える啓発、広報活動(女性,50歳代,諫早地域)
- 家庭内教育指導が何より大事と思う。(男性,80歳代以上,諫早地域)
- 再犯の厳罰化(男性,20歳代,多良見地域)
- タグ付けして行動監視(男性,20歳代,森山地域)
- 24時間体制の監視(男性,40歳代,諫早地域)
- 警察との連携(男性,70歳代,諫早地域)
- 訪問指導や見守り強化。相談窓口、支援者の充実。支援者の給与アップ。(女性,30歳代,諫早地域)

【問30】再犯防止のために、地方公共団体は何をするべきだと思いますか。(その他)

- 性犯罪者の見守り(チェック)(女性,50歳代,諫早地域)
- 他国の方法を取り入れる。犯罪の理由を掘り下げ認知させ行動変容できるようなカリキュラムを作る等。(女性,40歳代,森山地域)
- 犯罪を犯した人間のために行政が動かなくていいと思う。(女性,40歳代,諫早地域)
- 監視する。(男性,30歳代,諫早地域)
- 寄り添い、目を配る担当者をつける。(女性,50歳代,諫早地域)
- 薬物に関しては小さい時から大人が学校でもしっかり教えることが重要。(女性,70歳代,森山地域)
- 警察との情報共有(女性,30歳代,諫早地域)
- 保護司の待遇改善(男性,70歳代,森山地域)
- 管理、監視、情報収集を怠らない。できない事は請け負わずプロに頼む。(女性,30歳代,諫早地域)
- その者の特性を見抜き、それを活かせる場の提供。(男性,50歳代,諫早地域)
- 犯罪者の生育、素質、思考等いろんなことがあるけれど本人の更生に対する本気度が一番で、更生のチャンスは作ってやっても、もう最後のチャンスと本人が思うように指導すること。(男性,60歳代,諫早地域)
- 犯罪者の監視(男性,20歳代,多良見地域)
- 社会復帰できる環境を整える。(女性,60歳代,諫早地域)
- コロナから犯罪が生まれないように就労支援。(女性,50歳代,森山地域)

調査内容や福祉に関するご意見等ございましたら、ご記入ください。

【地域・交流・まちづくりについて】

- 社会福祉協議会と地区社協が存在して屋上、屋を重ねるような事業を重複しているように感じて市民として全く理解できない。合併諫早市になって15年以上になるので地区根性みたいな事はやめて一本化し、必要なら支所を作れば良いと思う。対象者の私が老齢なので回答が難しいが最近の風潮として組織、行事全てが高齢者主体となり、俗にいう現役世代の参加が減少しており、老々福祉になっているのではないかと。(男性,70歳代,高来地域)
- 民生委員、児童委員の減少の計画が県市であるが、十分検討をお願いします。減少に反対です。(男性,80歳代以上,諫早地域)
- 私の自治会では会長さんが積極的に地域の伝統を大切にしながら、新しい事にも挑戦される方です。上に立たれる方が名誉職などと思わず、本当に地域を愛して下さる人を選ぶことで活性化したいと思います。これから災害に見舞われた時にいかに地域が対応できるか、公共機関と共に想像、シュミレーション、避難訓練等、できる事を実行していきたいと思っています。(女性,70歳代,諫早地域)
- 地域の皆さんが助け合い、支え合い、寄り添って住み慣れた町で、いつまでも楽しく暮らしていけるよう努めていきたいと思っています。(男性,80歳代以上,諫早地域)
- 私は大学に通っています。授業を通して諫早のこれからの取組について考えることがあります。例として挙げられるのが竹の下通りです。お昼にも関わらずシャッターが閉まっている状態です。このシャッターを開けることで諫早の活気な町づくりを望んでいます。若者が注目をあびるような店を開くことでSNSに広がってアーケードも前のように盛り上がるのではないのでしょうか。(女性,20歳代,諫早地域)
- 一戸建て住宅とマンション、アパート郡との交流の無さが目立つような気がします。町内単位で連絡活動できる土台作りが必要なのは。(男性,70歳代,諫早地域)

- 飯盛は高齢者が強いので若い人の意見はほぼ通らない。ギャップがあって地域と言われてもピンとこない。周りの方はデイサービスにいかれたり、同居されている方も多いので会ったら挨拶程度です。高齢者の方が体力作りで散歩されている方もいます。道がでこぼこで転ばないようにしてほしいと思います。(女性,40歳代,多良見地域)
- 設問が多く、時間を要した。行政用語で理解しにくい所もあった。地域の自治会のあり方を見直す時期ではないでしょうか。自治会をなくす所もあるようです。自治会は老人会、子ども会に補助金を出しているが、それぞれ横のつながりで交流がない。縦割りの考え方の人が多い。これからの自治会はコミュニティの考え方で、そこで暮らす全ての人々の健康と福祉を協働することが望ましいと思う。台風時の避難の情報も少なく一人暮らし同志、風当たりの少ない家に集まるようにしたが、結局孫さんの所に行かれた。自治会の中で全ての年代の人が活躍するコミュニティへの変革が必要ではないか。(女性,80歳代以上,森山地域)
- 幸町は広い所です。希望としてみんなが利用できる公園を何カ所が作ってもらいたい。地域が広いから遠い所になります。田井原公園も遊具とか広場が狭い。諫早は子どもたちが遊べる場所がありません。(女性,70歳代,諫早地域)
- コロナにより近所付き合いも遠くなった、残念に思う。(男性,80歳代以上,高来地域)
- 共助するためのシステムづくり。共助項目を地域ごとに作成、グループ化。グループに参加を募集し、いずれかに登録してもらう。グループリーダーを決める。リーダー育成、研修を地域間で行う。評価を行う(表彰や事例発表)。競い合いはしない。共助の働き手(参加者)は主に高齢同世代がいいと思います。(男性,40歳代,森山地域)
- 高齢者等が寂しさなどから野良猫にえさを与え始め、どんどん増え多頭崩壊になる例がありますが、福祉の関連で対策できないのでしょうか。このような方は近所からも孤立しがちで悪循環に陥っているように思えます。先日新聞でこういった問題のガイドラインを国が作っているという記事が載っていました。第4次計画で触れる必要があると思います。(女性,40歳代,諫早地域)
- 小野地区に公園が少ない。歩いて行ける距離に公園があれば子どもを遊ばせたりできて助かります。(男性,40歳代,諫早地域)
- 諫早市は長崎市、大村市、佐世保市よりも魅力がない。子育て支援の充実、大型商業施設の誘致など高齢者よりも次の世代に対して住みやすい町にしてほしい。高齢者よりも働く世代にとって住みやすい世の中に。(男性,30歳代,諫早地域)
- 共働きの家が多く、地域に関して協力が少なく、近所のコミュニケーションもない若い方が多く見られる。(女性,40歳代,森山地域)
- 家の裏が斜面になっており、開発業者が何年も草刈りを怠っている。春秋になれば大量の虫が発生し迷惑している。何度も自治会、市役所に話しても改善されない。災害危険マップでも高い確率で災害が発生すると記載があった。もし災害が発生した場合、市としてどういう処置を講じるのか疑問。これまで市役所の職員が近所を回っているのを目にしたが具体的な対策は取られていない、あきれて失望している。きちんとした対応を望む。場所:ファインパーク真津山開発業者:リッチ(男性,40歳代,諫早地域)
- 現在一人暮らしですが一か月の間誰も訪ねてこないし、班長さんは配布物をもって来てもだまってポストに入れていくだけ。声掛けもなく冷たい人たちがばかりです。民生委員の方に月一回電話でも良いので連絡をしてほしい。(女性,70歳代,森山地域)
- 子どもも独立し、夫婦二人の生活になりました。しかし共働きのため協力したくても時間が取れません。自治会の班長をした時に私たち世代の方は2人程であとの方は高齢の方がほとんどでした。自治会の運営も大変だなと思いました。(女性,50歳代,諫早地域)
- 年代別で地域の人との交流が決まっていると思います。できれば子どもから大人、老人、全体の人の交流ができる場所が必要だと思います。(女性,70歳代,諫早地域)
- 社会福祉協議会は地域住民が主体となった組織と記載されているが、一部の民主の児童委員が言動への評判が悪い。高圧的な言葉で個人情報保護の観点から漏らしてはならないというが、いろいろその場所でしゃべっている等、時々理解できないことがある。なかなか協力する気になれない。いきいきサロン、一人暮らしの高齢者の集い等、計画的に実施されている。住民の支えあう活動を担う人材、高齢者だけではなく、もっと若い人を育成すべきである。若い人も高齢者も参加できる行事。大変難しい問題である。(男性,70歳代,諫早地域)
- 今までは自分の事で精一杯で外へ目を向けたことがなかった。ましてや福祉活動はほとんどがボランティアだと思っていたので、なるべく迷惑をかけないように注意しようと思って生活してきた。しかし災害が頻繁に起こる昨今、自分の力ではどうする事もできない。昨年、台風で80才にして初めて避難体験をした近所の人はどうするのだろうかと思いつつ、子ども達と避難した。ある高齢者夫婦が避難して来られたがご主人が糖尿病で何度誘っても避難所内に入らず車中泊された。今考えると不備の点が多々あったと思う。自宅で生活することがベストだが、買い物、通院の足がない、高齢者の運転事故の多発でも免許返納に踏み切れない、バスの便も悪い、何か良い案はないものかと思う。(女性,80歳代以上,多良見地域)
- 地域全体で支えあう関係や仕組みを築くことです、とありますが個人の秘密事項等は自治会や民生委員・児童委員・福祉協力員の方に信頼を委ねる事ができるのでしょうか。最終的部分は行政が責任をもってほしいと思います。(女性,60歳代,多良見地域)

- 福祉の充実、子供の支援、再犯防止対策。理想は地域(自治体)ぐるみでやるのが一番なのかもしれませんが、近所の方との考え方の温度差やご近所問題等があり、それをうまくまとめる事は現実的に困難に思えます。諫早市全域で福祉に興味を持たれている方、人との交流が好きな方、何らかの形で人の為に役立ちたいと思っている方は多いと思います。そういう方の積極的な参加、意思がとても大事だと思います。自治体で決まったからやらないと、では人の心は動かないような気がします。心のゆとりでも考え方が違ってくるように思えます。諫早市が素晴らしい市になるのを願っています。(男性,50歳代,諫早地域)
- アパート住まいでも地域の方と交流が持てるような諫早市になってくれるといいです。子育て世代としてはそう願います。(男性,30歳代,諫早地域)
- 他県からの移住者のため、自治体に加入し積極的に参加し馴染むようにしていますが、なかなか馴染めない。(男性,70歳代,諫早地域)
- 一人暮らしの老人、お友達のいない老人が自由に出入りでき、おしゃべりができる楽しむ場所があったらいいと思う。(女性,60歳代,諫早地域)
- 高齢者の方の依頼があれば自宅へ出張散髪に行っています。数十件のお客様がいます。もっと広がるといいなと思っています。自分にできることをやっていきたい。(男性,50歳代,飯盛地域)

【ボランティアについて】

- 何度か「ボランティア」という文言があったが、自発的な意思による奉仕や献身であり無償労働を意味するものではない。必要な支援やサービスは基本的に行政が公費で賄うべき。専門的なサービスや技術には相応の対価を支払うべき。(男性,30歳代,諫早地域)
- 高校生の息子の共通テストの変更による「自分の活動を記録する重要性」の項目の中にボランティアがあったので、いつか調べてみようと思っていました。自治会にも入っていない私たちにとって地域のことはなかなか知る由もなく、困った人がいてもどこまで立ち入っていいのかわからないということもあり、積極的に話していこうとはしていません。ただ自分の空いた時間に無理なく支援ができるのであれば協力していきたい。(女性,50歳代,諫早地域)
- 今の福祉相談やこのアンケート内容にしてもボランティアや地域住民でのサポートに頼り過ぎていて、充実したサポートを必要な人が受けられていない。また高齢者は移動が難しく市役所などへ相談に行けない人も多いので、地域住民やボランティアではなく、支援制度をしっかりと理解している人が定期的に公民館、コミュニティセンターなどで相談会などを行ってもよいと考える。子育て支援などが必要な世帯は相談できる時間が限られているのに対して、実際の相談時間は仕事などで行けない時間で、もう少し現実的に相談しやすい(できる)時間の設定が必要だと感じる。少なくともボランティアなど金銭の発生しない人間に頼りすぎているように思う。(女性,20歳代,諫早地域)
- 若い世代はサラリーパーソンが多くなり、共働きが増えることで地域で活動できる人が減少しているため、地域の中での共助が難しくなっている。人口が減り、高齢化している地域も多いためボランティア頼みの助け合いも持続できるか懸念がある。今後はNPOなど有償で広域に活動できる団体を育成し、持続的な活動としていく必要がある。(女性,50歳代,諫早地域)
- ひとりで始められる使用済みの切手、プルタブ、テレフォンカードなどどこに持参したらいいのか分からない。以前多良見町のペンダント制度や見守り隊に参加したことがあります。現在思うのはシルバーセンターの人材登用を充実させて欲しいということです。高齢者といってもまだまだできる方が多く、利用者には低費用で働き人にはそれなりの賃金で支払う制度はできないでしょうか。10年後自分で家の管理ができなくなった時が心配です。詐欺に関わる危険もあるので行政だと安心です。(女性,70歳代,森山地域)
- 私は69歳でまだ働いているから地域活動にも行けません。仕事を辞めたらボランティア活動に参加してもいいと思っています。(女性,60歳代,諫早地域)
- 地域福祉と一言に言っても多岐にわたる分野があり、すぐに内容(イメージ)がわきませんでした。定年後もしくは退職後にはボランティア活動をしたいと思っていますが、集団で行うのではなく、ボランティア組織に属しながらも個人活動メインでできることを行いたいと考えています。(女性,50歳代,諫早地域)

【災害・犯罪等について】

- 災害が多くなっています。高齢者や障がいを持っている人が安全な場所に移動するには、民生委員や施設、地域の人たちの協力が必要だと思います。そのためにも手助けが必要な人の把握、移動する時の連絡、手順が必要だと思います。車いす用の車など協力してくれる施設があるといいと思います。(女性,40歳代,高来地域)
- 再犯防止対策は地域福祉で考えられるレベルなのか疑問。(男性,50歳代,諫早地域)

- 再犯防止について。実際、自分も長崎刑務所を3年前に出所しています。法律施行とともに再犯防止対策とまで名をうって取組を掲げたならば、もっと実のある内容の事を本人が相談に来たら即座に対応してやれるくらいにやれば良いのと思います。再犯を防止するには一番に本人の精神改革がなくてはなりません。それは服役中にやっておかなければならない事なので行政は立ち入れませんが、出所後、精神的改革がまだおぼろな面もあるので、それを支える現実的な支援はあった方が良いでしょう。衝動的だったから罪を犯す、服役する。出所すれば当然に様々な欲求がある。世の中のスピードについていけない。体調もあまりよくない。自業自得ながら悪条件が重なる状況の中、普通の人より衝動的だった人間がその衝動を抑制してやっていくには、少しでも安定した生活の場が必要。経済的にも少しでも安定がほしい。長期間の対応はしてはだめですが出所後か、その数年後でも経済的に困った時に一度だけでも支援してくれても良いのでは。前科者は実際仕事に就くのはまだまだ難しい。(男性,50歳代,諫早地域)

【介護・福祉について】

- 福祉が求められているが、福祉職の給与が低すぎる。給与を上げない限り、支援者は増えないし意欲も上がらない。資格所有していてもそれで働いていない人も多い。ボランティアに多くを求めるのもおかしいと思う。給与改善がまず優先されるべきと思う。(女性,30歳代,諫早地域)
- コロナで多くの変化が起こるため、これまでとは違った視点が必要となる。介護、看護助手など必要不可欠な仕事に就きやすい就労支援で、コロナ後も感染症は続くと考え、人々が働き、病はあっても暮らせる世の中にしたい。心のケア、心の幸せの為に美術文化を身近に体感できる地域での活動がほしい。疫病退散に祈りを込めて神社祭礼の行事を盛り上げながら地域を活性化したい。MOAという事業団体がそのような内容の事業を行っている聞き興味深い。(女性,50歳代,森山地域)
- 介護、医療従事者支援へ向けた取り組みをぜひお願いしたい。例えば人員確保、人材育成(助成)、給与助成等。介護福祉利用者へのリハビリ強化、福祉用具拡充、介護対象者、家族へのサポート。(女性,30歳代,諫早地域)
- 介護が必要となった時、近所の民生委員などは何の手助けもしてくれなかった。もっとフットワークの軽い、知識のある若い方に民生委員をやってもらいたい。(男性,80歳代以上,諫早地域)
- 行政からの連絡文書など高齢者には理解しづらい言葉遣いで内容が理解できないのではと思う。記入も困難。独居の方には行政から訪問して代行の手伝いをしてもらったらいいと思う。(女性,50歳代,飯盛地域)
- 高齢者にとっての環境整備をしてほしい。諫早市は他の市より高齢者への援助が薄い感じがする。(女性,40歳代,諫早地域)
- 独居老人に対しての福祉の充実がなされるようお願い申し上げます。(女性,70歳代,諫早地域)
- 高齢者、障がい者のみなさんに優しい福祉であってほしいと思います。(男性,60歳代,諫早地域)
- 令和3年2月10日付長崎新聞の声「みんなのひろば」で介護認定を「控えて」ほしいとの話があった、対応が心配で嫌な一日だったという事が書かれていました。介護する者にとっては不安です。(女性,70歳代,諫早地域)
- いつか来る自分の親の介護問題のためにも福祉の充実は課題だと思います。もっと広報活動を行って頂きたいと思います。諫早市民で良かったと思えるような高齢者施設や助成金の補助などを期待しています。(女性,30歳代,諫早地域)
- 障がい福祉に関する意見。障害者権利条約を批准しているのでその実現に向けて取組を促進してほしい。障害者総合支援法の硬直できな運用(解釈)を見直し、その人の障害像、生活状況、特性に合った柔軟な運用を希望します。先鋭的な自治体を手本としてほしい。障がい者本人だけでなくその家族、きょうだい児、ケアラーへの支援を充実させてほしい。障がい本人、家族の高齢化もあります。家族がいなくても地域で安心して生活できる制度設計を希望。介護と医療の連携促進。事業所にお任せできる仕組み作り、法人後見の適正化。介護職の処遇改善、地位向上により、マンパワーの確保。制度だけ整っても人材がいなければ成立しない。(女性,40歳代,諫早地域)
- 福祉アンケート調査が届いて、どうして私に、と思いました。78歳の私は50歳の息子と30歳の孫、そして主人の世話をするのが精一杯の生活です。自分が60歳の頃はボランティアも考えていました。人のお世話をするのが好きでした。質問に対して何の役にもたなかつたこととお許しください。ニュータウンの中も空家をちらほら見受けます。夫婦組が多いのでいつか認知になる人が出てきた時、どうなるか心配です。(女性,70歳代,多良見地域)

【教育・子どもについて】

- 少子高齢化に伴い、市として子どもに対する支援、親に対する支援、援助などしっかりしてほしい。学童無償化など思い切った対策を。(男性,30歳代,諫早地域)
- 諫早に住んで3年ほどになります。子どもが生まれてから育児や家事が忙しくなり、生活する中でもう少し今住んでいる地域が便利になればいいと思います。車の免許をもっていないので、平日はスーパーの買い物に行くだけで片道歩いて25分程かかります。支援センターはたまに利用しますが、一人で子どもと気軽に過ごせる商業施設(イオンやゆめタウンなど)が無いので公園で遊んで帰ってくるだけの日などが多く親自身がもう少しリフレッシュできる場所が近くがあればいいと思います。ガードレールのある道が意外と少なく、もう少し安全な歩道の確保をしてほしい。歩き始めたばかりのわが子とゆっくりお散歩したいのですが、車がビュンビュン通ってくるので困っています。(女性,30歳代,諫早地域)

- ひとり親に対して、もう少し支援してほしい。(女性,20歳代,諫早地域)
- 少子高齢化に歯止めがかかる施策を適切に継続すること。日ごろ市民が考えている事、不満等を汲み取り、市政、地域活動に反映させる取り組みが定着して行くことが求められる。蛇足ながら現在、核家族が定着していますが人口減少、経済的弱者、貧困等の改善策の一打として、大家族を見直すのも一考かと思っております。若者、子育て世代が諫早市に定着し安心して生活できるよう企業誘致、学校、医療、商業施設の確保、地域環境等の確保、整備に加え、移住者の促進についても力を注ぐ必要があると思っております。今回のアンケートについては計画策定上、必要なものと感じました。課題は今後さらに求められる要素だとも思います。(男性,70歳代,諫早地域)
- 社会福祉士、精神保健福祉士として病院で働いていましたが、退職し今は年子(未就学児)の育児に専念しています。自分は一人で抱え込まないよう、外に出向いたり相談したりするタイプですが、未就学児を複数育てている方の中には、時間的にも精神的にも余裕がなく、困っていても助けを求めることすらできない人が潜在的にいると思います。相談されたらのはなく、そのような人達がどうしたら援助につながるかを考えないと、いくらサービスや制度を充実させても意味がないように思います。先進的な地域では「こんにちは赤ちゃん」制度のような全戸訪問を未就学児がいる家庭にもしているところがあります。何かしらの援助を必要とする前に孤立を未然に防ぐことが大切だと思います。またこのように意見を伝える機会を増やして頂けると、より住民のニーズに合った仕組み作りができると思います。私は自分の資格と子育て経験を活かし、母親の育児ストレスの軽減、虐待の未然予防のためのNPO法人を作りたいと思っています。生の声を行政に活かせる場を作って頂けたら積極的に参加し、貢献したいです。育児や家事で埋もれた地域福祉に貢献できる人間を発掘して下さい。(女性,40歳代,諫早地域)
- 高齢者、片親家庭への対応、取組は課題が多くあると思いますし大変だと思います。震災で親、家族を亡くし、移住して来ましたが、結婚し主人、子どもはいても身内なき甘えられる頼れるような関係は早々には困難です。預けるにしても必ず支払う、片親は免除されても夫婦仲で色々あっても二人で頑張り生活をするため必死に働き全額払います。それが親の責任。離婚は一人でも親の役を果たすということとは違うと思えます。夫婦問題と思いますが、あまりにも取組は格差があります。甘やかし対応です。(女性,30歳代,諫早地域)
- アンケートを実施するからには行政サービス等へ活かして頂きたい。諫早は長崎市や大村市などと比較して行政サービスが充実していないように思います。特に子育て支援分野。少しでも住みよい街になるよう期待しています。(女性,30歳代,諫早地域)

【経済支援について】

- 生活保護、ひとり親世帯の中にも本当に制度を利用し、頑張られている方もいれば、うまく利用し生活の安定をされている方もいる。実態を把握し必要な方への支援を拡大してほしい。ひとり親の方は年収があると少なくなると聞いている、年収の幅を考えてあげてはどうか。福祉医療も大村のように小学校に上がっても幼児の時と同じように病院への支払いができればいいと思う。(男性,50歳代,諫早地域)
- コロナの影響で仕事に就けない方がいるので国の支援が必要なのではないでしょうか。(女性,50歳代,諫早地域)
- 病気や生活に困窮していても国や市の条件や規制があるために支援からもれる人が多い。(男性,70歳代,諫早地域)
- 生活保護のため自転車で買い物などに行っていますが、膝が悪いためバイクに乗れないものか相談したいのですが。(男性,50歳代,諫早地域)

【交通について】

- 諫早市福祉巡回バスを運行してほしい。または路線バスの交通助成金を出してほしい。高齢者になり運転免許返納が迫っています。タクシーばかりは乗れません。諫早市は何の助成もありません。民生委員の方に一言。立派な方ばかりと思いますが、中には口の軽い方もいて安心して相談できません。守秘義務と緊張感を持ってほしいと思います。(女性,70歳代,諫早地域)
- 高来町ふれあい会館「ふれあい号」というマイクロバスが旧国道の右側に駐車しており、非常に通行の妨げになっている。改善できないか。(男性,60歳代,高来地域)
- 地主不在の土地の管理についてのお願。雑草や蛇が出るなどとても困っている。市役所に何回依頼しても何もしてもらえない。なんとか地主に管理するように働きかけて下さい。ゴミ置き場が登り坂道で老人にはつらい、何とかして欲しい。竹の下から目代方面へ小型バスを出してほしい。病院や買い物などが大変。(女性,80歳代以上,諫早地域)
- 諫早市は福祉活動が分かりにくく他の市町より遅れている気がします。交通が不便。小さいバスでも回してもらえたら助かります。(女性,80歳代以上,諫早地域)
- 主人の免許返納後、買い物、通院にとっても不自由しています。バス停も遠く回数も少ないので。(女性,80歳代以上,諫早地域)
- 夫婦とも高齢になり免許を返納して、買い物、通院に困っています。(女性,80歳代以上,諫早地域)

- 地域性でマイカーが多く、私の住む地域は高齢者が多いがまだかなりの人が運転をしており、車がないと生活がとても不便です。バスの便も少なく、金額も負担となるので交通機関のあり方というか利用の仕方、あるいはそういった方法があればその情報をもっと広げていった方が良いと思います。それから地域では国の福祉の話かと思いますが、家族がペースメーカーです。病気になった時、国民年金だったため、あるいは日常生活に支障がないためという理由で年金は1円もありません。就職する時は差別を受けるし、制限もあり、とても大変です。そのため安い賃金でも雇って下さる会社を選ばざるを得ません。もう少し生活費の補助となるような支援があると助かると思います。障害者手帳1級の補助はありがたいです。(女性,40歳代,諫早地域)
- 運転できない人や老人にタクシーチケットなどの配布。長崎市はあるようです。(女性,50歳代,諫早地域)

【情報提供等について】

- 福祉に関心がない限り、自分が住んでいる地域で何が行われているか情報が入りづらく、実施されている活動がひとり歩きしている印象を受けました。活動や窓口、制度について周知してもらうような取組があれば助かる住民も増えるのではと思いました。(女性,20歳代,諫早地域)
- アンケートの取組をしていることを知りませんでした。皆が暮らしやすいと思える住みよい町になることを願っています。(女性,20歳代,森山地域)
- 長崎市、大村市、島原市等、他市と比較した諫早市の現状を知りたい。そうすれば良い所、悪い所が出てくると思う。(男性,70歳代,森山地域)
- 市民アンケート調査の結果を公開してほしい。(男性,70歳代,諫早地域)
- 個人、少人数で利用できる運動施設があれば良い。温水プール、テニスコート、壁打ちコートなど。火災情報がすぐにわかるインターネット掲示板があれば良い。(男性,60歳代,森山地域)
- アンケートに回答してみて福祉についてあまり知識がないと思った。(女性,50歳代,多良見地域)
- デイサービスの普及を地域住民に周知する。(男性,80歳代以上,飯盛地域)
- 分からないことが多かった。今後は市役所の広報紙など読むようにします。(男性,70歳代,森山地域)
- 日頃はあまり福祉関連に注意することはありませんが、根気よく周知に努めることと思います。(男性,70歳代,森山地域)
- 福祉の仕事をしていますが、していなかったらわからない事だらけだろうと思いました。もう少し分かりやすくオープンになっていったらと思いました。(女性,30歳代,諫早地域)
- 親が子に対し、教育や躾の名目のもとに虐待が行われている。例えば、長時間家庭学習を強いたり、点数が悪い、成績が下がったら夜、外に追い出して家に入れられないなど、体罰を加えたりしているのを第三者が目撃した場合、どう対処すべきか。そういう相談を受け付ける窓口があるのか教えて頂きたい。(女性,80歳代以上,諫早地域)

【その他】

- 母は高齢者施設に入居中です。99歳で認知症のため本人の意見も聞くことが不可能です。(女性,80歳代以上,諫早地域)
- 税金等の適切な使用(無駄使いが多い)。今の政治家の言動、責任感の無さにはどうしようもない。(男性,60歳代,諫早地域)
- 各組織、団体の日頃からのご努力に感謝します。前例踏襲、行事消化になることなく時代の変化(コロナ対策等)に柔軟に対応して頂きたく思います。立派な第4次計画の策定を期待しています。(男性,70歳代,森山地域)
- 高齢になってつれあいに先立たれ、一番の理解者を失うほど悲しいことはなく、立ち直るのに時間がかかりました。今は元気です。(女性,70歳代,森山地域)
- 非協力的な回答をしていると思いますが、できることがあればお手伝いしたいという気持ちもあります。家族が障がい者になって初めて福祉のことを知りました。それまで無知でした。今でもよく分かっていませんが。(女性,60歳代,諫早地域)
- 性別欄は男女の他にその他、無回答などの選択肢を設ける方が今の世の中の流れにあっているのではないのでしょうか。(女性,50歳代,諫早地域)
- ひとり暮らしの高齢者には難しいアンケートだと思います。書けないとすごく不安がっている方もいらっしゃいました。(女性,60歳代,諫早地域)
- よくわからない事が多く、まだ福祉の事が身近ではないのかなと思いました。後期高齢者になってきているのでもっと自分の事として考えなければいけないと思いました。(女性,60歳代,諫早地域)
- コロナ禍の中で色々な問題があると思う。他人事とは思わず考えていきたいと思うアンケート内容でした。(女性,50歳代,諫早地域)
- 質問に答えることで今まで知らなかった市の取り組みや活動を知る事ができ、ためになりました。また回答選択を読んで色々な意見が予想されており、多方面から色々考えることができました。私が地域のために役立つことはありませんが、日々よりよい地域づくりにご尽力下さいましてありがとうございます。(女性,30歳代,諫早地域)

- 夫婦とも高齢のため、自分が他人のためにできるどころか、ご迷惑をかけないことを一番に生きている。(男性,80歳代以上,諫早地域)
- 時代がどんどん変わる今日では福祉の仕事をしてくださる方はそれはそれは大変でしょう。顔が違うように皆それぞれ考え方が違います。年をとると我が事で大変です。(女性,80歳代以上,諫早地域)
- アンケートの質問が多く内容も難しかった。(男性,60歳代,諫早地域)
- コロナ禍で回答しました。そのため「交流」などに丸をする時はコロナウイルスが収束しているという前提で答えました。人によってはコロナ禍の現在は「〇〇はしたくない」と感じる人もいます。それによるバイアスをどう扱っていくかが今回の調査の難しいところだと思います。(男性,40歳代,諫早地域)
- よりよい諫早市になるようよろしくお願いします。(女性,30歳代,諫早地域)
- 何事もまずは公的機関に相談させていただくのですが、相談される側の対応によっては助けられたり、逆に絶望されたりすることもあると思います。「される側」の方々、ぜひそのことを忘れてないで対応してもらいたいです。何気ない一言で助けを求める人々は生かされるのです。本当に忘れてないで下さい。(女性,70歳代,森山地域)
- ボランティア、助け合い、それらを求められた時に迷いなく手を差し伸べる自分があれば良いと思います。自分の生活をいかに充実させられるか、その上でできることは何かを考えていけば良いと思っています。(男性,60歳代,飯盛地域)
- アンケートの統計結果をどうやって知ることができるのかの案内がない。返信用封筒が小さすぎる。(男性,30歳代,諫早地域)
- 社会福祉協議会とか、その活動があると記されているが、アンケート調査をするならその内容をまず具体的に市民に知ってもらうことが必要ではないか。当たり前のような質問ばかりでは内容が何もないアンケートになっているように思う。もっと現場を知ってから調査をされた方がいいのでは。このアンケートも回答用紙を別にする等、手元に何も残らなかつたら何の意識も付かないと思う。(男性,60歳代,諫早地域)
- 年齢が高くなると内容を読み理解し、覚えこむのは大変です。時間もかかります。(女性,80歳代以上,飯盛地域)
- 何をどうしていいのか分からないため記入ができませんでした。(女性,80歳代以上,飯盛地域)
- 諫早市役所からのアンケート調査用紙が市役所からではなく、Next-i 株式会社から送られてくるのはなぜですか。このアンケートは市が作成したのですか。質問の意図や誘導に対しても不信感が拭えません。公費を使うのであればもっと地域に即したアンケートにすべきです。(男性,50歳代,諫早地域)
- 地域福祉についてアンケート調査を通じて、地域における生活課題を学ばせて頂きました。(男性,70歳代,諫早地域)
- 自分がもう何もできない年齢で答えがあまり出なかった。(女性,70歳代,諫早地域)
- 諫早市社会福祉協議会に所属すると思われる「植山荘」について疑問に思っている事を申し述べます。私共夫婦二人は週に一回「上山荘」の浴場を10数年前から利用させて頂き、いつも感謝しております。しかし利用するたびに感じる事が、高齢者利用施設の浴場はどこも40度前後にも関わらず、上山荘の浴場は常に44度の高温です。所長が変わるたびにしばらく40度ですが1ヶ月しないうちに44度に戻ります。事故があったらどうしますか。高齢者を迎える気持ちがあるのなら40度前後のお湯をすすめます。事故があつてからでは遅いです。(男性,80歳代以上,高来地域)
- 難しかった。(女性,80歳代以上,諫早地域)
- 難しすぎて分かりかねます。(女性,80歳代以上,諫早地域)
- なかなか今すぐ、身近に感じないので、はっきりしたことが言えません。こんな時にちゃんとした対応ができるように学んだりしなければいけないと思いますが、コロナや自分自身の事でいっぱいではかの事まで頭が回らず、たいした回答ができずすみません。(女性,50歳代,諫早地域)
- なかなか難しい質問が多く分からないことばかりでした。福祉は今後、より一層大切になっていくと思います。(女性,50歳代,多良見地域)
- 設問を見て改めて市民としての義務について考えさせられた。市民としての税は払っているが、その先はあなたまかせで不都合なことに対してはしっかり声をあげ、より良い施策にもっていくのも市民の務めだということ再認識した。(女性,80歳代以上,諫早地域)

2 . 地区（校区）社会福祉協議会関係者アンケート調査

【問4】あなたは、お住まいの地域で、現在、何らかの役職を務めていますか。（その他）

- 福祉協力員(男性,70歳代,多良見東地区社会福祉協議会)
- 子育てサロン(女性,50歳代,御館山校区社会福祉協議会)
- 地区社協事務局長(男性,60歳代,小野地区社会福祉協議会)
- 福祉協力員(女性,70歳代,小野地区社会福祉協議会)
- 小野地区社会福祉協議会役員(男性,80歳代以上,小野地区社会福祉協議会)
- 校区社会福祉協議会(男性,60歳代,真津山小校区社会福祉協議会)
- 障害者団体役員、地区社協役員(女性,70歳代,多良見東地区社会福祉協議会)
- 地区社協監事(女性,70歳代,小長井地区社会福祉協議会)
- 福祉協力員(女性,60歳代,有喜地区社会福祉協議会)
- 食生活改善推進森山支部長、諫早市(自)家族会女性部副部長、社協理事(女性,70歳代,森山地区社会福祉協議会)
- 社会福祉協力員、サロンスタッフ(女性,60歳代,御館山校区社会福祉協議会)
- 飯盛地区社協理事(女性,40歳代,飯盛地区社会福祉協議会)
- 校区社会福祉協議会役員(男性,70歳代,真津山小校区社会福祉協議会)
- 母子寡婦会の役員(-,80歳代以上,小長井地区社会福祉協議会)
- 協力員、見守りの会(女性,70歳代,上山地区社会福祉協議会)
- 地区公民館管理人(女性,70歳代,多良見東地区社会福祉協議会)
- 学校評議員(女性,60歳代,西諫早地区社会福祉協議会)
- 福祉協力員(女性,60歳代,小長井地区社会福祉協議会)
- 地区社協(男性,60歳代,本野地区社会福祉協議会)
- 西小校区社協理事、地区防犯連絡所長、子ども110番の家(男性,80歳代以上,西諫早小学校区社会福祉協議会)
- 有害鳥獣捕獲隊代表(男性,70歳代,小長井地区社会福祉協議会)
- 地区社協役員(男性,70歳代,-)
- 福祉協力員(女性,60歳代,喜々津地区社会福祉協議会)
- 更生保護女性会(女性,70歳代,本野地区社会福祉協議会)
- 地区若返り体操責任者(女性,70歳代,喜々津地区社会福祉協議会)
- 女性防災クラブ役員、食改役員、地区社協役員、ボランティア役員(女性,70歳代,飯盛地区社会福祉協議会)
- 食生活改善推進員(女性,70歳代,上諫早地区社会福祉協議会)
- 監事、評議員(男性,70歳代,長田地区社会福祉協議会)
- 社会福祉協力員、いきいきサロン責任者、実守りの会会員(女性,70歳代,上山地区社会福祉協議会)
- NPO 法人理事(女性,70歳代,高来地区社会福祉協議会)
- 更生保護女性会、母子保健推進員(女性,70歳代,有喜地区社会福祉協議会)
- 北諫早幼稚園学校評価委員、中央公民館自主学習グループ運営委員会監事(男性,70歳代,北小校区社会福祉協議会)

【問 7】あなたは、現在、地区（校区）社会福祉協議会において、どのような役割を担っていますか。（その他）

- 副会長(男性,70歳代,小栗地区社会福祉協議会)
- いきいきサロンボランティア(女性,70歳代,上諫早地区社会福祉協議会)

【問 8】あなたは、地区（校区）社会福祉協議会のどのような活動に参加されていますか。（その他）

- 地域子どもの見守り(女性,70歳代,小長井地区社会福祉協議会)
- 子育て支援、託児(女性,70歳代,諫小地区社会福祉協議会)
- 老人会(男性,70歳代,有喜地区社会福祉協議会)
- 老人会(男性,70歳代,真津山小校区社会福祉協議会)

【問 9-1】その理由は何ですか。（その他）

- 自治会活動との兼務(-,-,多良見東地区社会福祉協議会)
- 地域の理解不足(男性,80歳代以上,諫小地区社会福祉協議会)
- 参加者が本当に喜んでいるか不明、押しつけになっていないか疑問。(男性,70歳代,西諫早地区社会福祉協議会)
- 業務上の雑務や保護者等の相談や要望などの対応等、日々責任の重さがある。(女性,40歳代,飯盛地区社会福祉協議会)
- ボランティア一人のため、複数いたら少し楽になると思う。(女性,70歳代,飯盛地区社会福祉協議会)
- 若い人が少なく後継者がいない、ボランティアへの責任が大きすぎる。(女性,70歳代,飯盛地区社会福祉協議会)
- コロナのような状況の時サロンを行うべきか迷った。(女性,60歳代,森山地区社会福祉協議会)
- 福祉活動の難しさ、いかに行動するか難しい。(男性,70歳代,北小校区社会福祉協議会)
- 活動に参加する人員不足(特に若者)(男性,60歳代,北小校区社会福祉協議会)

【問 10】地区（校区）社会福祉協議会の活動について、「現在取り組んでいる活動の中で特に重要と思う活動」及び「今後力を入れていく必要があると思う活動」は何ですか。

現在取り組んでいる活動の中で特に重要と思う活動（その他）

- 学童以外で小中学生が気軽に立ち寄れる場所(女性,50歳代,御館山校区社会福祉協議会)

【問 10】地区（校区）社会福祉協議会の活動について、「現在取り組んでいる活動の中で特に重要と思う活動」及び「今後力を入れていく必要があると思う活動」は何ですか。

今後力を入れていく必要があると思う活動（その他）

- 学童以外で小中学生が気軽に立ち寄れる場所(女性,50歳代,御館山校区社会福祉協議会)
- 行政職員が必要(男性,70歳代,多良見西地区社会福祉協議会)

【問 11】現在、地区（校区）社会福祉協議会の活動をしている中で困っていることは何ですか。（その他）

- 社協組織との関与が希薄で活動区の問題については提起。(男性,70歳代,小野地区社会福祉協議会)
- 地域の方が呼び掛けても集まらない。(女性,70歳代,上山地区社会福祉協議会)
- 個人情報保護法で住民の活動には限界。(男性,70歳代,多良見西地区社会福祉協議会)

【問 12】今後、地区（校区）社会福祉協議会の活動を進めていくにあたり、諫早市や諫早市社会福祉協議会に期待することは何ですか。（その他）

- 特定の人に活動が集中している。若い世代に広く担い手を求める。全体の一元管理が必要。(-,-,多良見東地区社会福祉協議会)
- 社協役員の高齢化が進み活動に期待できない。(男性,70歳代,-)
- 地区社協の在り方の見直しを。(男性,70歳代,多良見西地区社会福祉協議会)

【問 13】あなたがお住まいの地域には、どのような課題があると思いますか。(その他)

- 将来を担う児童、生徒の減少による学校運営の行き止まりを非常に懸念する。(男性,70歳代,多良見西地区社会福祉協議会)
- 地域で困った人がいるのかさえもわからない。(女性,70歳代,上山地区社会福祉協議会)
- 地域の方との交流が少なく情報も少ない。(女性,60歳代,森山地区社会福祉協議会)
- 高齢者の移動手段、商店不足(男性,70歳代,多良見西地区社会福祉協議会)

【問 14】地域における福祉を充実させていく上で、行政と住民との関係は、どのようなものが望ましいと思いますか。(その他)

- 行政の出番は最後として自助、共助を推進する必要があると思う。(男性,70歳代,多良見西地区社会福祉協議会)

【問 15】今後、地域での助け合いを推進していくために、どのような施策が必要だと思いますか。(その他)

- 行政が施策をしても利用する人は一部のオタクで大半の人は生活のため仕事で参加、利用できないと思う。そのため職員は人集めに奔走しているのが現状ではないのか。(男性,70歳代,多良見西地区社会福祉協議会)
- 交通指導員、補導委員等のように市が対価を払って委託すべき。(男性,70歳代,西諫早地区社会福祉協議会)
- 介護認定の見直し(真に必要な人を)。(男性,70歳代,多良見西地区社会福祉協議会)
- 自由に参加できる井戸端会議の場づくり。その中から地域ごとの取り組みが自発的に生まれれば地域に推進する。(男性,60歳代,北小校区社会福祉協議会)

【問 19-1】相談内容はどのような事ですか(その他)

- 全般(男性,60歳代,北小校区社会福祉協議会)

【問 20】相談はあったが成年後見制度の利用に至っていない場合、その理由を教えてください(その他)

- 弁護士の対応に不信感(面接時)(男性,60歳代,有喜地区社会福祉協議会)
- 弁護士会への不満(男性,60歳代,北小校区社会福祉協議会)

【問 21】今後、成年後見制度の利用促進・充実を図っていくためにはどのようなことが必要だと思いますか。(その他)

- 市長申し立ての邪魔を福祉総務部が行って市長申し立てにせず、本人申し立てに無理やり持っていく。このため市長申し立ては県内でも一番少ない部類に入ると思う。(男性,60歳代,御館山校区社会福祉協議会)
- 成年後見制度自体が弁護士優先の制度であり、問題が多すぎる。(後見人に指定の弁護士を選べないなど)(男性,60歳代,北小校区社会福祉協議会)

【問 22-1】その理由を教えてください。(その他)

- 協力者としての能力、資格がない。(男性,60歳代,上諫早地区社会福祉協議会)
- 能力的に難しい対応を必要とするので無理と思われる。(男性,60歳代,御館山校区社会福祉協議会)

【問 23】あなたは、再犯防止のために、具体的にどのような取組が必要だと思いますか。(その他)

- 少なくとも性犯罪者には GPS を埋め込み監視体制下に置くべき。(男性,70歳代,多良見西地区社会福祉協議会)
- 矯正教育の徹底(男性,70歳代,小栗地区社会福祉協議会)
- 専門的知識がない(男性,70歳代,小長井地区社会福祉協議会)
- 社会復帰をするための「居場所づくり(仕事、生活場所)」と「仲間づくり(サークル活動、ボランティア活動)」(男性,60歳代,西諫早小学校区社会福祉協議会)
- 犯罪を故意の犯罪、過失の犯罪と区分して考えるべきではないか。(男性,60歳代,北小校区社会福祉協議会)

【問 24】再犯防止のために、地方公共団体は何をするべきだと思いますか。(その他)

- まず犯罪を防止することに力を入れるべき。(男性,60歳代,御館山校区社会福祉協議会)
- 性犯罪者は二度と教壇に立てないよう全国ネットで管理する必要があると思う。(男性,70歳代,多良見西地区社会福祉協議会)
- 犯罪本人の自覚が必要であると思う。(男性,70歳代,小栗地区社会福祉協議会)
- 相談体制の充実(孤立させないための取り組み)。(男性,60歳代,西諫早小学校区社会福祉協議会)
- 犯罪の程度により再犯防止などとひとくくりにはできない。(男性,60歳代,北小校区社会福祉協議会)

調査内容や福祉に関するご意見等ございましたら、ご記入ください。

【地域福祉・地域活動・交流について】

- 自助を強調し、公助を最後にする考え方は危険。助けてと言えない空気を作り出す社会は危険。自助は自発性を持ち、従って自助、共助、公助は同時進行でないと助けられるものも助けられない。行政、社会福祉協議会の専門職が地域実践の範を示すことから始めるべき。福祉に関わる多団体に横串を刺し、類似重複の活動を避ける。福祉活動に関わるスタッフの広範囲化(若年層及び多人数)を図る。(男性,70歳代,多良見東地区社会福祉協議会)
- 成年後見制度、再犯防止対策に関する項目については知見が乏しく回答に自信がなく、戸惑いを感じ、今後知識を深める必要を感じた。地域福祉に関する件については常日頃からアンテナを高く、また地域の現状把握に努めることが大切だと感じているが、多少活動、行動にマンネリ化している気がして、十分現状確認、認識に欠けている気が致します。このアンケートを機会に初心にかえって活動していきたいと思えます。(男性,70歳代,上山地区社会福祉協議会)
- 現在住んでいる地域は65歳以上の二世帯が多く、あと何年かすると一人暮らしの老人世帯が多くなると考えられます。小中学生も3、4人と少なく活気もなく今後どうなるか心配です。現在学童保育の運営に関わっておりますが、施設が老朽化しており、児童の数は年々増加し、狭小の部屋で保育をしています。子育て支援にもう少し力を入れて欲しいと思っています。(女性,70歳代,高来地区社会福祉協議会)
- 自助の限界を感じている人が多くいるのではないのでしょうか。(男性,70歳代,多良見西地区社会福祉協議会)
- 自分たちの生活もあるため、ボランティア等だけでは十分にまかないきれない現状がある。そのため特化した専門機関の介入が必要と考える。(男性,60歳代,多良見西地区社会福祉協議会)
- 少子高齢化、新型コロナウイルスと最悪の時期だと思えます。コロナは将来、収まっていくにしても、少子高齢はこれから増々深刻になっていくと思えます。どうすればいいのかということは、各町内の公民館を基盤として各班長、自治会役員が何にも参加したことがない人を掘り出してお世話することである。(男性,70歳代,多良見東地区社会福祉協議会)
- 色々な活動の発想は良いと思うが、具体的に展開してリードするのは自治会や民生委員に投げられている。福祉協議会や行政で立ち上げてリーダーも配置してから軌道に乗ったら自治会や民生委員に投げかけつけて欲しい。今はリーダー集めから人集めまで投げられすぎている。(男性,70歳代,小栗地区社会福祉協議会)
- 高齢社会のなかで支援する側と支援される側が共に高齢を迎え、指導者の不足、受ける側の参加状態が、施設入居、活動拠点への移動困難などにより、活動そのものできない状態が生じている。そのために後継者の育成と地域住民へのアプローチが急務である。今までの組織の活動は年を追うごとに衰退の一途をたどるに任せている。善意や奉仕にのみ頼るのも限界、制度の機能化を。新旧交代、新たな風を呼び込むための方策が必要である。そのために現在のリーダーや利用者の声を広く地域に報わせ、関心を深め「明日は我が身」と共感を呼び起こすことが重要では。情報連携から行動連携へ。埋もれた人材の発掘のためにも、現在活躍している方々のノウハウを次の世代へつなぐ場づくりを。そのような実践をされている地域の紹介をしてほしい。(男性,70歳代,森山地区社会福祉協議会)
- 今回このようなアンケート調査をされた事は「市民の声を行政に」との意向がうかがえ、大変に良い事だと思えます。都会での話ではなく、目に見えていない貧困、経済格差は諫早市にもあると思えます。また市民が集える場所(気軽に)があれば、市民の人の流れができるのではないかと思います。子どもたちが学び集える場所(放課後)、大人が交流できる場所の確保が必要と考えます。一人にしない生活環境作りを。(女性,50歳代,御館山校区社会福祉協議会)
- 市も社協ももっと密に地域に足を運び、直接自分の目と耳で地域の福祉課題を感じてほしい。市の職員も社協の職員も自分の住んでいる地域で地域福祉の実践者となってほしい。もっと専門性を高めて欲しい。(男性,60歳代,御館山校区社会福祉協議会)
- 昔から言われてきた言葉「困った時はお互いさま」をずっとモットーにして生きております。自分が元気で動ける間は隣近所助け合い、協力をし続けたいと思っています。(女性,70歳代,長田地区社会福祉協議会)
- 住民一人ひとりがここに住んで良かったと思えるような地域づくりを目指したい。優しい声かけ、見て見ぬふりをしない世の中になってほしい。支援をしたりする人は支援をしてやっているようなおごりを持ってほしくないと思えます。(女性,70歳代,小野地区社会福祉協議会)

- 新型コロナウイルス感染症の拡大で社会構造、考え方、地域の在り方も変わってきました。福祉は本来人間生活全てに関わっている事だと思っていますが、男女平等とか子育てについてももっと男性の方に興味や問題意識を持ってほしいと思います。地区社協については自治会長や民生委員があて職のように関わっていて任期が終了すれば、それきりという感があり、ある程度の期間を通してリーダーになって下さる方が必要だと感じています。(女性,70歳代,多良見東地区社会福祉協議会)
- 地域社会で安心安全なまちづくりをしていくのは市民一人ひとりの務めです。社会福祉については市民誰もが関心があっても何がどうなっているのか複雑で頭の整理ができていない状態です。誰が誰に対してどのように何をどう支援し、まちづくりに協力し、本人もボランティア活動に参加するか。気楽に考えていますが、今までの社会構造から自分さえよければという自己中心的な考えがあり、何事も関わりたくない人も多い世の中です。健康寿命を延ばしていくことは皆大切にしています。これからはPDCAのサイクルに基づき、継続的に改善していくため市民の学習の場を広げて欲しいと望んでいます。(男性,70歳代,北小校区社会福祉協議会)
- 各地区に寄合い所(いつでも誰かがいる、おしゃべりできる場所)があったらいいなと思います。各公園に椅子とテーブルがあったら、晴れた日にはおしゃべりできると思います。昔は公園は子ども中心でしたが、これからは大人、老人向けにも作ったらどうでしょう。(女性,70歳代,西諫早小学校区社会福祉協議会)

【高齢者福祉について】

- 最近、物忘れが多くなり認知症の心配が出てきました。高齢夫婦のみの生活の中で終活の準備もしなければと思っており、隣近所の付き合いも通り一遍になっています。個人情報の保護もあり難しいです。価値観の多様性を尊重し、理解して付き合いするのめくたびれます。アンケート項目に成年後見制度や再犯防止対策についてとあり、回答するのに躊躇しました。市地域福祉計画作成に参考になると幸いです。(男性,80歳代以上,北小校区社会福祉協議会)
- 超高齢化、老々介護など厳しい状況となります。当町ではいきいきサロンにおける安否確認しかありません。他町の成功例を含め、市、社協としてメニュー作りはいかがでしょうか。更に財政支援が伴えば幸いです。(男性,70歳代,小栗地区社会福祉協議会)
- 高齢者の見守りは民生委員さんの訪問活動等で安心できるが、70歳未満の一人暮らしの見守りも地域ぐるみで考えるようにしてほしい。有喜地区は世代間交流活動がない。港祭りはお盆の15日に開催されているが、暑くて一番忙しい時なので皆が参加できる日程、行事を考えてほしい。(女性,70歳代,有喜地区社会福祉協議会)

【災害・犯罪等について】

- 社会福祉協議会の活動として他地区では災害時の対応が取り上げられているのをニュースで拝見しましたが、諫早でも災害に対する意識を過去のケースを鑑みても強く持つべきだと思いますので、他地区(災害に遭われた)の活動を情報発信してもらいたいと思っています。(男性,60歳代,小野地区社会福祉協議会)
- 社会福祉協議会での活動を前提に調査してられるが、何か活動しているという実感が無いので回答に困った。再犯防止については以前、刑務所帰りのホームレスの対応をしていたが、非常に難しかったという思いである。(男性,70歳代,多良見西地区社会福祉協議会)
- 犯罪をした人への支援などには、国や地方公共団体が行き、再起を喚起するためには、矯正教育を徹底に行っていくことが必要。(男性,70歳代,小栗地区社会福祉協議会)
- 再犯防止についてのアンケートは初めてでしたが、諫早も刑務所があり、他の地域より関心は高くなってきていました。再犯の高齢者の話をテレビでよく見ていました。家族や親族がいてもそこへは帰れない、住むところ、仕事がなく手持ちのお金がなくなったら、食と住のために軽い犯罪を犯して刑務所に戻るしか方法がないという理由を述べておられました。今回のコロナの問題と同じく、日本には生活保護を受けることは窓口で受け付けてもらうことさえ難しいと言われています。古い話ですが精神科の閉鎖病棟での実習の時、病気が完治していても身元引受人がいなかったために病院から出られず一生入院患者さんの世話人として生きていくという人がいました。どんな形でも世の中から切り離されていた人達にとっては住居と仕事はとも重要だと感じています。(女性,70歳代,上山地区社会福祉協議会)

【情報提供等について】

- コロナ感染拡大が全国的な広がりの中、新聞、テレビ等マスコミの報道で社会福祉協議会の活動、活躍が良しとされている。社会福祉協議会の理念、存在意義、活動内容を社協を構成している全員に教育、普及していくことが大切だと感じます。(男性,70歳代,西諫早地区社会福祉協議会)
- 私たちの心の中に巣くう「排他的、自己中心的、利己的」心情はコロナ禍の中で感染者や医療関係者に色々な形の攻撃を仕掛けている。従って個人的には自分、家族を感染から必死で守る、団体では三密を避け、手指消毒、手洗い、体温チェック等に厳しく対処しようとする大半の行動、集団行動はできないものが現状である。問23に関して、心情的には十分理解できるが、ほとんどの人々が内容を十分に把握できておらず、また情報も十分に掴めていなく、適切に行動できないのが実情ではないか。住民への広報活動を積極的にしてほしい。里親関係にしても同じ事を感じる。住民に開示し理解、協力を得る努力をしてほしい。(男性,70歳代,御館山校区社会福祉協議会)

- 行政、地域、社会福祉協議会の三者で推進する共同課題であるため、情報の収集、提供を会員に積極的に知らせて活動を図ることが大切であると思います。(男性,80歳代以上,小野地区社会福祉協議会)

【その他】

- アンケートの質問が難しい。行政用語、専門業界では使うのですが、一般住民には分からない言葉も多く、広く住民の意見を本当に聞きたいのか？と思いました。難しいことを易しく説明することは簡単ではないです。地域社協の活動はしていますが、これを客観的に見るということはあまりありません。(男性,60歳代,真津山小校区社会福祉協議会)
- 調査結果について何らかの形で公表(報告)願いたい。(男性,60歳代,森山地区社会福祉協議会)
- 「一人も置き去りにしない社会」構築に向けて、地域福祉の一層の充実を願います。(男性,80歳代以上,諫小地区社会福祉協議会)
- アンケート調査の回答が思うようにできませんでした。(女性,70歳代,小長井地区社会福祉協議会)

3 . 民生委員・児童委員アンケート調査

【問 5】あなたは、お住まいの地域で、現在、民生委員・児童委員の活動以外に何らかの活動をされていますか。12. ボランティア（その他）

- 図書(女性,50歳代,上山地区)
- 読み聞かせ(女性,50歳代,本野地区)
- ミニバスケットボール指導、図書ボランティア(女性,50歳代,上山地区)
- サロン(男性,60歳代,飯盛地区)
- コスモス、音声訳の会(女性,70歳代,真津山地区)
- いきいきサロン(女性,70歳代,小栗地区)
- 小学生あいさつ運動、廃品回収(女性,60歳代,西諫早地区)
- 花壇の花植え、ひとり暮らし宅のゴミ出し(男性,60歳代,有喜地区)
- よつば会(女性,70歳代,高来地区)
- サロン活動(女性,70歳代,小長井地区)
- いきいきサロン(女性,70歳代,小栗地区)
- 子育てサロン(女性,70歳代,長田地区)
- 小中学校支援活動(男性,70歳代,上山地区)
- 縁結び婚活サポート(女性,70歳代,多良見地区)
- 子育てサロン(女性,70歳代,真津山地区)
- 小、中の図書ボランティア(女性,50歳代,小野地区)
- サロン(女性,70歳代,飯盛地区)
- メダカ、ワンコインサービス(男性,70歳代,西諫早地区)
- 母子保健推進員、食生活改善推進員、諫早更生保護女性会(女性,70歳代,小栗地区)
- 地区の高齢者サロン(女性,60歳代,高来地区)
- サロン活動(女性,60歳代,飯盛地区)
- 茶道を通じてのサークル活動(男性,70歳代,高来地区)
- いきいきサロン(女性,70歳代,中央中地区)
- 町おこし「とどろき元気塾」(男性,70歳代,高来地区)
- いきいきサロン(女性,70歳代,小栗地区)
- 読み聞かせ(女性,60歳代,西諫早地区)
- いきいきサロン(女性,70歳代,真津山地区)
- いきいきサロン(女性,60歳代,上山地区)
- いきいきサロン(女性,70歳代,中央北地区)
- 地域子ども教室、おどり指導(女性,70歳代,真津山地区)
- 登校見守り(女性,70歳代,西諫早地区)
- 食生活改善推進協議会支部長(女性,70歳代,高来地区)
- 視覚障がい者のサポート、花植え(女性,60歳代,高来地区)
- いきいきサロン(女性,60歳代,長田地区)
- 老人ホームでの傾聴ボランティア(女性,60歳代,有喜地区)
- サロン(男性,70歳代,小栗地区)
- 小中学校で図書ボランティアとして読み語りなど(女性,50歳代,長田地区)

- 登校見守り、いきいきサロン世話役(女性,60歳代,森山地区)
- 地域寄り合い所「めだか」スタッフ(女性,60歳代,西諫早地区)
- 放課後子ども教室(女性,50歳代,飯盛地区)
- おもちゃ病院(男性,70歳代,中央北地区)
- 学校活動(男性,70歳代,多良見地区)
- 草むしり(女性,60歳代,多良見地区)
- 子育てサロン、長田小読み語り、長田中評議員(女性,60歳代,長田地区)
- サロン(女性,60歳代,多良見地区)
- 子ども見守り(男性,70歳代,中央北地区)
- 環境保全(男性,60歳代,中央西地区)

【問5】あなたは、お住まいの地域で、現在、民生委員・児童委員の活動以外に何らかの活動をされていますか。(その他)

- 学校評議員(女性,40歳代,中央北地区)
- 発達障がい児者親子支援(女性,50歳代,上山地区)
- サロン活動(女性,70歳代,小野地区)
- 学校評議員(男性,60歳代,真津山地区)
- 食改(女性,70歳代,高来地区)
- いきいきサロンの手助け(女性,60歳代,多良見地区)
- 更生保護女性連盟(女性,70歳代,小栗地区)
- 農協役員(男性,60歳代,有喜地区)
- 食生活改善推進員(女性,60歳代,中央西地区)
- お花を教えている(女性,60歳代,中央北地区)
- 母子保健推進員(女性,60歳代,小野地区)
- JA女性部役員(女性,70歳代,真津山地区)
- 母子保健推進員(女性,50歳代,小野地区)
- 地域子ども教室、ボランティアスクール(男性,60歳代,有喜地区)
- 学校役員(女性,50歳代,森山地区)
- 更生保護女性会(女性,60歳代,小栗地区)
- 女性防火クラブ(女性,70歳代,中央北地区)
- 趣味の会世話役(男性,70歳代,西諫早地区)
- 食生活改善推進員(女性,60歳代,中央西地区)
- 教諭師(男性,50歳代,中央北地区)
- 婦人防火クラブ委員(女性,70歳代,飯盛地区)
- 広報等の点訳奉仕(女性,70歳代,上山地区)
- 食生活改善推進員、ボーイスカウト諫早1団指導者(女性,70歳代,中央中地区)
- 人権擁護委員(男性,70歳代,高来地区)
- 食生活改善推進員(女性,60歳代,上山地区)
- いきいきサロン(女性,70歳代,西諫早地区)
- 母子保健推進員(女性,60歳代,上山地区)
- 図書ボランティア(女性,70歳代,上山地区)
- 会社に勤務(男性,60歳代,上山地区)

- 母子保健推進員(女性,70歳代,中央中地区)
- 町公民館管理(男性,70歳代,中央中地区)
- 教会活動(女性,60歳代,多良見地区)
- 文化協会(女性,70歳代,高来地区)
- 学校評議員(女性,60歳代,西諫早地区)
- いきいきサロン(女性,60歳代,小長井地区)
- 行政相談委員(女性,60歳代,森山地区)
- いきいきサロン(女性,70歳代,多良見地区)
- 小中学校支援(女性,50歳代,飯盛地区)
- 公民館運営審議会委員、図書ボランティア(女性,70歳代,本野地区)
- 母子保健推進員(女性,60歳代,多良見地区)
- 図書館清掃(女性,60歳代,多良見地区)
- スポーツ指導員(男性,60歳代,中央中地区)

【問7】あなたの地域で充実している福祉活動は何ですか。

- 遠い人とも便りで交流している。身内、他人関係なく心が豊かになって安心して暮らせます。(女性,60歳代,高来地区)
- いきいきサロン(女性,60歳代,高来地区)
- どれも充実しているというレベルではないが活動が始まっている、これからもお手伝いしていきたい。(男性,70歳代,中央西地区)
- 情報不足のため「充実している」か現在分からない。一部は少し充実していると思う。(男性,60歳代,長田地区)
- 充実とはどこを基準にするのか分かりにくい。(女性,60歳代,多良見地区)
- 他の地域と比較できる基準を持たない(男性,70歳代,高来地区)
- 私設消防団(男性,70歳代,高来地区)
- ふれあいいきいきサロン、主に一人暮らしの高齢者(女性,70歳代,西諫早地区)
- いきいきサロン活動(女性,60歳代,西諫早地区)
- 登校拒否の子どもの支援(女性,60歳代,真津山地区)
- 基準が難しい(男性,50歳代,中央北地区)

【問8】あなたの地域で不足している(今後、充実していく必要がある)福祉活動は何ですか。(その他)

- 地域全体でもっと支え合いがほしい。(女性,70歳代,小栗地区)
- 支援を必要としている人の認知(女性,50歳代,上山地区)
- 基準が難しい(男性,50歳代,中央北地区)

【問9】あなたの地域の福祉活動について、今後、充実していくためには、何が必要だと思いますか。(その他)

- 決まった人に何役でも来る、やってくれる人がいない。(男性,70歳代,小栗地区)
- 近隣に集まる場づくり(男性,70歳代,西諫早地区)
- 高齢者向け交通手段の補助(タクシー、バス)(男性,70歳代,小栗地区)
- 地域のリーダーが住民に常々情報を提供していくことが必要。(女性,60歳代,西諫早地区)
- 若年者を含めた地域文化活動(男性,70歳代,中央北地区)
- 市役所等の公的機関、部署の人員含め増強、充実。(男性,50歳代,中央北地区)

【問10】あなたは、地域の方が抱えている悩みや相談を、誰(どこ)から受けることが多いですか。(その他)

- 民生委員3年未満で悩みや相談を受けたことがない。(男性,60歳代,長田地区)
- 他の民生委員(女性,50歳代,小野地区)
- 子育てサロン(女性,50歳代,上山地区)
- 民生委員、児童員(男性,70歳代,高来地区)
- 民児協の定例会(女性,40歳代,西諫早地区)
- 現在までなし(男性,60歳代,西諫早地区)
- 民生委員仲間(女性,60歳代,長田地区)

【問 11-1】その理由は何ですか。(その他)

- 負担は大きいけど自分の立ち位置が不安です。(女性,70歳代,真津山地区)
- まず自分が健康であること。(男性,70歳代,西諫早地区)
- 自己の活動内容、方法等が負託にこたえているかを考える時、やや負担感を感じる。(男性,70歳代,中央北地区)
- 自分自身が高齢のため。(男性,70歳代,多良見地区)
- 自分よりもっと適任者がおられるのではと考えると負担を感じる。(女性,60歳代,中央北地区)
- 地域の方の悩みを解決できる社会資源が少ない。解決のためには民間しかないものもありお金がかかりすぎる。(女性,50歳代,長田地区)
- 自分の目が満遍なく全体を見ているかいつも不安に思う。(女性,70歳代,中央北地区)
- 自分の活動が対象の方にどのように受け入れられているか手ごたえがない。(女性,70歳代,多良見地区)
- 現在の活動で地域の見守り等が十分できているか不安。(女性,60歳代,小野地区)
- サロンの内容を毎回考えること。(女性,70歳代,飯盛地区)
- 常に頭から離れない、どのような事が起こるか分からない。(男性,60歳代,多良見地区)
- 年齢的に限度を感じます。(女性,70歳代,小長井地区)
- 個人情報を知るときどこまで入り込んで聞いたら良いか。(男性,70歳代,中央北地区)
- 問題解決のための責任感。(女性,60歳代,小野地区)
- 自分の時間があまり作れなくなった。(女性,40歳代,西諫早地区)
- 義務と責任の区別の判断が難しい。(男性,70歳代,多良見地区)
- 負担感とは違って責任感が強いと思う。(男性,60歳代,長田地区)
- ちゃんと活動できているのかという不安がある。(女性,50歳代,有喜地区)
- 自分も含めて高齢化が進んでいる。訪問先でお話を聞くことはできてもそれ以上をすることはできない。(女性,70歳代,西諫早地区)
- 相談内容が難しい時、相談する人の生活が悪い時、自分の用事がある時、相談を受けた場合、自分の用事をあきらめることが多い。(女性,70歳代,小栗地区)
- 活動についてこれでいいのか、もっと動くべきなのか、いつも自分の中で葛藤する。(女性,60歳代,小栗地区)
- 訪問活動で孤独死の発見者になった。(女性,60歳代,長田地区)
- 一人暮らし高齢者の増加にともない、見守り活動等の日常対応に時間、労力を要す。(男性,70歳代,真津山地区)
- 常に地域の人達の様子に心配りをしていけないといけない。(女性,60歳代,中央北地区)
- 悩みや相談を受けても解決に至るサービスや支援の場が十分ではない。(男性,70歳代,西諫早地区)
- 活動が十分できているのか分からないので精神的に負担を感じる。(女性,50歳代,上山地区)
- 経験が浅く地域の状況を把握していないため。(女性,70歳代,上山地区)
- 高齢者が高齢者を見守っている感じ。(男性,70歳代,小野地区)
- 分かっている者ができるところから取り組みたいが課題は吸い上げても繋げる場がない。ボトルアップしているが、全然見えてこない、返ってこないのではないかと。(女性,60歳代,多良見地区)
- 生命に関する負担、災害時とか一人暮らしの方の健康確認。(男性,70歳代,高来地区)
- 活動している中での責任感(女性,50歳代,本野地区)

- 民生委員の活動をどこまで行ったらいいのか悩む(個人のプライバシー)。(女性,60歳代,飯盛地区)
- 仕事内容が分からないのでどこまで踏み込んで活動していいのか?(女性,70歳代,真津山地区)
- 責任(男性,60歳代,森山地区)
- 責任(男性,70歳代,飯盛地区)
- 社協活動(男性,60歳代,多良見地区)
- 知識もないのに申し訳ない。(女性,60歳代,本野地区)
- 老人会長の奥さんから、私の知らない所で民生委員の資格がない等と誹謗中傷され精神的に落ち込んだ。(女性,60歳代,有喜地区)
- 足腰に不安があり、訪問回数が減少している。(男性,70歳代,長田地区)
- 認知症の妻を持ち活動に制約がある。(男性,70歳代,小栗地区)
- 自分自身の性格で見て見ぬふりが出来ず、やれることはできる限りしたいと思う。まずは信頼関係を作ってからと考える。(女性,60歳代,西諫早地区)
- 周囲から苦情を言われ、それに対し自分が抵抗できず悩むことがある。(女性,70歳代,小野地区)
- やりがいが無い(女性,70歳代,多良見地区)
- 参加する時間がないためではなく、仕事とボランティアとの優先順位、ボランティアの人数が少ないのでボランティアの確保が難しい。(女性,50歳代,飯盛地区)
- 知識不足、学習不足のため活動に支障をきたす。(男性,60歳代,中央北地区)
- 個人の情報に立ち入るため悩みや困りごとにどこまで踏み込むか苦慮する。(男性,70歳代,中央北地区)
- 1年目が終わったが、自身の行動に自信がなく自問自答して不安がある。(男性,70歳代,多良見地区)
- これから先対象者が高齢化し問題が増えてくることに対する不安。(女性,60歳代,多良見地区)
- 悩み、相談者とのプライバシー保護が活動を阻害しているのでは?(男性,70歳代,森山地区)
- 自分の活動に自信がない(女性,60歳代,多良見地区)
- どこまで関わっていいのかが分かりづらいので悩むことがある。(女性,60歳代,上山地区)
- 経験不足で分からないことが多いため(女性,60歳代,小長井地区)
- 要援護者が孤立し家族の協力が無い。(女性,70歳代,上山地区)

【問12】民生委員・児童委員活動における悩みや苦勞はどのようなものですか。(その他)

- 定例会時に役所の方が出席されますが文章棒読みで伝わってきません。具体的に説明しながら話をしてほしい。質問をした時、回答を来月に回され他の課の方が回答することも多い。納得できず、回答が得られません。(女性,60歳代,西諫早地区)
- 高齢者との連絡が取りづらい(難聴)。(男性,60歳代,多良見地区)
- 民生委員としての仕事が十分できているか自分で考えることがある。(男性,60歳代,有喜地区)
- コロナ情報の個人収集には限界がある。行政や社協はもっと情報を提供すべき。(男性,70歳代,多良見地区)
- 行政から配布された個人情報で訪問して良いか分からない。(男性,60歳代,長田地区)
- 地域の高齢化(男性,70歳代,西諫早地区)
- 悩みや相談を受けても解決に至るサービスや支援の場が十分ではない。(男性,70歳代,西諫早地区)
- 情報が足りない、どこまで活動するものなのか、果たして自分の活動は必要なのか、自問自答の毎日です。(女性,50歳代,上山地区)
- 自身が仕事もあり、回れていない事に申し訳なく思う。(女性,60歳代,多良見地区)
- 相談や依頼が学校などから来ない。会議のみの参加。必要だと思われていないと感じる。(女性,40歳代,西諫早地区)
- オートロック式のマンションに住む住人が多い、また町内会に入っていない人も多く、住人同士の付き合いが少ないため情報が入りにくい。住民同士の支えあいができない。家庭訪問もしにくい。(女性,60歳代,中央中地区)
- 生活保護に対する市役所の対応がバラバラ。認定後の定期審査がなされていない。車両所持、所得の再審査等、見過ごされている。(男性,70歳代,小栗地区)
- 地域の困りごとのリサーチが十分にできていない。(男性,40歳代,中央中地区)
- 受け持ちの世帯が広すぎる(広範囲)(女性,70歳代,本野地区)

- 地区社協、自治会、町内会との連携不足。(男性,70歳代,森山地区)
- コロナ禍により研修やイベントが中止となるうえ、住民との接触の機会も制約されたため、活動のレベルが向上できなかった。(男性,60歳代,中央西地区)
- 不登校などの学校の問題は学校の心のケア相談員や公のスクールカウンセラー等が充実しており、市民目線としての相談者である存在意義があると思うものの、主任児童委員としての関わりが難しい。(男性,50歳代,中央北地区)

【問 13】 民生委員・児童委員活動をしやすいするためには、何が必要と思いますか。(その他)

- 活動の軽減(男性,70歳代,小栗地区)
- 福祉協力員さんに個人情報をごとまで提供したらよいかいつも考えながら行動している。その線引きを学ぶ機会があれば良い。(女性,70歳代,多良見地区)
- 何を始めたら良いのか分からない。(女性,40歳代,西諫早地区)
- 自分なりのやり方で要支援者と良い関係ができていると思う。同じ講師の同じ講習(研修)は必要ない。(女性,60歳代,長田地区)
- 個人情報提供について、守秘義務への配慮が不足している。(男性,70歳代,西諫早地区)
- 研修会、講習会の参加要請の減少。(男性,50歳代,中央北地区)
- 包括センターは頑張っておられるがもっと市の幹部の支援体制が必要。(男性,70歳代,高来地区)
- 民生委員に対し行政、社協からの雑用が多すぎる。行政でできること、民生委員以外でできることの整理が必要。(男性,70歳代,西諫早地区)
- 町内会への未加入が多いため、町内会との連携があまりない。(女性,60歳代,中央中地区)
- 地区民児協内でのトラブルについて相談できる所がほしい。(女性,60歳代,西諫早地区)
- 地域住民との交流ができる環境(男性,40歳代,中央中地区)
- 民児協以外の活動が多すぎる。(-, -, -)
- 学校とのつながりを深くする。(女性,40歳代,飯盛地区)
- 小中学校でのいじめや登校拒否、問題行動の情報提供。(女性,60歳代,多良見地区)
- 依頼が多すぎる。(女性,50歳代,真津山地区)
- 前任者と後任者との引継ぎがスムーズにいくような時間を取る事が必要では。特に報告書等。(女性,60歳代,多良見地区)
- 警察、消防、郵便局、宅配サービス業者など見守りを実施している機関との連携、協力。(男性,60歳代,中央西地区)
- 学校との連携、協力、情報共有。(男性,50歳代,中央北地区)

【問 14】 あなたがお住まいの地域には、どのような課題があると思いますか。(その他)

- 住民同士の交流が少なく、子どもたちの声も聴かなくなった。(女性,60歳代,西諫早地区)
- 誰がどのような支援を望んでいるのか表面化していないため、どうすればよいかわからない。気軽に相談してほしいと思う。(女性,60歳代,中央北地区)
- 経験、知識が浅いのでよくわからない。(女性,60歳代,長田地区)
- どこに生活困窮世帯、一人親世帯があるのかも知らないのに支援はできない。不登校についても学校以上に支援ができるのかも分からない。とにかく情類が入らないので動きようがない。(女性,50歳代,上山地区)
- 地域住民全ての生活内容を把握していない中で分かっている範囲で問題解決や対応を行っていて、十分とは言えないまでも特に大きな問題や課題は発生していない。(女性,70歳代,中央中地区)
- 地元企業の子育て支援。生産者年代への支援。地域に安心して住める環境作り(職場、結婚など)。(男性,70歳代,高来地区)
- 困りごとが分かればつなげることができるが分からない事自体が課題。(男性,40歳代,中央中地区)
- 障がい者、一人暮らし高齢者に対するゴミ出し支援。(男性,60歳代,中央北地区)
- 60歳位から体力維持への意識を高めること。(女性,60歳代,多良見地区)
- 高齢者の習得した知識、技術を活かせる場所づくり。(男性,70歳代,中央中地区)

【問 15】 今後、地域での助け合いを推進していくために、どのような施策が必要だと思いますか。(その他)

- 地域ごとのボランティア支援隊を作ったらどうか？(女性,60歳代,小栗地区)
- 推進部門の設置と市の協力が必要。(男性,70歳代,高来地区)
- 地元企業の子育て支援(男性,70歳代,高来地区)
- 住民が自治会に必ず参加できるようにしたい。(男性,70歳代,中央北地区)
- PRのための掲示板をもっと増やしてほしい。(男性,70歳代,中央中地区)

【問 19-1】相談内容はどのような事ですか（その他）

- 預金通帳を家族が持っている。自分で使う分には不自由はない。(女性,60歳代,長田地区)
- 成年後見人と思われる方の不正行為。(男性,50歳代,中央北地区)
- 金銭感覚、金銭管理に問題がある(衝動買い)。(女性,70歳代,中央西地区)
- 結婚問題(女性,60歳代,西諫早地区)
- 精神障がい者の今後について。(男性,60歳代,多良見地区)

【問 20】相談はあったが成年後見制度の利用に至っていない場合、その理由を教えてください(その他)

- 初めからの費用が多額で利用するのを考えさせられます。(女性,60歳代,高来地区)
- 本人の理解が難しい。(男性,70歳代,多良見地区)
- 親戚等が多い地区なので。(男性,70歳代,小長井地区)
- ご本人からの相談が一度だけだった。家族の中に踏み込めなかった。本人がそこまで強く希望されなかった。(女性,60歳代,長田地区)
- 相談がない(男性,60歳代,森山地区)
- 相談なし(男性,60歳代,多良見地区)
- 制度の理解不足(男性,70歳代,多良見地区)

【問 21】今後、成年後見制度の利用促進・充実を図っていくためにはどのようなことが必要だと思いますか。(その他)

- 安易な成年後見人をつけるべきではない。(男性,70歳代,多良見地区)
- 特定の後見人一人だと財産管理など不正があると見抜くことが難しいので、不正を行えないような仕組みが必要。(男性,50歳代,中央北地区)
- 成年後見制度の悪用を防ぐ。(男性,70歳代,小野地区)
- 名前から分かりにくい。利用する事がマイナスイメージがあると思う。(男性,40歳代,中央中地区)

【問 22-1】その理由を教えてください。(その他)

- 犯罪の定義が広すぎる。内容により対応は異なってくると思う。(男性,70歳代,多良見地区)
- 性犯罪、薬物依存、殺人罪などの人は怖いイメージ、なるべく関わりたくない。(女性,60歳代,中央北地区)
- 自分自身が寛大な人間ではないということ。(女性,60歳代,本野地区)
- 自分自身が立ち直りに協力する(できる)自信がない。(女性,50歳代,真津山地区)
- 保護司にお願いしたい。(女性,70歳代,本野地区)
- 精神的負担に耐える自信がない。(男性,60歳代,西諫早地区)
- 中途半端な関わりはすべきではないと思うから。(男性,50歳代,中央北地区)

【問 23】あなたは、再犯防止のために、具体的にどのような取組が必要だと思いますか。(その他)

- 日常生活を正しく過ごすために毎日関わる事ができる指導者、支援者の育成。(女性,50歳代,長田地区)
- 犯罪が起きないように学校、家庭、地域、社会等が道徳をしっかり身につけさせて置くべき。(女性,60歳代,西諫早地区)
- 家族愛、人間関係(女性,70歳代,小栗地区)
- 常に相談できる人の存在。(男性,50歳代,中央北地区)

- 民生、児童委員と保護司と行政の連携(男性,70歳代,高来地区)
- 犯罪の大きさによって行政に委ねることがあると思う。(男性,70歳代,中央中地区)
- 犯罪をしたものがすぐ相談でき、対応できる体制を整えておく。(女性,40歳代,西諫早地区)
- 見守り続けること。(女性,60歳代,本野地区)
- 福祉関係者間で情報を共有し見守ること。(女性,60歳代,多良見地区)
- 地域の理解は必須(女性,60歳代,長田地区)
- 月に1、2回の対話を自治会で持つ。(男性,70歳代,中央北地区)

【問 24】再犯防止のために、地方公共団体は何をするべきだと思いますか。(その他)

- 再犯防止に関わった後の身の保障、安全性など確実な支援を。(女性,60歳代,高来地区)
- 保護司の人数を増やす。(女性,70歳代,小栗地区)
- 衣食住に困らないための支援体制。(男性,50歳代,中央北地区)
- 企業に対して再犯防止について広報、啓発活動をする。(男性,70歳代,高来地区)
- 自立のためにはまず就労、住居ではないか。(男性,50歳代,中央北地区)

調査内容や福祉に関するご意見等ございましたら、ご記入ください。

【災害・犯罪等について】

- 自然災害等発生した時の避難誘導において、一人暮らしの高齢者の見守りを民生委員一人では無理なところもあり、近隣住民とのネットワークの整備が必要だと思います。高齢化が進む中で日常生活において些細な事でも手助けが必要になってくる。そういう時に手軽に頼める有料ボランティアグループがあれば良いと思います。(女性,60歳代,小長井地区)
- 実際に支援が必要な高齢者が要支援者名簿に載っていない。理由はあるのでしょうか、現場に丸投げ？(男性,60歳代,西諫早地区)
- 民生委員として日が浅く、勉強することが多いですが、一人暮らしの高齢者の見守りで感じたことは、足腰が弱り病院や買い物に行くのが不便、台風の時など避難所に行きたくてもいけないという意見でした。何か手段として福祉タクシー、乗り合いタクシーやタクシー券の発行などできたら良いと思います。(女性,70歳代,中央中地区)
- 再犯防止対策について。マスコミ等で立ち直りの協力事例が報道されていますが、協力するにしてもやはり犯罪、非行の程度による事案で協力の有無も出てくると思います。(男性,60歳代,長田地区)
- 再犯防止について。入所時は国、協力事業所など支援のもと人材育成へ向けておられますが、社会復帰時には環境の変化により大きな不安がおこります。社会生活を維持するには施設との連携を継続する事が重要で保護司の方々の支援をつなぎ、段階的なステップづくりをすすめ、就労の確保へむかいたいと思っています。災害対策について。近年大雨をはじめ、大きな自然災害が増加しております。そのため避難の必要が当然となっておりますが、高齢者にとっては体調面、避難手段等、不安が大きくなっています。民生委員として緊急災害にも備え、電話訪問などで周知を行っていますが、現実には厳しい状況です。避難時の課題は、交通手段の問題、準備用品、避難場所での自己対応、ストレスでの相談窓口、災害時の取組課題として行政からの対応マニュアルの必要と各地区団体との情報、交流の必要性と思っています。(男性,70歳代,高来地区)
- 【情報提供・情報共有について】
- 情報の共有化。行政などから「個人情報」を口述に、明らかに法案に該当しないと認められる事案と認められる内容であっても、相談事項が一方通行になる事案が散見される。情報の共有ができていないことがある。(男性,70歳代,西諫早地区)
- 活動時、時として個人情報保護法が足かせとなり欲しい情報が入らない場合がある。民生、児童委員には守秘義務がかせられているので、必要に応じてその緩和をお願いしたい。(男性,70歳代,高来地区)
- 困っている本人はどのような福祉サービス、支援があるのか知らないし、あることも知らないため相談もしないと思う。個人情報をネットワークで共有し、情報を持っている者から「このサービスが利用できます」等の案内や訪問で現状把握をすることがまずは大事だと思います。私たちを利用してもらっても大丈夫ですが、そもそも民生委員という名前、何をやる人が理解されていないとドアも開けてもらえません。まずは周知からよろしく願います。私たちも関係団体へ可能な範囲で名刺を持ってまいりますが、その前段階にご協力願います。(女性,40歳代,西諫早地区)
- 住民一人ひとりに分かりやすく知ってもらう必要があると思います。その為の周知方法を検討して頂きたい。(女性,60歳代,飯盛地区)
- 民生委員として一期目のため、自信をもって行動できていない。特にコロナの影響で研修、会合ができていなく、知識の習得、民生委員同士の交流が全くなく、先輩にも相談する関係を構築できず、これで良いのか行動に不安があります。自治会と連携して見守りネットワーク作りをスタートすることで各班長さんよりの情報提供を得る事と見守り体制が向上したように感じております。ただし自治会長の交代でどうなるか心配もあります。福祉協力員の活用を検討願う(民生委員への支援等)。民生委員として一年を終えたところですが、社協のことがよく理解できていないので社協の中身の説明会など行って頂きたい。現状の認識では民生委員は社協の小間使いさせられているように感じております。(男性,70歳代,多良見地区)
- 民生委員活動は地域の自治会や社会福祉協議会、地域包括センターとの連携が欠かせないものと考えられるが、一般の地域の人たちにとってはあまり理解されていないと思うので、何かの折に触れ活動内容を紹介することも必要ではないだろうか。(男性,70歳代,多良見地区)
- 相談窓口の一本化によりそれぞれ各課の流れを良くしてもらいたい。福祉に関連する苦情例集。(男性,60歳代,中央北地区)
- 【権利擁護・成年後見制度等について】
- 成年後見制度について講話や研修を充実させてほしい。(女性,60歳代,高来地区)
- 2月の民児協定例会の際に法務局からの出前講座で「相続に関するルール」の話を伺うことができ、大変勉強になりました。「成年後見制度」についても勉強する機会を頂けましたらありがたいです。(女性,60歳代,西諫早地区)
- 成年後見人制度について家族に理解と必要性をしっかりと伝えないといけないと思います。高齢者に対する虐待ですが、家族からの話から虐待ではないかと思われる事もあります。対処が難しい。家族ですからきつい事を言ってしまうたり、下の世話の時、尻を打ったり、後で後悔したりの状態等。あまり家庭の中に入ってもいけないし、なるだけ包括センターの方と相談しながら進めています。(女性,70歳代,多良見地区)

【地域・交流について】

- 地域自治会、ママ友、パパ友の交流の場が増えるような横のつながりを広められるような小さな地域作りを始めたい。(女性,60歳代,小栗地区)
- 後継者がいなく、人選困難で特定個人への負担継続で大変。現状把握に関するアンケート記入したが、その結果報告についての改善内容が不明多い。(男性,70歳代,真津山地区)
- 福祉等の相談をどこに聞いたらよいのか分からない時がある。どこまで支援をすべきか。問7、8は住民同士の交流、支え合いの中で充実させていく必要があると思います。(女性,70歳代,飯盛地区)
- 私の住んでいる地域でも高齢化が進み、昼間はほとんど誰も見かけず、静まっている状況です。このような中でどのようにネットワークを組んでいけば良いのか一人ひとりの孤独や寂しさを打破できるのか、考えています。(女性,70歳代,上山地区)
- 多様な生活様式の現代ではどこまで入っていけばよいのか。民生委員への仕事の依頼が多すぎる。次世代の方々への相談場所があればと思います。高齢化でゴミ出し等、日常支援が増えていくと思うので地域全体で考えていかねばと思います。(女性,60歳代,飯盛地区)
- 地域をどれくらいの単位でとらえていくのか。それによっては地域住民の参加状況も変わってくるのではないかと思います。(女性,60歳代,小長井地区)
- 互助の精神が必要。困った時だけ頼むではいけない。自分ができることは若い時からするように。高齢者になってから頼むだけだと近所付き合いがない人は都合のいい互助になってしまう。(男性,60歳代,上山地区)
- 記入することにより新米民生委員として普段から意識に地域の方々をみて行かなければと改めて意識を高めることができた。2、30年前に透析の方の送迎ボランティアをしました。途中、有償ボランティアに切り替えました。地域では、少しでも生計の足しになる事がないのかと話しかけられたことが2件ありました。民生委員の分科会で地域により高齢者ばかり、子どもが多い地域、世代交代が行われている地域と、興味をひく現状がわかり、またそれにより問題、関わりも違ってくると思いました。一人暮らしの方は大変でしょうが、今は高齢夫婦二人暮らし、家族の多様化で5、60代の独身息子との二人暮らしも多く、問題も多様化し低所得、老々介護、近い将来親がなくなると初老の男一人世帯が地域に何件もあるような状況、健全な家庭が少なくなると思われました。(女性,60歳代,多良見地区)
- 現在「かたらん場」で包括センターが中心となって仕組み作りが進められています。包括センターだけの推進で、もっと市の支援が必要です。社会資源の活用も必要です。市の幹部の支援が必要です。(男性,70歳代,高来地区)
- 町内、老人会、いきいきサロンに参加される方は大体自分の周りのことは分かっていると思う。町内に入っていない方は掃除も参加しないし住民との交流もないようだ。人とのつながりが昔に比べ少なくなったように思う。(女性,70歳代,中央中地区)
- いきいきサロンで年配者の方との交流、わんぱく広場で児童との交流を図っています。去年はコロナ禍で回数が激減しましたが、公民館で開催しています。少子高齢化に対応するために不可欠なのは居場所だと考えます。公民館の機能をアップしてネットワークの拠点にするのが最適ではないかと思います。課題としては専門の職員さんの配置、住民の意識の変化(町会費を支払っていない人は町の一員ではないと考えている人が多い)。昨年国勢調査員の囑託を受けたが、顔見知りであるということの大切さをしみじみと実感した。(女性,60歳代,上山地区)
- 高齢者が健康維持のために杖を使用し自宅の周りを散歩したいと思っても途中ちょっと座ってひと休みしたいけど座れる場所があれば、と耳にします。車の通りの少ない安全な場所にベンチまたは椅子を設置して頂けたらと思います。いきいきサロンを公民館で実施しています。歩行に自信がないので参加したくてもできない。結局公民館の近所の人たちに限られてしまいます。どなたでも参加できるよう、歩いて行ける場所に寄合所的なところを設置して頂けたらと思います。(女性,70歳代,西諫早地区)
- 地域主体で「かたらんば」等、進めていくのは難しいと感じています。相談する窓口がもっと必要だと思います。(女性,60歳代,上山地区)
- 市役所の方々をはじめ、市の行政、運営に関わる皆さま方には常日頃から私たち市民のために献身的にご尽力頂き、ありがとうございます。高齢化が進み、地域の見守りが必要を増している中、人々の関心やつながりが希薄になってきており、これから先を危惧しております。高齢世帯のゴミ出し問題ひとつにしても中心となり推し進める公的な力が必要だと感じます。成り手不足の民生委員・児童委員、自治会、子ども会、老人会等の近い将来のあり方を含め問われていると思います。活動のあり方を考え直し、必要性や存在意義、参加しやすい仕組み等、検討していく必要を感じます。(男性,50歳代,中央北地区)

【民生委員の活動について】

- 民生委員・児童委員となり、担当区域の住民の見守りを実施しているが、警察、消防、郵便局、宅配サービス業者も同様の取組みがあり、見回り中に会う機会も多かった。一方、昨年、国勢調査員として活動する中で調査区域内もアパートが多くなり、防犯上の観点から、外部からの出入りが困難な閉鎖性の強い建物もあり、会うことができない人も多かった。自治会役員や民生委員・児童委員も高齢化が進み、地域住民との接触や見守りの機会も減少傾向かと思えます。福祉に関する課題が多様化、複雑化する中で解決が困難な課題も増加する傾向かと思えます。しかし、地域福祉の向上のために取り組む団体・個人も多々存在するも、各々ばらばらに頑張っている傾向も見られますので、これらの力を糾合するような取組みが必要かと思えます。(男性,60歳代,中央西地区)
- 民生委員の仕事も人それぞれのやり方でされていると思いますが、若い人はまだ仕事をされている方が多く、なかなか後継者がいなく、困っている地区も多々あるようです。75歳定年制ですが、元気でまだできる人は個人の判断に任せるなど考え方を考えてみたいと思います。再犯防止は個人的にはお世話はできませんが、生活面に不便があれば物資の協力はしたいと思います。(女性,70歳代,小栗地区)
- 民生委員は成り手が少ないためか活動内容の充実強化の取組が不十分。これでは数だけ揃えても行政や関係団体の下請け機能しかこなせなくなる。数の確保と質の向上を図るための取組を抜本的に強化する必要がある。この意味では県、市、地区民生の機能強化をさらに図る必要がある。(男性,70歳代,西諫早地区)
- 自分が住む地域福祉について自分自身が把握している範囲内では、地域住民の生活課題について特に大きな問題はない現状だと思っております。しかし地域福祉に関してもっと深く掘り下げれば、身寄りがない高齢者の方などは生活面等についての相談は地域の中で誰に相談したらいいのか分からない方や民生委員の存在さえご存じない方もいらっしゃる等、色々な課題が出てくるのではないかと思います。民生委員の活動についてまだ多くの方に周知されている状況ではないように思います。問13の5について地域の回覧板掲載依頼を町内会に打診してみたいと思います。(女性,70歳代,中央中地区)
- 担当している地域に高齢の方が多くいます。仕事と子育てでなかなか行き届かず、月一回位しか回れていないです。もっと活動しなくてはとおもいながら、サロンも億劫になってきています。(女性,50歳代,飯盛地区)
- 民生委員になって勉強中で町内のなかで問題がそれほどなく、犯罪者等を見ることすらない平和な場所で、今の所生活していて、これから先様々な事が起こるかもしれないが、相談する人が近くにいるのでありがたいです。福祉の充実が求められますが、やはり自立が大切なことだと思います。支援を求めるのは誰もが与えられた権利だと思います。可能な限り協力していきたいと考えます。(女性,60歳代,有喜地区)
- 民生委員1年経過しましたが、まだまだ先輩方についていくのが精いっぱいです。今後とも頑張っていきたいと思いますのでよろしくをお願いします。(女性,50歳代,本野地区)
- 私は何の資格も知識もないままに民生委員を引き受け10年になります。その時は一人暮らしの高齢の方に何等かでも手助けになれば良いと軽く考えていたと思います。でもやってみれば広範囲で奥も深く、知らない事、経験のない事など自分でいいのかと思いつつ続けています。私たちの町では自治会、老人会、民生委員を中心に町民の声を集めています。希望、要望、提案、困りごと、心配ごと、不平、不満などご意見箱に投函してもらうようにしています。まだ始めたばかりですが、手紙が入るのを楽しみにしています。私は町内の小学一年生にネーム入りの鉛筆を自治会より差し上げ、みんなでお祝いしてほしいと思っています。(女性,70歳代,上山地区)
- 少子高齢化の未曾有の危機に瀕している中で県は民生・児童委員の定員、活動費を削減しようとしています。活動費削減は良しとして定員削減は活動の質を落としかねません。対象は物ではありません。血の通った人間です。定員削減はこれ以上やめてもらいたい。(男性,70歳代,高来地区)
- まずは町内での人とのつながりが大切ですが、集合場所などの場所が必要と思う。そのため各町内での民生委員、児童委員同士の情報交換等で自治会を含む連携強化が必要。成年後見制度はなかなか内容が分からず難しい点がありそう。今後は特に地域の福祉が大切だと感じる。(男性,60歳代,中央中地区)
- 私は民生委員になって2年目。まだ形にはまった活動しかしていないと思う。先輩などの助言で動いているだけで、自分からはないかも。コロナ禍で活動も少なくなり、気持ちは楽になったような。このままだと続けていくことができるか心配になる。他人事のようにあそこのおばあちゃん、おじいちゃん、子どもは、と見ていただけでした。今は他人事では済まされない所にいると思う。軽く考えていた民生委員、大変に思えてきた。(女性,60歳代,真津山地区)

【その他】

- 発達障がいのある子どもさんとその家族に対しての地域周辺、学校関係の理解が不足しているように思います。もっと寄り添った温かな関わりがあったらと思います。家族も大変ですが、本人が一番辛いと思います。「丸ごと受け止める」のが大事。「対策を考える」のはその次だと思います。違いを受け入れる事をもっと大人も子ども達にも教えてほしい。わが子ももしそうだったら、というそんな思いで見守れる人々が増えたらいいなと思います。(女性,60歳代,長田地区)
- いつも行政とのずれを感じています。諫早市の目標は「ひとが輝く創造都市・諫早」のようですが、よく分かりません。「住みやすい諫早」として住みやすくするには何をすべきかを考えたらいいかでしょうか。住民が中心であり、その要望、活動を調整するのが地方行政だと思います。(男性,70歳代,真津山地区)
- 要支援者について、どう動けばいいのか、どこに話を持っていけばいいのか分からず、訪問できる時間など悩んでいる。(女性,50歳代,小栗地区)

- 問7、8、9はすべてに該当するような課題であると思う。一人暮らし高齢者との信頼というか気心が知れてから、最後は親族に看取られて亡くなっていく。民生委員としてどこまで関わりできるかもあるが、不甲斐なさを感じる。どこかで割り切るしかない。(男性,70歳代,中央中地区)
- アンケート調査の仕方に疑問。(,-,-,-)
- 子育て支援の充実が人づくりの基本になると思うので、支えあい、助け合いながら活動している今の「あたりまえ」が崩れてしまい、形を変えて誰もが活動しやすくなれば良いですね。ただ熱意をもって活動しておられる方は素晴らしいので、その熱意や志に寄り添える人材、施策があれば有難いですね。(女性,40歳代,飯盛地区)
- 民生委員活動に感謝しているとよくイベントなどで行政の方が言われますが、その割に個別の活動に対する対応はあまり親切だとは思えません。こちらは担当ではありません、〇〇課です、とふられることが多々あります。電話なら担当課に回すなり、連絡先を教えてくださいの心配りは必要ではないでしょうか。ボランティアに多くを頼りすぎ。公助より共助、共助より自助へとならないよう、心の面(助成金などではなく)での寄り添いは親切な対応が一番先に必要だと思います。相談しやすい行政機関であるべきです。公僕という言葉は死語になったのでしょうか。アンケートを取り数字でデータ解析し、書類にするのに時間をかけ、仕事終了とせず、実際の組織作り、体制作り、アンケート結果で指摘された改善項目への取組をしっかりと報告できるように努力して頂く事を切に願います。(女性,60歳代,多良見地区)
- 福祉協力員の充実。役についたばかりで何をしたらよいか分からない人が多い。福祉協力員の具体的な仕事を与えてほしい。(男性,70歳代,中央中地区)
- 担当の場所によって仕事量が異なる。次の民生委員の成り手を見つけるのが大変なようで活動内容の見直しが必要に思う。(女性,50歳代,真津山地区)
- アンケート調査をするのも良いが、自治会、町内会等の地域団体や市議会議員からもアンケート調査をする方がもっと効果があがると思います。(男性,70歳代,森山地区)
- 何事も行政の方々の熱心な取り組み体制が重要ではないかと思います。(女性,60歳代,多良見地区)
- 調査内容が難しすぎると思った。一般の主婦が民生委員になり福祉の事等勉強する事が多い。(女性,60歳代,多良見地区)
- 防災対策避難場所について。2020年に市から避難場所の報道があったが、報道の場所がコロナの件もあったと思うが避難場所変更が数回された。後日、市の方に問いましたが市の職員が不足なためとの回答で我々民生委員としては大変困惑した。的確な対応をできないものか。また最寄りの自治会公民館の避難が出来ないものか要望致します。民生委員児童委員として。今、実情65才定年で70才囑託が多く、今後後任の人がなかなか難しい環境にあるのが実情ではないかと思います。市として町の統廃合を早急に検討して頂きたいと思う。かたらんばの件。各町で安心安全住みよい街をテーマに努力しているのが実情です。独居老人、身体障がいに対し、町、民生委員、自治会、班、含めてボランティアをしております。かたらんばのミーティングですが、どこの町も飛躍したことを述べられるか後の追跡調査も聞かせてほしい。良い点、悪い点、変更した点、各町意見を述べる討論会も必要に思われます。(男性,70歳代,中央北地区)
- 幼少期から基本的生活の習慣や病気についての教育をして、生活習慣病等を予防する術を身に着け、健康寿命を延ばせるようトータルで支援して頂きたい。(女性,70歳代,上山地区)